2025年度教育課程（カリキュラム）表

ビジネス学科（２年課程）１年次

第 1 学 年							
科目区分	科　目整理番号	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	実務教員科　目
一般科目	001	社会人基礎Ⅰ	講義	必修	60	3	
	002	社会人基礎Ⅱ	講義	選必	60	3	
	003	社会人基礎Ⅲ	講義	選必	90	3	
専門科目	004	複式簿記の原理	講義	選必	90	3	
	005	株式会社会計	講義	選必	90	3	
	006	株式会社会計演習Ⅰ	演習	選必	30	2	
	007	中小企業会計Ⅰ	講義	選必	90	3	
	008	中小企業会計Ⅱ	講義	選必	90	3	
	009	中小企業会計演習Ⅰ	演習	選必	30	2	
	010	公開企業会計Ⅰ	講義	選必	90	3	
	011	公開企業会計Ⅱ	講義	選必	90	3	
	012	公開企業会計演習Ⅰ	演習	選必	30	2	
	013	商業簿記上級	講義	選必	90	3	
	014	工業簿記上級	講義	選必	90	3	
	015	日商簿記１級Ⅰ	講義	選必	90	3	
	016	日商簿記１級Ⅱ	講義	選必	90	3	
	017	日商簿記１級Ⅲ	講義	選必	90	3	
	018	日商簿記１級演習Ⅰ	演習	選必	40	1	
	019	日商簿記１級演習Ⅱ	演習	選必	40	1	
	020	日商簿記１級演習Ⅲ	演習	選必	40	1	
	021	日商簿記１級演習Ⅳ	演習	選必	40	1	
	022	日商簿記２級Ⅰ	講義	選必	90	3	
	023	日商簿記２級Ⅱ	講義	選必	90	3	
	024	日商簿記２級Ⅲ	講義	選必	90	3	
	025	日商簿記２級演習Ⅰ	演習	選必	30	1	
	026	日商簿記２級演習Ⅱ	演習	選必	30	1	
	027	日商簿記２級演習Ⅲ	演習	選必	30	1	
	028	日商簿記２級演習Ⅳ	演習	選必	30	1	
	029	国内旅行Ⅰ	講義	選必	60	2	
	030	国内旅行Ⅱ	講義	選必	60	2	
	031	国内旅行演習	演習	選必	60	2	
	032	ファイナンシャル・プランニングⅠ	講義	選必	60	2	
	033	ファイナンシャル・プランニングⅡ	講義	選必	60	2	
	034	ファイナンシャル・プランニング演習	演習	選必	60	2	
	035	ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰ	講義	選必	60	2	
	036	ファイナンシャル・プランニング応用Ⅱ	講義	選必	60	2	
	037	ファイナンシャル・プランニング応用演習	演習	選必	60	2	
	038	経営学	講義	選必	180	8	○
	039	経理実務	講義	選必	120	6	
	040	経理実務演習	演習	選必	60	2	
	041	宅地建物取引士入門	講義	選必	40	2	

専門科目	042	宅地建物取引士Ⅰ	講義	選必	60	2	
	043	宅地建物取引士Ⅱ	講義	選必	60	2	
	044	宅地建物取引士Ⅲ	講義	選必	60	2	
	045	宅地建物取引士Ⅳ	講義	選必	30	1	
	046	賃貸不動産経営管理士	講義	選必	60	2	
	047	文書処理技能	講義	選必	40	2	○
	048	プレゼンテーション技能	講義	選必	40	2	○
	049	マーケティング基礎	講義	選必	120	4	
	050	リテールマーケティング基礎Ⅰ	講義	選必	60	2	○
	051	リテールマーケティング基礎Ⅱ	講義	選必	60	2	○
	052	リテールマーケティング基礎演習	演習	選必	60	2	○
	053	リテールマーケティング応用Ⅰ	講義	選必	60	2	○
	054	リテールマーケティング応用Ⅱ	講義	選必	60	2	○
	055	リテールマーケティング応用演習	演習	選必	60	2	○
	056	税務会計	講義	選必	120	4	
	057	秘書基礎Ⅰ	講義	選必	60	2	
	058	秘書基礎Ⅱ	講義	選必	60	2	
	059	ビジネス会計Ⅰ	講義	選必	60	2	
	060	ビジネス会計Ⅱ	講義	選必	60	2	
	061	プログラミング基礎Ⅰ	演習	選必	30	1	
	062	プログラミング応用Ⅰ	演習	選必	60	2	
	063	アプリケーション開発基礎Ⅰ	演習	選必	30	1	
	064	アプリケーション開発応用Ⅰ	演習	選必	60	2	
	065	コンピュータリテラシ	演習	選必	30	1	
	066	コンピュータリテラシ（表計算）	演習	選必	30	1	
	067	コンピュータリテラシ（文書処理）	演習	選必	30	1	
	068	コンピュータリテラシ（プレゼンテーショ	演習	選必	30	1	
	069	コンピュータリテラシ（データベース）	演習	選必	30	1	
	070	システム開発基礎Ⅰ	演習	選必	60	2	○
	071	システム開発応用Ⅰ	演習	選必	60	2	○
	072	情報処理テクノロジ基礎	講義	選必	30	1	
	073	情報処理マネジメント基礎	講義	選必	30	1	
	074	情報処理ストラテジ基礎	講義	選必	30	1	
	075	情報処理基礎演習	演習	選必	30	1	
	076	情報処理テクノロジ応用Ⅰ	演習	選必	30	1	
	077	情報処理マネジメント応用Ⅰ	演習	選必	30	1	
	078	情報処理ストラテジ応用Ⅰ	演習	選必	30	1	
	079	情報処理応用演習Ⅰ	演習	選必	30	1	
	080	アルゴリズム基礎	講義	選必	30	1	
	081	アルゴリズム応用	演習	選必	30	1	
	082	情報セキュリティ基礎	講義	選必	30	1	
	083	情報セキュリティ応用	講義	選必	30	1	
	084	ネットワーク基礎	講義	選必	30	1	
	085	ネットワーク応用	講義	選必	30	1	
	086	システムアーキテクチャⅠ	演習	選必	30	1	
	087	情報処理入門テクノロジ	講義	選必	30	1	

専門科目	088	情報処理入門マネジメント	講義	選必	30	1	
	089	情報処理入門ストラテジ	講義	選必	30	1	
	090	情報処理入門演習	演習	選必	30	1	
	091	消費税法税務会計	講義	選必	90	3	○
	092	簿記論Ⅰ	講義	選必	120	4	
	093	財務諸表論Ⅰ	講義	選必	120	4	
	094	簿記論演習Ⅰ	演習	選必	60	2	
	095	財務諸表論演習Ⅰ	演習	選必	60	2	
	096	会計学上級	講義	選必	90	3	
	097	原価計算上級	講義	選必	90	3	
	098	財務会計上級	講義	選必	90	3	
	099	管理会計上級	講義	選必	90	3	
	100	Excel表計算技能	講義	選択	30	1	○
	101	簿記速修	講義	選択	120	4	
	102	ＦＰ技能士３級	講義	選択	60	2	
	103	ＦＰ技能士３級演習	演習	選択	15	1	
	104	コンピュータ会計	演習	選択	30	2	
1学年合計授業時間数・取得単位数					900	32	

（備考）

選必は選択必修科目であり、840時間以上を選択し履修規程に従い履修しなければならない。

2025年度教育課程（カリキュラム）表

ビジネス学科（２年課程）２年次

第 2 学 年							
科目区分	科目整理番号	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	実務教員科目
一般科目	105	社会人基礎知識Ⅰ	講義	選必	90	3	
	106	社会人基礎知識Ⅱ	講義	選必	60	2	
	107	販売士２級基礎Ⅰ	講義	選必	60	3	○
	108	販売士２級基礎Ⅱ	講義	選必	60	3	○
	109	販売士２級演習	演習	選必	90	4	○
	110	販売士３級基礎Ⅰ	講義	選必	60	3	○
	111	販売士３級基礎Ⅱ	講義	選必	60	3	○
	112	販売士３級演習	演習	選必	90	4	○
	113	国内旅行演習	演習	選必	60	2	
	114	秘書準１級Ⅰ	講義	選必	60	3	○
	115	秘書準１級演習Ⅰ	演習	選必	90	4	○
	116	秘書準１級Ⅱ	講義	選必	60	2	○
	117	表計算ソフト基礎Ⅰ	講義	選必	60	3	○
	118	表計算ソフト基礎Ⅱ	講義	選必	90	4	○
	119	文書処理ソフト基礎	講義	選必	60	3	○
	120	表計算ソフト応用	演習	選必	60	2	○
	121	文書処理ソフト応用	演習	選必	60	3	○
	122	会計ソフト	講義	選必	60	2	
	123	プレゼンテーションソフト	講義	選必	60	3	○
	124	ファイナンシャル・プランニング	講義	選必	60	3	
	125	ファイナンシャル・プランニング演習	演習	選必	60	2	
	126	ファイナンシャル・プランニング応用	講義	選必	60	3	
	127	ファイナンシャル・プランニング応用演習	演習	選必	60	2	
	128	社会人総合演習Ⅰ	演習	選必	60	3	○
	129	社会人総合演習Ⅱ（パソコン演習）	演習	選必	60	3	○
	130	社会人総合実習Ⅰ	実習	選必	60	2	
	131	事務実務実習Ⅰ	実習	選必	30	1	
	132	事務実務実習Ⅱ	実習	選必	30	1	
	133	マナー実習（オフィスワーク）	実習	選必	60	2	○
	134	マナー実習（受付・接遇）	実習	選必	30	1	○
	135	ビジネスパソコンスキル実習Ⅰ	講義	選必	60	2	○
	136	ビジネスパソコンスキル実習Ⅱ	実習	選必	30	1	○
	137	ビジネスパソコンスキル実習Ⅲ	実習	選必	60	2	○
	138	社会人総合実習Ⅱ	実習	選必	120	4	
	139	プレゼンテーション実習	実習	選必	30	1	○
	140	マナー実習（セールス）	実習	選必	60	2	○
	141	マーケティング実習	実習	選必	60	2	
	142	宅地建物取引士入門	講義	選必	40	2	
	143	宅地建物取引士Ⅰ	講義	選必	60	2	
	144	宅地建物取引士Ⅱ	講義	選必	60	2	
	145	宅地建物取引士Ⅲ	講義	選必	60	2	

専門科目	146	宅地建物取引士Ⅳ	講義	選必	30	1	
	147	ネットマーケティング	講義	選必	60	2	
	148	ＳＮＳマーケティング	講義	選必	30	1	
	149	ビジネス会計	講義	選必	60	2	
	150	賃貸不動産経営管理士	講義	選必	60	2	
	151	ビジネス・アナリティクス	講義	選必	30	1	
	152	販売士1級基礎Ⅰ	講義	選必	60	3	○
	153	販売士1級基礎Ⅱ	講義	選必	60	3	○
	154	販売士1級演習	演習	選必	90	4	○
	155	簿記論Ⅰ	講義	選必	120	4	
	156	簿記論Ⅱ	講義	選必	180	6	
	157	財務諸表論Ⅰ	講義	選必	120	4	
	158	財務諸表論Ⅱ	講義	選必	180	6	
	159	消費税法Ⅰ	講義	選必	120	4	○
	160	消費税法Ⅱ	講義	選必	180	6	○
	161	法人税法Ⅰ	講義	選必	120	4	○
	162	法人税法Ⅱ	講義	選必	180	6	○
	163	相続税法Ⅰ	講義	選必	120	4	
	164	相続税法Ⅱ	講義	選必	180	6	
	165	簿記論演習Ⅰ	演習	選必	60	2	
	166	簿記論演習Ⅱ	演習	選必	90	3	
	167	財務諸表論演習Ⅰ	演習	選必	60	2	
	168	財務諸表論演習Ⅱ	演習	選必	90	3	
	169	消費税法演習Ⅰ	演習	選必	60	2	○
	170	消費税法演習Ⅱ	演習	選必	90	3	○
	171	法人税法演習Ⅰ	演習	選必	60	2	○
	172	法人税法演習Ⅱ	演習	選必	90	3	○
	173	相続税法演習Ⅰ	演習	選必	60	2	
	174	相続税法演習Ⅱ	演習	選必	90	3	
	175	社会保険労務士Ⅰ	講義	選必	60	2	
	176	社会保険労務士Ⅱ	講義	選必	60	2	
	177	社会保険労務士Ⅲ	講義	選必	60	2	
	178	社会保険労務士Ⅳ	講義	選必	60	2	
	179	社会保険労務士Ⅴ	講義	選必	60	2	
	180	社会保険労務士Ⅵ	講義	選必	60	2	
	181	ＦＰ技能士３級	講義	選択	60	2	
	182	ＦＰ技能士３級演習	演習	選択	15	1	
	183	コンピュータ会計	演習	選択	30	2	
	184	ファイナンシャル・プランニング演習Ⅰ	演習	選必	30	1	
	185	ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰ	演習	選必	30	1	
	186	マネジメント	講義	選必	60	3	
	187	マネジメント演習	演習	選必	90	3	
	188	計算実務演習	演習	選必	60	2	
	189	建設業経理士	講義	選必	60	3	
	190	建設業経理士演習	演習	選必	90	3	
	191	商業簿記演習	演習	選必	60	3	

	192	工業簿記演習	演習	選必	60	3	
	193	簿記演習	演習	選択	30	1	
	194	ファイナンシャル・プランニング演習Ⅱ	演習	選択	30	1	
	195	販売士1級応用	講義	選必	30	1	○
	196	社会保険労務士演習Ⅰ	演習	選必	90	3	
2学年合計授業時間数・取得単位数					810	31	

（備考）

選必は選択必修科目であり、810時間以上を選択し履修規程に従い履修しなければならない。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	社会人基礎Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	鈴木　秀俊、菊地　裕俊、工藤　英一、 千葉　菜愛、宍戸　雄翔	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	ビジネスの場で即戦力となる一般教養及び計算処理能力を身につけることを目的とし、日本ビジネス技能検定協会主催漢字能力検定試験および日本電卓技能検定協会主催各種段位級取得を到達目標とする。 また、様々な視点から自己分析を行い自分に向いている業種、職業等の分析・確認を行う。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【一般教養】漢字（訓読み送り仮名編）① 【計算処理能力】電卓基礎知識（各部の名称や機能）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第2回	【一般教養】漢字（訓読み送り仮名編）② 【計算処理能力】電卓（加減算の基本及び操作方法）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第3回	【一般教養】漢字（訓読み送り仮名編）③ 【計算処理能力】電卓（見取算の基本及び操作方法）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第4回	【一般教養】漢字（熟語編）① 【計算処理能力】電卓（乗算の基本及び操作方法）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第5回	【一般教養】漢字（熟語編）② 【計算処理能力】電卓（除算の基本及び操作方法）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第6回	【一般教養】漢字（熟語編）③ 【計算処理能力】電卓（伝票算の基本及び操作方法）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第7回	【一般教養】漢字（熟語編）④ 【計算処理能力】電卓（見取算構成比率の考え方及び求め方）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第8回	【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）① 【計算処理能力】電卓（乗算構成比率の考え方及び求め方）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第9回	【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）② 【計算処理能力】電卓（除算構成比率の考え方及び求め方）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第10回	【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）③ 【計算処理能力】電卓（伝票算構成比率の考え方及び求め方）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第11回	【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）④ 【計算処理能力】電卓（電卓速度向上レクチャー）①	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第12回	【一般教養】漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）① 【計算処理能力】電卓（電卓速度向上レクチャー）②	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第13回	【一般教養】漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）② 【計算処理能力】電卓（電卓速度向上レクチャー）③	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第14回	【一般教養】漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）③ 【計算処理能力】電卓（キータッチ正確性向上レクチャー）①	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第15回	【一般教養】漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）④ 【計算処理能力】電卓（キータッチ正確性向上レクチャー）②	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第16回	【一般教養】漢字能力検定試験項目別問題（訓読み送り仮名編） 【計算処理能力】電卓技能検定試験対策問題①	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第17回	【一般教養】漢字能力検定試験項目別問題（熟語編） 【計算処理能力】電卓技能検定試験対策問題②	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第18回	【一般教養】漢字能力検定試験項目別問題（熟語編） 【計算処理能力】電卓技能検定試験対策問題③	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第19回	【一般教養】漢字能力検定試験項目別問題 （同音異義・異字同訓・反対語・類義語編） 【計算処理能力】電卓技能検定試験対策問題④	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第20回	【一般教養】漢字能力検定試験項目別問題 （誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方編） 【計算処理能力】電卓技能検定試験対策問題⑤	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第21回	自己分析①（高校時代の自分を振り返る）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第22回	自己分析②（周りから見た自分の印象を知る）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第23回	自己分析③（自分の長所・短所を考える）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第24回	自己分析④（学生時代打ち込んだこと　～学業面～）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第25回	自己分析⑤（学生時代打ち込んだこと　～学業面以外～）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第26回	【一般教養】漢字能力検定試験　直前模擬試験第1回	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第27回	【一般教養】漢字能力検定試験　直前模擬試験第2回	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第28回	【一般教養】漢字能力検定試験　直前模擬試験第3回	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第29回	【一般教養】漢字能力検定試験　直前模擬試験第4回	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第30回	【一般教養】漢字能力検定試験　直前模擬試験第5回	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
準備学習等	予習と復習については適宜講義中に指示する。	

教科書 参考書等	漢字能力検定試験対策問題集2級・3級（学校法人　大原学園） 漢字能力検定試験対策直前模擬試験　第1回～第5回（学校法人　大原学園） 電卓技能検定試験　段位、1・2、3・4級問題（大原出版） ※受験級に合わせて各自購入 電卓技能検定試験　段位、1・2、3・4級伝票算問題（大原出版） ※受験級に合わせて各自購入
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 社会人基礎Ⅰは、上記学科の必修科目であるため、各学科各学年合同授業となる。 また、受講生を複数の教室に分けて講義を行うため、科目教員を多く配置している。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	社会人基礎Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	鈴木　秀俊、菊地　裕俊、工藤　英一、 千葉　菜愛、宍戸　雄翔	授業回数	30回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	一般社会常識及び仕事に必要な知識やビジネスマナーを学び、人間関係を良好に保つために必要なコミュニケーション能力を身につけることを目的とする。また、社会人基礎Ⅰに引き続き、ビジネスの場で即戦力となる一般教養及び集計能力を高めるため、全国経理教育協会主催社会人常識マナー検定試験、日本ビジネス技能検定協会主催漢字能力検定試験及び日本電卓技能検定協会主催各種段位級取得を到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【社会人常識マナー】社会と組織 【一般教養】漢字（訓読み送り仮名編）①	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第2回	【一般教養】漢字（訓読み送り仮名編）② 【集計処理能力】電卓技能検定試験対策問題演習①	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第3回	【社会人常識マナー】仕事と成果 【一般教養】漢字（訓読み送り仮名編）③	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第4回	【一般教養】漢字（熟語編）① 【集計処理能力】電卓技能検定試験対策問題演習②	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第5回	【社会人常識マナー】一般知識 【一般教養】漢字（熟語編）①	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第6回	【一般教養】漢字（熟語編）② 【集計処理能力】電卓技能検定試験　対策問題演習③	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第7回	【社会人常識マナー】ビジネス計算 【一般教養】漢字（熟語編）③	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第8回	【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）① 【集計処理能力】電卓技能検定試験　対策問題演習④	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第9回	【社会人常識マナー】ビジネスコミュニケーション 【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）②	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第10回	【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）③ 【集計処理能力】電卓技能検定試験　対策問題演習⑤	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第11回	【社会人常識マナー】社会人にふさわしい言葉遣い 【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）④	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第12回	【一般教養】漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）① 【集計処理能力】電卓技能検定試験　対策問題演習⑥	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第13回	【社会人常識マナー】ビジネス文書の書き方と留意点 【一般教養】漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）②	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第14回	【一般教養】漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）③ 【集計処理能力】電卓技能検定試験　対策問題演習⑦	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第15回	【社会人常識マナー】職場のマナー、来客応対 【一般教養】漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）④	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第16回	【一般教養】漢字能力検定試験　項目別問題①（訓読み送り仮名編） 【集計処理能力】電卓技能検定試験　対策問題演習⑧	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第17回	【社会人常識マナー】電話応対、交際業務 【一般教養】漢字能力検定試験　項目別問題②（熟語編）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第18回	【一般教養】漢字能力検定試験　項目別問題③（熟語編） 【集計処理能力】電卓技能検定試験　対策問題演習⑨	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第19回	【社会人常識マナー】文書類の受け取りと発送 【一般教養】漢字能力検定試験　項目別問題④ （同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第20回	【一般教養】漢字能力検定試験　項目別問題⑤ （誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方編） 【集計処理能力】電卓技能検定試験　対策問題演習⑩	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第21回	【社会人常識マナー】過去問題　演習・解説①	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第22回	【社会人常識マナー】過去問題　演習・解説②	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第23回	【社会人常識マナー】過去問題　演習・解説③	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第24回	【社会人常識マナー】過去問題　演習・解説④	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第25回	【社会人常識マナー】過去問題　演習・解説⑤	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第26回	【一般教養】漢字能力検定試験　直前模擬試験　第1回	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第27回	【一般教養】漢字能力検定試験　直前模擬試験　第2回	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第28回	【一般教養】漢字能力検定試験　直前模擬試験　第3回	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第29回	【一般教養】漢字能力検定試験　直前模擬試験　第4回	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第30回	【一般教養】漢字能力検定試験　直前模擬試験　第5回	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
準備学習等	予習と復習については適宜講義中に指示する。	

教科書参考書等	社会人常識マナー検定テキスト（株式会社エデュプレス） 社会人常識マナー検定試験　過去問題集（公益社団法人　全国経理教育協会） 漢字能力検定試験対策問題集2級（学校法人　大原学園） 漢字能力検定試験対策直前模擬試験　第1回～第5回（学校法人　大原学園） 電卓技能検定試験　段位、1・2、3・4級問題（大原出版） 　※受験級に応じて各自購入 電卓技能検定試験　段位、1・2、3・4級伝票算問題（大原出版） 　※受験級に応じて各自購入
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 社会人基礎Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科各学科合同授業となる。 また、受講生を複数の教室に分けて講義を行うため、科目教員を多く配置している。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	社会人基礎III	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	鈴木　秀俊、菊地　裕俊、工藤　英一、 千葉　菜愛、宍戸　雄翔	授業回数	30回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「社会人基礎Ｉ」及び「社会人基礎II」で学んだ内容を基礎として、自己の履歴書を作成するとともに、業界研究、業種研究等を行い自分にマッチングした仕事を見つけ、社会人として必要なビジネススキル及び対人能力（協調性、リーダーシップ、傾聴力）を養うことを授業目的とする。また、自分の意見や考えを臆することなく述べることができる様にすることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	職業理解、会社選びのポイント	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第2回	企業へのアクセス 応募書類の準備	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第3回	就職活動におけるスケジュールの管理とトラブル対応 （就職体験報告会）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第4回	一般常識講義（時事①、SPI適性試験①）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第5回	一般常識講義（SPI・適性検査対策①） 対人能力向上（グループディスカッション①）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第6回	一般常識講義（時事②） 社会人マナー（入退室等の作法①）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第7回	一般常識講義（SPI・適性検査対策②） 対人能力向上（集団面接①）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第8回	一般常識講義（時事③） 対人能力向上（集団面接②）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第9回	一般常識講義（SPI・適正検査対策③、作文作成法）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第10回	一般常識講義（時事④、SPI適性試験②）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第11回	一般常識講義（SPI・適性検査対策④） 対人能力向上（グループディスカッション②）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第12回	一般常識講義（時事⑤） 社会人マナー（入退室等の作法②）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第13回	一般常識講義（SPI・適性検査対策⑤） 対人能力向上（個人面接①）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第14回	一般常識講義（時事⑥） 対人能力向上（個人面接②）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第15回	効果測定（入退室等の作法）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第16回	企業研究①（企業情報、事業内容）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第17回	企業研究②（採用情報）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第18回	企業研究③（人事・教育制度、福利厚生）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第19回	企業研究④（同業界での他社との比較）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第20回	企業研究⑤（企業とのマッチング具合を分析する）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第21回	業界研究①（業界の全体像を捉える）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第22回	業界研究②（業界ごとの特徴を理解する）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第23回	業界研究③（業界の成長性・安定性を知る）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第24回	職種研究①	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第25回	職種研究②	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第26回	自己分析①（適性検査）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第27回	自己分析②（趣味、余暇活動を振り返る）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第28回	自己分析③（ボランティア活動、部活動を振り返る）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第29回	自己分析④（自己PRの作成）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第30回	履歴書の作成	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
準備学習等	予習と復習については適宜講義中に指示する。	

教科書 参考書等	就職ガイドブック（学校法人　大原学園） 就職ノートブック（学校法人　大原学園） 就職模擬試験（実務教育出版）※適性検査で使用 SPI対策テスト　Type-B（株式会社　教育企画センター）※適性検査で使用 ラインズSPI（ラインズ株式会社）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 社会人基礎Ⅲは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。 また、受講生を複数の教室に分けて講義をするため、科目教員を多く配置している。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	複式簿記の原理	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	工藤　英一	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 50 % ミニテスト : 30 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	小規模の株式会社を前提とした簿記を学習します。簿記の基本となる日々の取引の仕訳ができるようになること、さらには決算処理を行い帳簿記入ができるようになることを目的としています。 また、最終的には日本商工会議所主催簿記検定試験3級に合格できる能力を身につけることを目標としています。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	簿記の目的 簿記一巡の手続き 株式会社の資本	工藤　英一
第2回	商品売買Ⅰ（3分法、売掛金、買掛金、返品、分記法の記帳方法）	工藤　英一
第3回	商品売買Ⅱ（仕入諸掛、販売諸掛、前払金、前受金、受取商品券）	工藤　英一
第4回	繰越商品および仕入の決算整理 精算表の作成	工藤　英一

第5回	現金および預金 当座借越の振替え 手形の記帳方法	工藤　英一
第6回	第1回確認テスト実施および解説 受取手形および売掛金の決算整理	工藤　英一
第7回	有形固定資産 有形固定資産の決算整理 現金過不足及び現金の決算整理	工藤　英一
第8回	貯蔵品の決算整理 その他の債権および債務の記帳方法	工藤　英一
第9回	税金、消費税、法人税等の決算整理 訂正仕訳	工藤　英一
第10回	損益計算書および貸借対照表の作成	工藤　英一
第11回	第2回確認テスト実施および解説	工藤　英一
第12回	主要簿と補助簿 現金出納帳および当座預金出納帳 小口現金出納帳	工藤　英一
第13回	仕入帳、売上帳 売掛金元帳、買掛金元帳 商品有高帳	工藤　英一
第14回	手形記入帳 固定資産管理台帳	工藤　英一
第15回	試算表の作成 伝票会計	工藤　英一

準備学習等	日々の復習を欠かさずに行うことが重要です。わからないところはそのままにせず質問するようにしてください。また、授業の始めに前回の授業範囲の確認のためにミニテストを行いますので、復習を徹底するようにしてください。予習は不要です。

教科書 参考書等	ALFA　3級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　3級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　3級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記3級商業簿記（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。複式簿記の原理は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	株式会社会計	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	工藤　英一	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：50％ ミニテスト：30％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「複式簿記の原理」で履修した内容を基に、数多くの問題を科目教員と共に解答し、解答のテクニックを習得します。そして本試験レベルの問題に対応できる力を養うことを目的としています。さらに、項目ごとに一通りの処理を確認するとともに、各自の苦手項目を明確にし重点的に確認を行います。日本商工会議所主催簿記検定試験3級に合格できる能力を身につけることを到達目標としています。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：商品売買 試算表：合計残高試算表 財務諸表：精算表	工藤　英一
第2回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：固定資産 試算表：合計試算表 財務諸表：精算表	工藤　英一

第3回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：貸倒れ、貸付金、借入金 試算表：残高試算表 財務諸表：損益計算書および貸借対照表	工藤　英一
第4回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：給料、現金過不足 試算表：合計残高試算表 財務諸表：損益計算書および貸借対照表	工藤　英一
第5回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：仮受金、仮払金、その他 試算表：合計試算表 財務諸表：精算表	工藤　英一
第6回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：訂正仕訳 試算表：残高試算表 財務諸表：損益計算書および貸借対照表	工藤　英一
第7回	直前対策講義実施、解説 仕訳：商品売買 個別問題：伝票 試験対策問題演習・解説①	工藤　英一
第8回	直前対策講義実施、解説 仕訳：債権・債務 個別問題：商品有高帳 模擬試験問題演習・解説②	工藤　英一
第9回	直前対策講義実施、解説 仕訳：有形固定資産 個別問題：補助問題 模擬試験問題演習・解説③	工藤　英一
第10回	直前対策講義実施、解説 仕訳：株式会社の資本、その他の取引① 個別問題：勘定記入 模擬試験問題演習・解説④	工藤　英一
第11回	直前対策講義実施、解説 仕訳：その他の取引②③ 個別問題：固定資産台帳 模擬試験問題演習・解説⑤	工藤　英一

第12回	模擬試験問題演習・解説⑥	工藤　英一
第13回	模擬試験問題演習・解説⑦	工藤　英一
第14回	模擬試験問題演習・解説⑧	工藤　英一
第15回	模擬試験問題演習・解説⑨	工藤　英一

準備学習等	毎回の問題のやり直しを徹底してください。また、授業だけでなく各自で勉強の時間を確保し、苦手項目の復習に力を入れてください。理解が不十分な場合には科目教員に質問し解決したうえで次回の授業に臨むようにし、自宅学習の方法等で迷った場合も科目教員に相談するようにしてください。なお、予習は不要です。
教科書 参考書等	ALFA　3級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） 日商簿記３級　過去問分析より徹底予想！試験によく出る問題集　（大原出版） ESSENTIAL　項目別答練問題集（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　項目別答練解答集（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の授業内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。株式会社会計は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	株式会社会計演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一	授業回数	5回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「複式簿記の原理」及び「株式会社会計」で履修した内容を基に、本試験を意識して問題演習を行います。さらに本試験前の時間の使い方や時間配分を意識することで、より本試験に対応できる能力を身につけることを目的としています。また、日本商工会議所主催簿記検定試験3級に合格できるレベルを目指します。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 問題演習・解説　直前模擬試験　第１回	工藤　英一
第2回	問題演習・解説直前模擬試験　第２回	工藤　英一
第3回	問題演習・解説直前模擬試験　第３回	工藤　英一
第4回	問題演習・解説オリジナル模擬試験	工藤　英一
第5回	問題演習・解説　最終確認問題 総論	工藤　英一

準備学習等	本試験直前の問題演習です。やり直しを完璧に行い、分からないところがある場合には科目教員に質問し、解決したうえで次の問題演習に臨むようにしてください。また、本試験と同じ時間帯で行いますので、始まる前の時間の使い方や時間配分、見直しの仕方なども意識して臨むようにしましょう。
教科書 参考書等	ALFA　3級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　3級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　3級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記3級商業簿記（大原出版） 日商３級　過去問分析より徹底予想！　試験によく出る問題集（大原出版） ESSENTIAL　項目別答練問題集（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　項目別答練解答集（学校法人　大原学園） 2025年度　日商簿記検定対策　直前模擬試験　第1回～第4回（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 株式会社会計演習Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	中小企業会計Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
		授業回数	18回
科目教員	菊地　裕俊、宍戸　雄翔、 中島　京哉、千葉　菜愛	成績評価方法	筆記試験　：　50　％
			ミニテスト　：　30　％
			授業態度　：　20　％
科目教員のうち実務経験教員			：　％
			：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	中小企業を前提とした商業簿記及び工業簿記を学習する。商業簿記については、日々の会計処理から決算処理を行い、損益計算書及び貸借対照表の財務諸表を作成する知識技術を習得する。工業簿記については、各業態における原価計算の手続きを習得する。財務諸表を作成する知識技術を身につけ、短期利益計画及び損益分岐分析ができることを目的とする。最終的には、日本商工会議所主催簿記検定試験2級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	工業簿記総論 原価計算の手続き(個別原価計算・総合原価計算)	菊地　裕俊 中島　京哉
第2回	簿記一巡の手続き、財務諸表、現金預金、債権・債務	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第3回	材料費会計、労務費会計、経費会計、製造間接費会計	菊地　裕俊 中島　京哉
第4回	棚卸資産、有価証券	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第5回	部門別計算、単純個別原価計算	菊地　裕俊 中島　京哉

第6回	有形固定資産、リース会計	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第7回	無形固定資産、 ソフトウェア、引当金	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第8回	単純総合原価計算、工程別総合原価計算 組別・等級別総合原価計算	菊地　裕俊 中島　京哉
第9回	収益及び費用、研究開発費、為替換算会計	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第10回	株式会社の純資産、株式の発行、剰余金の配当	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第11回	標準原価計算、CVP分析	菊地　裕俊 中島　京哉
第12回	企業結合、消費税、法人税等、税効果会計	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第13回	直接原価計算、全部原価計算、固定費調整	菊地　裕俊 中島　京哉
第14回	損益計算書、貸借対照表、精算表、補助簿	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第15回	本支店会計	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第16回	工場会計、公企業の財務諸表	菊地　裕俊 中島　京哉
第17回	連結会計 連結会社相互間取引の相殺消去等、未実現損益の消去	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第18回	製造業を営む会社の決算処理	宍戸　雄翔 千葉　菜愛

準備学習等	簿記は日々の復習の積み重ねが重要。難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。

教科書 参考書等	【商業簿記】 ALFA　2級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級商業簿記（大原出版） 【工業簿記】 ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級工業簿記（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 中小企業会計Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	中小企業会計Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
		授業回数	18回
科目教員	菊地　裕俊、宍戸　雄翔、 中島　京哉、千葉　菜愛	成績評価方法	筆記試験　：　50　％
			ミニテスト　：　30　％
			授業態度　：　20　％
科目教員のうち実務経験教員			：　％
			：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「中小企業会計Ⅰ」で履修した内容を前提とし、数多くの問題を科目教員と共に解答し、解答のテクニックを習得する。そして、中小企業の実務における各取引の会計処理ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験2級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	答練期問題集項目別解説 （材料費会計、労務費会計、経費会計、製造間接費会計）	菊地　裕俊 中島　京哉
第2回	商業簿記問題、解説 演習答練　第1回、第2回 （仕訳、株主資本等変動計算書、有価証券、損益計算書）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第3回	答練期問題集項目別解説 (部門別計算)	菊地　裕俊 中島　京哉
第4回	商業簿記問題、解説 演習答練　第3回、第4回 （仕訳、商品売買、固定資産、損益計算書）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛

第5回	答練期問題集項目別解説 (個別原価計算、単純総合原価計算)	菊地　裕俊 中島　京哉
第6回	商業簿記問題、解説 演習答練　第5回、第6回 （仕訳、銀行勘定調整表、株主資本等変動計算書、貸借対照表）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第7回	商業簿記問題、解説 演習答練　第7回、第8回（仕訳、有価証券、固定資産、貸借対照表）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第8回	答練期問題集項目別解説 (工程別総合原価計算、組別総合原価計算、等級別総合原価計算)	菊地　裕俊 中島　京哉
第9回	商業簿記問題、解説 演習答練　第9回（仕訳、商品売買、損益計算書・貸借対照表）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第10回	商業簿記問題、解説 演習答練　第10回（仕訳、リース会計、精算表）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第11回	答練期問題集項目別解説 (標準原価計算、CVP分析)	菊地　裕俊 中島　京哉
第12回	商業簿記問題、解説 演習答練　第11回、第12回（仕訳、伝票会計、残高試算表、精算表）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第13回	答練期問題集項目別解説 (直接原価計算、全部原価計算、固定費調整)	菊地　裕俊 中島　京哉
第14回	商業簿記問題、解説 演習答練　第13回（仕訳、外貨建て、残高試算表）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第15回	商業簿記問題、解説 演習答練　第14回（仕訳、語句記入、サービス業の損益計算書）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第16回	答練期問題集項目別解説 (工場会計、公企業の財務諸表)	菊地　裕俊 中島　京哉
第17回	商業簿記問題、解説 演習答練　第15回（仕訳、株主資本等変動計算書、連結精算表）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛

第18回	商業簿記問題、解説 演習答練　第16回（仕訳、本支店会計、連結精算表）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛

準備学習等	簿記は日々の復習の積み重ねが重要。難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。
教科書 参考書等	【商業簿記】 ALFA　2級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級商業簿記（大原出版） ESSENTIAL　簿記2級受験用　答練期問題集　演習問題編　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　簿記2級受験用　答練期解答集　演習問題編　（学校法人　大原学園） 日商簿記２級　過去問分析より徹底予想！　試験に出る問題集　（大原出版） 簿記能力検定試験　過去問題集　商業簿記　（一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 2級商業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　問題　（学校法人　大原学園） 2級商業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　解答・解説　（学校法人　大原学園） 【工業簿記】 ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級工業簿記（大原出版） ESSENTIAL　簿記2級受験用　答練期問題集　項目別編　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　簿記2級受験用　答練期解答集　項目別編　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　日商簿記過去問　問題編　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　日商簿記過去問　解答編　（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験　過去問題集　工業簿記　（一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） ２級工業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　問題　（学校法人　大原学園） ２級工業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　解答・解説（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 中小企業会計Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

009.中小企業会計演習Ⅰ

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	中小企業会計演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	2単位
科目教員	菊地　裕俊、宍戸　雄翔、 中島　京哉、千葉　菜愛	授業回数	12回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「中小企業会計Ⅰ」及び「中小企業会計Ⅱ」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、日本商工会議所主催簿記検定試験2級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	直前模擬試験　第１回 演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛
第2回	直前模擬試験　第２回 演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛

第3回	弱点克服問題演習①	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛
第4回	直前模擬試験　第３回 演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛
第5回	直前模擬試験　第４回 演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛
第6回	オリジナル模擬試験　第１回 演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛
第7回	直前模擬試験　第５回 演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛
第8回	直前模擬試験　第６回 演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛
第9回	弱点克服問題演習②	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛
第10回	オリジナル模擬試験　第２回 演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛
第11回	弱点克服問題演習③	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛

第12回	最終確認問題 演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛

準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違えた問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。
教科書 参考書等	【商業簿記】 ALFA　2級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） 日商簿記２級　過去問分析より徹底予想！　試験に出る問題集　（大原出版） 簿記能力検定試験　過去問題集　商業簿記　（一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 2級商業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　問題(学校法人　大原学園) 2級商業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　解答・解説(学校法人　大原学園) 【工業簿記】 ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　日商簿記過去問題（問題編）（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　日商簿記過去問題（解答編）（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験　過去問題集　工業簿記　（一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 2級工業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　問題(学校法人　大原学園) 2級工業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　解答・解説(学校法人　大原学園) 【共通】 2025年度　日商簿記検定対策　直前模擬試験　第1回～第6回（学校法人　大原学園） 2025年度試験あてるTAC予想模試+解き方テキスト　日商簿記２級（TAC出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。中小企業会計演習Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	公開企業会計Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	菊地　裕俊、宍戸　雄翔	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 50 % ミニテスト : 30 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	大企業及び上場企業を前提とし、日々の取引から財務諸表作成までの簿記一巡の会計処理ができる商業簿記及び会計学の基礎知識を習得する。また、製造業を前提とした企業の会計処理を行うための工業簿記及び原価計算の基礎知識を習得することを目的とする。その上で、本講義終了後の科目「公開企業会計Ⅱ」に積極的に取り組めるようにする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	有価証券、デリバティブ取引、ヘッジ会計、有形固定資産	宍戸　雄翔
第2回	工業簿記総論、費目別計算	菊地　裕俊
第3回	割引現在価値、リース取引	宍戸　雄翔
第4回	部門別原価計算、個別原価計算	菊地　裕俊

第5回	研究開発費、ソフトウェア、減損、繰延資産	宍戸　雄翔
第6回	総合原価計算総論、単純総合原価計算、工程別総合原価計算	菊地　裕俊
第7回	社債、引当金	宍戸　雄翔
第8回	退職給付、資産除去債務	宍戸　雄翔
第9回	組別総合原価計算、等級別総合原価計算、連産品、副産物	菊地　裕俊
第10回	純資産、新株予約権、ストックオプション	宍戸　雄翔
第11回	標準原価計算、直接原価計算、全部原価計算	菊地　裕俊
第12回	税効果会計	宍戸　雄翔
第13回	CVP分析、原価分解、事業部制	菊地　裕俊
第14回	外貨建取引	宍戸　雄翔
第15回	簿記1級本科統一模擬試験　第1回　実施・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔
準備学習等	毎回の授業の始めに確認テストを実施し、前回の授業範囲が理解できているか確認を行う。 確認テストを解答できるよう、毎日の授業の復習を怠らないようにすること。	

教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記1級　商簿・会計（大原出版） 【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記1級　工簿・原計（大原出版） 【共通】 簿記1級本科統一模擬試験　第1回（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 公開企業会計Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	公開企業会計Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	菊地　裕俊、宍戸　雄翔	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 50 % ミニテスト : 30 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「公開企業会計Ⅰ」を前提に、会計専門職(税理士・公認会計士等)を目指す者として高度な商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算を習得し、会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	商品売買等	宍戸　雄翔
第2回	予算管理、予算編成、予算統制	菊地　裕俊
第3回	工事契約、本支店会計	宍戸　雄翔
第4回	意思決定会計総論、業務的意思決定会計	菊地　裕俊
第5回	連結財務諸表総論、資本連結、成果連結	宍戸　雄翔
第6回	構造的意思決定会計	菊地　裕俊

第7回	持分法、連結税効果会計、包括利益	宍戸　雄翔
第8回	簿記1級本科統一模擬試験　第2回　実施・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔
第9回	在外子会社、企業結合	宍戸　雄翔
第10回	戦略的原価計算	菊地　裕俊
第11回	事業分離	宍戸　雄翔
第12回	過去試験問題演習解説①（日商簿記過去試験問題第161回、第162回）	菊地　裕俊
第13回	キャッシュ・フロー計算書	宍戸　雄翔
第14回	連結キャッシュ・フロー計算書、会計上の変更及び誤謬の訂正	宍戸　雄翔
第15回	簿記1級本科統一模擬試験　第3回　実施・解説	菊地　裕俊

準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点等は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。

教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園版） ステップアップ問題集　日商簿記1級　商簿・会計（大原出版） 【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　基礎答練　問題編（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　基礎答練　解答編（学校法人　大原学園） 簿記1級受験用　日商簿記過去問　問題編（学校法人　大原学園） 簿記1級受験用　日商簿記過去問　解答編（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記1級　工簿・原計（大原出版） 1級工業簿記・原価計算　基礎期　模擬試験①～⑥　問題　（学校法人　大原学園） 1級工業簿記・原価計算　基礎期　模擬試験①～⑥　解答・解説　（学校法人　大原学園） 【共通】 簿記1級本科統一模擬試験　第2回（学校法人　大原学園） 簿記1級本科統一模擬試験　第3回（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 公開企業会計Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

012.公開企業会計演習Ⅰ

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	公開企業会計演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	2単位
科目教員	菊地　裕俊、宍戸　雄翔	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「公開企業会計Ⅰ」及び「公開企業会計Ⅱ」を前提とし、ここまでに習得した知識を活用し、商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算の問題演習を行う。難易度の高い問題を解くことで、知識の定着を図る。さらに、会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	日商簿記検定第170回対策　直前模擬試験　第1回　演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔
第2回	日商簿記検定第170回対策　直前模擬試験　第2回　演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔
第3回	日商簿記検定第170回対策　直前模擬試験　第3回　演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔
第4回	弱点克服問題演習①	菊地　裕俊 宍戸　雄翔
第5回	日商簿記検定第170回対策　直前模擬試験　第4回　演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔

第6回	日商簿記検定第170回対策　直前模擬試験　第5回　演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔
第7回	日商簿記検定第170回対策　直前模擬試験　第6回　演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔
第8回	弱点克服問題演習②	菊地　裕俊 宍戸　雄翔
第9回	日商簿記検定第170回対策　全国統一公開模擬試験	菊地　裕俊 宍戸　雄翔
第10回	最終確認問題演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔

準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。また、基礎論点の復習を中心的に行うことによって応用力が身につくものと認識すること。なお、予習は不要。
教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） 1級商業簿記・会計学　基礎期　模擬試験①～⑧　問題用紙（学校法人　大原学園） 1級商業簿記・会計学　基礎期　模擬試験①～⑧　解答・解説（学校法人　大原学園） 1級商業簿記・会計学　基礎期　確認テスト①～⑧　問題用紙（学校法人　大原学園） 1級商業簿記・会計学　基礎期　確認テスト①～⑧　解答・解説（学校法人　大原学園） 【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園版） 1級工業簿記・原価計算　基礎期　模擬試験①～⑥　問題用紙（学校法人　大原学園） 1級工業簿記・原価計算　基礎期　模擬試験①～⑥　解答・解説（学校法人　大原学園） 【共通】 日商簿記検定第170回対策　直前模擬試験　第1回～第6回（学校法人　大原学園） 日商簿記検定第170回対策　全国統一公開模擬試験（学校法人　大原学園） 過去問題集　日商簿記1級（大原出版） 第170回をあてるTAC直前予想模擬　日商簿記１級
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 公開企業会計演習Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	商業簿記上級	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	宍戸　雄翔	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 ： 50 % ミニテスト ： 30 % 授業態度 ： 20 % ： % ： %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「公開企業会計Ⅱ」を前提に、会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な商業簿記・財務会計を習得し、会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、財務諸表作成ができることを目的とする。また、最終的には全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	財務諸表分析、一般原則	宍戸　雄翔
第2回	損益計算書原則	宍戸　雄翔
第3回	貸借対照表原則	宍戸　雄翔
第4回	資産会計、負債会計	宍戸　雄翔
第5回	純資産会計	宍戸　雄翔

第6回	外貨建取引会計	宍戸　雄翔
第7回	税効果会計	宍戸　雄翔
第8回	企業結合会計	宍戸　雄翔
第9回	連結会計	宍戸　雄翔
第10回	キャッシュ・フロー会計	宍戸　雄翔
第11回	会計上の変更と誤謬の訂正	宍戸　雄翔
第12回	概念フレームワーク	宍戸　雄翔
第13回	会社再編の会計①	宍戸　雄翔
第14回	会社再編の会計②	宍戸　雄翔
第15回	四半期連結財務諸表	宍戸　雄翔

準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。
教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） 全経簿記上級　商業簿記・財務会計テキスト（中央経済社） 全経簿記能力検定試験標準問題集　上級商業簿記・財務会計（中央経済社） 簿記検定全経上級　直前対策講義　商業簿記・財務会計（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 商業簿記上級は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

014.工業簿記上級

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	工業簿記上級	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	菊地　裕俊	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 50 % ミニテスト : 30 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「公開企業会計Ⅱ」を前提に、会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な工業簿記・原価計算を習得し、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、最終的には全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	費目別計算、個別原価計算、部門別原価計算、責任会計	菊地　裕俊
第2回	部門別原価計算、個別原価計算	菊地　裕俊
第3回	総合原価計算	菊地　裕俊
第4回	標準原価計算	菊地　裕俊
第5回	直接原価計算、全部原価計算、CVP分析、原価分解	菊地　裕俊
第6回	事業部制	菊地　裕俊

第7回	意思決定の原価概念、業務的意思決定	菊地　裕俊
第8回	構造的意思決定	菊地　裕俊
第9回	戦略的原価計算	菊地　裕俊
第10回	工場独立会計	菊地　裕俊
第11回	直前対策講義　過去問題解説(第195回、第197回)	菊地　裕俊
第12回	直前対策講義　過去問題解説(第199回、第201回)	菊地　裕俊
第13回	直前対策講義　過去問題解説(第203回、第205回)	菊地　裕俊
第14回	直前対策講義　過去問題解説(第207回、第209回)	菊地　裕俊
第15回	直前対策講義　過去問題解説(第211回、第213回)	菊地　裕俊

準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。
教科書 参考書等	【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） 全経簿記上級　原価計算・管理会計テキスト（中央経済社） 全経簿記能力検定試験標準問題集　上級原価計算・管理会計（中央経済社） 簿記検定全経上級　直前対策講義　原価計算・管理会計（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 原価計算上級は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

015.日商簿記１級Ⅰ

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	日商簿記１級Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	菊地　裕俊、千葉　菜愛、宍戸　雄翔	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：50％ ミニテスト：30％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	大企業及び上場企業を前提とし、日々の取引から財務諸表作成までの簿記一巡の会計処理ができる商業簿記及び会計学の基礎知識を習得する。また、製造業を前提とした企業の会計処理を行うための工業簿記及び原価計算の基礎知識を習得することを目的とする。その上で、本講義終了後の科目「日商簿記１級Ⅱ」に積極的に取り組めるようにする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	有価証券、デリバティブ取引、ヘッジ会計	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第2回	工業簿記総論、費目別計算、個別原価計算	菊地　裕俊
第3回	有形固定資産、割引現在価値	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第4回	部門別原価計算、部門個別原価計算	菊地　裕俊

第5回	リース取引	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第6回	総合原価計算総論、単純総合原価計算	菊地　裕俊
第7回	研究開発費、ソフトウェア、減損、繰延資産	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第8回	社債、引当金	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第9回	工程別総合原価計算、組別総合原価計算、等級別総合原価計算 副産物、連産品	菊地　裕俊
第10回	退職給付、資産除去債務	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第11回	標準原価計算	菊地　裕俊
第12回	純資産、新株予約権、ストックオプション	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第13回	CVP分析、原価分解	菊地　裕俊
第14回	税効果会計	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第15回	本科統一模擬試験　第1回　実施・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
準備学習等	毎回の授業の始めに確認テストを実施し、前回の授業範囲が理解できているか確認を行う。 確認テストを解答できるよう、毎日の授業の復習を怠らないようにすること。	

教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記1級　商業簿記・会計学（大原出版） 【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記1級　工業簿記・原価計算（大原出版） 【共通】 本科統一模擬試験　第1回（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記１級Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

016.日商簿記１級Ⅱ

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	日商簿記１級Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	菊地　裕俊、千葉　菜愛、宍戸　雄翔	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 50 % ミニテスト : 30 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記１級Ⅰ」を前提に、商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算の知識を深め、基礎的な内容の問題を自力で解けるようにする。また、難解な問題に対し、どのように問題を解いていけばいいかなどの思考力を身につける。その上で、本講義終了後の科目「日商簿記１級Ⅲ」に積極的に取り組めるようにする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	外貨建取引	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第2回	直接原価計算・全部原価計算	菊地　裕俊
第3回	商品売買等	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第4回	CVP分析・原価分解	菊地　裕俊

第5回	工事契約、本支店会計	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第6回	事業部制	菊地　裕俊
第7回	連結財務諸表総論、資本連結、成果連結	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第8回	持分法、連結税効果会計、包括利益	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第9回	意思決定会計総論・業務的意思決定	菊地　裕俊
第10回	在外子会社、企業結合	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第11回	意思決定会計総論・構造的意思決定	菊地　裕俊
第12回	事業分離	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第13回	戦略的原価計算	菊地　裕俊
第14回	キャッシュ・フロー計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、 会計上の変更及び誤謬の訂正	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第15回	本科統一模擬試験　第2回　実施・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

準備学習等	毎回の授業の始めに確認テストを実施し、前回の授業範囲が理解できているか確認を行う。 確認テストを解答できるよう、毎日の授業の復習を怠らないようにすること。

教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記1級　商簿・会計（大原出版） 【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記1級　工簿・原計（大原出版） 簿記能力検定試験過去試験問題集　1級　工業簿記・原価計算 （一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 【共通】 本科統一模擬試験　第2回（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記１級Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	日商簿記１級III	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
		授業回数	15回
科目教員	菊地　裕俊、千葉　菜愛、宍戸　雄翔	成績評価方法	筆記試験　：　50　％
			ミニテスト　：　30　％
			授業態度　：　20　％
科目教員のうち実務経験教員			：　％
			：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記１級II」、「商業簿記上級」、「原価計算上級」を前提に、会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算を習得し、会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができることを目的とする。 また、最終的には日本商工会議所主催簿記検定試験1級及び日本ビジネス技能検定協会主催簿記能力検定試験1級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【商業簿記・会計学】基礎期模擬試験①②実施・解説	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第2回	【工業簿記・原価計算】項目別（費目別）問題解説	菊地　裕俊
第3回	【商業簿記・会計学】基礎期模擬試験③④　実施・解説	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第4回	【工業簿記・原価計算】項目別（部門別）問題解説	菊地　裕俊

第5回	【商業簿記・会計学】基礎期模擬試験⑤⑥　実施・解説	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第6回	【工業簿記・原価計算】項目別（製品別）問題解説	菊地　裕俊
第7回	【商業簿記・会計学】基礎期模擬試験⑦⑧　実施・解説	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第8回	【商業簿記・会計学】確認テスト①②　実施・解説	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第9回	【工業簿記・原価計算】基礎期　模擬試験①②　実施・解説	菊地　裕俊
第10回	【商業簿記・会計学】確認テスト③④実施・解説	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第11回	【工業簿記・原価計算】基礎期　模擬試験③④　実施・解説	菊地　裕俊
第12回	【商業簿記・会計学】確認テスト⑤⑥実施・解説	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第13回	【工業簿記・原価計算】基礎期　模擬試験⑤⑥　実施・解説	菊地　裕俊
第14回	【商業簿記・会計学】確認テスト⑦⑧実施・解説	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第15回	本科統一模擬試験　第3回　実施・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点等は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。

教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記1級　商簿・会計（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験過去問題集1級　商業簿記・会計学 （一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 1級商業簿記・会計学　基礎期　模擬試験①～⑧　問題用紙（学校法人　大原学園） 1級商業簿記・会計学　基礎期　模擬試験①～⑧　解答・解説（学校法人　大原学園） 1級商業簿記・会計学　基礎期　確認テスト①～⑧　問題用紙（学校法人　大原学園） 1級商業簿記・会計学　基礎期　確認テスト①～⑧　解答・解説（学校法人　大原学園） 【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　基礎答練　問題編（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　基礎答練　解答編（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記1級　工簿・原計（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験過去試験問題集　1級　工業簿記・原価計算 （一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 1級工業簿記・原価計算　基礎期　模擬試験①～⑥　問題用紙（学校法人　大原学園） 1級工業簿記・原価計算　基礎期　模擬試験①～⑥　解答・解説（学校法人　大原学園） 【共通】 本科統一模擬試験　第3回（学校法人　大原学園） 2025年度　日商簿記１級　網羅型完全予想問題集（TAC出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記１級Ⅲは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

018.日商簿記１級演習Ⅰ

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	日商簿記１級演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	40時間
		単位数	1単位
科目教員	菊地　裕俊、千葉　菜愛、宍戸　雄翔	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記１級Ⅲ」を前提とし、ここまでに習得した知識を活用し、商業簿記・会計学では日本ビジネス技能検定協会主催簿記能力検定試験1級（以下、「日ビ簿記1級」という。）の問題演習を行う。工業簿記・原価計算では、日ビ簿記1級と同程度の問題演習を行う。数多くの問題を解くことにより、知識の定着を図ることを目的とする。 また、日ビ簿記1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	項目別(費目別計算、個別原価計算、部門別計算)解説	菊地　裕俊
第2回	第1回　日ビ簿記1級　過去試験対策　（一部抜粋）	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第3回	項目別(総合原価計算、標準原価計算)解説	菊地　裕俊
第4回	第2回　日ビ簿記1級　過去試験対策　（一部抜粋）	千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第5回	項目別(CVP分析・原価分解)解説	菊地　裕俊
第6回	第3回　日ビ簿記1級　過去試験対策　（一部抜粋）	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第7回	項目別(業務的意思決定、構造的意思決定)解説	菊地　裕俊
第8回	第4回　日ビ簿記1級　過去試験対策　（一部抜粋）	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第9回	項目別(事業部制・戦略的原価計算)解説	菊地　裕俊
第10回	第5回　日ビ簿記1級　過去試験対策　（一部抜粋）	千葉　菜愛 宍戸　雄翔

準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。また、基礎論点の復習を中心的に行うことによって応用力が身につくものと認識すること。予習は不要。
教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験過去問題集1級　商業簿記・会計学 （一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験過去問題集1級　工業簿記・原価計算 （一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記１級演習Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	日商簿記１級演習Ⅱ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	40時間
		単位数	1単位
科目教員	菊地　裕俊、千葉　菜愛、宍戸　雄翔	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記１級演習Ⅰ」を前提とし、ここまでに習得した知識を活用し、商業簿記・会計学では日本ビジネス技能検定協会主催簿記能力検定試験1級（以下、「日ビ簿記1級」という。）の問題演習を行う。工業簿記・原価計算では、日ビ簿記1級と同程度の問題演習を行う。数多くの問題を解くことにより、知識の定着を図ることを目的とする。また、日ビ簿記1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	日ビ簿記1級　過去試験問題　演習・解説　第１回	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第2回	日ビ簿記1級　過去試験問題　演習・解説　第２回	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第3回	日ビ簿記1級　過去試験問題　演習・解説　第３回	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第4回	日ビ簿記1級　過去試験問題　演習・解説　第４回	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第5回	日ビ簿記1級　過去試験問題　演習・解説　第５回	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第6回	日ビ簿記1級　過去試験問題　演習・解説　第６回	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第7回	日ビ簿記1級　過去試験問題　演習・解説　第７回	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第8回	日ビ簿記1級　過去試験問題　演習・解説　第８回	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第9回	日ビ簿記1級　過去試験問題　演習・解説　第９回	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第10回	日ビ簿記1級　過去試験問題　演習・解説　第１０回	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。また、基礎論点の復習を中心的に行うことによって応用力が身につくものと認識すること。予習は不要。
教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験過去問題集1級　商業簿記・会計学 （一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験過去問題集1級　工業簿記・原価計算 （一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会）

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記１級演習Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	日商簿記１級演習III	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	40時間
		単位数	1単位
科目教員	菊地　裕俊、千葉　菜愛、宍戸　雄翔	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記１級演習Ⅱ」を前提とし、ここまでに習得した知識を活用し、日本商工会議所主催簿記検定試験1級（以下、「日商簿記1級」という。）の商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算の問題演習を行う。問題文が複雑であることから、問題の内容をしっかりと把握する読解力を養う。また、1つの問に対し、解法がいくつかあるため、自ら考え判断し、正答を導き出す力を養成する。最終的には、日商簿記1級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	第168回日商簿記1級　過去試験問題　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第2回	第167回日商簿記1級　過去試験問題　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第3回	第165回日商簿記1級　過去試験問題　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第4回	第164回日商簿記1級　過去試験問題　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第5回	第162回日商簿記1級　過去試験問題　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第6回	第161回日商簿記1級　過去試験問題　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第7回	第159回日商簿記1級　過去試験問題　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第8回	第158回日商簿記1級　過去試験問題　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第9回	第157回日商簿記1級　過去試験問題　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第10回	第156回日商簿記1級　過去試験問題　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。また、基礎論点の復習を中心的に行うことによって応用力が身につくものと認識すること。予習は不要。
教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） 過去問題集　日商簿記1級（大原出版） 2025年度　日商簿記１級　網羅型完全予想問題集（TAC出版） 【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） 簿記1級受験用　日商簿記過去問　問題編　（学校法人　大原学園） 簿記1級受験用　日商簿記過去問　解答編　（学校法人　大原学園）

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記１級演習Ⅲは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

021.日商簿記１級演習Ⅳ

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	日商簿記１級演習Ⅳ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	40時間
		単位数	1単位
科目教員	菊地　裕俊、千葉　菜愛、宍戸　雄翔	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記１級演習Ⅲ」を前提とし、更なる知識の定着を図るため、難易度の高い商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算の問題演習を行う。会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	日商簿記検定第171回対策　直前模擬試験　第1回　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第2回	日商簿記検定第171回対策　直前模擬試験　第2回　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第3回	日商簿記検定第171回対策　直前模擬試験　第3回　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第4回	弱点克服問題演習①	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第5回	日商簿記検定第171回対策　直前模擬試験　第4回　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第6回	日商簿記検定第171回対策　直前模擬試験　第5回　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第7回	日商簿記検定第171回対策　直前模擬試験　第6回　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第8回	弱点克服問題演習②	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第9回	日商簿記検定第171回対策　全国統一公開模擬試験　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第10回	最終確認問題 演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。 また、各回の復習を必ず行うこと。予習は不要。	

教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） 【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） 【共通】 日商簿記検定第171回対策　直前模擬試験　第1回～第6回（学校法人　大原学園） 日商簿記検定第171回対策　全国統一公開模擬試験（学校法人　大原学園） 過去問題集　日商簿記1級（大原出版） 第171回をあてるTAC直前予想模擬　日商簿記１級（TAC出版） 2025年度　日商簿記１級　網羅型完全予想問題集（TAC出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記１級演習Ⅳは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	日商簿記２級Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
		授業回数	18回
科目教員	鈴木　秀俊、宍戸　雄翔	成績評価方法	筆記試験 : 50 %
			ミニテスト : 30 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	中小企業を前提とした商業簿記及び工業簿記を学習する。商業簿記については、日々の会計処理から決算処理を行い、損益計算書及び貸借対照表の財務諸表を作成する知識技術を習得する。工業簿記については、各業態における原価計算の手続きを習得する。財務諸表を作成する知識技術を身につけ、短期利益計画及び損益分岐分析ができることを目的とする。最終的には、日本商工会議所主催簿記検定試験2級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	工業簿記総論、原価計算の手続き(個別原価計算・総合原価計算)	鈴木　秀俊
第2回	簿記一巡の手続き、財務諸表、現金預金、債権・債務	宍戸　雄翔
第3回	材料費会計、労務費会計、経費会計、製造間接費会計	鈴木　秀俊
第4回	棚卸資産、有価証券	宍戸　雄翔
第5回	部門別計算、単純個別原価計算	鈴木　秀俊
第6回	有形固定資産、リース会計	宍戸　雄翔
第7回	無形固定資産、ソフトウェア、引当金	宍戸　雄翔

第8回	単純総合原価計算、工程別総合原価計算、組別・等級別総合原価計算	鈴木　秀俊
第9回	収益及び費用、研究開発費、為替換算会計	宍戸　雄翔
第10回	株式会社の純資産、株式の発行、剰余金の配当	宍戸　雄翔
第11回	標準原価計算、CVP分析	鈴木　秀俊
第12回	企業結合、消費税、法人税等、税効果会計	宍戸　雄翔
第13回	直接原価計算、全部原価計算、固定費調整	鈴木　秀俊
第14回	損益計算書、貸借対照表、精算表、補助簿	宍戸　雄翔
第15回	本支店会計	宍戸　雄翔
第16回	工場会計、公企業の財務諸表	鈴木　秀俊
第17回	連結会計　連結会社相互間取引の相殺消去等、未実現損益の消去	宍戸　雄翔
第18回	製造業を営む会社の決算処理	宍戸　雄翔

準備学習等	簿記は日々の復習の積み重ねが重要。難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。
教科書 参考書等	【商業簿記】 ALFA　2級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級商業簿記（大原出版） 【工業簿記】 ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級工業簿記（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記２級Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	日商簿記２級Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	鈴木　秀俊、宍戸　雄翔	授業回数	18回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験　：　50　％ ミニテスト　：　30　％ 授業態度　：　20　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記２級Ⅰ」で履修した内容を前提とし、数多くの問題を科目教員と共に解答し、解答のテクニックを習得する。そして、中小企業の実務における各取引の会計処理ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験2級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	答練期問題集項目別解説 （材料費会計、労務費会計、経費会計、製造間接費会計）	鈴木　秀俊
第2回	商業簿記問題　解説　演習答練　第1回、第2回 （仕訳、株主資本等変動計算書、有価証券、損益計算書）	宍戸　雄翔
第3回	答練期問題集項目別解説 (部門別計算)	鈴木　秀俊
第4回	商業簿記問題　解説　演習答練　第3回、第4回 （仕訳、商品売買、固定資産、損益計算書）	宍戸　雄翔

第5回	答練期問題集項目別解説 (個別原価計算、単純総合原価計算)	鈴木　秀俊
第6回	商業簿記問題　解説　演習答練　第5回、第6回 （仕訳、銀行勘定調整表、株主資本等変動計算書、貸借対照表）	宍戸　雄翔
第7回	商業簿記問題　解説　演習答練　第7回、第8回 （仕訳、有価証券、固定資産、貸借対照表）	宍戸　雄翔
第8回	答練期問題集項目別解説 (工程別総合原価計算、組別・等級別総合原価計算)	鈴木　秀俊
第9回	商業簿記問題　解説　演習答練　第9回 （仕訳、商品売買、損益計算書・貸借対照表）	宍戸　雄翔
第10回	商業簿記問題　解説　演習答練　第10回 （仕訳、リース会計、精算表）	宍戸　雄翔
第11回	答練期問題集項目別解説 (標準原価計算、CVP分析)	鈴木　秀俊
第12回	商業簿記問題　解説　演習答練　第11回、第12回 （仕訳、伝票会計、残高試算表、精算表）	宍戸　雄翔
第13回	答練期問題集項目別解説 (直接・全部原価計算、固定費調整)	鈴木　秀俊
第14回	商業簿記問題　解説　演習答練　第13回 （仕訳、外貨建て、残高試算表）	宍戸　雄翔
第15回	商業簿記問題　解説　演習答練　第14回 （仕訳、語句記入、サービス業の損益計算書）	宍戸　雄翔
第16回	答練期問題集項目別解説 (工場会計、公企業の財務諸表)	鈴木　秀俊
第17回	商業簿記問題　解説　演習答練　第15回 （仕訳、株主資本等変動計算書、連結精算表）	宍戸　雄翔
第18回	商業簿記問題　解説　演習答練　第16回 （仕訳、本支店会計、連結精算表）	宍戸　雄翔

準備学習等	簿記は日々の復習の積み重ねが重要。難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。

教科書 参考書等	【商業簿記】 ALFA　2級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級商業簿記（大原出版） ESSENTIAL　簿記2級受験用　答練期問題集　演習問題編　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　簿記2級受験用　答練期解答集　演習問題編　（学校法人　大原学園） 日商簿記２級　過去問分析より徹底予想！　試験に出る問題集　（大原出版） 簿記能力検定試験　過去問題集　商業簿記　（一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 2級商業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　問題　（学校法人　大原学園） 2級商業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　解答解説　（学校法人　大原学園） 【工業簿記】 ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級工業簿記（大原出版） ESSENTIAL　簿記2級受験用　答練期問題集　項目別編　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　簿記2級受験用　答練期解答集　項目別編　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　日商簿記過去問　問題編　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　日商簿記過去問　解答編　（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験　過去問題集　工業簿記　（一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 2級工業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　問題（学校法人　大原学園） 2級工業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　解答・解説　（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記２級Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

024.日商簿記２級III

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	日商簿記２級III	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	鈴木　秀俊、宍戸　雄翔	授業回数	18回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験　：　50　％ ミニテスト　：　30　％ 授業態度　：　20　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記２級Ⅱ」で履修した内容を前提とし、数多くの問題を科目教員と共に解答し、解答のテクニックを習得する。そして、中小企業の実務における各取引の会計処理ができることを目的とする。また、全国経理教育協会主催簿記能力検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	5伝票制、特殊仕訳帳制	宍戸　雄翔
第2回	答練期問題集項目別解説（材料費会計、労務費会計）	鈴木　秀俊
第3回	為替手形、荷為替手形、商品券（自社）	宍戸　雄翔
第4回	答練期問題集項目別解説（経費会計、製造間接費会計）	鈴木　秀俊
第5回	有価証券（貸付・借入・差入・預り・保管）	宍戸　雄翔
第6回	答練期問題集項目別解説（部門別計算）	鈴木　秀俊
第7回	特殊商品売買、履行義務の充足	宍戸　雄翔
第8回	答練期問題集項目別解説（個別原価計算、総合原価計算 ）	鈴木　秀俊

第9回	圧縮記帳、投資不動産	宍戸　雄翔
第10回	答練期問題集項目別解説 （工程別総合原価計算、組別総合原価計算、等級別総合原価計算）	鈴木　秀俊
第11回	資産除去債務	宍戸　雄翔
第12回	答練期問題集項目別解説（標準原価計算、CVP分析）	鈴木　秀俊
第13回	固定資産の減損	宍戸　雄翔
第14回	答練期問題集項目別解説（直接原価計算、全部原価計算、固定費調整）	鈴木　秀俊
第15回	負ののれん発生益、社債	宍戸　雄翔
第16回	答練期問題集項目別解説（工場会計、公企業の財務諸表）	鈴木　秀俊
第17回	商業簿記・会計学　理論対策	宍戸　雄翔
第18回	財務諸表分析	宍戸　雄翔

準備学習等	簿記は日々の復習の積み重ねが重要。難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。
教科書 参考書等	【商業簿記】 ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） 全経簿記能力検定試験公式テキスト　1級商業簿記・財務会計（ネットスクール出版） 全経簿記能力検定試験公式問題集　1級商業簿記・財務会計（ネットスクール出版） ステップアップ問題集　日商簿記2級商業簿記（大原出版） 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集　1級　商業簿記・財務会計 （公益社団法人　全国経理教育協会） 【工業簿記】 ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級工業簿記（大原出版） ESSENTIAL　簿記2級受験用　答練期問題集　項目別編　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　簿記2級受験用　答練期解答集　項目別編　（学校法人　大原学園） 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集　1級　原価計算・管理会計 （公益社団法人　全国経理教育協会）

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記２級IIIは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	日商簿記２級演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木　秀俊、宍戸　雄翔	授業回数	12回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記２級Ⅰ」及び「日商簿記２級Ⅱ」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、日本商工会議所主催簿記検定試験2級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 直前模擬試験　第１回　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第2回	直前模擬試験　第２回　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第3回	弱点克服問題演習①	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第4回	直前模擬試験　第３回　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔

第5回	直前模擬試験　第４回　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第6回	オリジナル模擬試験　第１回　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第7回	直前模擬試験　第５回　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第8回	直前模擬試験　第６回　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第9回	弱点克服問題演習②	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第10回	オリジナル模擬試験　第２回　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第11回	弱点克服問題演習③	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第12回	最終確認問題　演習・解説 総論	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔

準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違った問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。

教科書 参考書等	【商業簿記】 ALFA　2級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） 日商簿記２級　過去問分析より徹底予想！　試験に出る問題集　（大原出版） 簿記能力検定試験　過去問題集　商業簿記　（一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 2級商業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　問題(学校法人　大原学園) 2級商業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　解答・解説(学校法人　大原学園) 【工業簿記】 ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　日商簿記過去問題（問題編）（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　日商簿記過去問題（解答編）（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験　過去問題集　工業簿記　（一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 2級工業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　問題(学校法人　大原学園) 2級工業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　解答・解説(学校法人　大原学園) 【共通】 2025年度　日商簿記検定対策　直前模擬試験　第1回～第6回（学校法人　大原学園） 2025年度試験あてるTAC予想模試+解き方テキスト　日商簿記２級（TAC出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記２級演習Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

026.日商簿記２級演習 II

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	日商簿記２級演習 II	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木　秀俊、宍戸　雄翔	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記２級 II」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、全国経理教育協会主催簿記能力検定試験1級（以下、「全経簿記1級」という。)に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 全経簿記1級演習、5伝票制、特殊仕訳帳制、 為替手形、荷為替手形、商品券（自社）	宍戸　雄翔
第2回	理論対策① (費目別計算、個別原価計算、部門別原価計算)	鈴木　秀俊
第3回	全経簿記1級演習 有価証券（貸付・借入・差入・預り・保管）特殊商品売買、履行義務の充足	宍戸　雄翔
第4回	理論対策② (部門別原価計算、総合原価計算)	鈴木　秀俊

第5回	全経簿記1級演習 圧縮記帳（積立金方式）、投資不動産、資産除去債務	宍戸　雄翔
第6回	理論対策③ (標準原価計算)	鈴木　秀俊
第7回	全経簿記1級演習 固定資産の減損、負ののれん発生益	宍戸　雄翔
第8回	理論対策④ (短期利益計画、工場独立会計)	鈴木　秀俊
第9回	全経簿記1級演習 社債、理論、財務諸表分析	宍戸　雄翔
第10回	理論対策⑤ (直接原価計算、全部原価計算) 総論	鈴木　秀俊

準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違った問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。
教科書 参考書等	【商業簿記】 ALFA　2級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） 全経簿記能力検定試験公式テキスト　1級商業簿記・財務会計（ネットスクール出版） 全経簿記能力検定試験公式問題集　1級商業簿記・財務会計（ネットスクール出版） ステップアップ問題集　日商簿記2級商業簿記（大原出版） 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集1級　商業簿記・財務会計 （公益社団法人　全国経理教育協会） 【工業簿記】 ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級工業簿記（大原出版） 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集1級　原価計算・管理会計 （公益社団法人　全国経理教育協会）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記２級演習Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

027.日商簿記２級演習III

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	日商簿記２級演習III	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木　秀俊、宍戸　雄翔	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記２級演習Ⅱ」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、全国経理教育協会主催簿記能力検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 項目別対策 5伝票制、特殊仕訳帳制、為替手形、荷為替手形、商品券（自社）	宍戸　雄翔
第2回	過去試験項目対策 (費目別計算、個別原価計算)	鈴木　秀俊
第3回	項目別対策 有価証券（貸付・借入・差入・預り・保管）特殊商品売買、履行義務の充足	宍戸　雄翔
第4回	過去試験項目対策 (部門別原価計算、総合原価計算)	鈴木　秀俊

第5回	項目別対策 圧縮記帳（積立金方式）、投資不動産、資産除去債務	宍戸　雄翔
第6回	過去試験項目対策 (総合原価計算、標準原価計算)	鈴木　秀俊
第7回	項目別対策 固定資産の減損、負ののれん発生益	宍戸　雄翔
第8回	過去試験項目対策 (CVP分析、工場独立会計)	鈴木　秀俊
第9回	項目別対策 社債、理論、財務諸表分析	宍戸　雄翔
第10回	過去試験項目対策 (直接原価計算、全部原価計算)総論	鈴木　秀俊

準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違った問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。
教科書 参考書等	【商業簿記】 ALFA　2級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） 全経簿記能力検定試験公式テキスト　1級商業簿記・財務会計（ネットスクール出版） 全経簿記能力検定試験公式問題集　1級商業簿記・財務会計（ネットスクール出版） ステップアップ問題集　日商簿記2級商業簿記（大原出版） 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集1級　商業簿記・財務会計 （公益社団法人　全国経理教育協会） 【工業簿記】 ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級工業簿記（大原出版） 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集1級　原価計算・管理会計 （公益社団法人　全国経理教育協会）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記２級演習Ⅲは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	日商簿記２級演習Ⅳ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木　秀俊、宍戸　雄翔	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記２級演習Ⅲ」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、全国経理教育協会主催簿記能力検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 第221回過去問題　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第2回	第220回過去問題　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第3回	第219回過去問題　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第4回	第218回過去問題　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔

第5回	第217回過去問題　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第6回	第216回過去問題　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第7回	第215回過去問題　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第8回	第214回過去問題　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第9回	第213回過去問題　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第10回	第212回過去問題　演習・解説 総論	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔

準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違った問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。
教科書 参考書等	【商業簿記】 ALFA　2級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） 全経簿記能力検定試験公式テキスト　1級商業簿記・財務会計（ネットスクール出版） 全経簿記能力検定試験公式問題集　1級商業簿記・財務会計（ネットスクール出版） ステップアップ問題集　日商簿記2級商業簿記（大原出版） 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集1級　商業簿記・財務会計 （公益社団法人　全国経理教育協会） 【工業簿記】 ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級工業簿記（大原出版） 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集1級　原価計算・管理会計 （公益社団法人　全国経理教育協会）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記２級演習Ⅳは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	国内旅行Ⅰ		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間
			単位数	2単位
			授業回数	10回
科目教員	鈴木　秀俊	成績評価方法	筆記試験	： 50 %
			ミニテスト	： 30 %
			授業態度	： 20 %
科目教員のうち実務経験教員				： %
				： %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容				
実務経験教員の実務経験内容				
授業目的 到達目標	旅行業に関する法律について理解することや各都道府県の観光資源（寺院・山岳・名産品・祭りなど）を覚え、旅行業に役立つ知識を学ぶことを目的としています。また、本講義終了後に予定している科目「国内旅行Ⅱ」に積極的に取り組めるようにしてください。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 【約款】総則、契約の成立 【観光地理】北海道	鈴木　秀俊
第2回	【約款】契約の変更、契約の解除、旅行代金の払戻し 【観光地理】青森・岩手	鈴木　秀俊
第3回	【約款】団体・グループ・旅程管理責任、旅程保証 【観光地理】宮城・秋田	鈴木　秀俊
第4回	【約款】特別補償規程旅行相談業務 【観光地理】山形・福島	鈴木　秀俊
第5回	【業法】総則、登録制度 【観光地理】茨城・栃木	鈴木　秀俊

第6回	【業法】営業保証金制度、旅行業務取扱管理者、旅行業務取扱料金 【観光地理】群馬・埼玉	鈴木　秀俊
第7回	【業法】旅行業約款、標識、取引条件の説明、書面の交付 【観光地理】千葉・東京	鈴木　秀俊
第8回	【業法】外務員、広告の表示等・誇大広告の禁止、旅程管理、受託契約 【観光地理】神奈川・新潟	鈴木　秀俊
第9回	【業法】旅行業者代理業、禁止行為、登録の取消し等、旅行サービス手配業 【観光地理】富山・石川	鈴木　秀俊
第10回	【業法】旅行業協会（法定業務、苦情解決業務、弁済業務保証金制度）、 罰則・雑則 【観光地理】福井・山梨	鈴木　秀俊

準備学習等	非常に暗記の多い科目です。毎回の授業の復習及び問題演習の積み重ねが何よりも求められますので、授業だけではなく各自で勉強の時間を確保することを徹底してください。また、理解が不十分な場合には科目教員に質問し次回の授業に臨むようにしましょう。予習は不要です。
教科書 参考書等	旅行業務取扱管理者試験　テキスト①観光地理（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験　問題集　①観光地理（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験　テキスト②旅行業法・約款（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験　問題集　②旅行業法・約款（大原出版） 旅行業実務シリーズ4　国内観光資源（JTB総合研究所）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。国内旅行Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	国内旅行Ⅱ		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間
			単位数	2単位
			授業回数	10回
科目教員	鈴木　秀俊	成績評価方法	筆記試験	： 50 %
			ミニテスト	： 30 %
			授業態度	： 20 %
科目教員のうち実務経験教員				： %
				： %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容				
実務経験教員の実務経験内容				
授業目的 到達目標	科目「国内旅行Ⅰ」を前提とし、旅行業に関する法律と運賃計算・料金計算の計算方法について理解することや、各都道府県の観光資源（寺院・山岳・名産品・祭りなど）を覚え、旅行業に役立つ知識を学ぶことを目的とし、最終的には旅行業務取扱管理者試験に合格できる知識を身につけることを目標としています。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【実務】JR運賃・料金計算、JR運賃計算（運賃計算の基礎、 本州3社とまたがる場合、通過連絡運輸の取扱い） 【観光地理】長野・岐阜	鈴木　秀俊
第2回	【実務】JR運賃計算（連続運賃計算、運賃計算の特例）、 割引運賃（個人割引･団体割引） 【観光地理】静岡･愛知･三重	鈴木　秀俊
第3回	【実務】JR料金計算（料金計算の基礎、特急料金、グリーン料金、 グランクラス料金、寝台料金） 【観光地理】滋賀･京都･大阪	鈴木　秀俊
第4回	【実務】JR料金計算「サンライズ瀬戸号」と四国内の特急の乗継割引、 新幹線と在来線の乗継割引 【観光地理】兵庫・奈良	鈴木　秀俊

第5回	【実務】JR料金計算（通し計算、東海道・山陽新幹線の特急料金、 九州新幹線の特急料金） 【観光地理】和歌山・鳥取	鈴木　秀俊
第6回	【実務】JR料金計算（東北新幹線、北海道新幹線、北陸新幹線、 上越新幹線、山形・秋田新幹線の料金）、JRその他 【観光地理】島根･岡山･広島	鈴木　秀俊
第7回	【約款】国内航空運送約款 【実務】国内航空運賃・料金計算 【観光地理】山口･徳島･香川	鈴木　秀俊
第8回	【約款】フェリー標準運送約款 【実務】フェリー運賃・料金計算 【観光地理】愛媛･高知･佐賀	鈴木　秀俊
第9回	【約款】モデル宿泊約款 【実務】宿泊料金計算 【観光地理】長崎･熊本･大分	鈴木　秀俊
第10回	【約款】貸切バス約款 【実務】貸切バス運賃・料金計算 【観光地理】宮崎・鹿児島・沖縄	鈴木　秀俊

準備学習等	非常に暗記の多い科目で、運賃計算・料金計算については複雑な問題も多く含まれています。毎回の授業の復習及び問題演習の積み重ねが何よりも求められますので、授業だけではなく各自で勉強の時間を確保することを徹底してください。また、理解が不十分な場合には科目教員に質問し次回の授業に臨むようにしましょう。予習は不要です。
教科書 参考書等	旅行業務取扱管理者試験　テキスト①観光地理（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験　問題集　①観光地理（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験　テキスト②旅行業法・約款（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験　問題集　②旅行業法・約款（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験　テキスト③国内旅行実務（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験　問題集　③国内旅行実務（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験　科目別速習問題集（JTB総合研究所） 旅行業実務シリーズ4　国内観光資源（JTB総合研究所）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。国内旅行Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となります。

学科	経理事務学科（2年課程）・ＯＡ事務学科（１年課程）・ ＯＡ事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（３年課程）行政公務員学科（２年課程）・ 総合公務員学科（２年課程）法律公務員学科（２年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	国内旅行演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木　秀俊	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	
実務経験教員の実務経験内容	
授業目的 到達目標	問題演習や、やり直しを繰り返し、本試験の問題に対応できる力を養うことを目的としています。基礎的な問題から、難易度の高い応用問題まで取り組むことで理解を深め、旅行業務取扱管理者試験に合格できる能力を身につけることを到達目標としています。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	問題演習、解説 公開模擬試験問題①	鈴木　秀俊
第2回	問題演習、解説 直前模擬試験問題① 公開模擬試験問題②	鈴木　秀俊
第3回	問題演習、解説 旅行業務取扱管理者試験過去問題 公開模擬試験問題③	鈴木　秀俊
第4回	問題演習、解説 旅行業務取扱管理者試験過去問題 直前模擬試験問題②	鈴木　秀俊

第5回	問題演習、解説 旅行業務取扱管理者試験過去問題 JTB模擬試験問題　A問題①	鈴木　秀俊
第6回	問題演習、解説 JTB模擬試験問題　B問題①	鈴木　秀俊
第7回	問題演習、解説 JTB模擬試験問題　C問題①	鈴木　秀俊
第8回	問題演習、解説 JTB模擬試験問題　A問題② JTB模擬試験問題　B問題②	鈴木　秀俊
第9回	問題演習、解説 JTB模擬試験問題　C問題②	鈴木　秀俊
第10回	問題演習、解説 公開模擬試験問題④ 直前模擬試験問題③	鈴木　秀俊

準備学習等	日々の問題のやり直しを丁寧に行うことが何よりも大切です。間違った問題だけを確認するのではなく、その範囲のテキストを一通り確認することでより知識が定着します。地理に関する問題は範囲が膨大で全てを網羅することは困難であるため、出題頻度の高いものを優先的に暗記をするようにしてください。また、わからないところがある場合、勉強方法で迷った場合には科目教員に相談するようにしてください。
教科書 参考書等	公開模擬試験問題（学校法人　大原学園） 直前模擬試験問題（学校法人　大原学園） JTB模擬試験問題　A問題・B問題・C問題（JTB総合研究所） 旅行業務取扱管理者試験過去問題集（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。国内旅行演習は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科各学年合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	ファイナンシャル・プランニングⅠ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一、久保田　佳子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	ファイナンシャル・プランナーとは、お金の知識を総合的に身につけて、ライフプランの実現に向けたアドバイスをする専門家である。年金・保険・不動産・金融資産・税金・相続など、様々な種類のお金の知識が必要不可欠となる。それぞれの内容を理解することを目的とし、本講義終了後の科目「ファイナンシャル・プランニングⅡ」に積極的に取り組めるようにすること。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス ライフプランニングと資金計画（FPとライフプランニング）	工藤　英一 久保田　佳子
第2回	ライフプランニングと資金計画（教育・住宅取得資金計画）	工藤　英一 久保田　佳子
第3回	ライフプランニングと資金計画 （社会保険、公的年金制度の概要、老後の生活資金計画と公的年金）	工藤　英一 久保田　佳子
第4回	ライフプランニングと資金計画（ライフプランニングの考え方）	工藤　英一 久保田　佳子
第5回	リスク管理 （リスクマネジメント、生命保険の概略、生命保険商品の種類と内容、 損害保険の概略、損害保険商品の種類と内容）	工藤　英一 久保田　佳子

第6回	金融資産運用（マーケット環境の理解、預貯金等、債券、株式、投資信託）	工藤　英一 久保田　佳子
第7回	タックスプランニング （税金の分類と計算体系、所得税の仕組み、各種所得の内容）	工藤　英一 久保田　佳子
第8回	タックスプランニング（課税標準の計算、所得控除）	工藤　英一 久保田　佳子
第9回	タックスプランニング（税額控除、確定申告、個人住民税と個人事業税）	工藤　英一 久保田　佳子
第10回	不動産（不動産の見方、不動産の取引、不動産に関する法令上の制限）	工藤　英一 久保田　佳子

準備学習等	予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をし、次回の講義に備えること。
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級　練習問題（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。ファイナンシャル・プランニングⅠは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	ファイナンシャル・プランニングII	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一、久保田　佳子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニングⅠ」を前提に、さらに幅広い知識を学習する。 自己のライフプラン（キャッシュフローの作成）ができることを目的とし、最終的には 日本FP協会主催3級ファイナンシャル・プランニング技能検定に合格することを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス科目「ファイナンシャル・プランニングⅠ」確認講義	工藤　英一 久保田　佳子
第2回	ライフプランニングと資金計画（公的年金における障害給付と遺族給付）	工藤　英一 久保田　佳子
第3回	リスク管理（個人・法人の契約に関する税金）	工藤　英一 久保田　佳子
第4回	リスク管理（第三分野の保険・共済）	工藤　英一 久保田　佳子
第5回	金融資産運用（外貨建て商品、金融派生商品、ポートフォリオ運用）	工藤　英一 久保田　佳子
第6回	金融資産運用（金融商品と税金、セーフティネット、関連法規）	工藤　英一 久保田　佳子

第7回	不動産（不動産に係る税金、不動産の有効活用）	工藤　英一 久保田　佳子
第8回	相続・事業承継（相続と法律、贈与と法律）	工藤　英一 久保田　佳子
第9回	相続・事業承継（贈与税と税金、相続と税金）	工藤　英一 久保田　佳子
第10回	相続・事業承継（財産の評価、相続対策）	工藤　英一 久保田　佳子

準備学習等	予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。 なお、ガイダンス終了後、科目「ファイナンシャル・プランニングⅠ」の理解度確認を実施する。
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級　練習問題（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。ファイナンシャル・プランニングⅡは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程）・ 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	ファイナンシャル・プランニング演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一、久保田　佳子	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニングⅡ」を前提とし、日本FP協会主催3級ファイナンシャル・プランニング技能検定（以下、「FP検定」という。）の問題演習を行う。数多くの問題を解くことで、知識の定着を図ることを目的とする。また、FP検定3級に合格することを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	問題演習・解説　学科編①（ライフプランニングと資金計画）	工藤　英一 久保田　佳子
第2回	問題演習・解説　学科編②（リスク管理）	工藤　英一 久保田　佳子
第3回	問題演習・解説　学科編③（金融資産運用）	工藤　英一 久保田　佳子
第4回	問題演習・解説　学科編④（タックスプランニング）	工藤　英一 久保田　佳子
第5回	問題演習・解説　学科編⑤（不動産、相続・事業承継）	工藤　英一 久保田　佳子

第6回	問題演習・解説　実技編①	工藤　英一 久保田　佳子
第7回	問題演習・解説　実技編②	工藤　英一 久保田　佳子
第8回	過去試験問題　演習・解説①	工藤　英一 久保田　佳子
第9回	過去試験問題　演習・解説②	工藤　英一 久保田　佳子
第10回	過去試験問題　演習・解説③	工藤　英一 久保田　佳子
第11回	過去試験問題　演習・解説④	工藤　英一 久保田　佳子
第12回	過去試験問題　演習・解説⑤	工藤　英一 久保田　佳子
第13回	過去試験問題　演習・解説⑥	工藤　英一 久保田　佳子
第14回	模擬試験問題　演習・解説①	工藤　英一 久保田　佳子
第15回	模擬試験問題　演習・解説②	工藤　英一 久保田　佳子

準備学習等	予習の必要はない。不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級　練習問題（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級　学科・実技過去試験問題集問題編 （学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランナー3級　学科・実技過去試験問題集解答編 （学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定　3級学科模擬試験 （学校法人　大原学園） 3級FP技能検定　学科模擬試験　解答・解説（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定　3級実技模擬試験 （学校法人　大原学園） 3級FP技能検定　実技模擬試験　解答・解説（学校法人　大原学園）

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。ファイナンシャル・プランニング演習は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一、久保田　佳子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	ファイナンシャル・プランナーとは、お金の知識を総合的に身につけて、ライフプランの実現に向けたアドバイスをする専門家である。年金・保険・不動産・金融資産・税金・相続など、様々な種類のお金の知識が必要不可欠となる。それぞれの内容を理解することを目的とし、本講義終了後の科目「ファイナンシャル・プランニング応用Ⅱ」に積極的に取り組めるようにすること。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス ライフプランニングと資金計画（FPとライフプランニング）	工藤　英一 久保田　佳子
第2回	ライフプランニングと資金計画（教育・住宅取得資金計画）	工藤　英一 久保田　佳子
第3回	ライフプランニングと資金計画 （社会保険、公的年金制度の概要、老後の生活資金計画と公的年金）	工藤　英一 久保田　佳子
第4回	ライフプランニングと資金計画（ライフプランニングの考え方）	工藤　英一 久保田　佳子
第5回	リスク管理 （リスクマネジメント、生命保険の概略、生命保険商品の種類と内容、 損害保険の概略、損害保険商品の種類と内容）	工藤　英一 久保田　佳子

第6回	金融資産運用（マーケット環境の理解、預貯金等、債券、株式、投資信託）	工藤　英一 久保田　佳子
第7回	タックスプランニング （税金の分類と計算体系、所得税の仕組み、各種所得の内容）	工藤　英一 久保田　佳子
第8回	タックスプランニング（課税標準の計算、所得控除）	工藤　英一 久保田　佳子
第9回	タックスプランニング（税額控除、確定申告、個人住民税と個人事業税）	工藤　英一 久保田　佳子
第10回	不動産（不動産の見方、不動産の取引、不動産に関する法令上の制限）	工藤　英一 久保田　佳子

準備学習等	予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をし、次回の講義に備えること。
教科書 参考書等	【2級】 ファイナンシャル・プランナー2級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー2級　練習問題（大原出版） 【3級】 ファイナンシャル・プランナー3級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級　練習問題（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	ファイナンシャル・プランニング応用Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一、久保田　佳子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰ」を前提に、さらに幅広い知識を学習する。自己のライフプラン（キャッシュフローの作成）ができることを目的とし、最終的には日本FP協会主催2級または3級ファイナンシャル・プランニング技能検定に合格することを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 科目「ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰ」確認講義	工藤　英一 久保田　佳子
第2回	ライフプランニングと資金計画（公的年金における障害給付と遺族給付）	工藤　英一 久保田　佳子
第3回	リスク管理（個人・法人の契約に関する税金）	工藤　英一 久保田　佳子
第4回	リスク管理（第三分野の保険・共済）	工藤　英一 久保田　佳子
第5回	金融資産運用（外貨建て商品、金融派生商品、ポートフォリオ運用）	工藤　英一 久保田　佳子

第6回	金融資産運用（金融商品と税金、セーフティネット、関連法規）	工藤　英一 久保田　佳子
第7回	不動産（不動産に係る税金、不動産の有効活用）	工藤　英一 久保田　佳子
第8回	相続・事業承継（相続と法律、贈与と法律）	工藤　英一 久保田　佳子
第9回	相続・事業承継（贈与税と税金、相続と税金）	工藤　英一 久保田　佳子
第10回	相続・事業承継（財産の評価、相続対策）	工藤　英一 久保田　佳子

準備学習等	予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。 なお、ガイダンス終了後、科目「ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰ」の理解度確認を実施する。
教科書 参考書等	【2級】 ファイナンシャル・プランナー2級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー2級　練習問題（大原出版） 【3級】 ファイナンシャル・プランナー3級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級　練習問題（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。ファイナンシャル・プランニング応用Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程）・ 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	ファイナンシャル・プランニング応用演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一、久保田　佳子	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニング応用Ⅱ」を前提とし、日本FP協会主催3級ファイナンシャル・プランニング技能検定（以下、「FP検定」という。）の問題演習を行う。数多くの問題を解くことで、知識の定着を図ることを目的とする。また、FP検定2級または3級に合格することを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	問題演習・解説　学科編①（ライフプランニングと資金計画）	工藤　英一 久保田　佳子
第2回	問題演習・解説　学科編②（リスク管理）	工藤　英一 久保田　佳子
第3回	問題演習・解説　学科編③（金融資産運用）	工藤　英一 久保田　佳子
第4回	問題演習・解説　学科編④（タックスプランニング）	工藤　英一 久保田　佳子
第5回	問題演習・解説　学科編⑤（不動産、相続・事業承継）	工藤　英一 久保田　佳子

第6回	問題演習・解説　実技編①	工藤　英一 久保田　佳子
第7回	問題演習・解説　実技編②	工藤　英一 久保田　佳子
第8回	過去試験問題　演習・解説①	工藤　英一 久保田　佳子
第9回	過去試験問題　演習・解説②	工藤　英一 久保田　佳子
第10回	過去試験問題　演習・解説③	工藤　英一 久保田　佳子
第11回	過去試験問題　演習・解説④	工藤　英一 久保田　佳子
第12回	過去試験問題　演習・解説⑤	工藤　英一 久保田　佳子
第13回	過去試験問題　演習・解説⑥	工藤　英一 久保田　佳子
第14回	模擬試験問題　演習・解説①	工藤　英一 久保田　佳子
第15回	模擬試験問題　演習・解説②	工藤　英一 久保田　佳子
準備学習等	予習の必要はない。不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。	

教科書 参考書等	【3級】 ファイナンシャル・プランナー3級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級　練習問題（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級　学科・実技過去試験問題集問題編（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランナー3級　学科・実技過去試験問題集解答編（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定　3級学科模擬試験（学校法人　大原学園） 3級FP技能検定　学科模擬試験　解答・解説（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定　3級実技模擬試験（学校法人　大原学園） 3級FP技能検定　実技模擬試験　解答・解説（学校法人　大原学園） 【2級】 ファイナンシャル・プランナー2級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー2級　練習問題（大原出版） ファイナンシャル・プランナー2級　学科・実技過去試験問題集問題編（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランナー2級　学科・実技過去試験問題集解答編（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定　2級学科模擬試験（学校法人　大原学園） 2級FP技能検定　学科模擬試験　解答・解説（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定　2級実技模擬試験（学校法人　大原学園） 2級FP技能検定　実技模擬試験　解答・解説（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。ファイナンシャル・プランニング応用演習は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	経営学	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	180時間
		単位数	8単位
科目教員	中島　京哉、山下　健二	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二	成績評価方法	筆記試験 ： 40 % ミニテスト ： 30 % 授業態度 ： 30 % ： % ： %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。
授業目的 到達目標	経営学の基本的な論点と専門用語を習得し、現実の経営現象を考察する能力を身に付けることを目的とし、一般社団法人日本経営協会主催経営学検定初級取得を到達目標とする。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	企業の役割	中島　京哉 山下　健二
第2回	企業の形態	中島　京哉 山下　健二
第3回	大規模な株式会社における企業統治	中島　京哉 山下　健二
第4回	企業システム	中島　京哉 山下　健二
第5回	企業統治	中島　京哉 山下　健二

第6回	企業経営と企業戦略	中島　京哉 山下　健二
第7回	成長戦略	中島　京哉 山下　健二
第8回	経営資源	中島　京哉 山下　健二
第9回	事業ごとの経営戦略（事業戦略）	中島　京哉 山下　健二
第10回	経営戦略論の時代的変遷	中島　京哉 山下　健二
第11回	マーケティング戦略の基礎	中島　京哉 山下　健二
第12回	研究開発戦略と生産戦略	中島　京哉 山下　健二
第13回	財務の基礎	中島　京哉 山下　健二
第14回	人と組織のマネジメント①	中島　京哉 山下　健二
第15回	人と組織のマネジメント②	中島　京哉 山下　健二
第16回	経営組織の形態①	中島　京哉 山下　健二
第17回	経営組織の形態②	中島　京哉 山下　健二
第18回	伝統的な管理論	中島　京哉 山下　健二
第19回	ホーソン実験と人間関係論	中島　京哉 山下　健二
第20回	近代的な管理論	中島　京哉 山下　健二
第21回	行動科学にもとづく動機づけとリーダーシップの理論	中島　京哉 山下　健二

第22回	比較的新しい組織論の分野	中島　京哉 山下　健二
第23回	企業論　問題演習、解説	中島　京哉 山下　健二
第24回	経営戦略論　問題演習、解説	中島　京哉 山下　健二
第25回	機能別戦略　問題演習、解説	中島　京哉 山下　健二
第26回	人的資源理論　問題演習、解説	中島　京哉 山下　健二
第27回	組織構造論　問題演習、解説	中島　京哉 山下　健二
第28回	経営管理論　問題演習、解説	中島　京哉 山下　健二
第29回	経営組織論　問題演習、解説	中島　京哉 山下　健二
第30回	練習問題集　実施、解説	中島　京哉 山下　健二

準備学習等	学習した論理と具体的事例を自らの頭の中で結び付けて考えることで、学習効果は増大すると考えられる。問題意識を持ち、具体的経営事象を用いて考えること。 予習は必要としないが、広く経営事象に興味を持つことが求められる。
教科書 参考書等	・マネジメント検定試験III級テキスト　経営学の基本（中央経済社） ・マネジメント検定試験III級練習問題集（2023 vol.1） （一般社団法人　日本経営協会）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。経営学は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	経理実務	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	6単位
科目教員	鈴木　秀俊、宍戸　雄翔	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	経理知識や技能の証明となり就職活動にも有利になる資格「経理実務士」の取得を目指し、認定要件である資格のうち、全国経理教育協会主催計算実務能力検定試験（以下、「計算実務」という。）と全国経理教育協会主催簿記能力検定試験（以下、「全経簿記」という。）の合格を目指す。計算実務では経理職に欠かせない知識である帳票計算と商業計算について学習する。全経簿記では中小企業の実務における各取引の会計処理について学習する。 本講義終了後の科目「経理実務演習」に積極的に取り組めるようにすること。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【計算実務】＜帳票計算＞ 試算表、商品有高帳（先入先出法、移動平均法）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第2回	【計算実務】＜商業計算＞ 貨幣計算、手形割引計算（割引料を求める場合、手取金を求める場合、手形金額を求める場合）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第3回	【計算実務】 ＜帳票計算・商業計算＞項目別確認問題実施、解説 （試算表、商品有高帳、貨幣計算、手形割引計算）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔

第4回	【計算実務】＜商業計算＞ 通法の計算～グロス・ダース・個～（代価を求める場合、数量を求める場合）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第5回	【計算実務】＜商業計算＞ 仲立人の手数料計算（手数料を求める場合、買主の支払総額・売主の手取金を求める場合）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第6回	【計算実務】＜商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説（通法の計算、仲立人の手数料計算）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第7回	【計算実務】＜商業計算＞ 貨幣計算、手形割引計算（割引率を求める場合、割引日数を求める場合、割引日を求める場合）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第8回	【計算実務】＜商業計算＞ 商品売買の計算（定価を求める場合、利益率を求める場合、原価を求める場合）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第9回	【計算実務】＜商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説（貨幣計算、手形割引計算、商品売買の計算）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第10回	【計算実務】＜商業計算＞ 委託販売・委託買付の手数料計算（売上高を求める場合、送金額を求める場合、請求額を求める場合）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第11回	【計算実務】＜商業計算＞ 金銭の貸し付け（貸付利率を求める場合、元利合計を求める場合、貸付期間を求める場合）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第12回	【計算実務】＜商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説（委託販売・委託買付の手数料計算、金銭の貸し付け）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第13回	【計算実務】＜商業計算＞ 純量代価（総量、風袋、減量の用語の確認、定価の求め方）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第14回	【計算実務】＜商業計算＞ 有利・不利の判定（値引きと増量）、通法の計算（文章問題）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第15回	【計算実務】＜帳票計算・商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説（純量代価の計算、有利・不利の判定、通法の計算）、伝票計算（検定試験問題の解き方）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第16回	【全経簿記】 5伝票制、特殊仕訳帳制	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔

第17回	【全経簿記】 材料費会計、労務費会計	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第18回	【全経簿記】 為替手形、荷為替手形、商品券（自社）、有価証券売買	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第19回	【全経簿記】 経費会計、製造間接費会計	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第20回	【全経簿記】 特殊商品売買、履行義務の充足	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第21回	【全経簿記】 部門別計算、個別原価計算、単純総合原価計算	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第22回	【全経簿記】 圧縮記帳、投資不動産	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第23回	【全経簿記】 工程別総合原価計算、組別総合原価計算、等級別総合原価計算	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第24回	【全経簿記】 資産除去債務、固定資産の減損	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第25回	【全経簿記】 標準原価計算、CVP分析	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第26回	【全経簿記】 負ののれん発生益、社債	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第27回	【全経簿記】 直接原価計算、全部原価計算、固定費調整	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第28回	【全経簿記】 理論問題対策	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第29回	【全経簿記】 工場会計の独立	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔

第30回	【全経簿記】 財務諸表分析	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔

準備学習等	計算実務・全経簿記ともに短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。なお、予習は不要。
教科書 参考書等	【計算実務】 計算実務１・２級　公式テキスト　(共栄出版株式会社) 令和7年度版　計算実務能力検定試験　過去問題集１級 (公益社団法人　全国経理教育協会) 令和7年度版　計算実務能力検定試験　過去問題集２級 (公益社団法人　全国経理教育協会) 【全経簿記】 全経簿記能力検定試験公式テキスト　1級商業簿記・財務会計 (ネットスクール出版) 全経簿記能力検定試験公式問題集　1級商業簿記・財務会計（ネットスクール出版） 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集　1級　商業簿記・財務会計 (公益社団法人　全国経理教育協会) 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集　1級　原価計算・管理会計 (公益社団法人　全国経理教育協会)
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 経理実務は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	経理実務演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
		授業回数	15回
科目教員	鈴木　秀俊、宍戸　雄翔	成績評価方法	筆記試験　：　70　％
			授業態度　：　30　％
			：　％
科目教員のうち実務経験教員			：　％
			：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	「経理実務」で学習した基礎的な知識を基に、問題演習を通して本試験に対応できる能力を養うことを目的とする。また、項目別に問題演習を行うことで重要度の高い範囲をもう一度確認し、より知識を深める。なお、全国経理教育協会主催計算実務能力検定試験（以下、「計算実務」という。）と全国経理教育協会主催簿記能力検定試験（以下、「全経簿記」という。）に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【計算実務】 過去問題　問題演習、解説①	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第2回	【計算実務】 過去問題　問題演習、解説②	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第3回	【計算実務】 過去問題　問題演習、解説③	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第4回	【計算実務】 過去問題　問題演習、解説④ 項目別対策（手形割引計算）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔

第5回	【計算実務】 過去問題　問題演習、解説⑤ 項目別対策（商品売買の計算）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第6回	【計算実務】 過去問題　問題演習、解説⑥ 項目別対策（委託販売・委託買付の手数料計算、金銭の貸し付け）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第7回	【計算実務】 過去問題　問題演習、解説⑦ 項目別対策（仲立人の手数料計算）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第8回	【全経簿記】 過去問題　問題演習・解説①	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第9回	【全経簿記】 過去問題　問題演習・解説②	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第10回	【全経簿記】 過去問題　問題演習・解説③	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第11回	【全経簿記】 過去問題　問題演習・解説④	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第12回	【全経簿記】 過去問題　問題演習・解説⑤	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第13回	【全経簿記】 過去問題　問題演習・解説⑥	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第14回	【全経簿記】 過去問題　問題演習・解説⑦	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第15回	【全経簿記】 過去問題　問題演習・解説⑧	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔

準備学習等	日々の問題のやり直しを丁寧に行うことが何よりも大切。間違った問題は全て確認し、わからないことがある場合には科目教員に確認するようにすること。また、問題演習を通して苦手項目が明らかになった場合には、その項目を重点的に復習すること。

教科書 参考書等	【計算実務】 計算実務１・２級　公式テキスト　(共栄出版株式会社) 令和7年度版　計算実務能力検定試験　過去問題集１級 (公益社団法人　全国経理教育協会) 令和7年度版　計算実務能力検定試験　過去問題集２級 (公益社団法人　全国経理教育協会) 【全経簿記】 全経簿記能力検定試験公式テキスト　1級商業簿記・財務会計 (ネットスクール出版) 全経簿記能力検定試験公式問題集　1級商業簿記・財務会計（ネットスクール出版) 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集　1級　商業簿記・財務会計 (公益社団法人　全国経理教育協会) 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集　1級　原価計算・管理会計 (公益社団法人　全国経理教育協会)
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 経理実務演習は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

041.宅地建物取引士入門

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程） ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程） 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程） ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（３年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	宅地建物取引士入門	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	40時間
		単位数	2単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	不動産の取引に関連する代表的な法律(民法や宅地建物取引業法（以下、「宅建業法」という。）)の基礎を理解してもらうことを目的とする。民法では、意思表示、代理、売買、時効（取得時効）、対抗要件について学習する。宅建業法では、免許、宅地建物取引士、8種制限、媒介契約について学習する。その上で、本講義終了後の科目「宅地建物取引士Ｉ」に積極的に取り組めるようにする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【民法】意思表示	竹村　幸生
第2回	【民法】代理	竹村　幸生
第3回	【民法】売買	竹村　幸生
第4回	【民法】時効（取得時効）	竹村　幸生
第5回	【民法】対抗要件	竹村　幸生
第6回	【宅建業法】免許	竹村　幸生

第7回	【宅建業法】宅地建物取引士	竹村　幸生
第8回	【宅建業法】8種制限①	竹村　幸生
第9回	【宅建業法】8種制限②	竹村　幸生
第10回	【宅建業法】媒介契約	竹村　幸生

準備学習等	予習の必要はない。法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をし、復習をしっかり行い、次回の講義に備えること。
教科書 参考書等	入門講義　権利関係・宅建業法　テキスト（学校法人　大原学園） 入門講義　権利関係・宅建業法　トレーニング問題集（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士入門は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

学科	行政公務員学科(２年課程)・法律公務員学科(２年課程)・ 総合公務員学科(２年課程)・ＯＡ事務学科(１年課程)・ ＯＡ事務学科(２年課程)・ビジネス学科(２年課程)・ 経理事務学科(２年課程)・情報システム学科（１年課程）・ 情報システム学科(２年課程)・情報システム学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・ 税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	宅地建物取引士Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	宅地や建物の売買・賃貸等を取り扱う不動産業者が不正をしないよう規制する法律（宅地建物取引業法）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。不動産取引の種類に応じて必要となる法律が選別できること、宅地建物取引士資格試験に出題される宅地建物取引業法の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、宅建業法(免許－1)	竹村　幸生
第2回	宅建業法(免許－2)	竹村　幸生
第3回	宅建業法(営業保証金、宅地建物取引業保証協会)	竹村　幸生
第4回	宅建業法(宅地建物取引士)	竹村　幸生
第5回	宅建業法(業務を行う場所に関する規制、8種制限－1)	竹村　幸生
第6回	宅建業法(8種制限－2)	竹村　幸生

第7回	宅建業法(一般的業務規制、取引態様の明示、媒介契約)	竹村　幸生
第8回	宅建業法(重要事項の説明等、契約書面の交付)	竹村　幸生
第9回	宅建業法(報酬、監督・罰則)	竹村　幸生
第10回	宅建業法(住宅瑕疵担保履行法)	竹村　幸生

準備学習等	学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。
教科書 参考書等	基礎講義　宅建業法テキスト　(学校法人　大原学園) 宅建業法トレーニング問題集　(学校法人　大原学園)
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	行政公務員学科(２年課程)・法律公務員学科(２年課程)・ 総合公務員学科(２年課程)・ＯＡ事務学科(１年課程)・ ＯＡ事務学科(２年課程)・ビジネス学科(２年課程)・ 経理事務学科(２年課程)・情報システム学科（１年課程）・ 情報システム学科(２年課程)・情報システム学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・ 税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	宅地建物取引士II	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：40％ ミニテスト：40％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	売買契約や賃貸借契約等に関する法律、契約から発生する権利・義務に関する法律（民法、借地借家法等）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。特に不動産取引においては不利益を被る可能性の高い買主や借主の立場となり、その権利を守るための考え方ができるようになること、宅地建物取引士資格試験に出題される権利関係の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	権利関係(制限行為能力者、意思表示)	竹村　幸生
第2回	権利関係(代理、時効)	竹村　幸生
第3回	権利関係(対抗要件、共有)	竹村　幸生
第4回	権利関係(抵当権、債権の発生と消滅)	竹村　幸生
第5回	権利関係(債務不履行、危険負担、連帯債務と保証債務)	竹村　幸生
第6回	権利関係(売買、請負)	竹村　幸生

第7回	権利関係(賃貸借、使用貸借、委任、不法行為)	竹村　幸生
第8回	権利関係(相続)	竹村　幸生
第9回	権利関係(借地借家法)	竹村　幸生
第10回	権利関係(区分所有法、不動産登記法)	竹村　幸生

準備学習等	学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。
教科書 参考書等	基礎講義　権利関係テキスト　(学校法人　大原学園) 権利関係トレーニング問題集　(学校法人　大原学園)
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	行政公務員学科(２年課程)・法律公務員学科(２年課程)・ 総合公務員学科(２年課程)・ＯＡ事務学科(１年課程)・ ＯＡ事務学科(２年課程)・ビジネス学科(２年課程)・ 経理事務学科(２年課程)・情報システム学科（１年課程）・ 情報システム学科(２年課程)・情報システム学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・ 税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	宅地建物取引士III	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	土地の利用方法や土地の区域により建築できる建物の種類に関する法律（都市計画法、建築基準法等）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。実際に不動産取引の買主または借主の立場となった際に不利益を被ることのないよう法律の内容を理解すること、宅地建物取引士資格試験に出題される法令上の制限の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	法令上の制限(都市計画法－1)	竹村　幸生
第2回	法令上の制限(都市計画法－2)	竹村　幸生
第3回	法令上の制限(建築基準法－1)	竹村　幸生
第4回	法令上の制限(建築基準法－2)	竹村　幸生
第5回	法令上の制限(国土利用計画法、宅地造成等規制法)	竹村　幸生
第6回	法令上の制限(農地法、土地区画整理法)	竹村　幸生

第7回	法令上の制限(所得税、登録免許税、印紙税)	竹村　幸生
第8回	法令上の制限(不動産取得税、固定資産税)	竹村　幸生
第9回	法令上の制限(不動産鑑定評価、地価公示法)	竹村　幸生
第10回	法令上の制限(景品表示法、住宅金融支援機構法)	竹村　幸生

準備学習等	学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。
教科書 参考書等	基礎講義　法令上の制限テキスト　(学校法人　大原学園) 法令上の制限トレーニング問題集　(学校法人　大原学園)
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士Ⅲは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

045.宅地建物取引士IV

学科	行政公務員学科(２年課程)・法律公務員学科(２年課程)・ 総合公務員学科(２年課程)・ＯＡ事務学科(１年課程)・ ＯＡ事務学科(２年課程)・ビジネス学科(２年課程)・ 経理事務学科(２年課程)・情報システム学科（１年課程）・ 情報システム学科(２年課程)・情報システム学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・ 税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	宅地建物取引士IV	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	5回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 ： 70 % 授業態度 ： 30 % ： % ： % ： %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	宅地建物取引士Ⅰ～Ⅲのまとめとして宅地建物取引業法、権利関係、法令上の制限の各種法律の相関関係を把握し、体系的な理解と知識の定着を図ることを目的とする。過去に宅地建物取引士資格試験に出題された問題を解答することができ、宅地建物取引士資格試験に合格できる知識を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	総まとめ問題①（宅地建物取引業法）	竹村　幸生
第2回	総まとめ問題②（権利関係）	竹村　幸生
第3回	総まとめ問題③（法令上の制限）	竹村　幸生
第4回	全国統一公開模擬試験（演習と解説）	竹村　幸生
第5回	直前模擬試験（演習と解説）	竹村　幸生

準備学習等	宅建物取引士Ⅰ～Ⅲで履修した内容を網羅的に確認しますので、事前に各種法律の内容をテキストで復習したうえで講義に臨んでください。

教科書 参考書等	基礎講義　宅建業法テキスト　(学校法人　大原学園) 基礎講義　権利関係テキスト　(学校法人　大原学園) 基礎講義　法令上の制限テキスト　(学校法人　大原学園)
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士Ⅳは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	OA事務学科（１年課程）・情報システム学科（１年課程） 経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・情報システム学科（２年課程） 税理士会計士学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	賃貸不動産経営管理士	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	菊地　裕俊	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	賃貸不動産経営管理士とは、主に賃貸アパートやマンションなど賃貸住宅の管理に関する知識・技能・倫理観を持った専門家である。賃貸不動産の管理業務にかかわる幅広い分野を学習するとともに、日常生活に大きく関わる住まいの知識を得ることを目的とし、賃貸不動産経営管理士試験に合格することを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 賃貸管理総論	菊地　裕俊
第2回	賃貸住宅管理業者登録制度	菊地　裕俊
第3回	賃貸不動産経営管理士の役割	菊地　裕俊
第4回	管理業務の受託方式	菊地　裕俊
第5回	借主の募集（管理業者の役割）	菊地　裕俊
第6回	賃貸借契約①	菊地　裕俊

第7回	賃貸借契約②	菊地　裕俊
第8回	建物管理の実務と賃貸借契約の管理	菊地　裕俊
第9回	建物・設備の知識	菊地　裕俊
第10回	賃貸業への支援業務	菊地　裕俊
第11回	過去問題演習および解説①（賃貸管理総論）	菊地　裕俊
第12回	過去問題演習および解説②（賃貸住宅管理業者登録制度）	菊地　裕俊
第13回	過去問題演習および解説③（賃貸不動産経営管理士の役割）	菊地　裕俊
第14回	過去問題演習および解説④（管理業務の受託）	菊地　裕俊
第15回	過去問題演習および解説⑤（賃貸借契約①）	菊地　裕俊
第16回	過去問題演習および解説⑥（賃貸借契約②）	菊地　裕俊
第17回	過去問題演習および解説⑦（建物管理の実務と賃貸借契約の管理）	菊地　裕俊
第18回	過去問題演習および解説⑧（建物・設備の知識）	菊地　裕俊
第19回	過去問題演習および解説⑨（賃貸業への支援業務）	菊地　裕俊
第20回	賃貸不動産経営管理士総論	菊地　裕俊

準備学習等	予習の必要はない。日々の復習をしっかり行うこと。
教科書 参考書等	賃貸不動産管理の知識と実務　賃貸不動産経営管理士公式テキスト（大成出版） みんなが欲しかった！賃貸不動産経営管理士の教科書（TAC出版） みんなが欲しかった！賃貸不動産経営管理士の過去問題集（TAC出版） TAC直前予想賃貸不動産経営管理士（TAC出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。賃貸不動産経営管理士は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	文書処理技能	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	40時間
		単位数	2単位
		授業回数	14回
科目教員	菊地 裕美	成績評価方法	実技試験 : 50 %
			知識試験 : 30 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち実務経験教員	菊地　裕美		: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Microsoft Wordの操作方法		
実務経験教員の実務経験内容	専門学校講師（外国人留学生を含む）		
授業目的 到達目標	PCを用いて基礎的な技能を習得し、簡単なビジネス文書を作成できるようにする。また、タイピングソフトを使い、入力速度の向上を図り、ブラインドタッチができるようにする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス	菊地　裕美
第2回	キーボードの打ち分け方法Wordの画面構成 フォルダ管理 タイピング練習	菊地　裕美
第3回	3級問題集練習問題、解説1	菊地　裕美
第4回	3級問題集練習問題、解説2	菊地　裕美
第5回	3級問題集練習問題、解説3	菊地　裕美

第6回	3級問題集模擬問題　解説1・2	菊地　裕美
第7回	3級問題集模擬問題　解説3・4	菊地　裕美
第8回	3級問題集模擬問題　解説5・6	菊地　裕美
第9回	3級問題集模擬問題　解説7	菊地　裕美
第10回	3級問題集模擬試験、解説	菊地　裕美
第11回	サンプル問題　採点	菊地　裕美
第12回	直前模擬問題、解説①	菊地　裕美
第13回	直前模擬問題、解説②	菊地　裕美
第14回	直前模擬問題、解説③	菊地　裕美

準備学習等	Word文書処理認定試験3級を取得できるようにするため、検定試験と類似の問題を準備し、多くの問題に携わることで授業内容の理解を深める。
教科書 参考書等	サーティファイ　文書処理技能認定試験　Word3級問題集（株式会社サーティファイ）
備考	PCの環境を整え、スムーズに授業が行えるようにする。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。文書処理技能は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。 ガイダンスは1時間の講義となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	プレゼンテーション技能	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	40時間
		単位数	2単位
科目教員	菊地　裕美	授業回数	14回
科目教員のうち実務経験教員	菊地　裕美	成績評価方法	実技試験：50％ 知識試験：30％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Microsoft PowerPointの操作方法		
実務経験教員の実務経験内容	専門学校講師（外国人留学生含む）		
授業目的 到達目標	PCを用いて基礎的な技能を習得し、会議や講演などでプレゼンテーションを行うときに必要な資料作成ができるようにする。また、タイピングソフトを使い、入力速度の向上を図り、ブラインドタッチができるようにする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス	菊地　裕美
第2回	プレゼンテーション概論、 フォルダ管理、 タイピング練習	菊地　裕美
第3回	PPT画面構成、 プレゼンテーションの構成	菊地　裕美
第4回	初級問題集 練習問題、解説1	菊地　裕美
第5回	初級問題集 練習問題、解説2	菊地　裕美

第6回	初級問題集 練習問題、解説3	菊地　裕美
第7回	初級問題集 模擬問題、解説1	菊地　裕美
第8回	初級問題集 模擬問題、解説2	菊地　裕美
第9回	初級問題集 模擬問題、解説3	菊地　裕美
第10回	模擬試験問題、解説 採点の仕方レクチャー	菊地　裕美
第11回	サンプル問題、解説	菊地　裕美
第12回	直前模擬問題、解説①	菊地　裕美
第13回	直前模擬問題、解説②	菊地　裕美
第14回	直前模擬問題、解説③	菊地　裕美

準備学習等	画面構成のプリントを準備し、「タブ」や「リボン」などの単語を覚えるのに役立つようにする。
教科書 参考書等	クイックマスター（株式会社ウイネット） プレゼンテーション問題集（株式会社サーティファイ）
備考	PCの環境を整え、スムーズに授業が行えるようにする。 ガイダンスは1時間の講義となる。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。プレゼンテーション技能は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	マーケティング基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	4単位
		授業回数	20回
科目教員	中島　京哉	成績評価方法	筆記試験　：　50　％
			ミニテスト　：　30　％
			授業態度　：　20　％
科目教員のうち実務経験教員			：　％
			：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	将来、販売士・営業職を希望する学生を対象に、小売店舗を運営するための基本的な仕組み、インターネットを活用したマーケティング戦略を学ぶことを目的とし、サーティファイ主催ネットマーケティング検定に合格できる能力を身につけることを目標としています。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス インターネットマーケティングを行うにあたって	中島　京哉
第2回	インターネット技術概論	中島　京哉
第3回	インターネットマーケティングの個別手法	中島　京哉
第4回	インターネットリサーチ	中島　京哉
第5回	プロモーション	中島　京哉
第6回	インターネット広告	中島　京哉
第7回	インターネットを利用した販売	中島　京哉

第8回	効果測定	中島　京哉
第9回	外注管理	中島　京哉
第10回	各種ポリシー	中島　京哉
第11回	関連法規①	中島　京哉
第12回	関連法規②	中島　京哉
第13回	インターネットを利用した販とコンプライアンス、CSR	中島　京哉
第14回	事例問題対策①	中島　京哉
第15回	事例問題対策②	中島　京哉
第16回	過去問題演習・解説①	中島　京哉
第17回	過去問題演習・解説②	中島　京哉
第18回	過去問題演習・解説③	中島　京哉
第19回	過去問題演習・解説④	中島　京哉
第20回	過去問題演習・解説⑤	中島　京哉

準備学習等	毎回の授業の始めに確認テストを実施し、前回の授業範囲が理解できているか確認を行う。 確認テストを解答できるよう、毎日の授業の復習を怠らないようにすること。
教科書 参考書等	ネットマーケティング検定公式テキスト　インターネットマーケティング　基礎編 （株式会社インプレス） ネットマーケティング検定　過去問題集　（株式会社ウィネット）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。マーケティング基礎は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	リテールマーケティング基礎Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一、中島　京哉、山下　健二	授業回数	20回
		成績評価方法	筆記試験　：　70　％
			授業態度　：　30　％
			：　％
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二		：　％
			：　％

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。
授業目的 到達目標	流通・小売業で必要な基礎知識・技能を理解し、販売担当として必要な知識・技術を学習することを目的とする。授業内容の理解を到達目標とする。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型 流通における小売業の基本	工藤　英一 中島　京哉
第2回	小売業の類型 組織形態別小売業の基本①	工藤　英一 中島　京哉
第3回	小売業の類型 組織形態別小売業の基本②	工藤　英一 中島　京哉
第4回	小売業の類型 店舗形態別小売業の基本的役割	工藤　英一 中島　京哉
第5回	マーチャンダイジング 商品の基本	山下　健二

第6回	マーチャンダイジング マーチャンダイジングの基本	山下　健二
第7回	マーチャンダイジング 商品計画の基本	山下　健二
第8回	マーチャンダイジング 販売計画および仕入計画などの基本	山下　健二
第9回	ストアオペレーション ストアオペレーションの基本①	工藤　英一 中島　京哉
第10回	ストアオペレーション ストアオペレーションの基本②	工藤　英一 中島　京哉
第11回	ストアオペレーション ストアオペレーションの基本③	工藤　英一 中島　京哉
第12回	ストアオペレーション ストアオペレーションの基本④	工藤　英一 中島　京哉
第13回	マーケティング 小売業のマーケティングの基本	工藤　英一 中島　京哉
第14回	マーケティング 顧客満足経営の基本	工藤　英一 中島　京哉
第15回	マーケティング 商圏の設定と出店の基本①	工藤　英一 中島　京哉
第16回	マーケティング 商圏の設定と出店の基本②	工藤　英一 中島　京哉
第17回	販売・経営管理 販売員の役割の基本	工藤　英一 中島　京哉
第18回	販売・経営管理 販売員の法令知識①	工藤　英一 中島　京哉
第19回	販売・経営管理 販売員の法令知識②	工藤　英一 中島　京哉
第20回	販売・経営管理 小売業の計数管理	工藤　英一 中島　京哉
準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施する。復習を計画的に行うこと。	

教科書 参考書等	販売士ハンドブック３級　上巻・下巻（カリアック） 販売士３級模擬問題集　（カリアック）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 リテールマーケティング基礎Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	リテールマーケティング基礎Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一、中島　京哉、山下　健二	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二	成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	科目「リテールマーケティング基礎Ⅰ」を前提に、流通・小売業で必要な知識を深め、販売担当として必要な知識・技術を学習することを目的とする。日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定3級取得を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型 店舗形態別小売業の基本的役割①	工藤　英一 中島　京哉
第2回	小売業の類型 店舗形態別小売業の基本的役割②	工藤　英一 中島　京哉
第3回	小売業の類型 商業集積の基本	工藤　英一 中島　京哉
第4回	小売業の類型 総合問題演習	工藤　英一 中島　京哉
第5回	マーチャンダイジング 価格設定の基本	山下　健二

第6回	マーチャンダイジング 在庫管理の基本	山下　健二
第7回	マーチャンダイジング 販売管理の基本	山下　健二
第8回	マーチャンダイジング 総合問題演習	山下　健二
第9回	ストアオペレーション ディスプレイの基本①	工藤　英一 中島　京哉
第10回	ストアオペレーション ディスプレイの基本②	工藤　英一 中島　京哉
第11回	ストアオペレーション ディスプレイの基本③	工藤　英一 中島　京哉
第12回	ストアオペレーション 総合問題演習	工藤　英一 中島　京哉
第13回	マーケティング リージョナルプロモーション（売場起点の狭域型購買促進）の基本①	工藤　英一 中島　京哉
第14回	マーケティング リージョナルプロモーション（売場起点の狭域型購買促進）の基本②	工藤　英一 中島　京哉
第15回	マーケティング 顧客志向型売場づくりの基本①	工藤　英一 中島　京哉
第16回	マーケティング 顧客志向型売場づくりの基本②	工藤　英一 中島　京哉
第17回	マーケティング 総合問題演習	工藤　英一 中島　京哉
第18回	販売・経営管理 小売業の計数管理	工藤　英一 中島　京哉
第19回	販売・経営管理 店舗管理の基本	工藤　英一 中島　京哉
第20回	販売・経営管理 総合問題演習	工藤　英一 中島　京哉
準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施する。復習を計画的に行うこと。	

教科書 参考書等	販売士ハンドブック３級　上巻・下巻（カリアック） 販売士３級模擬問題集　（カリアック）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 リテールマーケティング基礎Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	リテールマーケティング基礎演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一、中島　京哉、山下　健二	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二	成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	科目「リテールマーケティング基礎Ⅰ」及び「リテールマーケティング基礎Ⅱ」を前提とし、問題演習を通じて学習範囲を振り返り、更なる知識の定着を図ることを目的とする。また、日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定3級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型(問題演習) 流通における小売業の基本	工藤　英一 中島　京哉
第2回	小売業の類型(問題演習) 組織形態別小売業の基本	工藤　英一 中島　京哉
第3回	小売業の類型(問題演習) 店舗形態別小売業の基本的役割	工藤　英一 中島　京哉
第4回	小売業の類型(問題演習) 商業集積の基本	工藤　英一 中島　京哉

第5回	マーチャンダイジング(問題演習) 商品の基本	山下　健二
第6回	マーチャンダイジング(問題演習) マーチャンダイジングの基本、商品計画の基本	山下　健二
第7回	マーチャンダイジング(問題演習) 販売計画および仕入計画などの基本	山下　健二
第8回	マーチャンダイジング(問題演習) 価格設定の基本	山下　健二
第9回	マーチャンダイジング(問題演習) 販売管理の基本	山下　健二
第10回	ストアオペレーション(問題演習) ストアオペレーションの基本	工藤　英一 中島　京哉
第11回	ストアオペレーション(問題演習) ディスプレイの基本①	工藤　英一 中島　京哉
第12回	ストアオペレーション(問題演習) ディスプレイの基本②	工藤　英一 中島　京哉
第13回	ストアオペレーション(問題演習) ディスプレイの基本③	工藤　英一 中島　京哉
第14回	マーケティング(問題演習) 小売業のマーケティングの基本、顧客満足経営の基本	工藤　英一 中島　京哉
第15回	マーケティング(問題演習) 商圏の設定と出店の基本	工藤　英一 中島　京哉
第16回	マーケティング(問題演習) リージョナルプロモーション（売場起点の狭域型購買促進）の基本	工藤　英一 中島　京哉
第17回	マーケティング(問題演習) 顧客志向型売場づくりの基本	工藤　英一 中島　京哉

第18回	直前模擬試験問題①演習・解説	工藤　英一 中島　京哉
第19回	直前模擬試験問題②演習・解説	工藤　英一 中島　京哉
第20回	直前模擬試験問題③演習・解説	工藤　英一 中島　京哉

準備学習等	全範囲の理解度を再確認する。復習を計画的に行うこと。
教科書 参考書等	販売士ハンドブック３級　上巻・下巻（カリアック） 販売士３級模擬問題集　（カリアック）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 リテールマーケティング基礎演習は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	リテールマーケティング応用Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
		授業回数	20回
科目教員	工藤　英一、中島　京哉、山下　健二	成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二		
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	流通・小売業における専門知識を身につけることを目的とし、販売員としての接客知識も学習する。授業内容の理解を到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型 流通と小売業の役割①	工藤　英一 中島　京哉
第2回	小売業の類型 流通と小売業の役割②	工藤　英一 中島　京哉
第3回	小売業の類型 組織別小売業の運営特性①	工藤　英一 中島　京哉
第4回	小売業の類型 組織別小売業の運営特性②	工藤　英一 中島　京哉
第5回	マーチャンダイジング マーチャンダイジングの戦略的展開	山下　健二
第6回	マーチャンダイジング 商品計画の戦略的立案	山下　健二

第7回	マーチャンダイジング 販売計画の戦略的展開	山下　健二
第8回	マーチャンダイジング 仕入計画の策定と仕入活動の戦略的展開	山下　健二
第9回	ストアオペレーション 戦略的ストアオペレーションの展開視点	山下　健二
第10回	ストアオペレーション 店舗運営サイクルの実践と管理①	工藤　英一 中島　京哉
第11回	ストアオペレーション 店舗運営サイクルの実践と管理②	工藤　英一 中島　京哉
第12回	ストアオペレーション 店舗運営サイクルの実践と管理③	工藤　英一 中島　京哉
第13回	マーケティング リテールマーケティング戦略の考え方①	工藤　英一 中島　京哉
第14回	マーケティング リテールマーケティング戦略の考え方②	工藤　英一 中島　京哉
第15回	マーケティング 顧客戦略の展開方法	工藤　英一 中島　京哉
第16回	マーケティング リージョナルプロモーションの企画と実践	工藤　英一 中島　京哉
第17回	販売・経営管理 販売管理者の法令知識①	工藤　英一 中島　京哉
第18回	販売・経営管理 販売管理者の法令知識②	工藤　英一 中島　京哉
第19回	販売・経営管理 販売管理者の法令知識③	工藤　英一 中島　京哉
第20回	販売・経営管理 販売管理者の法令知識④	工藤　英一 中島　京哉
準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施する。復習を計画的に行うこと。	
教科書 参考書等	販売士２級ハンドブック（上巻・下巻）（カリアック） 販売士２級演習問題集（カリアック）	

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 リテールマーケティング応用Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	リテールマーケティング応用Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
		授業回数	20回
科目教員	工藤　英一、中島　京哉、山下　健二	成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二		
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	科目「リテールマーケティング応用Ⅰ」を前提に、流通・小売業における専門知識を深めることを目的とし、販売員としての接客のみならず、売場や店舗管理者としての知識も学習する。日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定2級取得を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型 店舗形態別小売業の運営特性①	工藤　英一 中島　京哉
第2回	小売業の類型 店舗形態別小売業の運営特性②	工藤　英一 中島　京哉
第3回	小売業の類型 中小小売業の課題と商業集積の方向性①	工藤　英一 中島　京哉
第4回	小売業の類型 中小小売業の課題と商業集積の方向性②	工藤　英一 中島　京哉
第5回	マーチャンダイジング 販売政策の戦略的展開①	山下　健二

第6回	マーチャンダイジング 販売政策の戦略的展開②	山下　健二
第7回	マーチャンダイジング 商品管理政策の戦略的展開	山下　健二
第8回	マーチャンダイジング 物流政策の戦略的展開	山下　健二
第9回	ストアオペレーション 戦略的ディスプレイの実践方法①	工藤　英一 中島　京哉
第10回	ストアオペレーション 戦略的ディスプレイの実践方法②	工藤　英一 中島　京哉
第11回	ストアオペレーション LSPの役割と仕組み	工藤　英一 中島　京哉
第12回	ストアオペレーション 人的販売の実践と管理	工藤　英一 中島　京哉
第13回	マーケティング リージョナルプロモーションの企画と実践	工藤　英一 中島　京哉
第14回	マーケティング 商圏分析ならびに出店戦略の立案①	工藤　英一 中島　京哉
第15回	マーケティング 商圏分析ならびに出店戦略の立案②	工藤　英一 中島　京哉
第16回	マーケティング 店舗（業態）開発の手順と実践	工藤　英一 中島　京哉
第17回	販売・経営管理 販売事務管理に求められる経営分析	工藤　英一 中島　京哉
第18回	販売・経営管理 小売業の組織体制と従業員管理①	工藤　英一 中島　京哉
第19回	販売・経営管理 小売業の組織体制と従業員管理②	工藤　英一 中島　京哉
第20回	販売・経営管理 店舗施設などの維持管理	工藤　英一 中島　京哉
準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施する。復習を計画的に行うこと。	

教科書 参考書等	販売士２級ハンドブック（上巻・下巻）（カリアック） 販売士２級演習問題集（カリアック）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 リテールマーケティング応用 II は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	リテールマーケティング応用演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一、中島　京哉、山下　健二	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二	成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。
授業目的 到達目標	科目「リテールマーケティング応用Ⅰ」及び「リテールマーケティング応用Ⅱ」を前提とし、問題演習を通じて学習範囲を振り返り、更なる知識の定着を図ることを目的とする。また、日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定２級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型（問題演習） 流通と小売業の役割	工藤　英一 中島　京哉
第2回	小売業の類型（問題演習） 組織別小売業の運営特性	工藤　英一 中島　京哉
第3回	小売業の類型（問題演習） 店舗形態別小売業の運営特性	工藤　英一 中島　京哉
第4回	小売業の類型（問題演習） 中小小売業の課題と商業集積の方向性	工藤　英一 中島　京哉
第5回	マーチャンダイジング（問題演習） マーチャンダイジングの戦略的展開、商品計画の戦略的立案	山下　健二

第6回	マーチャンダイジング（問題演習） 販売計画の戦略的展開、仕入計画の策定と仕入活動の戦略的展開	山下　健二
第7回	マーチャンダイジング（問題演習） 販売政策の戦略的展開	山下　健二
第8回	マーチャンダイジング（問題演習） 商品管理政策の戦略的展開、物流政策の戦略的展開	山下　健二
第9回	ストアオペレーション（問題演習） 戦略的ストアオペレーションの展開視点、店舗運営サイクルの実践と管理	工藤　英一 中島　京哉
第10回	ストアオペレーション（問題演習） 戦略的ディスプレイの実践方法	工藤　英一 中島　京哉
第11回	ストアオペレーション（問題演習） 戦略的ディスプレイの実践方法、LSPの役割と仕組み	工藤　英一 中島　京哉
第12回	ストアオペレーション（問題演習） 人的販売の実践と管理	工藤　英一 中島　京哉
第13回	マーケティング（問題演習） リテールマーケティング戦略の考え方	工藤　英一 中島　京哉
第14回	マーケティング（問題演習） リテールマーケティング戦略の実施方法、顧客戦略の展開方法	工藤　英一 中島　京哉
第15回	マーケティング（問題演習） リージョナルプロモーションの企画と実践、 商圏分析ならびに出店戦略の立案	工藤　英一 中島　京哉
第16回	マーケティング（問題演習） 店舗（業態）開発の手順と実践	工藤　英一 中島　京哉
第17回	販売・経営管理（問題演習） 販売管理者の法令知識	工藤　英一 中島　京哉
第18回	販売・経営管理（問題演習） 販売事務管理に求められる経営分析	工藤　英一 中島　京哉
第19回	販売・経営管理（問題演習） 小売業の組織体制と従業員管理	工藤　英一 中島　京哉
第20回	販売・経営管理（問題演習） 店舗施設などの維持管理	工藤　英一 中島　京哉
準備学習等	全範囲の理解度を再確認する。復習を計画的に行うこと。	

教科書 参考書等	販売士２級ハンドブック（上巻・下巻）（カリアック） 販売士２級演習問題集（カリアック）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 リテールマーケティング応用演習は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	税務会計	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	4単位
科目教員	宍戸　雄翔	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	消費税・法人税の基本的な税務処理及び源泉徴収や確定申告の書類作成ができることを目的とする。また、消費税・法人税の計算及び理論体系を学ぶことで全国経理教育協会主催消費税法能力検定試験2級及び、全国経理教育協会主催法人税法能力検定試験3級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【消費税】 消費税の概要、課税の対象、非課税	宍戸　雄翔
第2回	【消費税】 輸出免税等	宍戸　雄翔
第3回	【消費税】 納税義務者、納税地、納税期間	宍戸　雄翔
第4回	【消費税】 課税標準及び税率	宍戸　雄翔

第5回	【消費税】 仕入税額控除	宍戸　雄翔
第6回	【消費税】 課税標準額に対する消費税額の調整	宍戸　雄翔
第7回	【消費税】 申告、納付、還付	宍戸　雄翔
第8回	【消費税】 過去試験問題　実施・解説①	宍戸　雄翔
第9回	【消費税】 過去試験問題　実施・解説②	宍戸　雄翔
第10回	【消費税】 過去試験問題　実施・解説③	宍戸　雄翔
第11回	【消費税】 過去試験問題　実施・解説④	宍戸　雄翔
第12回	【消費税】 過去試験問題　実施・解説⑤	宍戸　雄翔
第13回	【消費税】 過去試験問題　実施・解説⑥	宍戸　雄翔
第14回	【消費税】 過去試験問題　実施・解説⑦	宍戸　雄翔
第15回	【消費税】 過去試験問題　実施・解説⑧	宍戸　雄翔
第16回	【法人税】 法人税の概要、所得の金額の計算方法	宍戸　雄翔
第17回	【法人税】 租税公課の概要、減価償却（概要、減価償却資産の範囲・償却方法）	宍戸　雄翔
第18回	【法人税】 繰延資産、貸倒引当金（概要、繰り入れ限度額の計算式、個別評価金銭債権、一括評価金銭債権）	宍戸　雄翔
第19回	【法人税】 貸倒引当金（申告調整額の計算および処理、問題集解説）、同族会社	宍戸　雄翔
第20回	【法人税】 役員に対する給与等、税額の計算（別表四および別表一のまとめ）	宍戸　雄翔

第21回	【法人税】 寄附金、交際費等	宍戸　雄翔
第22回	【法人税】 資産の評価、申告手続	宍戸　雄翔
第23回	【法人税】 過去試験問題　実施・解説①	宍戸　雄翔
第24回	【法人税】 過去試験問題　実施・解説②	宍戸　雄翔
第25回	【法人税】 過去試験問題　実施・解説③	宍戸　雄翔
第26回	【法人税】 過去試験問題　実施・解説④	宍戸　雄翔
第27回	【法人税】 過去試験問題　実施・解説⑤	宍戸　雄翔
第28回	【法人税】 過去試験問題　実施・解説⑥	宍戸　雄翔
第29回	【法人税】 過去試験問題　実施・解説⑦	宍戸　雄翔
第30回	【法人税】 過去試験問題　実施・解説⑧	宍戸　雄翔

準備学習等	税務書類は全ての計算ができて完成する。日々の授業の復習を怠らないようにすること。また、各回の内容の理解が不十分な場合には、科目教員に質問・相談を行い次回の授業に臨むこと。
教科書 参考書等	【消費税】 全経消費税法能力検定試験公式テキスト3級/2級（ネットスクール） 令和7年度版　消費税法能力検定試験過去問題集　2級 （公益社団法人　全国経理教育協会） 【法人税】 全経法人税法能力検定試験公式テキスト3級/2級（ネットスクール） 令和7年度版　法人税法能力検定試験　過去問題集　3級 （公益社団法人　全国経理教育協会）

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。税務会計は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	秘書基礎Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
		授業回数	10回
科目教員	千葉　菜愛	成績評価方法	筆記試験 : 50 %
			ミニテスト : 30 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	秘書実務、一般知識の内容を理解し、組織人としてマナー・技能の基本を習得していきます。言葉遣いなどを正しく使うことができるようになり、実務技能検定協会主催秘書検定2級の実務、一般知識の内容を理解することで実務技能検定協会主催秘書検定準1級の取得に繋げていきます。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス：検定試験の概要 一般知識：カタカナ語 マナー接遇：尊敬語・謙譲語	千葉　菜愛
第2回	一般知識：カタカナ語 マナー接遇：上司に対する言葉遣い	千葉　菜愛
第3回	一般知識：カタカナ語 マナー接遇：席次のルール、弔事のマナー	千葉　菜愛
第4回	一般知識：カタカナ語 マナー接遇：贈り物のマナー、贈答品の上書き、贈答品のマナー	千葉　菜愛
第5回	一般知識：経営に関する知識 技　　能：郵便の知識	千葉　菜愛

第6回	一般知識：経営に関する知識 技　　能：文書の重要漢字、文書作成の知識、社内文書	千葉　菜愛
第7回	一般知識：経営に関する知識 技　　能：文書作成の知識、社外文書宛名の書き方	千葉　菜愛
第8回	一般知識：法律に関する知識 技　　能：慶事の種類、時候の言葉	千葉　菜愛
第9回	一般知識：法律に関する知識 技　　能：秘文書の扱い方、ファイリングの方法	千葉　菜愛
第10回	中間テスト実施および解説 一般知識、マナー接遇、技能	千葉　菜愛

準備学習等	日々の復習を欠かさずに行い、知識の定着を図れるよう取り組んでください。特に一般知識の用語については内容を記述で解答できるように学習してください。
教科書 参考書等	出る順問題集　秘書検定準1級に面白いほど受かる本（株式会社KADOKAWA） 秘書検定準1級集中講義（早稲田教育出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。秘書基礎Ⅰは上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	秘書基礎Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
		授業回数	10回
科目教員	千葉　菜愛	成績評価方法	筆記試験 : 50 %
			ミニテスト : 30 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「秘書基礎Ⅰ」に引き続き、マナー・技能を習得します。組織人として必要な基本的な処理ができるようになります。実務技能検定協会主催秘書検定2級の実務、一般知識の内容を理解することで実務技能検定協会主催秘書検定準1級の取得に繋げていきます。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	一般知識：税務に関する知識 技　　能：会議の準備、会議の知識	千葉　菜愛
第2回	一般知識：会社に関する知識 技　　能：会議用語、会議と会議の形式	千葉　菜愛
第3回	一般知識：会社の関する知識 技　　能：上司のスケジュール管理	千葉　菜愛
第4回	一般知識：財務に関する知識 技　　能：名刺の整理、職場のレイアウト	千葉　菜愛
第5回	一般知識：財務に関する知識 技　　能：グラフの書き方（折れ線・円グラフ）	千葉　菜愛

第6回	一般知識：小切手と手形の知識 技　　能：グラフの書き方（帯・棒・複合グラフ）	千葉　菜愛
第7回	一般知識：小切手と手形の知識 技　　能：電報の知識	千葉　菜愛
第8回	一般知識：労務に関する知識 技　　能：新聞出版に関する用語、知識	千葉　菜愛
第9回	一般知識：その他の知識 技　　能：自分側・相手側の言い方、物の数え方	千葉　菜愛
第10回	総復習 まとめテスト実施および解説 一般知識、マナー接遇、技能	千葉　菜愛

準備学習等	日々の復習を欠かさずに行い、知識の定着を図れるよう取り組んでください。 特に一般知識の用語については内容を記述で解答できるように学習してください。
教科書 参考書等	出る順問題集　秘書検定準1級に面白いほど受かる本（株式会社KADOKAWA） 秘書検定準1級集中講義（早稲田教育出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。秘書基礎Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	ビジネス会計Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木　秀俊、工藤　英一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 ： 70 ％ 授業態度 ： 30 ％ ： ％ ： ％ ： ％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	基本財務諸表としての貸借対照表、損益計算書およびキャッシュ・フロー計算書に記載されている項目と計算構造について学びます。さらに、企業が成長しているか、債務等の支払い能力など、財務諸表分析を学習する。会計の用語、財務諸表の構造・読み方・分析等、財務諸表を理解するための基礎的な力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ディスクロージャー①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第2回	ディスクロージャー②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第3回	ディスクロージャー③	鈴木　秀俊 工藤　英一
第4回	財務諸表と計算書類①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第5回	財務諸表と計算書類②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第6回	財務諸表と計算書類③	鈴木　秀俊 工藤　英一

第7回	財務諸表項目の要点①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第8回	財務諸表項目の要点②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第9回	財務諸表項目の要点③	鈴木　秀俊 工藤　英一
第10回	財務諸表項目の要点④	鈴木　秀俊 工藤　英一
第11回	財務諸表の作成原理①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第12回	財務諸表の作成原理②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第13回	財務諸表分析①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第14回	財務諸表分析②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第15回	財務諸表分析③	鈴木　秀俊 工藤　英一
第16回	企業価値分析①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第17回	企業価値分析②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第18回	企業価値分析③	鈴木　秀俊 工藤　英一
第19回	総合問題演習①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第20回	総合問題演習②	鈴木　秀俊 工藤　英一

準備学習等	予習の必要はない。計画的に復習を行うこと。
教科書 参考書等	ビジネス会計検定試験公式テキスト2級　（中央経済社）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 ビジネス会計Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	ビジネス会計Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木　秀俊、工藤　英一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 ： 70 ％ 授業態度 ： 30 ％ ： ％ ： ％ ： ％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「ビジネス会計Ⅰ」を前提に、会計情報に関する総合的な知識として、投資関連の各種ディスクロージャーや財務諸表と計算書類の総合的な理解を深める。また、概念フレームワーク、会計基準、内部統制やマネジメントにおける事業評価などにも活用できる企業価値分析の基本的な考え方や分析方法についても学習する。企業の成長性や課題、経営方針・戦略などを理解し、財務諸表を含む会計情報を総合的かつ詳細に分析し企業評価できる力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	企業会計	鈴木　秀俊 工藤　英一
第2回	財務諸表①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第3回	財務諸表②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第4回	貸借対照表①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第5回	貸借対照表②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第6回	損益計算書①	鈴木　秀俊 工藤　英一

第7回	損益計算書②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第8回	損益計算書③	鈴木　秀俊 工藤　英一
第9回	損益計算書④	鈴木　秀俊 工藤　英一
第10回	連結包括利益計算書	鈴木　秀俊 工藤　英一
第11回	株主資本等変動計算書	鈴木　秀俊 工藤　英一
第12回	連結キャッシュ・フロー計算書①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第13回	連結キャッシュ・フロー計算書②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第14回	連結キャッシュ・フロー計算書③	鈴木　秀俊 工藤　英一
第15回	附属明細表と注記	鈴木　秀俊 工藤　英一
第16回	財務諸表分析①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第17回	財務諸表分析②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第18回	財務諸表分析③	鈴木　秀俊 工藤　英一
第19回	総合問題演習①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第20回	総合問題演習②	鈴木　秀俊 工藤　英一

準備学習等	予習の必要はない。計画的に復習を行うこと。
教科書 参考書等	ビジネス会計検定試験公式テキスト1級　（中央経済社）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 ビジネス会計Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程） OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	1学年

科目名	プログラミング基礎Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	プログラミング言語の言語仕様を理解し、簡単なプログラムを作成することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	プログラミング言語の概要	鈴木裕治 河野賢一
第2回	プログラミング言語の仕様① データ型・配列	鈴木裕治 河野賢一
第3回	プログラミング言語の仕様② 制御構造	鈴木裕治 河野賢一
第4回	オブジェクト指向① クラス・オブジェクト	鈴木裕治 河野賢一
第5回	オブジェクト指向② オーバーロード・オーバーライド	鈴木裕治 河野賢一
第6回	オブジェクト指向③ アクセス制御・変数のスコープ	鈴木裕治 河野賢一

第7回	プログラミング演習①	鈴木裕治 河野賢一
第8回	プログラミング演習②	鈴木裕治 河野賢一
第9回	プログラミング演習③	鈴木裕治 河野賢一
第10回	プログラミング演習④	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	
教科書 参考書等	補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程） OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	1学年

科目名	プログラミング応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	プログラミング言語を使用してアプリケーション開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ライブラリ	鈴木裕治 河野賢一
第2回	ライブラリ演習	鈴木裕治 河野賢一
第3回	例外処理	鈴木裕治 河野賢一
第4回	例外処理演習	鈴木裕治 河野賢一

第5回	入出力処理 ストリーム	鈴木裕治 河野賢一
第6回	入出力処理演習① ストリーム	鈴木裕治 河野賢一
第7回	入出力処理 テキストファイルからの入出力	鈴木裕治 河野賢一
第8回	入出力処理演習② テキストファイルからの入出力	鈴木裕治 河野賢一
第9回	入出力処理 キーボードからの入力	鈴木裕治 河野賢一
第10回	入出力処理③ キーボードからの入力	鈴木裕治 河野賢一
第11回	入出力処理 コマンドラインからの入力	鈴木裕治 河野賢一
第12回	入出力処理④ コマンドラインからの入力	鈴木裕治 河野賢一
第13回	マルチスレッド	鈴木裕治 河野賢一
第14回	マルチスレッド演習	鈴木裕治 河野賢一

第15回	GUI コンポーネント	鈴木裕治 河野賢一
第16回	GUI イベント処理	鈴木裕治 河野賢一
第17回	GUI演習	鈴木裕治 河野賢一
第18回	データベース接続 データベースプログラム	鈴木裕治 河野賢一
第19回	データベース接続演習 データベースプログラム	鈴木裕治 河野賢一
第20回	アプリケーション開発	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	
教科書 参考書等	補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程） OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	1学年

科目名	アプリケーション開発基礎Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
科目教員のうち実務経験教員			
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	実用的なCUI（Character User Interface）アプリケーション開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	例外処理とマルチスレッド	鈴木裕治 河野賢一
第2回	コレクションフレームワーク	鈴木裕治 河野賢一
第3回	入出力（I/O）	鈴木裕治 河野賢一
第4回	ネットワーク	鈴木裕治 河野賢一
第5回	データベース	鈴木裕治 河野賢一

第6回	CUIアプリ開発実習①	鈴木裕治 河野賢一
第7回	CUIアプリ開発実習②	鈴木裕治 河野賢一
第8回	CUIアプリ開発実習③	鈴木裕治 河野賢一
第9回	CUIアプリ開発実習④	鈴木裕治 河野賢一
第10回	CUIアプリ開発実習⑤	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	1学年

科目名	アプリケーション開発応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	実用的なGUI（Graphical User Interface）アプリケーション開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	GUIライブラリ	鈴木裕治 河野賢一
第2回	代表的なコンポーネントと レイアウト	鈴木裕治 河野賢一
第3回	イベント処理	鈴木裕治 河野賢一
第4回	その他のコンポーネントと レイアウト①	鈴木裕治 河野賢一
第5回	その他のコンポーネントと レイアウト②	鈴木裕治 河野賢一

第6回	その他のコンポーネントと レイアウト③	鈴木裕治 河野賢一
第7回	描画処理	鈴木裕治 河野賢一
第8回	マウスイベント処理	鈴木裕治 河野賢一
第9回	データベースの利用①	鈴木裕治 河野賢一
第10回	データベースの利用②	鈴木裕治 河野賢一
第11回	データベースの利用③	鈴木裕治 河野賢一
第12回	ネットワークの利用①	鈴木裕治 河野賢一
第13回	ネットワークの利用②	鈴木裕治 河野賢一
第14回	ネットワークの利用③	鈴木裕治 河野賢一
第15回	GUIアプリ開発実習①	鈴木裕治 河野賢一
第16回	GUIアプリ開発実習②	鈴木裕治 河野賢一
第17回	GUIアプリ開発実習③	鈴木裕治 河野賢一
第18回	GUIアプリ開発実習④	鈴木裕治 河野賢一

第19回	GUIアプリ開発実習⑤	鈴木裕治 河野賢一
第20回	GUIアプリ開発実習⑥	鈴木裕治 河野賢一
準備学習等	基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。	
教科書 参考書等		
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。	

065.コンピュータリテラシ

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程） OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	コンピュータリテラシ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	コンピュータの基本操作	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第2回	文書作成基礎①	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第3回	文書作成基礎②	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第4回	文書作成基礎③	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第5回	表計算基礎①	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第6回	表計算基礎②	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第7回	表計算基礎③	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第8回	プレゼンテーション基礎①	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第9回	プレゼンテーション基礎②	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第10回	情報セキュリティと情報倫理	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

準備学習等	
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程） OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	コンピュータリテラシ（表計算）	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	表計算ソフトウェアの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	作業環境 基礎知識・ブックの表示	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第2回	環境の設定と変更	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第3回	基本操作 セルの書式設定・レイアウト	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第4回	数式と計算 計算機能・関数	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第5回	グラフ グラフ作成/変更	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第6回	オブジェクト 作成・書式	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第7回	データベース機能 入力規則・ピボットテーブル	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第8回	入出力 ページレイアウト・印刷	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第9回	リンク マクロ	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第10回	共有と保護 ワークシート・ワークブックの保護	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。
教科書 参考書等	よくわかるマスター　MicrosoftExcel（FOM出版） Excel表計算処理技能認定試験　問題集（サーティファイ）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程） OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	コンピュータリテラシ（文書処理）	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	文書処理ソフトウェアの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	作業環境 基礎知識・表示とウィンドウ	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第2回	環境の設定と変更	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第3回	書式の設定と変更 文字書式・拡張書式・段落書式	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第4回	書式の設定と変更 段組み・スタイル	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第5回	ファイル デザイン・レイアウト・印刷	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第6回	文書編集 改ページ・ヘッダーとフッター	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第7回	罫線と表 表・デザイン・レイアウト	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第8回	オブジェクト 挿入・書式・配置/整列	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第9回	Excelのワークシート	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第10回	セキュリティ	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。
教科書 参考書等	よくわかるマスター　MicrosoftWord（FOM出版） Word文書処理技能認定試験　問題集（サーティファイ）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程） OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	コンピュータリテラシ（プレゼンテーション）	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 ： 70 % 平常点 ： 30 % ： % ： % ： %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	プレゼンテーションソフトの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	作業環境 基礎知識・基本操作	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第2回	環境の設定と変更	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第3回	書式設定 フォント・段落・タブ	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第4回	スライド① デザイン・マスター	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第5回	スライド② スライドショー・アニメーション	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第6回	ファイル 共有・エクスポート・印刷	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第7回	編集 テキスト、オブジェクトの編集	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第8回	罫線と表 作成・編集・レイアウト	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第9回	オブジェクト 図形の書式・メディア	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第10回	校閲	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。
教科書 参考書等	よくわかるマスター　MicrosoftPowerPoint（FOM出版） PowerPointプレゼンテーション技能認定試験　問題集（サーティファイ）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程） OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	コンピュータリテラシ（データベース）	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	データベースソフトウェアの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	概要作業環境 基礎知識・環境の設定と変更	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第2回	データベース データベースの知識・作成・操作	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第3回	テーブル 作成・操作・ビュー・フィールド	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第4回	データ 検索・フィルター・データシート	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第5回	クエリ 作成・操作・プロパティ	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第6回	リレーションシップ 作成・詳細	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第7回	フォーム ビュー・デザイン・応用	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第8回	レポート ビュー・デザイン・応用	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第9回	フォームとレポートのセクション コントロール	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第10回	マクロ・式 作成・演算子・関数	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。
教科書 参考書等	よくわかるマスター　MicrosoftAccess（FOM出版） Accessビジネスデータベース技能認定試験　問題集（サーティファイ）

備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程） OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	システム開発基礎Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	鈴木裕治	成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。		
実務経験教員の実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)		
授業目的 到達目標	Webシステム開発におけるフロントエンド開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	フロントエンド開発について 開発環境構築	鈴木裕治 河野賢一
第2回	HTML①	鈴木裕治 河野賢一
第3回	HTML②	鈴木裕治 河野賢一
第4回	HTML③	鈴木裕治 河野賢一
第5回	CSS①	鈴木裕治 河野賢一

第6回	CSS②	鈴木裕治 河野賢一
第7回	CSS③	鈴木裕治 河野賢一
第8回	CSSフレームワーク①	鈴木裕治 河野賢一
第9回	CSSフレームワーク②	鈴木裕治 河野賢一
第10回	CSSフレームワーク③	鈴木裕治 河野賢一
第11回	JavaScript①	鈴木裕治 河野賢一
第12回	JavaScript②	鈴木裕治 河野賢一
第13回	JavaScript③	鈴木裕治 河野賢一
第14回	jQuery①	鈴木裕治 河野賢一
第15回	jQuery②	鈴木裕治 河野賢一
第16回	jQuery③	鈴木裕治 河野賢一
第17回	Webページ制作実習①	鈴木裕治 河野賢一
第18回	Webページ制作実習②	鈴木裕治 河野賢一

第19回	Webページ制作実習③	鈴木裕治 河野賢一
第20回	Webページ制作実習④	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

071.システム開発応用Ⅰ

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程） OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	1学年

科目名	システム開発応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	鈴木裕治	成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。		
実務経験教員の実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)		
授業目的 到達目標	Webシステム開発におけるバックエンド開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	バックエンド開発について 開発環境構築	鈴木裕治 河野賢一
第2回	HTMLとCSSの復習①	鈴木裕治 河野賢一
第3回	HTMLとCSSの復習②	鈴木裕治 河野賢一
第4回	php①	鈴木裕治 河野賢一
第5回	php②	鈴木裕治 河野賢一

第6回	php③	鈴木裕治 河野賢一
第7回	php④	鈴木裕治 河野賢一
第8回	php⑤	鈴木裕治 河野賢一
第9回	php⑥	鈴木裕治 河野賢一
第10回	php⑦	鈴木裕治 河野賢一
第11回	データベース①	鈴木裕治 河野賢一
第12回	データベース②	鈴木裕治 河野賢一
第13回	データベース③	鈴木裕治 河野賢一
第14回	セキュリティ対策	鈴木裕治 河野賢一
第15回	Webシステム開発実習①	鈴木裕治 河野賢一
第16回	Webシステム開発実習②	鈴木裕治 河野賢一
第17回	Webシステム開発実習③	鈴木裕治 河野賢一

第18回	Webシステム開発実習④	鈴木裕治 河野賢一
第19回	Webシステム開発実習⑤	鈴木裕治 河野賢一
第20回	Webシステム開発実習⑥	鈴木裕治 河野賢一
準備学習等	基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。	
教科書 参考書等		
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。	

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程） OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	1学年

科目名	情報処理テクノロジ基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	高度IT人材となるために必要なテクノロジ分野に関する基本的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	基礎理論	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	アルゴリズムとプログラミング	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	コンピュータ構成要素	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	システム構成要素	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	ソフトウェア	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	ハードウェア	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	ヒューマンインターフェース マルチメディア	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	データベース	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	ネットワーク	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	セキュリティ	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程） OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	1学年

科目名	情報処理マネジメント基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	高度IT人材となるために必要なマネジメント分野に関する基本的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発技術	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	システム開発管理技術	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	開発プロセス	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	開発手法	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	プロジェクトマネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	サービスマネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	サービスサポート	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	ファシリティマネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	システム監査	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	内部統制	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

074.情報処理ストラテジ基礎

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程） OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	1学年

科目名	情報処理ストラテジ基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	高度IT人材となるために必要なストラテジ分野に関する基本的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	企業活動①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	企業活動②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	OR・IE	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	法務①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	法務②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	経営戦略マネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	ビジネスインダストリ	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	システム戦略①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	システム戦略②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	システム企画	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

075.情報処理基礎演習

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程） OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	1学年

科目名	情報処理基礎演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能に関する問いに対して正確に解答することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	項目別問題演習① テクノロジ分野	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	項目別問題演習② マネジメント分野	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	項目別問題演習③ ストラテジ分野	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	総合問題演習①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	総合問題演習②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	総合問題演習③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	総合問題演習④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	総合問題演習⑤	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	総合問題演習⑥	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	総合問題演習⑦	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	情報処理テクノロジ応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なテクノロジ分野に関する応用的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	基礎理論	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	アルゴリズムとプログラミング	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	コンピュータ構成要素	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	システム構成要素	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	ソフトウェア	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	ハードウェア	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	ヒューマンインターフェース マルチメディア	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	データベース	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	ネットワーク	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	セキュリティ	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 応用情報技術者　合格教本（技術評論社）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	情報処理マネジメント応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なマネジメント分野に関する応用的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発技術	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	システム開発管理技術	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	開発プロセス	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	開発手法	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	プロジェクトマネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	サービスマネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	サービスサポート	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	ファシリティマネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	システム監査	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	内部統制	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 応用情報技術者　合格教本（技術評論社）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	情報処理ストラテジ応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 ： 70 % 平常点 ： 30 % ： % ： % ： %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なストラテジ分野に関する応用的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	企業活動①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	企業活動②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	OR・IE	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	法務①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	法務②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	経営戦略マネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	ビジネスインダストリ	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	システム戦略①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	システム戦略②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	システム企画	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 応用情報技術者　合格教本（技術評論社）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	情報処理応用演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能に関する問いに対して正確に解答することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	項目別問題演習① テクノロジ分野	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	項目別問題演習② マネジメント分野	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	項目別問題演習③ ストラテジ分野	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第4回	総合問題演習①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第5回	総合問題演習②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	総合問題演習③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	総合問題演習④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	総合問題演習⑤	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	総合問題演習⑥	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	総合問題演習⑦	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 応用情報技術者　合格教本（技術評論社）

備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	アルゴリズム基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	アルゴリズムとデータ構造に関する基礎知識を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	アルゴリズムの表現方法 フローチャート・疑似言語	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	データ構造① 基本データ型	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	データ構造② 配列	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	データ構造③ リスト構造	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	データ構造④ 木構造	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	データ構造⑤ その他のデータ構造	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	アルゴリズム① サーチアルゴリズム	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	アルゴリズム② ソートアルゴリズム	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	アルゴリズム③ 文字列処理	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	アルゴリズム④ 代表的なアルゴリズム	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	アルゴリズム応用	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	アルゴリズムとデータ構造についての知識を有し、フローのトレースを行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	アルゴリズムとデータ構造① 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	アルゴリズムとデータ構造② 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	アルゴリズムとデータ構造③ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	アルゴリズムとデータ構造④ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	アルゴリズムとデータ構造⑤ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	アルゴリズムとデータ構造⑥ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	アルゴリズムとデータ構造⑦ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	アルゴリズムとデータ構造⑧ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	アルゴリズムとデータ構造⑨ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	アルゴリズムとデータ構造⑩ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	情報セキュリティ基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	情報セキュリティに関する基礎知識を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	情報セキュリティ① 情報セキュリティの概念	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	情報セキュリティ② 脅威・脆弱性	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	情報セキュリティ③ 攻撃手法・認証	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	情報セキュリティ管理① セキュリティポリシ・ISMS	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	情報セキュリティ管理② リスクアセスメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	情報セキュリティ技術評価 セキュリティ評価基準	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	情報セキュリティ対策① 人的セキュリティ対策	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	情報セキュリティ対策② 技術的セキュリティ対策	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	セキュリティ実装技術① ネットワークセキュリティ	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	セキュリティ実装技術② アプリケーションセキュリティ	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	1学年

科目名	情報セキュリティ応用	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 ： 70 % 平常点 ： 30 % ： % ： % ： %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	情報セキュリティに関する知識・技能を有し、実践的なセキュリティ管理ができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	情報セキュリティ全般① 機密性・完全性・可用性	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	情報セキュリティ全般② 脅威・脆弱性・サイバー攻撃	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	情報セキュリティ全般③ 暗号技術・認証技術	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	情報セキュリティ管理① 情報資産・リスク	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	情報セキュリティ管理② ISMS・インシデント管理	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	情報セキュリティ対策① マルウェア対策	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	情報セキュリティ対策② 不正アクセス対策	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	情報セキュリティ対策③ 情報漏えい対策	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	情報セキュリティ対策④ アクセス管理	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	情報セキュリティ関連法規	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	ネットワーク基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	通信技術・ネットワークに関する基礎知識を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ネットワーク方式① ネットワークの種類と特徴	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	ネットワーク方式② インターネット技術	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	データ通信と制御① ネットワークアーキテクチャ	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	データ通信と制御② LAN間接続装置・伝送制御	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	通信プロトコル① プロトコルとインタフェース	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	通信プロトコル② プロトコル	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	通信プロトコル③ プロトコル	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	通信プロトコル④ プロトコル	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	通信プロトコル⑤ セキュアプロトコル	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	ネットワーク管理 構成管理・管理ツール	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	ネットワーク応用	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	通信技術・ネットワークに関する応用的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	インターネット① 電子メール	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	インターネット② Web	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	インターネット③ ファイル転送	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	VPN①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	VPN②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	通信サービス① FTTH	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	通信サービス② IP電話	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	モバイルシステム① モバイル通信サービス	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	モバイルシステム② 構成要素	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	モバイルシステム③ LPWA	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

086.システムアーキテクチャⅠ

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	システムアーキテクチャⅠ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	システムの処理形態・利用形態・適用領域を習得し応用できる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	集中処理システム	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	分散処理システム	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	システム構成	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	ハイパフォーマンスコンピューティング	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	クライアントサーバシステム	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	Webシステム	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	ストレージ	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	信頼性設計	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	システムの評価指標① システムの性能特性と評価	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	システムの評価指標② システムの信頼性特性と評価	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	情報処理入門テクノロジ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	職業人が備えておきべき情報技術に関する基礎的なテクノロジ分野の知識を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	基礎理論	鈴木裕治 河野賢一
第2回	アルゴリズムとプログラミング	鈴木裕治 河野賢一
第3回	コンピュータ構成要素	鈴木裕治 河野賢一
第4回	システム構成要素	鈴木裕治 河野賢一

第5回	ソフトウェア	鈴木裕治 河野賢一
第6回	ハードウェア	鈴木裕治 河野賢一
第7回	ヒューマンインターフェース マルチメディア	鈴木裕治 河野賢一
第8回	データベース	鈴木裕治 河野賢一
第9回	ネットワーク	鈴木裕治 河野賢一
第10回	セキュリティ	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	
教科書 参考書等	よくわかるマスター　ITパスポート試験対策テキスト＆過去問題集（FOM出版）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

088.情報処理入門マネジメント

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	情報処理入門マネジメント		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	30時間
			単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一		授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %	
			平常点 : 30 %	
			: %	
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	職業人が備えておきべき情報技術に関する基礎的なマネジメント分野の知識を有する。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発技術	鈴木裕治 河野賢一
第2回	システム開発管理技術	鈴木裕治 河野賢一
第3回	開発プロセス	鈴木裕治 河野賢一
第4回	開発手法	鈴木裕治 河野賢一

第5回	プロジェクトマネジメント	鈴木裕治 河野賢一
第6回	サービスマネジメント	鈴木裕治 河野賢一
第7回	サービスサポート	鈴木裕治 河野賢一
第8回	ファシリティマネジメント	鈴木裕治 河野賢一
第9回	システム監査	鈴木裕治 河野賢一
第10回	内部統制	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	
教科書 参考書等	よくわかるマスター　ITパスポート試験対策テキスト＆過去問題集（FOM出版）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

089.情報処理入門ストラテジ

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	情報処理入門ストラテジ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	職業人が備えておきべき情報技術に関する基礎的なストラテジ分野の知識を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	企業活動①	鈴木裕治 河野賢一
第2回	企業活動②	鈴木裕治 河野賢一
第3回	OR・IE	鈴木裕治 河野賢一
第4回	法務①	鈴木裕治 河野賢一

第5回	法務②	鈴木裕治 河野賢一
第6回	経営戦略マネジメント	鈴木裕治 河野賢一
第7回	ビジネスインダストリ	鈴木裕治 河野賢一
第8回	システム戦略①	鈴木裕治 河野賢一
第9回	システム戦略②	鈴木裕治 河野賢一
第10回	システム企画	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	
教科書 参考書等	よくわかるマスター　ITパスポート試験対策テキスト＆過去問題集（FOM出版）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	情報処理入門演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	職業人が備えておきべき情報技術に関する基礎的な問いに対して、正確に解答することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	項目別問題演習① テクノロジ分野	鈴木裕治 河野賢一
第2回	項目別問題演習② マネジメント分野	鈴木裕治 河野賢一
第3回	項目別問題演習③ ストラテジ分野	鈴木裕治 河野賢一
第4回	総合問題演習①	鈴木裕治 河野賢一

第5回	総合問題演習②	鈴木裕治 河野賢一
第6回	総合問題演習③	鈴木裕治 河野賢一
第7回	総合問題演習（CBT）①	鈴木裕治 河野賢一
第8回	総合問題演習（CBT）②	鈴木裕治 河野賢一
第9回	総合問題演習（CBT）③	鈴木裕治 河野賢一
第10回	総合問題演習（CBT）④	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	
教科書 参考書等	よくわかるマスター　ITパスポート試験対策テキスト＆過去問題集（FOM出版）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

091.消費税法税務会計

学科	ＯＡ事務学科(１年課程)・ＯＡ事務学科(２年課程)・ ビジネス学科(２年課程)・経理事務学科(２年課程)・ 情報システム学科（１年課程）・情報システム学科(２年課程)・ 情報システム学科(３年課程)・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	消費税法税務会計	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	小関　哲也	授業回数	23回
科目教員のうち実務経験教員	小関　哲也	成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	実務において、消費税を計算することができる基礎知識を身につけさせる。 また、過去の全国経理教育協会主催消費税法能力検定試験の出題内容を実務に照らして解説することにより、実務に対応できる基礎知識を習得する授業を行う。
実務経験教員の実務経験内容	一般事業会社において、財務責任者として会計事務所と共同で、消費税に関する日々の会計処理を行うとともに、消費税を計算し確定申告書の作成及び各届出書の業務を行っていた。
授業目的 到達目標	消費税の仕組みを理解し、消費税の計算を基礎から学び、事業者(法人及び個人事業者)の消費税の計算ができることを目的とする。 また、全国経理教育協会主催消費税法能力検定試験１級に出題される計算問題を解答できるレベルを目指す。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 消費税法の概要	小関　哲也
第2回	課税の対象	小関　哲也
第3回	非課税項目	小関　哲也
第4回	輸出免税項目	小関　哲也
第5回	課税売上割合の計算及び控除対象仕入税額(個別対応方式・一括比例配分方式)	小関　哲也
第6回	売り上げに係る対価の返還等	小関　哲也

第7回	貸し倒れが生じた場合	小関　哲也
第8回	課税仕入れの範囲	小関　哲也
第9回	仕入に係る対価の返還等	小関　哲也
第10回	国境を越えた役務の提供	小関　哲也
第11回	中間申告に係る納付税額の計算	小関　哲也
第12回	課税仕入れ等の分類等 課税仕入れ等の時期	小関　哲也
第13回	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額の特例	小関　哲也
第14回	調整対象固定資産に係る仕入税額控除①	小関　哲也
第15回	調整対象固定資産に係る仕入税額控除②	小関　哲也
第16回	特定期間における課税売上高による納税義務の免除の特例	小関　哲也
第17回	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整	小関　哲也
第18回	課税標準	小関　哲也
第19回	簡易課税制度	小関　哲也
第20回	高額特定資産を取得した場合の納税義務の免除の特例	小関　哲也
第21回	資産の譲渡等の時期 居住用賃貸建物を課税賃貸用に供した場合の仕入れ税額控除の調整	小関　哲也
第22回	国等に対する特例	小関　哲也
第23回	総まとめ問題	小関　哲也

準備学習等	消費税法の学習は、積み重ねが重要であることから復習を十分に行い理解しておくとともに、計算問題集を活用して実際に消費税の計算の演習を行うことが重要。各回の内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い次回の授業に臨むこと。
教科書 参考書等	消費税法計算テキストⅠ・Ⅱ（大原学園）、消費税法計算問題集Ⅰ・Ⅱ（大原学園）、理論テキスト（大原学園）、消費税法規通達集（中央経済社）、総合計算問題集基礎編（大原出版）、全国経理教育協会主催消費税法能力検定

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 消費税法税務会計は、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	簿記論Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	4単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	日商簿記検定2級（商業簿記）程度の簿記知識をすでに習得していることを前提に、中小企業にて行われる各種取引の会計処理について細部まで解説することで、理解を深めてもらうことを目的としています。そして、日々の取引から決算整理に至るまで、主要簿及び補助簿等への記入や締め切り、帳簿を基礎として作成される各種試算表や精算表といった、主に企業内部で使用される帳票類を自ら作成できる能力と、税理士試験簿記論に合格できる基礎能力を身につけることを到達目標とします。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、簿記の目的、簿記の仕組み	竹村　幸生
第2回	主要簿及び補助簿、決算振替	竹村　幸生
第3回	精算表、貸借対照表及び損益計算書	竹村　幸生
第4回	現金の範囲、現金過不足、当座預金（小切手）	竹村　幸生
第5回	債権債務、約束手形	竹村　幸生

第6回	三分法、商品有高帳、商品評価損等	竹村　幸生
第7回	固定資産の概要、減価償却、固定資産の売却等	竹村　幸生
第8回	資本的支出と収益的支出、無形固定資産	竹村　幸生
第9回	源泉所得税・社会保険料、賞与引当金	竹村　幸生
第10回	貸倒損失、貸倒引当金(実績率法、財務内容評価法)	竹村　幸生
第11回	損益の見越・繰延、退職給付（簡便法・退職一時金制度）	竹村　幸生
第12回	有価証券の概要、売買目的有価証券、関係会社株式	竹村　幸生
第13回	法人税等、租税公課、消費税等	竹村　幸生
第14回	手形の譲渡、社債の概要、償却原価法（定額法）	竹村　幸生
第15回	純資産の概要、資本金・資本準備金	竹村　幸生
第16回	当座預金の期末修正、当座借越	竹村　幸生
第17回	その他資本剰余金、利益準備金・繰越利益剰余金	竹村　幸生
第18回	自己株式の概要、自社利用目的のソフトウェア	竹村　幸生
第19回	税効果会計の概要、将来減算一時差異	竹村　幸生
第20回	売上原価計上法、分記法、総記法	竹村　幸生
第21回	償却原価法（利息法）、社債の買入償還	竹村　幸生
第22回	原価率・利益率、仕入・売上の計上基準	竹村　幸生
第23回	自己株式の処分・消却、満期保有目的の債券	竹村　幸生
第24回	その他有価証券、有価証券の減損処理	竹村　幸生
第25回	新株予約権、株主資本等変動計算書	竹村　幸生
第26回	固定資産の売却等（手数料、消費税、値引）	竹村　幸生

第27回	割引現在価値の算定	竹村　幸生
第28回	減損会計の概要、減損の兆候・認識の判定及び測定	竹村　幸生
第29回	退職給付（原則法・退職一時金制度と企業年金制度）	竹村　幸生
第30回	転換社債型新株予約権付社債（区分法）	竹村　幸生

準備学習等	会計処理の知識や帳簿記入の技術を身につけるためには、日々の復習を欠かさず地道な努力を継続することが何より求められます。項目によっては大変難易度の高い内容も含まれていますので、講義の中で全てが完結するものと考えず、講義後の復習（問題演習）を実施することでより理解が深まることを認識して下さい。なお、予習は不要です。
教科書 参考書等	簿記論計算テキスト1(大原学園)、計算問題集1-1、1-2(大原学園) 簿記論計算テキスト2(大原学園)、計算問題集2-1、2-2(大原学園) 簿記論個別計算問題集（大原出版）、簿記論総合計算問題集基礎編（大原出版）
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。簿記論Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	財務諸表論Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	4単位
科目教員	千葉　菜愛	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	
実務経験教員の実務経験内容	
授業目的 到達目標	企業の経済活動を表す損益計算書や貸借対照表などの財務諸表の作成に関する原理や原則を計算と理論に分けて学習します。計算では日々の取引を集計した残高試算表から、財務諸表を作成する能力を身につけ、理論では企業会計原則を理解し記述することができる力を身につけることを目的とします。また、税理士試験財務諸表論に合格できる能力の基礎を身につけることを到達目標とします。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	計算：ガイダンス 財務諸表論の概要、貸借対照表（株主資本除く）流動固定の分類基準、損益計算書	千葉　菜愛
第2回	計算：現金及び預金、債権及び債務	千葉　菜愛
第3回	計算：個別注記表（重要な会計方針）、B/S注記、損益の見越・繰延 理論：ガイダンス	千葉　菜愛
第4回	計算：銀行勘定調整表 理論：財務諸表論の基礎概念	千葉　菜愛

第5回	計算：棚卸資産（売上原価の算定） 理論：一般原則（真実性の原則）	千葉　菜愛
第6回	計算：有形固定資産、無形固定資産 理論：一般原則（正規の簿記の原則）	千葉　菜愛
第7回	計算：引当金（一般債権）、給料等 理論：一般原則（明瞭性の原則）	千葉　菜愛
第8回	計算：引当金（懸念、破産） 理論：一般原則（継続性の原則）	千葉　菜愛
第9回	計算：退職給付（簡便法） 理論：一般原則（資本利益区別の原則）	千葉　菜愛
第10回	計算：法人税等・追徴還付、株主資本 理論：一般原則（単一性の原則）	千葉　菜愛
第11回	計算：その他の引当金 理論：一般原則（保守主義の原則）	千葉　菜愛
第12回	計算：関係会社（議決権による判定） 理論：重要性の原則	千葉　菜愛
第13回	計算：有価証券（基本的評価等） 理論：P/Lの本質と構造、発生主義会計と現金主義会計	千葉　菜愛
第14回	計算：社債 理論：期間損益計算の基本原則及び収支額基準	千葉　菜愛
第15回	計算：外貨建取引（基本的換算） 理論：実現主義の原則、発生主義の原則	千葉　菜愛
第16回	計算：割引現在価値、資産除去債務 理論：費用収益対応の原則、一般販売の収益認識	千葉　菜愛
第17回	計算：当座借越 理論：特殊販売の収益認識	千葉　菜愛

第18回	計算：関係会社に対する債権債務 理論：工事契約（基本）、P/L表示原則、B/S表示原則	千葉　菜愛
第19回	計算：ソフトウェア、税金（外形基準、租税公課） 理論：財務諸表論の基礎概念（資本循環と財務諸表、会計観）	千葉　菜愛
第20回	計算：税効果会計 理論：貸借対照表の本質	千葉　菜愛
第21回	計算：源泉所得税、社会保険料、棚卸資産（返品、値引、割戻） 理論：資産総論（分類、評価）	千葉　菜愛
第22回	計算：株主資本等変動計算書 理論：棚卸資産（数量計算、評価方法）	千葉　菜愛
第23回	計算：減損会計 理論：固定資産の定義と分類、取得原価（自家建設）	千葉　菜愛
第24回	計算：棚卸資産（他勘定振替） 理論：固定資産の取得原価（現物出資、交換）	千葉　菜愛
第25回	計算：償却原価法（利息法） 理論：固定資産（減価償却、評価減）	千葉　菜愛
第26回	計算：為替予約（独立処理） 理論：固定資産（資本的支出、特殊な有形固定資産の費用化）	千葉　菜愛
第27回	計算：有価証券（その他有価証券） 理論：資本総論（実体資本維持）	千葉　菜愛
第28回	計算：圧縮記帳（直接）、消費税 理論：繰延資産（概念）、繰延資産（会計処理）	千葉　菜愛
第29回	計算：外貨建有価証券 理論：負債（引当金）、負債（偶発債務）、財務諸表論の基礎概念（会計観 資産・負債）	千葉　菜愛
第30回	計算：P/L注記（取締役に対する金銭債権債務）、有価証券（配当を受けた株主の処理） 理論：資産の評価（時価）、資産の評価（現価主義）	千葉　菜愛

準備学習等	財務諸表論については、計算と理論をバランスよく学習していきます。そのため、日々の復習と理論暗記を継続することが必要不可欠です。講義内で指示する問題演習を欠かさず実施することで、より理解が深まるものと解してください。なお、予習は不要です。
教科書 参考書等	財務諸表論計算テキスト1（大原学園）、計算問題集1-1、1-2（大原学園）、理論テキスト1（大原学園） 財務諸表論計算テキスト2（大原学園）、計算問題集2-1、2-2（大原学園）、理論テキスト2（大原学園） 財務諸表論個別計算問題集（大原出版）、財務諸表論総合計算問題集基礎編（大原出版）
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 財務諸表論Ⅰは、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	簿記論演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	12回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：30％ 演習問題：50％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	簿記論Ⅰで履修した簿記知識及び計算・記帳技術について、問題演習を通して反復練習・解説することで理解を深めてもらうことを目的としています。税理士試験簿記論受験のための基礎的な個別問題・総合問題を、設定された制限時間内に解答するための解法手順、図式化などができるようになることを到達目標とします。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス・第1回演習問題(現金預金、債権債務)	竹村　幸生
第2回	第2回演習問題(商品売買、固定資産)	竹村　幸生
第3回	第3回演習問題(貸倒引当金、退職給付会計※簡便法)	竹村　幸生
第4回	第4回演習問題(有価証券、税金)	竹村　幸生
第5回	第5回演習問題(社債、純資産)	竹村　幸生
第6回	第6回演習問題(ソフトウェア、税効果会計)	竹村　幸生
第7回	第7回演習問題(割引現在価値、減損会計)	竹村　幸生

第8回	第8回演習問題(転換社債型新株予約権付社債)	竹村　幸生
第9回	第9回演習問題(勘定復元①)	竹村　幸生
第10回	第10回演習問題(勘定復元②)	竹村　幸生
第11回	第11回演習問題(推定簿記①)	竹村　幸生
第12回	第12回演習問題(推定簿記②)	竹村　幸生

準備学習等	簿記論Ⅰで履修した内容の問題演習となりますので、事前に各項目の内容を復習したうえで講義に臨んでください。また、個別形式の問題と総合問題は異なる問題です。いずれかの形式に偏った復習にならないよう、バランスよく学習することを心がけてください。
教科書 参考書等	各回とも演習問題を配付します。 復習用教材として、簿記論Ⅰで使用している計算テキストを持参してください。
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 簿記論演習Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	財務諸表論演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	千葉　菜愛	授業回数	12回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：30％ 演習問題：50％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	財務諸表論Ⅰで履修した計算及び理論の知識について、問題演習を通して反復練習・解説することで理解を深めてもらうことを目的としています。税理士試験財務諸表論受験のための基礎的な総合計算問題・理論の記述問題を、設定された制限時間内に解答するための解法手順、会計基準の適正な記述などができるようになることを到達目標とします。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 第1回演習問題（理論：一般原則）	千葉　菜愛
第2回	第2回演習問題（理論：会計観　貸借対照表の役割・損益計算書原則、一）	千葉　菜愛
第3回	第3回演習問題（理論：損益計算書原則、一A）	千葉　菜愛
第4回	第4回演習問題（理論：企業会計原則注解、注18引当金について）	千葉　菜愛
第5回	第5回演習問題（理論：資産の評価について）	千葉　菜愛
第6回	第6回演習問題（理論：貸借対照表原則、五）	千葉　菜愛

第7回	第7回演習問題（理論：企業会計原則注解、注15繰延資産）	千葉　菜愛
第8回	第8回演習問題（理論：会計観・概念フレームワークについて）	千葉　菜愛
第9回	第9回演習問題（理論：資産評価、減損会計）	千葉　菜愛
第10回	第10回演習問題 （理論：リース取引に関する会計基準・資産除去債務に関する会計基準）	千葉　菜愛
第11回	第11回演習問題（理論：リース債務、資産除去債務の共通点、相違点）	千葉　菜愛
第12回	第12回演習問題（理論：退職給付に係る会計基準・純資産会計）	千葉　菜愛

準備学習等	財務諸表論Ⅰで履修した内容の問題演習となりますので、事前に各項目の内容を復習したうえで講義に臨んでください。特に、理論については事前暗記が必須です。計算、理論のいずれかに偏った復習にならないよう、バランスよく学習することを心がけてください。
教科書 参考書等	各回とも演習問題を配付します。 復習用教材として、財務諸表論Ⅰで使用している計算テキスト及び理論テキストを持参してください。
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 財務諸表論演習Ⅰは、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	会計学上級	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	千葉　菜愛	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：50％ ミニテスト：30％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な商業簿記・会計学を習得し、会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、財務諸表作成ができることを目的とする。また、最終的には全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	財務諸表分析、一般原則	千葉　菜愛
第2回	損益計算書原則	千葉　菜愛
第3回	貸借対照表原則	千葉　菜愛
第4回	資産会計、負債会計	千葉　菜愛
第5回	純資産会計	千葉　菜愛
第6回	外貨建取引会計	千葉　菜愛

第7回	税効果会計	千葉　菜愛
第8回	企業結合会計	千葉　菜愛
第9回	連結会計	千葉　菜愛
第10回	キャッシュ・フロー会計	千葉　菜愛
第11回	会計上の変更と誤謬の訂正	千葉　菜愛
第12回	概念フレームワーク	千葉　菜愛
第13回	会社再編の会計①	千葉　菜愛
第14回	会社再編の会計②	千葉　菜愛
第15回	四半期連結財務諸表	千葉　菜愛

準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。
教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） 全経簿記上級　商業簿記・財務会計テキスト（中央経済社） 全経簿記能力検定試験標準問題集　上級商業簿記・財務会計（中央経済社） 簿記検定全経上級　直前対策講義　商業簿記・財務会計（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 財務会計上級は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	原価計算上級	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	菊地　裕俊	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：50％ ミニテスト：30％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な工業簿記・原価計算を習得し、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、最終的には全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	費目別計算、個別原価計算、部門別原価計算、責任会計	菊地　裕俊
第2回	部門別原価計算、個別原価計算	菊地　裕俊
第3回	総合原価計算	菊地　裕俊
第4回	標準原価計算	菊地　裕俊
第5回	直接原価計算、全部原価計算、CVP分析、原価分解	菊地　裕俊
第6回	事業部制	菊地　裕俊

第7回	意思決定の原価概念、業務的意思決定	菊地　裕俊
第8回	構造的意思決定	菊地　裕俊
第9回	戦略的原価計算	菊地　裕俊
第10回	工場独立会計	菊地　裕俊
第11回	直前対策講義　過去問題解説(第195回、第197回)	菊地　裕俊
第12回	直前対策講義　過去問題解説(第199回、第201回)	菊地　裕俊
第13回	直前対策講義　過去問題解説(第203回、第205回)	菊地　裕俊
第14回	直前対策講義　過去問題解説(第207回、第209回)	菊地　裕俊
第15回	直前対策講義　過去問題解説(第211回、第213回)	菊地　裕俊

準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。
教科書 参考書等	【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） 全経簿記上級　原価計算・管理会計テキスト（中央経済社） 全経簿記能力検定試験標準問題集　上級原価計算・管理会計（中央経済社） 簿記検定全経上級　直前対策講義　原価計算・管理会計（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 管理会計上級は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	財務会計上級	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	千葉　菜愛	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：50％ ミニテスト：30％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な商業簿記・財務会計を習得し、会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、財務諸表作成ができることを目的とする。また、最終的には全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	財務諸表分析、一般原則	千葉　菜愛
第2回	損益計算書原則	千葉　菜愛
第3回	貸借対照表原則	千葉　菜愛
第4回	資産会計、負債会計	千葉　菜愛
第5回	純資産会計	千葉　菜愛
第6回	外貨建取引会計	千葉　菜愛

第7回	税効果会計	千葉　菜愛
第8回	企業結合会計	千葉　菜愛
第9回	連結会計	千葉　菜愛
第10回	キャッシュ・フロー会計	千葉　菜愛
第11回	会計上の変更と誤謬の訂正	千葉　菜愛
第12回	概念フレームワーク	千葉　菜愛
第13回	会社再編の会計①	千葉　菜愛
第14回	会社再編の会計②	千葉　菜愛
第15回	四半期連結財務諸表	千葉　菜愛

準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。
教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） 全経簿記上級　商業簿記・財務会計テキスト（中央経済社） 全経簿記能力検定試験標準問題集　上級商業簿記・財務会計（中央経済社） 簿記検定全経上級　直前対策講義　商業簿記・財務会計（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 財務会計上級は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	管理会計上級	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	菊地　裕俊	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 50 % ミニテスト : 30 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な原価計算・管理会計を習得し、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、最終的には全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	費目別計算、個別原価計算、部門別原価計算、責任会計	菊地　裕俊
第2回	部門別原価計算、個別原価計算	菊地　裕俊
第3回	総合原価計算	菊地　裕俊
第4回	標準原価計算	菊地　裕俊
第5回	直接原価計算、全部原価計算、CVP分析、原価分解	菊地　裕俊
第6回	事業部制	菊地　裕俊

第7回	意思決定の原価概念、業務的意思決定	菊地　裕俊
第8回	構造的意思決定	菊地　裕俊
第9回	戦略的原価計算	菊地　裕俊
第10回	工場独立会計	菊地　裕俊
第11回	直前対策講義　過去問題解説(第195回、第197回)	菊地　裕俊
第12回	直前対策講義　過去問題解説(第199回、第201回)	菊地　裕俊
第13回	直前対策講義　過去問題解説(第203回、第205回)	菊地　裕俊
第14回	直前対策講義　過去問題解説(第207回、第209回)	菊地　裕俊
第15回	直前対策講義　過去問題解説(第211回、第213回)	菊地　裕俊

準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。
教科書 参考書等	【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） 全経簿記上級　原価計算・管理会計テキスト（中央経済社） 全経簿記能力検定試験標準問題集　上級原価計算・管理会計（中央経済社） 簿記検定全経上級　直前対策講義　原価計算・管理会計（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 管理会計上級は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	Excel表計算技能	授業形態	講義
		選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	菊地　裕美	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員	菊地　裕美	成績評価方法	実技試験：50％ 知識試験：30％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Microsoft Excelによる操作方法		
実務経験教員の実務経験内容	専門学校講師（外国人留学生含む）		
授業目的 到達目標	PCを用いて簡単なワークシートの作成とデータの入力ができるようにする。 また、タイピングソフトを使い入力速度の向上を図り、ブラインドタッチができるようにする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンスキーボード入力方法、フォルダ管理	菊地　裕美
第2回	Excelの画面構成、コピー、移動方法の確認	菊地　裕美
第3回	基本練習1　Shift、Ctrlの使い方	菊地　裕美
第4回	基本練習2　オートフィル機能の使い方	菊地　裕美
第5回	基本練習3　行・列の挿入と削除、ウィンドウ枠の固定と解除	菊地　裕美
第6回	基本練習4　罫線の引き方	菊地　裕美
第7回	基本練習5　関数1　基本関数	菊地　裕美

第8回	基本練習6　関数2　ROUND系、RANK、IF、等	菊地　裕美
第9回	基本練習7　グラフ	菊地　裕美
第10回	基本練習8　並べ替えとフィルター	菊地　裕美

準備学習等	画面構成のプリントを準備し、「タブ」や「リボン」などの単語を覚えるのに役立つようにする。
教科書 参考書等	オリジナルテキストとデータを使用
備考	PCの環境を整え、スムーズに授業が行えるようにする。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 Excel表計算技能は、上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	簿記速修	授業形態	講義
		選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	4単位
科目教員	菊地　裕俊	授業回数	40回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	簿記の基本用語や複式簿記の仕組みを理解し、経理事務に活用できることを目的とし、日本商工会議所主催簿記検定試験3級に合格する能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 簿記概論	菊地　裕俊
第2回	基礎概念（資産、負債、純資産、収益、費用）	菊地　裕俊
第3回	取引の意義と種類、勘定の意義と分類	菊地　裕俊
第4回	仕訳帳と総勘定元帳、補助簿	菊地　裕俊
第5回	証ひょうと伝票	菊地　裕俊
第6回	期中取引の処理（現金預金）	菊地　裕俊
第7回	期中取引の処理（売掛金と買掛金）	菊地　裕俊

第8回	期中取引の処理（その他の債権）	菊地　裕俊
第9回	期中取引の処理（その他の債務）	菊地　裕俊
第10回	期中取引の処理（手形）	菊地　裕俊
第11回	期中取引の処理（商品）	菊地　裕俊
第12回	期中取引の処理（固定資産）	菊地　裕俊
第13回	期中取引の処理（純資産）	菊地　裕俊
第14回	期中取引の処理（収益と費用）	菊地　裕俊
第15回	期中取引の処理（税金）	菊地　裕俊
第16回	月次の集計（合計試算表）	菊地　裕俊
第17回	月次の集計（残高試算表）	菊地　裕俊
第18回	月次の集計（合計残高試算表）	菊地　裕俊
第19回	月次の集計（損益計算書）	菊地　裕俊
第20回	月次の集計（貸借対照表）	菊地　裕俊
第21回	問題実施、解説　項目別対策①（仕訳）	菊地　裕俊
第22回	問題実施、解説　項目別対策②（試算表の作成）	菊地　裕俊
第23回	問題実施、解説　項目別対策③（決算手続きにおける財務諸表等）	菊地　裕俊
第24回	問題実施、解説　項目別対策④（勘定記入）	菊地　裕俊
第25回	問題実施、解説　項目別対策⑤（伝票・証ひょう）	菊地　裕俊
第26回	問題実施、解説　項目別対策⑥（補助簿）	菊地　裕俊
第27回	問題実施、解説　項目別対策⑦（その他の計算）	菊地　裕俊

第28回	模擬試験問題実施・解説①	菊地　裕俊
第29回	模擬試験問題実施・解説②	菊地　裕俊
第30回	模擬試験問題実施・解説③	菊地　裕俊
第31回	模擬試験問題実施・解説④	菊地　裕俊
第32回	模擬試験問題実施・解説⑤	菊地　裕俊
第33回	模擬試験問題実施・解説⑥	菊地　裕俊
第34回	模擬試験問題実施・解説⑦	菊地　裕俊
第35回	模擬試験問題実施・解説⑧	菊地　裕俊
第36回	模擬試験問題実施・解説⑨	菊地　裕俊
第37回	問題実施、解説　直前模擬試験　第1回	菊地　裕俊
第38回	問題実施、解説　直前模擬試験　第2回	菊地　裕俊
第39回	問題実施、解説　直前模擬試験　第3回	菊地　裕俊
第40回	問題実施、解説　直前模擬試験　第4回	菊地　裕俊

準備学習等	日々の復習をしっかりと行い、不明な点は科目教員に質問し、次回の授業に備えること。
教科書 参考書等	ALFA　3級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　3級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　3級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記3級商業簿記（大原出版） 日商３級　過去問分析より徹底予想！　試験によく出る問題集（大原出版） ESSENTIAL　項目別答練問題集（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　項目別答練解答集（学校法人　大原学園） 2025年度　日商簿記検定対策　直前模擬試験　第1回～第4回（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 簿記速修は上記学科の選択科目であるため、各学科合同で授業を行う。

学科	ＯＡ事務学科(１年課程)・ＯＡ事務学科(２年課程)・ ビジネス学科(２年課程)・経理事務学科(２年課程)・ 情報システム学科(１年課程)・情報システム学科(２年課程)・ 情報システム学科(３年課程)・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	ＦＰ技能士３級	授業形態	講義
		選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	千葉　菜愛	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	
実務経験教員の実務経験内容	
授業目的 到達目標	ファイナンシャルプランナー（FP）はお金の専門家です。これからの時代、社会人となって必要不可欠となるのが今後の「人生設計」とそれに伴う「お金」の知識です。FP資格は年金・保険・税金といった生活を豊かにする知識の他、株式や預貯金などの金融資産、不動産、相続といったお金に関する幅広い分野を学習することができます。学習を通して基本的なライフプランニングができる知識の習得を目的とし、国家試験であるFP技能士3級検定試験の学科試験と実技試験の両方に合格することのできる能力を身につけることを到達目標とします。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス ライフプランニングと資金計画（FPとライフプランニング、教育・住宅取得資金計画、社会保険）	千葉　菜愛
第2回	ライフプランニングと資金計画（公的年金制度の概要、老後の生活資金設計と公的年金、公的年金における障害給付・遺族給付）	千葉　菜愛
第3回	ライフプランニングと資金計画（企業年金・自営業者のための年金、ライフプランニングの考え方）	千葉　菜愛
第4回	リスク管理（リスクマネジメント、保険制度全般、生命保険の概略、生命保険商品の種類と内容）	千葉　菜愛

第5回	リスク管理（損害保険の概略、損害保険商品の種類と内容、個人・法人の契約に関する税金、第三分野の保険・共済）	千葉　菜愛
第6回	金融資産運用（マーケット環境の理解、預貯金等、債券、株式）	千葉　菜愛
第7回	金融資産運用（投資信託、外貨建て商品、金融派生商品）	千葉　菜愛
第8回	金融資産運用（ポートフォリオ理論、金融商品と税金、セーフティネット、関連法規）	千葉　菜愛
第9回	タックスプランニング（税金の分類と計算体系、所得税の仕組み、各種所得の内容）	千葉　菜愛
第10回	タックスプランニング（課税標準に計算、所得控除、税額控除）	千葉　菜愛
第11回	タックスプランニング（確定申告、個人住民税と個人事業税）	千葉　菜愛
第12回	不動産（不動産の見方、不動産の取引、不動産に関する法令上の制限）	千葉　菜愛
第13回	不動産（不動産に係る税金、不動産の有効活用）	千葉　菜愛
第14回	相続・事業承継（相続と法律、贈与と法律、贈与と税金、相続と税金）	千葉　菜愛
第15回	相続・事業承継（財産の評価（不動産・金融資産）、相続対策）	千葉　菜愛

準備学習等	予習の必要はありません。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は教員に質問をして、次回の講義に備えてください。
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3級 テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級　問題集（大原出版）
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 ＦＰ技能士３級は、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	ＯＡ事務学科(１年課程)・ＯＡ事務学科(２年課程)・ ビジネス学科(２年課程)・経理事務学科(２年課程)・ 情報システム学科(１年課程)・情報システム学科(２年課程)・ 情報システム学科(３年課程)・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	ＦＰ技能士３級演習	授業形態	演習
		選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	15時間
		単位数	1単位
科目教員	千葉　菜愛	授業回数	5回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	ファイナンシャルプランナーとして必要な年金、保険、金融資産、税金、不動産、相続などの知識を、過去試験問題や模擬問題を通して答案練習・解説することで、理解を深めてもらうことを目的としています。FP技能士3級受験のため学科及び実技問題を、本試験通りの時間設定の中で解答し、常に合格点数以上を取ることを達成目標とします。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 過去試験対策①	千葉　菜愛
第2回	過去試験対策②	千葉　菜愛
第3回	過去試験対策③	千葉　菜愛
第4回	模擬試験①	千葉　菜愛
第5回	模擬試験②	千葉　菜愛

準備学習等	反復の答案練習が必要となります。間違った問題の解き直しに全力を注いでください。 また、学科試験、実技試験をバランスよく学習することを心がけてください。

教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3級　学科・実技過去試験問題集　問題編（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランナー3級　学科・実技過去試験問題集　解答編（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定3級　学科模擬試験（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定3級　実技模擬試験（学校法人　大原学園） 復習用教材として、FP技能士3級で使用しているテキストを持参してください。
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 ＦＰ技能士３級演習は、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

104.コンピュータ会計

学科	ＯＡ事務学科(１年課程)・ＯＡ事務学科(２年課程)・ ビジネス学科(２年課程)・経理事務学科(２年課程)・ 情報システム学科(１年課程)・情報システム学科(２年課程)・ 情報システム学科(３年課程)・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	コンピュータ会計	授業形態	演習
		選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	2単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	8回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 50 % 授業態度 : 50 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	簿記に関連した科目を履修したものが、その知識を実務でも活用できるよう会計ソフト(弥生会計)を使用し実習することで、簿記の知識(いわゆる受験簿記の知識)と会計ソフトを利用した場合の簿記とのつながり、相違点を理解してもらうことを目的としています。自ら会計ソフトを利用して基礎的な会計処理(入力・集計等)ができるようになること、コンピュータ会計能力検定2級を取得するための知識と技能を身につけることを到達目標とします。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス及び会計ソフトの操作	竹村　幸生
第2回	企業の基幹業務と会計処理	竹村　幸生
第3回	税金に関連する業務と会計処理	竹村　幸生
第4回	会計データ（証ひょうによる）の入力処理と集計	竹村　幸生
第5回	決算に関連する業務と会計処理	竹村　幸生
第6回	予算管理と経営分析指標	竹村　幸生

第7回	収益構造分析と短期利益計画	竹村　幸生
第8回	キャッシュ・フロー分析	竹村　幸生

準備学習等	パソコンを利用した会計処理の実習が中心となります。序盤は慣れない作業に苦労することになりますが、繰り返し実習を積むことでその技術(入力の速度・精度)は上達します。空き時間等を利用し、積極的にパソコン教室での練習を心がけてください。なお、予習は不要です。
教科書 参考書等	コンピュータ会計応用テキスト（実教出版） コンピュータ会計応用問題集（実教出版） コンピュータ会計能力検定試験　過去問題集（公益社団法人　全国経理教育協会）
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 コンピュータ会計は、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	ＯＡ事務学科(２年課程)・経理事務学科(２年課程) ビジネス学科(２年課程)・情報システム学科(２年課程) 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）・税理士会計士学科（３年課程） 情報システム学科（３年課程）
学年	２学年・３学年

科目名	社会人基礎知識Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	久保田　佳子・鈴木　秀俊 中島　京哉・瀬尾　幸江 鈴木　裕治・河野　賢一	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	ミニテスト：40％ 筆記試験：40％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	就職活動や関連授業を通して、自己を向上させる能力を養う。多くの方々との関わりを学ぶことで、時代の変化に動じず、活躍し続ける人材を育成する。また、就職試験に出題される漢字の読み・書き等を身につけ、日本ビジネス技能検定協会主催漢字検定１級取得も目指す。さらに、時事を継続的に学ぶことで興味関心を持ち、理解を深め、就職試験にも対応できる力を養う。時事だけでなく、旬なテーマに対して情報収集し、考えや意見を持ち、プレゼンテーション能力も養う。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	就職概論 社会人基礎力とは　就職の心がまえ　就職試験の種類と形式	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第2回	就職活動の進め方 業界と職種　企業の研究	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第3回	自己理解を深める 自己を分析する（マインドマップ、ロジックツリー、長所・短所）	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第4回	自己理解を深める 自分史を作成する　無意識の行動や習慣の分析	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第5回	自己理解を深める 題材の選び方　文章作成のポイント　言葉を選ぶ　自己PR作成	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第6回	面接試験対策 面接の必要性　質問の種類とスタイル　面接試験の評価ポイント	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第7回	面接試験対策 具体的な話し方と注意点　面接当日までにすべきこと	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第8回	面接試験対策 身だしなみと立ち居振舞い　面接の流れを把握する（入退室）	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第9回	書類を作成・郵送する 郵便のマナー　封筒を作成する　送付状を作成する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第10回	書類を作成する お礼状を作成する　内定決定後の意識のもち方	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第11回	ビジネスコミュニケーション 学生と社会人の違い　コミュニケーションの種類と必要性	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第12回	ビジネスにおけるメール 形式と作成のポイント　宛先の注意点（To、Cc）　署名欄を使い分ける	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第13回	ビジネス文書 役割と種類　作成に必要な２つの技能	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第14回	ビジネス文書 社外文書　形式と作成のポイント	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第15回	ビジネス文書 社内文書　形式と作成のポイント	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第16回	電話応対 電話の特性　基本マナー	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第17回	電話応対 受け方　伝言メモを作成する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第18回	電話応対 かけ方　不在着信の折り返し方	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第19回	漢字 訓読み・送り仮名、熟語	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第20回	漢字 熟語、同音異義、異字同訓	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第21回	漢字 誤字訂正、類義語、反対語、ことわざ	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第22回	漢字 ことわざ、漢字の意味と使い方、慣用句、特殊な漢字の読み書き	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第23回	漢字 慣用句、特殊な漢字の読み書き	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第24回	漢字 総合問題　検定過去問題	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第25回	時事研究 テーマに対して情報収集をし意見をまとめ、PowerPointを作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第26回	時事研究 テーマに対して情報収集をし意見をまとめ、PowerPointを作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第27回	時事研究 テーマに対して情報収集をし意見をまとめ、PowerPointを作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第28回	時事研究　グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見をまとめる　PowerPoint作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第29回	時事研究　グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見をまとめる　PowerPoint作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第30回	時事研究　グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見をまとめる　PowerPoint作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

準備学習等	将来について考え、日常生活を振り返りながら自己改善をはかる。世間の動向を把握しながら、さまざまな企業の情報収集を行い、目標達成に向け研究を重ねる。 基本的な漢字や時事用語を覚え、理解を深めることで、就職試験にいかすことができる。自宅での復習など、知識の定着をはかる。
教科書 参考書等	就職ガイドブック、ノートブック（大原出版） 漢字能力検定試験対策問題集１級　（日本ビジネス技能検定協会） 時事用語は日々プリントを配布いたします。
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性があります。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・情報システム学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）・情報システム学科（３年課程） 税理士会計士学科（３年課程）
学年	２学年・３学年

科目名	社会人基礎知識Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	久保田佳子・鈴木秀俊・中島京哉 瀬尾幸江・鈴木裕治・河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % 課題・レポート提出 : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	就職活動や授業を通して自己を向上させる能力に気付かせ、実践力を養う。多様な人々と関わりながら学ぶことで、時代の変化に動じることなく、活躍し続けることができる柔軟性を持った人材を育成する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	就職概論 社会人基礎力とは　就職の心がまえ　就職試験の種類と形式	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第2回	就職活動の進め方 業界と職種　企業の研究	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第3回	就職活動の進め方 業界と職種　企業の研究	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第4回	自己理解を深める 自己を分析する（マインドマップ、ロジックツリー、長所・短所）	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第5回	自己理解を深める 自分史を作成する　無意識の行動や習慣の分析	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第6回	自己理解を深める 題材の選び方　文章作成のポイント　言葉を選ぶ	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第7回	自己理解を深める 自己PRを作成する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第8回	面接試験対策 面接の必要性　質問の種類とスタイル　面接試験の評価ポイント	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第9回	面接試験対策 具体的な話し方と注意点　面接当日までにすべきこと	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第10回	面接試験対策 身だしなみと立ち居振舞い　面接の流れを把握する（入室から退室まで）	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第11回	書類を作成・郵送する 郵便のマナー　封筒を作成する　送付状を作成する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第12回	書類を作成する お礼状を作成する　内定決定後の意識のもち方	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第13回	ビジネスコミュニケーション 学生と社会人の違い　コミュニケーションの種類と必要性	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第14回	ビジネスにおけるメール 形式と作成のポイント　宛先の注意点（To、Cc）　署名欄を使い分ける	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第15回	ビジネス文書 役割と種類　作成に必要な２つの技能	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第16回	社外文書 形式と作成のポイント	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第17回	社内文書 形式と作成のポイント	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第18回	電話応対 電話の特性　基本マナー	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第19回	電話応対 受け方　伝言メモを作成する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第20回	電話応対 かけ方　不在着信の折り返し方	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
準備学習等	将来について考え、日常生活を振り返りながら自己改善を図る。世間の動向を把握しながら、さまざまな企業の情報収集を行い、目標達成に向け研究を重ねる。	
教科書 参考書等	就職ガイドブック（大原出版） 就職ノートブック	

備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。受講生の習熟の度合や進捗度、検定試験の出題範囲改正等に伴い、授業内容を変更する場合がある。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	販売士２級基礎Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	鈴木　秀俊・中島　京哉・山下　健二	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二	成績評価方法	筆記試験：80％ 授業態度：20％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	流通・小売業における専門知識を身につけることを目的とし、販売員としての接客のみならず、売場や店舗管理者としての知識も学習する。学習内容の理解を到達目標とし、日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定２級取得を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型　流通と小売業の役割	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第2回	小売業の類型　流通と小売業の役割	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第3回	小売業の類型　組織別小売業の運営特性	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第4回	小売業の類型　組織別小売業の運営特性	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第5回	小売業の類型　店舗形態別小売業の運営特性	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第6回	小売業の類型　店舗形態別小売業の運営特性	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二

第7回	小売業の類型　店舗形態別小売業の運営特性	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第8回	小売業の類型　確認問題①	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第9回	小売業の類型　確認問題②	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第10回	小売業の類型　確認問題③	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第11回	マーチャンダイジング　マーチャンダイジングの戦略的展開	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第12回	マーチャンダイジング　商品計画の戦略的立案	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第13回	マーチャンダイジング　販売計画の戦略的立案	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第14回	マーチャンダイジング　仕入計画の策定と仕入活動の戦略的展開	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第15回	マーチャンダイジング　販売政策の戦略的展開	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第16回	マーチャンダイジング　商品管理政策の戦略的展開	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第17回	マーチャンダイジング　物流政策の戦略的展開	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第18回	マーチャンダイジング　確認問題①	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第19回	マーチャンダイジング　確認問題②	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第20回	マーチャンダイジング　確認問題③	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二

準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施します。必ず復習を行うこと。 学生の理解度により講義内容を変更する場合があります。
教科書 参考書等	販売士ハンドブック（応用編）リテールマーケティング（販売士）検定試験２級対応（カリアック） 販売士(リテールマーケティング）２級問題集part１（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）２級問題集part２（TAC出版）

備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改定等に伴う授業内容の変更の可能性があります。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	販売士２級基礎Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	鈴木　秀俊・中島　京哉・山下　健二	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二	成績評価方法	筆記試験　：　80　％ 授業態度　：　20　％ ：　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	流通・小売業における専門知識を身につけることを目的とし、販売員としての接客のみならず、売場や店舗管理者としての知識も学習する。学習内容の理解を到達目標とし、日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定２級取得を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ストアオペレーション　店舗運営サイクルの実践と管理	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第2回	ストアオペレーション　戦略的ディスプレイの実施方法	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第3回	ストアオペレーション　作業割当の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第4回	ストアオペレーション　LSPの役割と仕組み	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第5回	ストアオペレーション　人的販売の実践と管理	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二

第6回	ストアオペレーション　確認問題	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第7回	マーケティング　リテールマーケティング戦略の考え方	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第8回	マーケティング　リテールマーケティングの展開に必要な商圏分析と出店戦略の実践	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第9回	マーケティング　マーケットリサーチの方法と進め方	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第10回	マーケティング　リテールマーケティングび展開に必要なリージョナルプロモーションの実践	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第11回	マーケティング　顧客戦略の展開方法	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第12回	マーケティング　確認問題①	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第13回	マーケティング　確認問題②	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第14回	販売・経営管理　販売管理者の法令知識	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第15回	販売・経営管理　小売店経営における計数管理と計算実務	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第16回	販売・経営管理　販売活動に求められる決算データと経営分析	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第17回	販売・経営管理　小売業における組織の基本原則と従業員管理	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第18回	販売・経営管理　店舗施設などの維持管理	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第19回	販売・経営管理　確認問題①	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二

第20回	販売・経営管理　確認問題②	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施します。必ず復習を行うこと。 学生の理解度により講義内容を変更する場合があります。	
教科書 参考書等	販売士ハンドブック（応用編）リテールマーケティング（販売士）検定試験２級対応（カリアック） 販売士(リテールマーケティング）２級問題集part１（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）２級問題集part２（TAC出版）	
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改定等に伴う授業内容の変更の可能性があります。	

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程） 税理士会計士学科（３年課程）
学年	３学年・３学年

科目名	販売士２級演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	90時間
		単位数	4単位
科目教員	鈴木　秀俊・中島　京哉・山下　健二	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二	成績評価方法	筆記試験　：　80　% 授業態度　：　20　% ：　% ：　% ：　%

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。
授業目的 到達目標	流通・小売業における専門知識を身につけることを目的とし、販売員としての接客のみならず、売場や店舗管理者としての知識も学習する。学習内容の理解を到達目標とし、日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定２級取得を目指す。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型　流通と小売業の役割　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第2回	小売業の類型　組織別小売業の運営特性　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第3回	小売業の類型　組織別小売業の運営特性　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第4回	小売業の類型　店舗形態別小売業の運営特性　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第5回	小売業の類型　店舗形態別小売業の運営特性　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第6回	マーチャンダイジング　マーチャンダイジングの戦略的展開　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二

第7回	マーチャンダイジング　商品計画の戦略的立案　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第8回	マーチャンダイジング　販売計画の戦略的立案　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第9回	マーチャンダイジング　仕入計画の策定と仕入活動の戦略的展開　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第10回	マーチャンダイジング　販売政策の戦略的展開　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第11回	マーチャンダイジング　商品管理政策の戦略的展開　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第12回	マーチャンダイジング　物流政策の戦略的展開　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第13回	ストアオペレーション　店舗運営サイクルの実践と管理　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第14回	ストアオペレーション　戦略的ディスプレイの実施方法　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第15回	ストアオペレーション　作業割当の基本　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第16回	ストアオペレーション　LSPの役割と仕組み　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第17回	ストアオペレーション　人的販売の実践と管理　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第18回	マーケティング　リテールマーケティング戦略の考え方　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第19回	マーケティング　リテールマーケティング戦略の考え方　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第20回	マーケティング　リテールマーケティングの展開に必要な商圏分析と出店戦略の実践　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第21回	マーケティング　マーケットリサーチの方法と進め方　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二

第22回	マーケティング　マーケットリサーチの方法と進め方　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第23回	マーケティング　リテールマーケティングび展開に必要なリージョナルプロモーションの実践　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第24回	マーケティング　顧客戦略の展開方法　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第25回	販売・経営管理　販売管理者の法令知識　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第26回	販売・経営管理　販売管理者の法令知識　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第27回	販売・経営管理　小売店経営における計数管理と計算実務　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第28回	販売・経営管理　販売活動に求められる決算データと経営分析　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第29回	販売・経営管理　小売業における組織の基本原則と従業員管理　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第30回	販売・経営管理　店舗施設などの維持管理　問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二

準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施します。必ず復習を行うこと。 学生の理解度により講義内容を変更する場合があります。
教科書 参考書等	販売士ハンドブック（応用編）リテールマーケティング（販売士）検定試験２級対応（カリアック） 販売士(リテールマーケティング）２級問題集part１（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）２級問題集part２（TAC出版）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改定等に伴う授業内容の変更の可能性があります。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	販売士３級基礎Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	3単位
		授業回数	20回
科目教員	鈴木　秀俊・中島　京哉・山下　健二	成績評価方法	筆記試験　：　80　％ 授業態度　：　20　％ ：　％ ：　％ ：　％
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二		
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	流通・小売業で必要な基礎知識・技能を理解し、販売担当として必要な知識・技術を学習することを目的とする。学習内容の理解を到達目標とし、日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定３級取得を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型　流通における小売業の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第2回	小売業の類型　組織形態別小売業の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第3回	小売業の類型　組織形態別小売業の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第4回	小売業の類型　店舗形態別小売業の基本的役割	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第5回	小売業の類型　店舗形態別小売業の基本的役割	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第6回	小売業の類型　店舗形態別小売業の基本的役割	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二

第7回	小売業の類型　商業集積の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第8回	小売業の類型　確認問題①	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第9回	小売業の類型　確認問題②	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第10回	小売業の類型　確認問題③	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第11回	マーチャンダイジング　商品の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第12回	マーチャンダイジング　マーチャンダイジングの基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第13回	マーチャンダイジング　商品計画の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第14回	マーチャンダイジング　販売計画および仕入計画などの基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第15回	マーチャンダイジング　価格設定の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第16回	マーチャンダイジング　在庫管理の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第17回	マーチャンダイジング　販売管理の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第18回	マーチャンダイジング　確認問題①	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第19回	マーチャンダイジング　確認問題②	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第20回	マーチャンダイジング　確認問題③	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施します。必ず復習を行うこと。 学生の理解度により講義内容を変更する場合があります。	

教科書 参考書等	販売士ハンドブック（応用編）リテールマーケティング（販売士）検定試験３級対応（カリアック） 販売士(リテールマーケティング）３級問題集part１（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）３級問題集part２（TAC出版）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改定等に伴う授業内容の変更の可能性があります。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	販売士３級基礎Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	3単位
		授業回数	20回
科目教員	鈴木　秀俊・中島　京哉・山下　健二	成績評価方法	筆記試験　：　80　％
			授業態度　：　20　％
			：　％
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二		：　％
			：　％

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。
授業目的 到達目標	流通・小売業で必要な基礎知識・技能を理解し、販売担当として必要な知識・技術を学習することを目的とする。学習内容の理解を到達目標とし、日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定３級取得を目指す。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ストアオペレーション　ストアオペレーションの基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第2回	ストアオペレーション　ストアオペレーションの基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第3回	ストアオペレーション　包装技術の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第4回	ストアオペレーション　ディスプレイの基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第5回	ストアオペレーション　練習問題①	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第6回	ストアオペレーション　練習問題②	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第7回	マーケティング　小売業のマーチャンダイジングの基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二

第8回	マーケティング　顧客満足経営の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第9回	マーケティング　商圏の設定と出店の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第10回	マーケティング　リージョナルプロモーションの基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第11回	マーケティング　顧客志向型売場づくりの基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第12回	マーケティング　練習問題①	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第13回	マーケティング　練習問題②	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第14回	販売・経営管理　販売員の役割の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第15回	販売・経営管理　販売員の法令知識	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第16回	販売・経営管理　小売業の計数管理	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第17回	販売・経営管理　店舗管理の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第18回	販売・経営管理　練習問題①	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第19回	販売・経営管理　練習問題②	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第20回	販売・経営管理　練習問題③	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二

準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施します。必ず復習を行うこと。 学生の理解度により講義内容を変更する場合があります。
教科書 参考書等	販売士ハンドブック（応用編）リテールマーケティング（販売士）検定試験３級対応（カリアック） 販売士(リテールマーケティング）３級問題集part１（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）３級問題集part２（TAC出版）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改定等に伴う授業内容の変更の可能性があります。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程） 税理士会計士学科（３年課程）
学年	２学年・３学年

科目名	販売士３級演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	90時間
		単位数	4単位
科目教員	鈴木　秀俊・中島　京哉・山下　健二	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二	成績評価方法	筆記試験　：　80　% 授業態度　：　20　% ：　% ：　% ：　%
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的到達目標	流通・小売業で必要な基礎知識・技能を理解し、販売担当として必要な知識・技術を学習することを目的とする。学習内容の理解を到達目標とし、日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定３級取得を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型　問題演習　流通における小売業の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第2回	小売業の類型　問題演習　組織形態別小売業の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第3回	小売業の類型　問題演習　組織形態別小売業の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第4回	小売業の類型　問題演習　店舗形態別小売業の基本的役割	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第5回	小売業の類型　問題演習　店舗形態別小売業の基本的役割	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第6回	小売業の類型　問題演習　商業集積の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二

第7回	マーチャンダイジング　問題演習　商品の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第8回	マーチャンダイジング　問題演習　マーチャンダイジングの基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第9回	マーチャンダイジング　問題演習　商品計画の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第10回	マーチャンダイジング　問題演習　販売計画および仕入計画などの基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第11回	マーチャンダイジング　問題演習　価格設定の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第12回	マーチャンダイジング　問題演習　在庫管理の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第13回	マーチャンダイジング　問題演習　販売管理の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第14回	ストアオペレーション　問題演習　ストアオペレーションの基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第15回	ストアオペレーション　問題演習　包装技術の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第16回	ストアオペレーション　問題演習　ディスプレイの基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第17回	マーケティング　問題演習　小売業のマーケティングの基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第18回	マーケティング　問題演習　顧客満足経営の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第19回	マーケティング　問題演習　顧客満足経営の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第20回	マーケティング　問題演習　商圏の設定と出店の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第21回	マーケティング　問題演習　リージョナルプロモーションの基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第22回	マーケティング　問題演習　顧客志向型売場づくりの基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第23回	販売・経営管理　問題演習　販売員の役割の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二

第24回	販売・経営管理　問題演習　販売員の役割の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第25回	販売・経営管理　問題演習　販売員の法令知識	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第26回	販売・経営管理　問題演習　販売員の法令知識	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第27回	販売・経営管理　問題演習　小売業の計数管理	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第28回	販売・経営管理　問題演習　小売業の計数管理	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第29回	販売・経営管理　問題演習　店舗管理の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二
第30回	販売・経営管理　問題演習　店舗管理の基本	鈴木　秀俊 中島　京哉 山下　健二

準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施します。必ず復習を行うこと。 学生の理解度により講義内容を変更する場合があります。
教科書 参考書等	販売士ハンドブック（応用編）リテールマーケティング（販売士）検定試験３級対応（カリアック） 販売士(リテールマーケティング）３級問題集part１（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）３級問題集part２（TAC出版）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改定等に伴う授業内容の変更の可能性があります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（１年課程）・ ＯＡ事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・行政公務員学科（２年課程）・ 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	国内旅行演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木　秀俊、中島　京哉	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：80％ 授業態度：20％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	履修した内容を基に問題演習や、やり直しを繰り返し、本試験の問題に対応できる力を養うことを目的としています。基礎的な問題から、難易度の高い応用問題まで取り組むことで理解を深め、旅行業務取扱管理者試験に合格できる能力を身につけることを到達目標としています。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	総則、契約の成立、変更 観光地理（北海道） 問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉
第2回	契約の解除、旅行代金の払い戻し 観光地理（青森、岩手） 問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉
第3回	団体、グループ、旅程管理、責任、保証 観光地理（宮城、秋田） 問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉

第4回	特別保証規定、旅行相談業務 観光地理（山形、福島） 問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉
第5回	総則、登録制度 観光地理（茨城、栃木） 問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉
第6回	営業保証金制度、旅行業務取扱管理者、旅行業務取扱料金 観光地理（群馬、埼玉） 問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉
第7回	旅行業約款、標識、取引条件の説明、書面の交付 観光地理（千葉、東京） 問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉
第8回	外務員、広告の表示、誇大広告の禁止、旅程管理、受託契約 観光地理（神奈川、新潟） 問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉
第9回	旅行業者代理業、禁止行為、登録の取り消し、旅行サービス手配業 観光地理（富山、石川） 問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉
第10回	旅行業協会（法定業務、苦情解決業務、弁済業務保証金制度）罰則 観光地理（福井、山梨） 問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉
第11回	JR運賃、料金計算、JR運賃計算 観光地理（長野・岐阜） 問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉
第12回	JR運賃計算、割引運賃 観光地理（静岡、愛知、三重） 問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉
第13回	JR料金計算（基礎、特急料金、グリーン料金、寝台料金） 観光地理（滋賀、京都、大阪） 問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉

第14回	JR料金計算、乗継割引、新幹線と在来線の乗継割引 観光地理（兵庫、奈良） 問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉
第15回	JR料金計算（通し計算、東海道・山陽・九州新幹線の特急料金） 観光地理（和歌山、鳥取） 問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉
第16回	JR料金計算（新幹線の料金）、JRその他 観光地理（島根、岡山、広島） 問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉
第17回	国内航空運送約款、国内航空運賃、料金計算 観光地理（山口、徳島、香川） 問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉
第18回	フェリー標準運用約款、フェリー運賃、料金計算 観光地理（愛媛、高知、佐賀） 問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉
第19回	宿泊約款、宿泊料計算 観光地理（長崎、熊本、大分） 問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉
第20回	貸切バス約款、運賃、料金計算 観光地理（宮崎、鹿児島、沖縄） 問題演習	鈴木　秀俊 中島　京哉

準備学習等	日々の問題のやり直しを丁寧に行うことが何よりも大切です。間違った問題だけを確認するのではなく、その範囲のテキストを一通り確認することでより知識が定着します。地理に関する問題は範囲が膨大で全てを網羅することは困難であるため、出題頻度の高いものを優先的に暗記をするようにしてください。また、わからないところがある場合、勉強方法で迷った場合には科目教員に相談するようにしてください。
教科書 参考書等	公開模擬試験問題（学校法人　大原学園） 直前模擬試験問題（学校法人　大原学園） JTB模擬試験問題　A問題・B問題・C問題（JTB総合研究所） 旅行業務取扱管理者試験過去問題集（学校法人　大原学園）

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。国内旅行演習は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科各学年合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	秘書準１級Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	瀬尾　幸江・草野　淳子	成績評価方法	筆記試験 : 50 % 課題提出 : 30 % 授業態度 : 20 % : % : %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	一般企業に長く勤務し各方面と関わることで培ったスキルや経験をもとに、働く際に必要となる実務的内容のほか、秘書的なものの考え方や行動のあり方について、授業をとおし分かりやすく説明・指導する。
実務経験教員の実務経験内容	〔瀬尾〕一般企業にて総務・労務関連、販売、営業事務・経理事務等オフィスワーク全般を経験。宿泊施設の電話オペレータ業務に携わった経験をもつ。 現在、秘書技能検定準１級試験委員を担当している。 〔草野〕旅行会社において国内旅行業務に携わり、商品企画やパンフレット作成及び販売管理、集客状況分析、関係機関との交渉等を担当していた。 秘書技能検定準１級試験委員を担当した経験をもつ。
授業目的 到達目標	秘書の仕事の仕方をとおしてより高度な職場常識の理解を深め、オフィス内外で業務を行う際に必要な技能の習得と向上を図る。「応用の職場常識」といわれる秘書準１級の内容にふさわしい感じのよい立ち居振る舞いや話し方などを実践できるとともに、状況に応じた「より適切な」判断と柔軟な対応がとれるようにする。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	秘書検定とは何か・検定試験の受け方 受験のための基礎知識	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第2回	必要とされる資質 上級秘書の資質と能力①	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第3回	必要とされる資質 上級秘書の資質と能力②・対人関係の心得①	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第4回	必要とされる資質 対人関係の心得①②	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子

第5回	職務知識 秘書の機能と役割①	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第6回	職務知識 　秘書の機能と役割②・秘書の業務①	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第7回	職務知識 秘書の業務①②	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第8回	マナ－接遇 　人間関係と話し方①・一般知識①	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第9回	マナ－接遇 　人間関係と話し方②・一般知識②	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第10回	マナ－接遇 　人間関係と話し方③・一般知識③	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第11回	マナ－接遇 　電話応対と接遇・一般知識④	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第12回	マナ－接遇 交際①	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第13回	マナ－接遇 交際②	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第14回	マナ－接遇 交際③	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第15回	技能 会議	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第16回	技能 文書の作成①	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第17回	技能 文書の作成②	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第18回	技能 　文書の取り扱い・情報管理①	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第19回	技能 　文書の取り扱い・情報管理②	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子

第20回	技能 日程管理・オフィス管理	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子

準備学習等	一日の復習を忘れず行い、知識の定着を図ること。 特に用語については、内容の説明を記述解答できるよう学習を行うこと。
教科書 参考書等	秘書検定準１級集中講義（早稲田教育出版） 秘書検定準１級実問題集（早稲田教育出版） 秘書検定１級・準１級新クリアテスト（早稲田教育出版） 秘書検定準１級パーフェクトマスター（早稲田教育出版） 出る順問題集　秘書検定準１級に面白いほど受かる本（(株)ＫＡＤＯＫＡＷＡ）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 受講生の習熟の度合いや進捗度、検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性がある。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	秘書準１級演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	90時間
		単位数	4単位
科目教員	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員	瀬尾　幸江・草野　淳子	成績評価方法	筆記試験 : 50 % 課題・レポート : 30 % 授業態度 : 20 % : % : %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	一般企業に長く勤務し各方面と関わることで培ったスキルや経験をもとに、働く際に必要となる実務的内容のほか、秘書的なものの考え方や行動のあり方について、授業をとおし分かりやすく説明・指導する。
実務経験教員の実務経験内容	〔瀬尾〕一般企業にて総務・労務関連、販売、営業事務・経理事務等オフィスワーク全般を経験。宿泊施設の電話オペレータ業務に携わった経験をもつ。 現在、秘書技能検定準１級試験委員を担当している。 〔草野〕旅行会社において国内旅行業務に携わり、商品企画やパンフレット作成及び販売管理、集客状況分析、関係機関との交渉等を担当していた。 秘書技能検定準１級試験委員を担当した経験をもつ。
授業目的 到達目標	演習を中心とした授業をとおして実践力を高め、オフィス内外の業務に必要となる高度な技能の習得と向上を図り検定試験の合格につなげる。また、上級秘書としてのあり方を理解した立ち居振る舞いや話し方などが実践できることに加え、状況に応じて「より適切な」判断と柔軟な対応をとることができる能力を育む。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	理論・実技 問題演習および解説1	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第2回	理論・実技 問題演習および解説2	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第3回	理論・実技 問題演習および解説3	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第4回	理論・実技 問題演習および解説4	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子

第5回	理論・実技 問題演習および解説5	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第6回	理論・実技 問題演習および解説6	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第7回	理論・実技 問題演習および解説7	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第8回	理論・実技 問題演習および解説8	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第9回	理論・実技 問題演習および解説9	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第10回	理論・実技 問題演習および解説10	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第11回	理論・実技 問題演習および解説11	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第12回	理論・実技 問題演習および解説12	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第13回	理論・実技 問題演習および解説13	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第14回	理論・実技 問題演習および解説14	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第15回	理論・実技 問題演習および解説15	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第16回	理論・実技 問題演習および解説16	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第17回	理論・実技 問題演習および解説17	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第18回	理論・実技 問題演習および解説18	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第19回	理論・実技 問題演習および解説19	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子

第20回	理論・実技 問題演習および解説20	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第21回	理論・実技 問題演習および解説21	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第22回	理論・実技 問題演習および解説22	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第23回	理論・実技 問題演習および解説23	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第24回	理論・実技 問題演習および解説24	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第25回	理論・実技 問題演習および解説25	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第26回	面接試験の予備知識 試験の概要と実際の流れ	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第27回	面接試験対策（総合演習） 入退室・挨拶・報告の仕方・状況対応	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第28回	面接試験対策（総合演習） 入退室・挨拶・報告の仕方・状況対応	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第29回	面接試験対策（総合演習） 入退室・挨拶・報告の仕方・状況対応	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第30回	面接試験対策（総合演習） 入退室・挨拶・報告の仕方・状況対応	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子

準備学習等	一日の復習を忘れず行い、知識の定着を図ること。 特に用語については、内容の説明を記述解答できるよう学習を行うこと。
教科書 参考書等	秘書検定準１級集中講義（早稲田教育出版） 秘書検定準１級実問題集（早稲田教育出版） 秘書検定１級・準１級新クリアテスト（早稲田教育出版） 秘書検定準１級パーフェクトマスター（早稲田教育出版） 出る順問題集　秘書検定準１級に面白いほど受かる本（(株)ＫＡＤＯＫＡＷＡ）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 受講生の習熟の度合いや進捗度、検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性がある。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程） 税理士会計士学科（３年課程）
学年	２学年・３学年

科目名	秘書準１級Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	瀬尾　幸江・草野　淳子	成績評価方法	筆記試験：50％ 課題提出：30％ 授業態度：20％ ：％ ：％

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	一般企業に長く勤務し各方面と関わることで培ったスキルや経験をもとに、働く際に必要となる実務的内容のほか、秘書的なものの考え方や行動のあり方について、授業をとおし分かりやすく説明・指導する。
実務経験教員の実務経験内容	〔瀬尾〕一般企業にて総務・労務関連、販売、営業事務・経理事務等オフィスワーク全般を経験。宿泊施設の電話オペレータ業務に携わった経験をもつ。 現在、秘書技能検定準１級試験委員を担当している。 〔草野〕旅行会社において国内旅行業務に携わり、商品企画やパンフレット作成及び販売管理、集客状況分析、関係機関との交渉等を担当していた。 秘書技能検定準１級試験委員を担当した経験をもつ。
授業目的 到達目標	「応用の職場常識」といわれる秘書検定準１級について講義や問題演習を行いながら解説を加え知識の定着を促す。また、秘書の仕事の仕方やオフィス内外で業務を行う際に必要となる技能を習得し、感じのよい話し方や上級秘書にふさわしい立ち居振る舞いが実践できることにより、検定試験の合格を目指す。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス（試験について） 一般知識	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第2回	一般知識	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第3回	必要とされる資質	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第4回	必要とされる資質	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子

第5回	職務知識	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第6回	職務知識	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第7回	マナー・接遇	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第8回	マナー・接遇	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第9回	秘書技能	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第10回	秘書技能	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第11回	過去問題1　解説	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第12回	過去問題2　解説	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第13回	過去問題3　解説	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第14回	過去問題4　解説	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第15回	過去問題5　解説	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第16回	過去問題6　解説	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第17回	面接試験問題演習・解説	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第18回	面接試験問題演習・解説	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子
第19回	面接試験問題演習・解説	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子

第20回	面接試験問題演習・解説	瀬尾　幸江 草野　淳子 久保田　佳子

準備学習等	一日の復習を忘れず行い、知識の定着を図ること。 特に用語については、内容の説明を記述解答できるよう学習を行うこと。
教科書 参考書等	秘書検定準１級集中講義（早稲田教育出版） 秘書検定準１級実問題集（早稲田教育出版） 秘書検定１級・準１級新クリアテスト（早稲田教育出版） 秘書検定準１級パーフェクトマスター（早稲田教育出版） 出る順問題集　秘書検定準１級に面白いほど受かる本（(株)ＫＡＤＯＫＡＷＡ）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 受講生の習熟の度合いや進捗度、検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性がある。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程） ビジネス学科（2年課程）・行政公務員学科（2年課程） 総合公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（2年課程）
学年	2学年

科目名	表計算ソフト基礎Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	久保田 佳子・五十嵐 久子	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	五十嵐 久子	成績評価方法	確認試験 : 50 % ミニテスト : 50 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ		
実務経験教員の実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター		
授業目的到達目標	パソコンおよびExcelの基本的な用語と基本操作を習得し、サーティファイ主催Excel表計算技能認定試験3級以上の取得を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、Excelの画面構成、タイピング練習	久保田佳子 五十嵐久子
第2回	Excel基本問題演習① 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第3回	Excel基本問題演習② 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第4回	Excel基本問題演習③ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第5回	Excel基本問題演習④ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第6回	Excel基本問題演習⑤ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第7回	Excel基本問題演習⑥ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第8回	Excel基本問題演習⑦ 解説	久保田佳子 五十嵐久子

第9回	Excel基本問題演習⑧ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第10回	Excel基本問題演習⑨ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第11回	Excel基本問題演習⑩ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第12回	Excel基本問題演習⑪ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第13回	Excel基本問題演習⑫ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第14回	Excel基本問題演習⑬ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第15回	Excel基本問題演習⑭ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第16回	Excel基本問題演習⑮ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第17回	検定直前模擬問題① 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第18回	検定直前模擬問題② 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第19回	検定直前模擬問題③ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第20回	検定直前模擬問題④ 解説	久保田佳子 五十嵐久子

準備学習等	演習では、キーボードからの入力が多いので、ブラインドタッチが使えるように練習しておいてください。
教科書 参考書等	Excel表計算処理技能認定試験３級問題集（株式会社サーティファイ） Excel表計算処理技能認定試験１・２級問題集（株式会社サーティファイ）
備考	複数学科・複数学年のよる合同授業となります。 検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性があります。

学科	ＯＡ事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程） 税理士会計士学科（３年課程）
学年	２学年・３学年

科目名	表計算ソフト基礎Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	90時間
		単位数	4単位
科目教員	久保田 佳子・五十嵐 久子	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員	五十嵐 久子	成績評価方法	確認試験 : 50 % ミニテスト : 50 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ		
実務経験教員の実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター		
授業目的到達目標	パソコンおよびExcelの応用的な用語と操作を習得し、サーティファイ主催Excel表計算技能認定試験３級以上の取得を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、Excelの画面構成、タイピング練習	久保田佳子 五十嵐久子
第2回	Excel基本問題演習① 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第3回	Excel基本問題演習② 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第4回	Excel基本問題演習③ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第5回	Excel基本問題演習④ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第6回	Excel基本問題演習⑤ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第7回	Excel基本問題演習⑥ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第8回	Excel基本問題演習⑦ 解説	久保田佳子 五十嵐久子

第9回	Excel基本問題演習⑧ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第10回	Excel基本問題演習⑨ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第11回	Excel基本問題演習⑩ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第12回	Excel基本問題演習⑪ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第13回	Exce基本問題演習⑫ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第14回	Excel基本問題演習⑬ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第15回	Excel基本問題演習⑭ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第16回	Excel基本問題演習⑮ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第17回	Excel基本問題演習⑯ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第18回	Excel基本問題演習⑰ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第19回	Excel基本問題演習⑱ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第20回	Excel基本問題演習⑲ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第21回	Excel基本問題演習⑳ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第22回	Excel基本問題演習㉑ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第23回	Excel基本問題演習㉒ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第24回	検定直前模擬問題① 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第25回	検定直前模擬問題② 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第26回	検定直前模擬問題③ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第27回	検定直前模擬問題④ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第28回	検定直前模擬問題⑤ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第29回	検定直前模擬問題⑥ 解説	久保田佳子 五十嵐久子

第30回	検定直前模擬問題⑦ 解説	久保田佳子 五十嵐久子

準備学習等	演習では、キーボードからの入力が多いので、ブラインドタッチが使えるように練習しておいてください。
教科書 参考書等	Excel表計算処理技能認定試験３級問題集（株式会社サーティファイ） Excel表計算処理技能認定試験１・２級問題集（株式会社サーティファイ）
備考	複数学科・複数学年のよる合同授業となります。 検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性があります。

学科	ＯＡ事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・税理士会計士学科（３年課程）
学年	２学年・３学年

科目名	文書処理ソフト基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	3単位
		授業回数	20回
科目教員	久保田 佳子・五十嵐 久子	成績評価方法	確認試験 : 50 %
			ミニテスト : 50 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員	五十嵐 久子		: %
			: %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ
実務経験教員の実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター
授業目的 到達目標	パソコンおよびWordの応用的な用語と操作を習得し、サーティファイ主催Word文書処理技能認定試験３級以上の取得を目指す。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、Wordの画面構成、タイピング練習	久保田佳子 五十嵐久子
第2回	Word基本問題演習① 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第3回	Word基本問題演習① 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第4回	Word基本問題演習② 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第5回	Word基本問題演習③ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第6回	Word基本問題演習④ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第7回	Word基本問題演習⑤ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第8回	Word基本問題演習⑥ 解説	久保田佳子 五十嵐久子

第9回	Word基本問題演習⑦ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第10回	Word基本問題演習⑧ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第11回	Word基本問題演習⑨ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第12回	Word基本問題演習⑩ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第13回	Word基本問題演習⑪ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第14回	Word基本問題演習⑫ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第15回	Word基本問題演習⑬ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第16回	Word基本問題演習⑭ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第17回	検定直前模擬問題① 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第18回	検定直前模擬問題② 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第19回	検定直前模擬問題③ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第20回	検定直前模擬問題④ 解説	久保田佳子 五十嵐久子

準備学習等	演習では、キーボードからの入力が多いので、ブラインドタッチが使えるように練習しておいてください。
教科書 参考書等	Word文書処理技能認定試験３級問題集（株式会社サーティファイ） Word文書処理技能認定試験１・２級問題集（株式会社サーティファイ）
備考	複数学科・複数学年のよる合同授業となります。 検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性があります。

120.表計算ソフト応用

学科	ＯＡ事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程） 税理士会計士学科（３年課程）
学年	２学年・３学年

科目名	表計算ソフト応用		授業形態	演習
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		有	授業時間数	60時間
			単位数	2単位
科目教員	久保田 佳子・五十嵐 久子		授業回数	20回
			成績評価方法	確認試験 : 50 %
				ミニテスト : 50 %
				: %
科目教員のうち実務経験教員	五十嵐 久子			: %
				: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ			
実務経験教員の実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター			
授業目的到達目標	パソコンおよびExcelの基本的な用語と基本操作を習得し、サーティファイ主催Excel表計算技能認定試験３級以上の取得を目指す。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス	久保田佳子 五十嵐久子
第2回	Excel応用問題演習① 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第3回	Excel応用問題演習② 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第4回	Excel応用問題演習③ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第5回	Excel応用問題演習④ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第6回	Excel応用問題演習⑤ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第7回	Excel応用問題演習⑥ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第8回	Excel応用問題演習⑦ 解説	久保田佳子 五十嵐久子

第9回	Excel応用問題演習⑧ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第10回	Excel応用問題演習⑨ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第11回	Excel応用問題演習⑩ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第12回	Excel応用問題演習⑪ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第13回	Excel応用問題演習⑫ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第14回	Excel応用問題演習⑬ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第15回	Excel応用問題演習⑭ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第16回	Excel応用問題演習⑮ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第17回	検定直前模擬問題① 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第18回	検定直前模擬問題② 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第19回	検定直前模擬問題③ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第20回	検定直前模擬問題④ 解説	久保田佳子 五十嵐久子

準備学習等	Excel検定２級程度の習得が前提です。基本的な操作を復習しておいてください。
教科書 参考書等	Excel表計算処理技能認定試験１・２級問題集（株式会社サーティファイ）
備考	複数学科・複数学年のよる合同授業となります。 検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性があります。

121.文書処理ソフト応用

学科	ＯＡ事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	文書処理ソフト応用	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	久保田 佳子・五十嵐 久子	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	五十嵐 久子	成績評価方法	確認試験 ： 50 % ミニテスト ： 50 % ： % ： % ： %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ		
実務経験教員の実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター		
授業目的 到達目標	パソコンおよびWordの高度な用語と操作を習得し、サーティファイ主催Word文書処理技能認定試験２級以上の取得を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス	久保田佳子 五十嵐久子
第2回	Word応用問題演習① 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第3回	Word応用問題演習② 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第4回	Word応用問題演習③ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第5回	Word応用問題演習④ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第6回	Word応用問題演習⑤ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第7回	Word応用問題演習⑥ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第8回	Word応用問題演習⑦ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第9回	Word応用問題演習⑧ 解説	久保田佳子 五十嵐久子

第10回	Word応用問題演習⑨ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第11回	Word応用問題演習⑩ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第12回	Word応用問題演習⑪ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第13回	Word応用問題演習⑫ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第14回	Word応用問題演習⑬ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第15回	Word応用問題演習⑭ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第16回	Word応用問題演習⑮ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第17回	検定直前模擬問題① 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第18回	検定直前模擬問題② 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第19回	検定直前模擬問題③ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第20回	検定直前模擬問題④ 解説	久保田佳子 五十嵐久子

準備学習等	Word検定２級程度の習得が前提です。基本的な操作を復習しておいてください。
教科書 参考書等	Word文書処理技能認定試験１・２級問題集（株式会社サーティファイ）
備考	複数学科・複数学年のよる合同授業となります。 検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性があります。

学科	ＯＡ事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程） 税理士会計士学科（３年課程）
学年	２学年・３学年

科目名	会計ソフト	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	久保田　佳子、中島　京哉	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	確認試験：50％ ミニテスト：50％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	全国経理教育協会主催コンピュータ会計能力検定試験に合格できる技能を習得することで、会計システムを理解し、会計ソフトを操作する能力とシステムに集約された情報を帳票化し的確な情報を経営管理者へ提供できる能力を習得する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	企業活動と会計処理	久保田　佳子 中島　京哉
第2回	会計ソフトの基礎知識	久保田　佳子 中島　京哉
第3回	企業の基幹業務と会計処理①	久保田　佳子 中島　京哉
第4回	企業の基幹業務と会計処理②	久保田　佳子 中島　京哉
第5回	税金に関する業務と会計処理	久保田　佳子 中島　京哉
第6回	会計データの入力処理と集計①	久保田　佳子 中島　京哉
第7回	会計データの入力処理と集計②	久保田　佳子 中島　京哉
第8回	月次決算に関連する業務と会計処理	久保田　佳子 中島　京哉
第9回	会計データの入力練習①	久保田　佳子 中島　京哉

第10回	会計データの入力練習②	久保田　佳子 中島　京哉
第11回	会計データの入力練習③	久保田　佳子 中島　京哉
第12回	会計データの入力練習④	久保田　佳子 中島　京哉
第13回	問題演習①	久保田　佳子 中島　京哉
第14回	問題演習②	久保田　佳子 中島　京哉
第15回	問題演習③	久保田　佳子 中島　京哉
第16回	問題演習④	久保田　佳子 中島　京哉
第17回	問題演習⑤	久保田　佳子 中島　京哉
第18回	問題演習⑥	久保田　佳子 中島　京哉
第19回	問題演習⑦	久保田　佳子 中島　京哉
第20回	問題演習⑧	久保田　佳子 中島　京哉

準備学習等	簿記３級程度の習得が前提です。以前学んだ簿記を復習しておいてください。
教科書 参考書等	コンピュータ会計　基本テキスト（実教出版株式会社） コンピュータ会計３級　過去問題集（公益社団法人 全国経理教育協会）
備考	複数学科・複数学年のよる合同授業となります。 検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性があります。

123.プレゼンテーションソフト

学科	ＯＡ事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	プレゼンテーションソフト	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	久保田 佳子・五十嵐 久子	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	五十嵐 久子	成績評価方法	確認試験 ： 50 % ミニテスト ： 50 % ： % ： % ： %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ		
実務経験教員の実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター		
授業目的到達目標	パソコンおよびPowerPointの基本的な用語と操作から応用的な操作までを習得し、サーティファイ主催PowerPointプレゼンテーション技能認定試験上級の取得を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、PowerPointの画面構成	久保田佳子 五十嵐久子
第2回	PowerPoint基本操作①	久保田佳子 五十嵐久子
第3回	PowerPoint基本操作②	久保田佳子 五十嵐久子
第4回	PowerPoint基本操作③	久保田佳子 五十嵐久子
第5回	PowerPoint基本操作④	久保田佳子 五十嵐久子
第6回	PowerPoint基本演習① 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第7回	PowerPoint基本演習② 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第8回	PowerPoint基本演習③ 解説	久保田佳子 五十嵐久子

第9回	PowerPoint基本演習④ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第10回	PowerPoint基本演習⑤ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第11回	PowerPoint基本演習⑥ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第12回	PowerPoint応用演習① 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第13回	PowerPoint応用演習② 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第14回	PowerPoint応用演習③ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第15回	PowerPoint応用演習④ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第16回	PowerPoint応用演習⑤ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第17回	PowerPoint応用演習⑥ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第18回	直前模擬問題① 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第19回	直前模擬問題② 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第20回	直前模擬問題③ 解説	久保田佳子 五十嵐久子

準備学習等	演習では、キーボードからの入力が多いので、ブラインドタッチが使えるように練習しておいてください。
教科書 参考書等	PowerPoint2021クイックマスター（株式会社ウイネット）、 PowerPointプレゼンテーション技能認定試験問題集（株式会社サーティファイ）
備考	複数学科・複数学年のよる合同授業となります。 検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性があります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程） 税理士会計士学科（３年課程）
学年	２学年・３学年

科目名	ファイナンシャル・プランニング	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	中島　京哉 久保田　佳子	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	ファイナンシャル・プランナーとは、お金の知識を総合的に身につけて、ライフプランの実現に向けたアドバイスをする専門家である。年金・保険・不動産・金融資産・税金・相続など、様々な種類のお金の知識が必要不可欠となる。また、自己のライフプラン（キャッシュフローの作成）ができることを目的とし、最終的には日本FP協会主催2.3級ファイナンシャル・プランニング技能検定に合格することを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 不動産 （不動産の見方、不動産の取引、不動産に関する法令上の制限） ライフプランニングと資金計画	中島　京哉 久保田　佳子
第2回	不動産 （不動産の見方、不動産の取引、不動産に関する法令上の制限）	中島　京哉 久保田　佳子
第3回	不動産 （不動産に係る税金、不動産の有効活用）	中島　京哉 久保田　佳子
第4回	タックスプランニング （税金の分類と計算体系、所得税の仕組み、各種所得の内容）	中島　京哉 久保田　佳子
第5回	タックスプランニング （税金の分類と計算体系、所得税の仕組み、各種所得の内容）	中島　京哉 久保田　佳子
第6回	タックスプランニング （課税標準の計算、所得控除）	中島　京哉 久保田　佳子

第7回	タックスプランニング （税額控除、確定申告、個人住民税と個人事業税）	中島　京哉 久保田　佳子
第8回	ライフプランニングと資金計画 （FPとライフプランニング、教育住宅資金計画）	中島　京哉 久保田　佳子
第9回	ライフプランニングと資金計画 （社会保険、公的年金制度、老後の生活資金設計と公的年金）	中島　京哉 久保田　佳子
第10回	ライフプランニングと資金計画 （公的年金、少額給付、遺族給付、企業年金・自営業者のための年金）	中島　京哉 久保田　佳子
第11回	リスク管理 （保険制度、生命保険の概略、種類、内容）	中島　京哉 久保田　佳子
第12回	リスク管理 （損害保険の概略、種類、内容）	中島　京哉 久保田　佳子
第13回	リスク管理 （個人契約に関する税金、企業契約に関する税金　第三分野の保険・共済）	中島　京哉 久保田　佳子
第14回	金融資産運用（マーケット環境の理解、預貯金等、債券、株式、投資信託）	中島　京哉 久保田　佳子
第15回	金融資産運用（マーケット環境の理解、預貯金等、債券、株式、投資信託）	中島　京哉 久保田　佳子
第16回	金融資産運用 （外貨建て商品、金融派生商品、ポートフォリオ運用）	中島　京哉 久保田　佳子
第17回	金融資産運用 （金融商品と税金、セーフティネット、関連法規）	中島　京哉 久保田　佳子
第18回	相続・事業承継 （贈与税と税金、相続と税金）	中島　京哉 久保田　佳子
第19回	相続・事業承継 （財産の評価、相続対策）	中島　京哉 久保田　佳子
第20回	相続・事業承継 （相続と法律、贈与と法律）	中島　京哉 久保田　佳子
準備学習等	予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。	
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3.2級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3.2級　練習問題（大原出版） あてる直前予想模試ＦＰ3.2級（ＴＡＣ出版）	
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。	

学科	OA事務学科（１年課程）・情報システム学科（１年課程） 経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・情報システム学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）・情報システム学科（３年課程） 税理士会計士学科（３年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	ファイナンシャル・プランニング演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	中島　京哉 久保田　佳子	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニング」を前提とし、日本FP協会主催3級ファイナンシャル・プランニング技能検定（以下、「FP3級」という。）の問題演習を行う。数多くの問題を解くことで、知識の定着を図ることを目的とする。また、FP2級に合格することを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	問題演習　学科編① （ライフプランニングと資金計画）	中島　京哉 久保田　佳子
第2回	問題演習　学科編② （リスク管理）	中島　京哉 久保田　佳子
第3回	問題演習　学科編③ （金融資産運用）	中島　京哉 久保田　佳子
第4回	問題演習　学科編④ （タックスプランニング）	中島　京哉 久保田　佳子
第5回	問題演習　学科編⑤ （不動産）	中島　京哉 久保田　佳子
第6回	問題演習　学科編⑥ （相続・事業承継）	中島　京哉 久保田　佳子
第7回	問題演習　実技編①	中島　京哉 久保田　佳子

第8回	問題演習　実技編②	中島　京哉 久保田　佳子
第9回	問題演習　実技編③	中島　京哉 久保田　佳子
第10回	問題演習　実技編④	中島　京哉 久保田　佳子
第11回	過去試験問題　解答解説①	中島　京哉 久保田　佳子
第12回	過去試験問題　解答解説②	中島　京哉 久保田　佳子
第13回	過去試験問題　解答解説③	中島　京哉 久保田　佳子
第14回	過去試験問題　解答解説④	中島　京哉 久保田　佳子
第15回	過去試験問題　解答解説⑤	中島　京哉 久保田　佳子
第16回	過去試験問題　解答解説⑥	中島　京哉 久保田　佳子
第17回	過去試験問題　解答解説⑦	中島　京哉 久保田　佳子
第18回	模擬試験問題　解答解説①	中島　京哉 久保田　佳子
第19回	模擬試験問題　解答解説②	中島　京哉 久保田　佳子
第20回	模擬試験問題　解答解説③	中島　京哉 久保田　佳子

準備学習等	予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3.2級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3.2級　練習問題（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3.2級　学科・実技過去試験問題集問題編 （学校法人大原学園） ファイナンシャル・プランナー3.2級　学科・実技過去試験問題集解答編 （学校法人大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定3.2級学科模擬試験（学校法人大原学園） 3級FP技能検定　学科模擬試験　解答・解説（学校法人大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定3.2級実技模擬試験（学校法人大原学園） 3級FP技能検定　実技模擬試験　解答・解説（学校法人大原学園） あてる直前予想模試ＦＰ3.2級（ＴＡＣ出版）

備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程） 税理士会計士学科（３年課程）
学年	２学年・３学年

科目名	ファイナンシャル・プランニング応用	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	中島　京哉 久保田　佳子	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	ファイナンシャル・プランナーとは、お金の知識を総合的に身につけて、ライフプランの実現に向けたアドバイスをする専門家である。年金・保険・不動産・金融資産・税金・相続など、様々な種類のお金の知識が必要不可欠となる。また、自己のライフプラン（キャッシュフローの作成）ができることを目的とし、最終的には日本FP協会主催2.3級ファイナンシャル・プランニング技能検定に合格することを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 不動産 （不動産の見方、不動産の取引、不動産に関する法令上の制限） ライフプランニングと資金計画	中島　京哉 久保田　佳子
第2回	不動産 （不動産の見方、不動産の取引、不動産に関する法令上の制限）	中島　京哉 久保田　佳子
第3回	不動産 （不動産に係る税金、不動産の有効活用）	中島　京哉 久保田　佳子
第4回	タックスプランニング （税金の分類と計算体系、所得税の仕組み、各種所得の内容）	中島　京哉 久保田　佳子

第5回	タックスプランニング （税金の分類と計算体系、所得税の仕組み、各種所得の内容）	中島　京哉 久保田　佳子
第6回	タックスプランニング （課税標準の計算、所得控除）	中島　京哉 久保田　佳子
第7回	タックスプランニング （税額控除、確定申告、個人住民税と個人事業税）	中島　京哉 久保田　佳子
第8回	ライフプランニングと資金計画 （FPとライフプランニング、教育住宅資金計画）	中島　京哉 久保田　佳子
第9回	ライフプランニングと資金計画 （社会保険、公的年金制度、老後の生活資金設計と公的年金）	中島　京哉 久保田　佳子
第10回	ライフプランニングと資金計画 （公的年金、少額給付、遺族給付、企業年金・自営業者のための年金）	中島　京哉 久保田　佳子
第11回	リスク管理 （保険制度、生命保険の概略、種類、内容）	中島　京哉 久保田　佳子
第12回	リスク管理 （損害保険の概略、種類、内容）	中島　京哉 久保田　佳子
第13回	リスク管理 （個人契約に関する税金、企業契約に関する税金　第三分野の保険・共済）	中島　京哉 久保田　佳子
第14回	金融資産運用 （マーケット環境の理解、預貯金等、債券、株式、投資信託）	中島　京哉 久保田　佳子
第15回	金融資産運用 （マーケット環境の理解、預貯金等、債券、株式、投資信託）	中島　京哉 久保田　佳子
第16回	金融資産運用 （外貨建て商品、金融派生商品、ポートフォリオ運用）	中島　京哉 久保田　佳子
第17回	金融資産運用 （金融商品と税金、セーフティネット、関連法規）	中島　京哉 久保田　佳子
第18回	相続・事業承継 （贈与税と税金、相続と税金）	中島　京哉 久保田　佳子
第19回	相続・事業承継 （財産の評価、相続対策）	中島　京哉 久保田　佳子

第20回	相続・事業承継 （相続と法律、贈与と法律）	中島　京哉 久保田　佳子

準備学習等	予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3.2級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3.2級　練習問題（大原出版） あてる直前予想模試ＦＰ3.2級（ＴＡＣ出版）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

学科	OA事務学科（１年課程）・情報システム学科（１年課程） 経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・情報システム学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）・情報システム学科（３年課程） 税理士会計士学科（３年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	ファイナンシャル・プランニング応用演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	中島　京哉 久保田　佳子	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニング」を前提とし、日本FP協会主催2級ファイナンシャル・プランニング技能検定（以下、「FP2級」という。）の問題演習を行う。数多くの問題を解くことで、知識の定着を図ることを目的とする。また、FP2級に合格することを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	問題演習　学科編① （ライフプランニングと資金計画）	中島　京哉 久保田　佳子
第2回	問題演習　学科編② （リスク管理）	中島　京哉 久保田　佳子
第3回	問題演習　学科編③ （金融資産運用）	中島　京哉 久保田　佳子
第4回	問題演習　学科編④ （タックスプランニング）	中島　京哉 久保田　佳子
第5回	問題演習　学科編⑤ （不動産）	中島　京哉 久保田　佳子
第6回	問題演習　学科編⑥ （相続・事業承継）	中島　京哉 久保田　佳子

第7回	問題演習　実技編①	中島　京哉 久保田　佳子
第8回	問題演習　実技編②	中島　京哉 久保田　佳子
第9回	問題演習　実技編③	中島　京哉 久保田　佳子
第10回	問題演習　実技編④	中島　京哉 久保田　佳子
第11回	過去試験問題　解答解説①	中島　京哉 久保田　佳子
第12回	過去試験問題　解答解説②	中島　京哉 久保田　佳子
第13回	過去試験問題　解答解説③	中島　京哉 久保田　佳子
第14回	過去試験問題　解答解説④	中島　京哉 久保田　佳子
第15回	過去試験問題　解答解説⑤	中島　京哉 久保田　佳子
第16回	過去試験問題　解答解説⑥	中島　京哉 久保田　佳子
第17回	過去試験問題　解答解説⑦	中島　京哉 久保田　佳子
第18回	模擬試験問題　解答解説①	中島　京哉 久保田　佳子
第19回	模擬試験問題　解答解説②	中島　京哉 久保田　佳子
第20回	模擬試験問題　解答解説③	中島　京哉 久保田　佳子
準備学習等	予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。	

教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3.2級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3.2級　練習問題（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3.2級　学科・実技過去試験問題集問題編 （学校法人大原学園） ファイナンシャル・プランナー3.2級　学科・実技過去試験問題集解答編 （学校法人大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定3.2級学科模擬試験（学校法人大原学園） 3級FP技能検定　学科模擬試験　解答・解説（学校法人大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定3.2級実技模擬試験（学校法人大原学園） 3級FP技能検定　実技模擬試験　解答・解説（学校法人大原学園） あてる直前予想模試ＦＰ3.2級（ＴＡＣ出版）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	社会人総合演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	久保田　佳子・鈴木　秀俊・中島　京哉 鈴木　裕治・河野　賢一・五十嵐　久子 瀬尾　幸江・草野　淳子・長澤　千春	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	瀬尾　幸江・草野　淳子・長澤　千春	成績評価方法	確認テスト　：　60　％ 実技試験　：　30　％ レポート　：　10　％ ：　％ ：　％

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	［瀬尾幸江・草野淳子・長澤千春］ ビジネスマナーの授業内容を行う上で、実務で対応できる丁寧な電話応対の指導や、状況に応じた臨機応変な対応力、感じの良い応対ができる実践力を指導する。
実務経験教員の実務経験内容	［瀬尾幸江］ 宿泊施設での電話交換業務、一般企業での総務事務、労務事務、経理事務等を長年経験し、文書作成管理、電話応対、来客応対などの業務を担当していた。秘書・サービス接遇検定1級、電話実践級を取得。秘書技能検定準１級面接試験審査員・係員を担当している。 ［草野淳子］ 旅行会社において国内旅行業務に携わり、商品企画・パンフレット作成および当該商品の販売管理・集客状況分析、または関係機関との交渉等を担当していた。２００５年より、現公益財団法人実務技能検定協会より委託され秘書技能検定準１級の面接試験の審査員、係員を担当していた。 ［長澤千春］ 専門学校での教務事務を経験し、高校生対象のキャリア教育セミナーや社会人マナーの講義経験があり、サービス接遇検定1級を取得している。
授業目的 到達目標	[時事研究] 最近のニュースに興味・関心を持ち、様々な媒体から情報収集を行い、自分の考えを述べることができる。 ［販売管理・仕入管理務］ 売上事務および請求書の作成から代金回収管理までの流れを理解し、必要書類が作成できる。 ［ビジネスマナー］ ビジネスの場にふさわしい心構えを学び、適切な敬語の表現ができる。初期動作から伝言の受け取りまで、一連の電話応対をスムーズに行うことができる。状況に応じた電話応対ができる。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	販売管理・仕入管理 売上事務の流れ、納品書の作成、売上計上	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉 鈴木　裕治 河野　賢一 五十嵐久子 瀬尾　幸江 草野　淳子 長澤　千春
第2回	販売管理・仕入管理 請求書の発行、代金回収管理	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉 鈴木　裕治 河野　賢一 五十嵐久子 瀬尾　幸江 草野　淳子 長澤　千春
第3回	販売管理・仕入管理 複数の取引先との取引	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉 鈴木　裕治 河野　賢一 五十嵐久子 瀬尾　幸江 草野　淳子 長澤　千春
第4回	販売管理・仕入管理 仕入事務の流れ、仕入管理の記帳	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉 鈴木　裕治 河野　賢一 五十嵐久子 瀬尾　幸江 草野　淳子 長澤　千春

第5回	販売管理・仕入管理 仕入代金の支払い、買掛金管理	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉 鈴木　裕治 河野　賢一 五十嵐久子 瀬尾　幸江 草野　淳子 長澤　千春
第6回	販売管理・仕入管理 総合問題演習	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉 鈴木　裕治 河野　賢一 五十嵐久子 瀬尾　幸江 草野　淳子 長澤　千春
第7回	販売管理・仕入管理 総合問題演習　確認テスト	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉 鈴木　裕治 河野　賢一 五十嵐久子 瀬尾　幸江 草野　淳子 長澤　千春
第8回	ビジネスマナー 職場のマナー	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉 鈴木　裕治 河野　賢一 五十嵐久子 瀬尾　幸江 草野　淳子 長澤　千春

第9回	ビジネスマナー あいさつと敬語	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉 鈴木　裕治 河野　賢一 五十嵐久子 瀬尾　幸江 草野　淳子 長澤　千春
第10回	ビジネスマナー あいさつと敬語	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉 鈴木　裕治 河野　賢一 五十嵐久子 瀬尾　幸江 草野　淳子 長澤　千春
第11回	ビジネスマナー 電話応対のマナー	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉 鈴木　裕治 河野　賢一 五十嵐久子 瀬尾　幸江 草野　淳子 長澤　千春
第12回	ビジネスマナー 電話応対の受け方	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉 鈴木　裕治 河野　賢一 五十嵐久子 瀬尾　幸江 草野　淳子 長澤　千春

第13回	ビジネスマナー 電話応対のかけ方	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉 鈴木　裕治 河野　賢一 五十嵐久子 瀬尾　幸江 草野　淳子 長澤　千春
第14回	ビジネスマナー 状況別電話応対	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉 鈴木　裕治 河野　賢一 五十嵐久子 瀬尾　幸江 草野　淳子 長澤　千春
第15回	ビジネスマナー 電話応対ロールプレイング	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉 鈴木　裕治 河野　賢一 五十嵐久子 瀬尾　幸江 草野　淳子 長澤　千春
第16回	ビジネスマナー 電話応対ロールプレイング	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉 鈴木　裕治 河野　賢一 五十嵐久子 瀬尾　幸江 草野　淳子 長澤　千春

第17回	ビジネスマナー 電話応対ロールプレイング 実技確認テスト	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉 鈴木　裕治 河野　賢一 五十嵐久子 瀬尾　幸江 草野　淳子 長澤　千春
第18回	時事研究 個人研究	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉 鈴木　裕治 河野　賢一 五十嵐久子 瀬尾　幸江 草野　淳子 長澤　千春
第19回	時事研究 個人研究	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉 鈴木　裕治 河野　賢一 五十嵐久子 瀬尾　幸江 草野　淳子 長澤　千春
第20回	時事研究 個人研究	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉 鈴木　裕治 河野　賢一 五十嵐久子 瀬尾　幸江 草野　淳子 長澤　千春
準備学習等	復習を行い、知識の定着を図ること。 学習したことは必ず実践し、繰り返して、習慣にする。	
教科書 参考書等	ＰＣＰパソコン実習　ＰＣＰビジネスマナー ＰＣＰ販売仕入管理　ＰＣＰ時事(大原学園)	

備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性がある。 ビジネスの場に対応できる実践力が養われたかを測るため、各項目ごとに確認テスト等を実施し、総合的に評価する。 実務を意識した授業であるため、追試等を実施し、実務レベルに相当する力をつけさせる。

学科	ＯＡ事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	社会人総合演習Ⅱ（パソコン演習）	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	久保田 佳子・五十嵐 久子	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	五十嵐 久子	成績評価方法	確認試験 ： 100 ％ ： ％ ： ％ ： ％ ： ％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ		
実務経験教員の実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター		
授業目的到達目標	［Word］状況に合ったビジネス文書を作成できる。 ［Excel］基本的な関数を利用し、グラフの作成・編集ができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	Word 文書の作成と管理・基本操作	久保田佳子 五十嵐久子
第2回	Word 一般的なビジネス文書の作成	久保田佳子 五十嵐久子
第3回	Word 問題演習	久保田佳子 五十嵐久子
第4回	Word レポートおよび報告書の作成　表、画像、図形を使った文書の作成	久保田佳子 五十嵐久子
第5回	Word 総合問題演習	久保田佳子 五十嵐久子
第6回	Word 表、画像、図形を使った文書の作成	久保田佳子 五十嵐久子
第7回	Word 表、画像、図形を使った文書の作成	久保田佳子 五十嵐久子

第8回	Word 問題演習	久保田佳子 五十嵐久子
第9回	Word 問題演習	久保田佳子 五十嵐久子
第10回	Word 総合問題演習　確認テスト	久保田佳子 五十嵐久子
第11回	Excel 表作成の基本操作、数式・関数を活用した集計表の作成	久保田佳子 五十嵐久子
第12回	Excel 問題演習	久保田佳子 五十嵐久子
第13回	Excel 見やすく使いやすい表にする編集操作	久保田佳子 五十嵐久子
第14回	Excel 問題演習	久保田佳子 五十嵐久子
第15回	Excel 総合問題演習	久保田佳子 五十嵐久子
第16回	Excel グラフの基本、目的に応じたグラフの作成と編集	久保田佳子 五十嵐久子
第17回	Excel 問題演習	久保田佳子 五十嵐久子
第18回	Excel 数式・関数を活用した集計表の作成	久保田佳子 五十嵐久子
第19回	Excel 問題演習	久保田佳子 五十嵐久子
第20回	Excel 総合問題演習　確認テスト	久保田佳子 五十嵐久子

準備学習等	これまでに習得したWordおよびExcelのスキルの復習を行い、知識の定着を図ること。
教科書 参考書等	パソコン実習(大原学園)
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 ビジネスの場に対応できる実践力が養われたかを測るため、確認テストを実施し、総合的に評価する。また、実務を意識した授業であるため、追試等を実施し、実務レベルに相当する力をつけさせる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）・税理士会計士学科（３年課程）
学年	２学年・３学年

科目名	社会人総合実習Ⅰ	授業形態	実習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
		授業回数	20回
科目教員	鈴木　秀俊・久保田　佳子 瀬尾　幸江・中島　京哉	成績評価方法	確認テスト　：　80　％
			授業態度　：　20　％
			：　％
科目教員のうち実務経験教員			：　％
			：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			

授業目的 到達目標	【経理実務・実務編】【計算技能　電卓演習】 給与に係る税金(所得税、個人住民税)、社会保険の基礎および日常業務に関する仕訳を理解している。証憑書類(領収書、小切手帳)の作成等ができる。　P／L、B／Sを読むことができ、基本的な財務分析を理解している。正確で迅速な処理ができるように計算力を向上させる。 【経理実務・給与計算】【計算技能　電卓演習】 所得税法の基礎および源泉徴収、給与計算、年末調整の事務手続きを理解し、申告書等の作成ができる。正確で迅速な処理ができるように計算力を向上させる。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	経理実務　実務編 １．経理・総務の年間カリキュラム ２．小切手、手形の実務上のポイント 計算技能　電卓演習	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第2回	経理実務　実務編 ３．入出金伝票と現金出納帳 ４．当座預金出納帳と手形記入帳 ５．交際費、福利厚生費及び会議費等の区分(基礎)	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第3回	経理実務　実務編 ６．健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理 計算技能　電卓演習	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉

第4回	経理実務　実務編 ７．源泉所得税(給与)の徴収・納付事務 計算技能　電卓演習	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第5回	経理実務　実務編 ８．源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(基礎) ９．源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(応用) 計算技能　電卓演習	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第6回	経理実務　実務編 10．個人住民税の徴収及び納付 11.印紙税の基礎知識 計算技能　電卓演習	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第7回	経理実務　実務編 12．受取利息の会計処理 13．消費税法の概要 14．消費税の会計処理	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第8回	経理実務　実務編 15．原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門) 計算技能　電卓演習	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第9回	経理実務　実務編 16．財務分析 計算技能　電卓演習	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第10回	経理実務　給与計算編 １．所得税の基礎知識	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第11回	経理実務　給与計算編 ２．年末調整のしかた	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第12回	経理実務　給与計算編 ２．年末調整のしかた	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第13回	経理実務　給与計算編 ２．年末調整のしかた	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉

第14回	経理実務　給与計算編 ３．法定調書の流れ	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第15回	経理実務　給与計算編 4．労働保険の概要及び会計処理	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第16回	経理実務　給与計算編 4．労働保険の概要及び会計処理	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第17回	経理実務 ビジネス会計	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第18回	経理実務 ビジネス会計	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第19回	経理実務 ビジネス会計	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第20回	経理実務 ビジネス会計	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉

準備学習等	復習を行い、知識の定着を図ること。 学習したことは必ず実践し、繰り返して、自分の習慣にする。
教科書 参考書等	経理事務Ⅰ実務編　　経理事務Ⅱ給与計算編　（大原学園） ビジネス会計検定試験　テキスト　問題集　（中央経済社）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性がある。 ビジネスの場に対応できる実践力が養われたかを測るため、各項目ごとに確認テストを実施し、総合的に評価する。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	事務実務実習Ⅰ	授業形態	実習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木　秀俊・久保田　佳子 瀬尾　幸江・中島　京哉	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	確認テスト：80％ 授業態度：20％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	売上事務および請求書の作成から代金回収管理までの流れを理解し、必要書類が作成できる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	販売管理・仕入管理 売上事務の流れ、納品書の作成、売上計上	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第2回	販売管理・仕入管理 請求書の発行、代金回収管理	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第3回	販売管理・仕入管理 複数の取引先との取引	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第4回	販売管理・仕入管理 仕入事務の流れ、仕入管理の記帳	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉

第5回	販売管理・仕入管理 仕入代金の支払い、買掛金管理	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第6回	販売管理・仕入管理 総合問題演習	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第7回	販売管理・仕入管理 総合問題演習　確認テスト	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第8回	電卓 AOCC問題①	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第9回	電卓 AOCC問題②	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第10回	電卓 AOCC問題③	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉

準備学習等	復習を行い、知識の定着を図ること。 学習したことは必ず実践し、繰り返して、自分の習慣にする。
教科書 参考書等	財務会計(大原学園) AOCC問題（大原学園）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性がある。 ビジネスの場に対応できる実践力が養われたかを測るため、各項目ごとに確認テストを実施し、総合的に評価する。

学科	OA事務学科（2年課程）・経理実務学科（2年課程） ビジネス学科（2年課程）・税理士会計士学科（2年課程） 行政公務員学科（2年課程）・総合公務員学科（2年課程） 法律公務員学科（2年課程）
学年	2学年

科目名	事務実務実習Ⅱ	授業形態	実習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木　秀俊・久保田　佳子 瀬尾　幸江・中島　京哉	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	確認テスト：80％ 授業態度：20％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	日常業務に関する仕訳を理解し、C/F、P/L、B/Sを読むことができ、基本的な財務分析を理解することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	財務会計 外貨建会計	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第2回	財務会計 リース取引	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第3回	財務会計 キャッシュ・フロー計算書	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第4回	財務会計 キャッシュ・フロー計算書	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉

第5回	財務会計 税金	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第6回	財務会計 税効果会計	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第7回	財務会計 退職給付会計	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第8回	財務会計 退職給付会計	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第9回	財務会計 連結会計	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉
第10回	財務会計 連結会計	鈴木　秀俊 久保田　佳子 瀬尾　幸江 中島　京哉

準備学習等	復習を行い、知識の定着を図ること。 学習したことは必ず実践し、繰り返して、自分の習慣にする。
教科書 参考書等	経理事務Ⅰ実務編　　経理事務Ⅱ給与計算編　（大原学園） ビジネス会計検定試験　テキスト　問題集　（中央経済社）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性がある。 ビジネスの場に対応できる実践力が養われたかを測るため、各項目ごとに確認テストを実施し、総合的に評価する。

学科	ビジネス学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） OA事務学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	マナー実習（オフィスワーク）	授業形態	実習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	久保田佳子・鈴木秀俊 中島京哉・瀬尾幸江 鈴木裕治・河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	瀬尾幸江	成績評価方法	実技試験 : 80 % 授業態度 : 20 % : % : % : %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	丁寧な電話応対や感じのよい来客接遇、状況に応じた臨機応変な対応力など実務に対応可能な実践力を指導する。
実務経験教員の実務経験内容	一般企業にて総務・労務関連、販売、営業事務・経理事務等オフィスワーク全般を経験。宿泊施設の電話オペレータ業務に携わった経験をもつ。秘書技能検定準１級試験委員を担当している。
授業目的 到達目標	来客の受付から応接室へ案内するまでの一連の流れを把握し対応できるようにする。また、オフィス内の通常業務に必要な書類作成や、不在者へ電話があった際の複雑な伝言メモの取り方、取り次ぎ・伝達をスムーズに行うことができる。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【接遇マナー】（ロールプレイング形式のトレーニング） 接遇の心構えと基本用語	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 鈴木裕治 河野賢一
第2回	来客の出迎え方と案内の仕方 来客（訪問者）の確認と名刺の受け方	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 鈴木裕治 河野賢一

第3回	【電話応対応用】（電話応対ロールプレイング） 状況別の電話応対と応対の仕方 複雑な伝言メモと記述のポイント	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 鈴木裕治 河野賢一
第4回	状況別の電話応対と応対の仕方 複雑な伝言メモと記述のポイント	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 鈴木裕治 河野賢一
第5回	状況別の電話応対と応対の仕方 複雑な伝言メモと記述のポイント	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 鈴木裕治 河野賢一
第6回	状況別の電話応対と応対の仕方 複雑な伝言メモと記述のポイント	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 鈴木裕治 河野賢一
第7回	状況別の電話応対と応対の仕方 複雑な伝言メモと記述のポイント	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 鈴木裕治 河野賢一
第8回	電話応対応用　効果測定（実技）	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 鈴木裕治 河野賢一

第9回	オフィスにおける「クレーム」対応	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 鈴木裕治 河野賢一
第10回	オフィスにおける「クレーム」対応	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 鈴木裕治 河野賢一
第11回	ビジネス文書の基本と作成の仕方	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 鈴木裕治 河野賢一
第12回	ビジネス文書の基本と作成の仕方	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 鈴木裕治 河野賢一
第13回	ビジネスメールの基本	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 鈴木裕治 河野賢一
第14回	ビジネスメールの基本	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 鈴木裕治 河野賢一

第15回	会食のマナー 宴席（酒席）のマナー	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 鈴木裕治 河野賢一
第16回	会食のマナー 宴席（酒席）のマナー	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 鈴木裕治 河野賢一
第17回	冠婚葬祭のマナー 慶事と弔事の基本	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 鈴木裕治 河野賢一
第18回	冠婚葬祭のマナー 慶事と弔事の基本	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 鈴木裕治 河野賢一
第19回	職場環境の整備	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 鈴木裕治 河野賢一
第20回	職場環境の整備	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	復習を行い、知識の定着を図ること。 学習したことは必ず実践し、繰り返して自分の習慣にする。
教科書 参考書等	ビジネスマナーテキスト（大原学園）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 受講生の習熟の度合いや進捗度、検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性がある。

学科	ビジネス学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） OA事務学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	マナー実習（受付・接遇）	授業形態	実習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	久保田佳子・瀬尾幸江 鈴木秀俊・中島京哉	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員	瀬尾幸江	成績評価方法	実技試験 : 80 % 授業態度 : 20 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	丁寧な電話応対や感じのよい来客接遇、状況に応じた臨機応変な対応力など実務に対応可能な実践力を指導する。		
実務経験教員の実務経験内容	一般企業にて総務・労務関連、販売、営業事務・経理事務等オフィスワーク全般を経験。宿泊施設の電話オペレータ業務に携わった経験をもつ。秘書技能検定準１級試験委員を担当している。		
授業目的 到達目標	演習をとおしてオフィス内で実際に行われることを体感し、一般的な電話応対、受付からお見送りまでの一連の流れをスムーズかつ臨機応変に行えるようにする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【接遇マナー】 （ロールプレイング形式のトレーニング） 接遇の心構えと基本用語	久保田佳子 瀬尾幸江 鈴木秀俊 中島京哉
第2回	来客の出迎えと案内の仕方 来客（訪問者）の確認と名刺の受け方	久保田佳子 瀬尾幸江 鈴木秀俊 中島京哉
第3回	席次お茶の淹れ方・出し方 お見送りと後片付け	久保田佳子 瀬尾幸江 鈴木秀俊 中島京哉
第4回	受付からお見送りまで （ロールプレイング）	久保田佳子 瀬尾幸江 鈴木秀俊 中島京哉

第5回	受付からお見送りまで （ロールプレイング）	久保田佳子 瀬尾幸江 鈴木秀俊 中島京哉
第6回	【電話応対】 電話応対と伝言メモ記述① （ロールプレイング）	久保田佳子 瀬尾幸江 鈴木秀俊 中島京哉
第7回	電話応対と伝言メモ記述② （ロールプレイング）	久保田佳子 瀬尾幸江 鈴木秀俊 中島京哉
第8回	受付～電話応対～お見送り① （ロールプレイング）	久保田佳子 瀬尾幸江 鈴木秀俊 中島京哉
第9回	受付～電話応対～お見送り② （ロールプレイング）	久保田佳子 瀬尾幸江 鈴木秀俊 中島京哉
第10回	接遇マナー　効果測定（実技）	久保田佳子 瀬尾幸江 鈴木秀俊 中島京哉

準備学習等	復習を行い、知識の定着を図ること。 学習したことは必ず実践し、繰り返して自分の習慣にする。
教科書 参考書等	ビジネスマナーテキスト（大原学園）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 受講生の習熟の度合いや進捗度、検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性がある。

学科	ＯＡ事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	ビジネスパソコンスキル実習Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	久保田　佳子、中島　京哉 瀬尾　幸江、五十嵐　久子	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	五十嵐 久子	成績評価方法	確認テスト　：　80　％ 授業態度　：　20　％ ：　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ		
実務経験教員の実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター		
授業目的 到達目標	Excelの業務に役立つ関数およびデータベース機能を活用し、状況に合った集計および資料作成ができる。PowerPointを活用してのプレゼンテーションができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	Excel応用 データベース機能の利用（並べ替え等）・ワークシート間の集計	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第2回	Excel応用 第１回の問題演習	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第3回	Excel応用 数式・関数を活用した集計表の作成（VLOOKUP関数）	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第4回	Excel応用 第３回の問題演習	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子

第5回	Excel応用 確認テスト これまでの授業の類似問題（２問）	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第6回	Excel応用 データの抽出	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第7回	Excel応用 第６回の問題演習	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第8回	Excel応用 ピボットテーブル、マクロによる作業の自動化	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第9回	Excel応用 第８回の問題演習・見積書の作成	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第10回	Excel応用 確認テスト これまでの授業の類似問題（３問）	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第11回	PowerPoint応用演習 プレゼンテーション資料作成①	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第12回	PowerPoint応用演習 プレゼンテーション資料作成②	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第13回	PowerPoint応用演習 プレゼンテーション資料作成③	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第14回	PowerPoint応用演習 プレゼンテーション資料作成④	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子

第15回	PowerPoint応用演習 プレゼンテーション資料作成⑤	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第16回	PowerPoint応用演習 PowerPoint検定対策問題演習①	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第17回	PowerPoint応用演習 PowerPoint検定対策問題演習②	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第18回	PowerPoint応用演習 PowerPoint検定対策問題演習③	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第19回	PowerPoint応用演習 PowerPoint検定対策問題演習④	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第20回	PowerPoint応用演習 PowerPoint検定対策問題演習⑤	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子

準備学習等	これまでに習得したExcelおよびPowerPointのスキルの復習を行い、知識の定着を図ること。
教科書 参考書等	パソコン実習　（大原学園） PowerPointプレゼンテーション技能認定試験問題集（株式会社サーティファイ）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 ビジネスの場に対応できる実践力が養われたかを測るため、確認テストを実施し、総合的に評価する。また、実務を意識した授業であるため、追試等を実施し、実務レベルに相当する力をつけさせる。

学科	ＯＡ事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	ビジネスパソコンスキル実習Ⅱ	授業形態	実習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	久保田　佳子、中島　京哉 瀬尾　幸江、五十嵐　久子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員	五十嵐 久子	成績評価方法	確認テスト：80％ 授業態度：20％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ		
実務経験教員の実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター		
授業目的到達目標	Excelの業務に役立つ関数およびデータベース機能を活用し、状況に合った集計および資料作成ができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	Excel応用 データベース機能の利用（並べ替え等）・ワークシート間の集計	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第2回	Excel応用 第１回の問題演習	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第3回	Excel応用 数式・関数を活用した集計表の作成（VLOOKUP関数）	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第4回	Excel応用 第３回の問題演習	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子

第5回	Excel応用 確認テスト これまでの授業の類似問題（２問）	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第6回	Excel応用 データの抽出	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第7回	Excel応用 第６回の問題演習	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第8回	Excel応用 ピボットテーブル、マクロによる作業の自動化	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第9回	Excel応用 第８回の問題演習・見積書の作成	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第10回	Excel応用 確認テスト これまでの授業の類似問題（３問）	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子

準備学習等	これまでに習得したExcelのスキルの復習を行い、知識の定着を図ること。
教科書 参考書等	パソコン実習　（大原学園）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 ビジネスの場に対応できる実践力が養われたかを測るため、確認テストを実施し、総合的に評価する。また、実務を意識した授業であるため、追試等を実施し、実務レベルに相当する力をつけさせる。

学科	ＯＡ事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	ビジネスパソコンスキル実習III	授業形態	実習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	久保田　佳子、中島　京哉 瀬尾　幸江、五十嵐　久子	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	五十嵐 久子	成績評価方法	確認テスト：80％ 授業態度：20％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ		
実務経験教員の実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター		
授業目的到達目標	サーティファイ主催Excel検定１・２級およびWord検定１・２級取得を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	Excel応用 Excel応用問題演習① 解説	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第2回	Excel応用 Excel応用問題演習② 解説	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第3回	Excel応用 Excel応用問題演習③ 解説	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第4回	Excel応用 Excel応用問題演習④ 解説	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子

第5回	Excel応用 Excel応用問題演習⑤ 解説	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第6回	Excel応用 確認テスト Excel応用問題演習⑥ 解説	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第7回	Excel応用 検定直前模擬問題① 解説	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第8回	Excel応用 検定直前模擬問題② 解説	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第9回	Excel応用 検定直前模擬問題③ 解説	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第10回	Excel応用 検定直前模擬問題④ 解説	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第11回	Word応用 Word応用問題演習① 解説	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第12回	Word応用 Word応用問題演習② 解説	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第13回	Word応用 Word応用問題演習③ 解説	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第14回	Word応用 Word応用問題演習④ 解説	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子

第15回	Word応用 Word応用問題演習⑤ 解説	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第16回	Word応用 確認テスト Word応用問題演習⑥ 解説	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第17回	Word応用 検定直前模擬問題① 解説	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第18回	Word応用 検定直前模擬問題② 解説	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第19回	Word応用 検定直前模擬問題③ 解説	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子
第20回	Word応用 検定直前模擬問題④ 解説	久保田　佳子 中島　京哉 瀬尾　幸江 五十嵐　久子

準備学習等	これまでに習得したExcelおよびWordの復習を行い、知識の定着を図ること。
教科書 参考書等	Excel表計算処理技能認定試験１・２級問題集（株式会社サーティファイ） Word文書処理技能認定試験１・２級問題集（株式会社サーティファイ）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 受講生の習熟の度合い、進捗度に伴う授業内容の変更の可能性があります。 確認テストおよび模擬問題を実施し、検定試験合格レベルに相当する力を身に付ける。

138.社会人総合実習Ⅱ

学科	ＯＡ事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	2学年

科目名	社会人総合実習Ⅱ	授業形態	実習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	4単位
科目教員	久保田　佳子・鈴木　秀俊 中島　京哉・瀬尾　幸江 鈴木　裕治・河野　賢一	授業回数	40回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	企画発表 ： 40 % 授業態度 ： 30 % 時事提出物 ： 30 % ： % ： %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	時事研究　最近のニュース等に興味・関心を持ち、様々な媒体から情報収集を行い幅広い知識が身についている。 卒業研究　内容・論理展開・説得力・プレゼンテーション力等意識して発表することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	卒業研究　業界分析	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第2回	卒業研究　情報収集①・②	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第3回	卒業研究　店舗分析	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第4回	卒業研究　店舗見学、課題抽出①・②	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第5回	卒業研究　仮説の作成①・②	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第6回	卒業研究　調査、検証	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第7回	卒業研究　企画作成	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第8回	卒業研究　１ページ企画書の作成	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第9回	卒業研究　企画作成①・②　資料、プレゼンデータ作成	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第10回	卒業研究　企画作成③・④　資料、プレゼンデータ作成	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第11回	卒業研究　企画作成⑤・⑥　資料、プレゼンデータ作成	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第12回	卒業研究　企画作成⑦・⑧　資料、プレゼンデータ作成	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第13回	卒業研究　企画作成⑨・⑩　資料、プレゼンデータ作成	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第14回	卒業研究　企画作成⑪・⑫　資料、プレゼンデータ作成	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第15回	卒業研究　中間発表	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第16回	卒業研究　検証、企画の見直し①	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第17回	卒業研究　検証、企画の見直し②	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第18回	卒業研究　検証、企画の見直し③	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第19回	卒業研究　発表準備① 資料作成・プレゼン発表練習	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第20回	卒業研究　発表準備② 資料作成・プレゼン発表練習	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第21回	卒業研究　発表準備③ 資料作成・プレゼン発表練習	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第22回	卒業研究　発表準備④ 資料作成・プレゼン発表練習	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第23回	卒業研究　発表準備⑤ 資料作成・プレゼン発表練習	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第24回	卒業研究　発表準備⑥ 資料作成・プレゼン発表練習	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第25回	卒業研究　発表準備⑦ 資料作成・プレゼン発表練習	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第26回	卒業研究　発表準備⑧ 資料作成・プレゼン発表練習	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第27回	卒業研究　発表準備⑨ 資料作成・プレゼン発表練習	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第28回	PowerPoint　基本操作・活用方法・一般的な作成	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第29回	PowerPoint　表・画像・図形・アニメーションを活用した作成	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第30回	PowerPoint　見やすく使いやすくするための編集操作	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第31回	PowerPoint　プレゼンテーション　発表	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第32回	時事研究　職種別研究①　グループ研究・発表	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第33回	時事研究　職種別研究②　グループ研究・発表	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第34回	時事研究　職種別研究③　グループ研究・発表	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第35回	時事研究　職種別研究④　グループ研究・発表	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第36回	社会人演習（ビジネス実習）　メール案内文、送付案内状作成	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第37回	社会人演習（ビジネス実習）　祝儀・不祝儀袋、封筒作成	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第38回	時事研究　個人研究①	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第39回	時事研究　個人研究②	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第40回	時事研究　個人研究③	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

準備学習等	復習を行い、知識の定着を図ること。 学習したことは必ず実践し、繰り返して、自分の習慣にする。
教科書 参考書等	ＰＣＰマーケティング ＰＣＰ時事
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性があります。 ビジネスの場に対応できる実践力が養われたかを測るため、各項目ごとに効果測定等を実施し、総合的に評価する。 実務を意識した授業であるため、効果を測定できなかった場合は追試等を実施し、実務レベルに対応する力をつけさせる。

139.プレゼンテーション実習

学科	ＯＡ事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	プレゼンテーション実習	授業形態	実習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	久保田 佳子・五十嵐 久子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員	五十嵐 久子	成績評価方法	確認テスト：80％ 授業態度：20％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ		
実務経験教員の実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、 小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター		
授業目的 到達目標	サーティファイ主催PowerPoint検定上級取得を目指す。 業務で活用できる資料作成ができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	PowerPoint応用 PowerPoint応用問題演習① 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第2回	PowerPoint応用 PowerPoint応用問題演習② 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第3回	PowerPoint応用 PowerPoint応用問題演習③ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第4回	PowerPoint応用 PowerPoint応用問題演習④ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第5回	PowerPoint応用 PowerPoint応用問題演習⑤ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第6回	PowerPoint応用 PowerPoint応用問題演習⑥ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第7回	PowerPoint応用 検定直前模擬問題① 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第8回	PowerPoint応用 検定直前模擬問題② 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第9回	PowerPoint応用 検定直前模擬問題③ 解説	久保田佳子 五十嵐久子

第10回	PowerPoint応用 検定直前模擬問題④ 解説	久保田佳子 五十嵐久子

準備学習等	これまでに習得したPowerPointのスキルの復習を行い、知識の定着を図ること。
教科書 参考書等	PowerPointプレゼンテーション技能認定試験問題集（株式会社サーティファイ）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 受講生の習熟の度合い、進捗度に伴う授業内容の変更の可能性があります。 確認テストおよび模擬問題を実施し、検定試験合格レベルに相当する力を身に付ける。

140.マナー実習（セールス）

学科	ビジネス学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） OA事務学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・税理士会計士学科（３年課程）
学年	2学年・３学年

科目名	マナー実習（セールス）	授業形態	実習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	久保田佳子・鈴木秀俊・中島京哉 瀬尾幸江・長澤千春	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	瀬尾幸江・長澤千春	成績評価方法	実技試験 : 80 % 授業態度 : 20 % : % : % : %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	丁寧な電話応対や名刺交換の基本、相手の心理を理解した販売や商品説明の仕方等をロールプレイングを通して具体的に指導する。実践力を養うとともに、社会人として滞りなく実務を行うための臨機応変さを身につけさせる。
実務経験教員の実務経験内容	〔瀬尾幸江〕一般企業にて総務・労務・経理事務、営業事務等を経験。 接客販売および宿泊施設の電話交換業務に携わった経験あり。 秘書技能検定1級およびサービス接遇検定1級、電話実践級を取得。 〔長澤千春〕専門学校にて教務事務を担当したほか、高校生対象のキャリア教育 セミナーや社会人マナーの講義経験あり。サービス接遇検定1級を取得。
授業目的 到達目標	１．好印象を与える話し方や状況に応じた立ち居振る舞いが自然にできる。 ２．内定先の取扱商品（サービス）や事業内容の知識を深め企業の思いを理解する。 ３．人前で話すことに慣れるとともに、さまざまな客に対し柔軟に対応できる。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【接客マナー】 接客販売の心得 キャラクターを演じる お客様心理の理解	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 長澤千春
第2回	【接客マナー】 アプローチのタイミングと商品提示の原則 接客基本用語・言葉遣い ロールプレイング①	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 長澤千春

第3回	【接客マナー】 状況別の店内接客 ロールプレイング②	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 長澤千春
第4回	【接客マナー】 電話での問い合わせ 店内接客 ロールプレイング③	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 長澤千春
第5回	【接客マナー】 電話での問い合わせ 店内接客 ロールプレイング④	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 長澤千春
第6回	【接客マナー】 効果測定（実技）	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 長澤千春
第7回	【営業マナー】 営業職の仕事とは 基本用語 訪問のマナー・アポイントメント ロールプレイング①	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 長澤千春
第8回	【営業マナー】 受付・応接室でのポイント 受付訪問・名刺交換 ロールプレイング②	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 長澤千春
第9回	【営業マナー】 商談の進め方 訪問後のフォロー ロールプレイング③	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 長澤千春
第10回	【営業マナー】 効果測定（実技）	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 長澤千春

第11回	【商品説明】 商品関連知識の必要性 お客様にとってのメリット	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 長澤千春
第12回	【商品説明】 商品説明の準備 ポイントシート作成	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 長澤千春
第13回	【商品説明】 話の組み立て方 シナリオ作成	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 長澤千春
第14回	【商品説明】 シナリオ作成・確認 ロールプレイング①	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 長澤千春
第15回	【商品説明】 シナリオ作成・確認 ロールプレイング②	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 長澤千春
第16回	【商品説明】 好感をもたれる商品説明とは シナリオ作成・確認 ロールプレイング③	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 長澤千春
第17回	【商品説明】 シナリオ確認・質問対策 ロールプレイング④	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 長澤千春
第18回	【商品説明】 シナリオ確認・質問対策 ロールプレイング⑤	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 長澤千春

第19回	【商品説明】 シナリオ確認・質問対策 ロールプレイング⑥	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 長澤千春
第20回	【商品説明】 効果測定（実技）	久保田佳子 鈴木秀俊 中島京哉 瀬尾幸江 長澤千春
準備学習等	復習を行い、知識の定着を図ること。 学習したことは必ず実践を繰り返すなどして自分の習慣にすること。	
教科書 参考書等	ビジネスマナーテキスト（大原学園）	
備考	ビジネスの場に対応できる実践力が養われたかを測るため、各項目ごとに効果測定等を実施し総合的に評価する。実務を意識した授業のため、効果を測定できなかった場合は追試等を実施し、実務レベルに対応する力をつけさせる。 複数学科・複数学年による合同授業となる。受講生の習熟の度合や進捗度、検定試験の出題範囲改正等に伴い、授業内容を変更する場合がある。	

141.マーケティング実習

学科	ビジネス学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） OA事務学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）・税理士会計士学科（３年課程）
学年	2学年・３学年

科目名	マーケティング実習	授業形態	実習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	久保田　佳子・鈴木　秀俊 瀬尾　幸江・中島　京哉	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験　：　80　％ 授業態度　：　20　％ ：　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	１．マーケティングの必要性および「顧客満足」を前提とした各種戦略を理解する。 ２．企業データに基づいて、簡単なマーケティング分析ができる。 ３．課題についてグループで話し合い、改善案の企画書を作成することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	マーケティング マーケティングの必要性・４Ｐ	久保田　佳子 鈴木　秀俊 瀬尾　幸江 中島　京哉
第2回	マーケティング お客様、製品・商品・サービス	久保田　佳子 鈴木　秀俊 瀬尾　幸江 中島　京哉
第3回	マーケティング 流通チャネル、プロモーション戦略	久保田　佳子 鈴木　秀俊 瀬尾　幸江 中島　京哉
第4回	マーケティング 企業の目的、財務知識	久保田　佳子 鈴木　秀俊 瀬尾　幸江 中島　京哉

第5回	マーケティング 損益計算書、財務分析①	久保田　佳子 鈴木　秀俊 瀬尾　幸江 中島　京哉
第6回	マーケティング 事例研究	久保田　佳子 鈴木　秀俊 瀬尾　幸江 中島　京哉
第7回	マーケティング 貸借対照表、財務分析②	久保田　佳子 鈴木　秀俊 瀬尾　幸江 中島　京哉
第8回	マーケティング 財務分析③	久保田　佳子 鈴木　秀俊 瀬尾　幸江 中島　京哉
第9回	マーケティング 財務分析④	久保田　佳子 鈴木　秀俊 瀬尾　幸江 中島　京哉
第10回	マーケティング 効果測定　問題演習	久保田　佳子 鈴木　秀俊 瀬尾　幸江 中島　京哉
第11回	マーケティング ケーススタディ マーケティングの流れ	久保田　佳子 鈴木　秀俊 瀬尾　幸江 中島　京哉
第12回	マーケティング ケーススタディ 収益力向上、来店客分析	久保田　佳子 鈴木　秀俊 瀬尾　幸江 中島　京哉
第13回	マーケティング ケーススタディ 商品分析、費用分析	久保田　佳子 鈴木　秀俊 瀬尾　幸江 中島　京哉
第14回	マーケティング ケーススタディ 収益向上のための企画作成	久保田　佳子 鈴木　秀俊 瀬尾　幸江 中島　京哉

第15回	マーケティング ケーススタディ 効果測定　問題演習	久保田　佳子 鈴木　秀俊 瀬尾　幸江 中島　京哉
第16回	マーケティング マーケティング手法の種類	久保田　佳子 鈴木　秀俊 瀬尾　幸江 中島　京哉
第17回	マーケティング 情報分析の手法	久保田　佳子 鈴木　秀俊 瀬尾　幸江 中島　京哉
第18回	マーケティング 実践練習・実習	久保田　佳子 鈴木　秀俊 瀬尾　幸江 中島　京哉
第19回	マーケティング 実践練習・実習	久保田　佳子 鈴木　秀俊 瀬尾　幸江 中島　京哉
第20回	マーケティング 実践練習・実習	久保田　佳子 鈴木　秀俊 瀬尾　幸江 中島　京哉

準備学習等	復習を行い、知識の定着を図る。 学習したことは必ず実践し、繰り返して、学習習慣とする。
教科書 参考書等	ＰＣＰマーケティング（大原学園）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性がある。 ビジネスの場に対応できる実践力が養われたかを測るため、各項目ごとに効果測定等を実施し、総合的に評価する。 実務を意識した授業であるため、効果を測定できなかった場合は追試等を実施し、実務レベルに対応する力をつけさせる。

142.宅地建物取引士入門

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程） ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程） 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程） ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（３年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	宅地建物取引士入門	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	40時間
		単位数	2単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	不動産の取引に関連する代表的な法律(民法や宅地建物取引業法（以下、「宅建業法」という。）)の基礎を理解してもらうことを目的とする。民法では、意思表示、代理、売買、時効（取得時効）、対抗要件について学習する。宅建業法では、免許、宅地建物取引士、8種制限、媒介契約について学習する。その上で、本講義終了後の科目「宅地建物取引士Ｉ」に積極的に取り組めるようにする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【民法】意思表示	竹村　幸生
第2回	【民法】代理	竹村　幸生
第3回	【民法】売買	竹村　幸生
第4回	【民法】時効（取得時効）	竹村　幸生
第5回	【民法】対抗要件	竹村　幸生
第6回	【宅建業法】免許	竹村　幸生

第7回	【宅建業法】宅地建物取引士	竹村　幸生
第8回	【宅建業法】8種制限①	竹村　幸生
第9回	【宅建業法】8種制限②	竹村　幸生
第10回	【宅建業法】媒介契約	竹村　幸生

準備学習等	予習の必要はない。法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をし、復習をしっかり行い、次回の講義に備えること。
教科書 参考書等	入門講義　権利関係・宅建業法　テキスト（学校法人　大原学園） 入門講義　権利関係・宅建業法　トレーニング問題集（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士入門は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

学科	行政公務員学科(２年課程)・法律公務員学科(２年課程)・ 総合公務員学科(２年課程)・ＯＡ事務学科(１年課程)・ ＯＡ事務学科(２年課程)・ビジネス学科(２年課程)・ 経理事務学科(２年課程)・情報システム学科（１年課程）・ 情報システム学科(２年課程)・情報システム学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・ 税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	宅地建物取引士Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	宅地や建物の売買・賃貸等を取り扱う不動産業者が不正をしないよう規制する法律（宅地建物取引業法）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。不動産取引の種類に応じて必要となる法律が選別できること、宅地建物取引士資格試験に出題される宅地建物取引業法の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、宅建業法(免許－1)	竹村　幸生
第2回	宅建業法(免許－2)	竹村　幸生
第3回	宅建業法(営業保証金、宅地建物取引業保証協会)	竹村　幸生
第4回	宅建業法(宅地建物取引士)	竹村　幸生
第5回	宅建業法(業務を行う場所に関する規制、8種制限－1)	竹村　幸生
第6回	宅建業法(8種制限－2)	竹村　幸生

第7回	宅建業法(一般的業務規制、取引態様の明示、媒介契約)	竹村　幸生
第8回	宅建業法(重要事項の説明等、契約書面の交付)	竹村　幸生
第9回	宅建業法(報酬、監督・罰則)	竹村　幸生
第10回	宅建業法(住宅瑕疵担保履行法)	竹村　幸生

準備学習等	学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。
教科書 参考書等	基礎講義　宅建業法テキスト　(学校法人　大原学園) 宅建業法トレーニング問題集　(学校法人　大原学園)
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科各学年合同授業となる。

144.宅地建物取引士II

学科	行政公務員学科(２年課程)・法律公務員学科(２年課程)・ 総合公務員学科(２年課程)・ＯＡ事務学科(１年課程)・ ＯＡ事務学科(２年課程)・ビジネス学科(２年課程)・ 経理事務学科(２年課程)・情報システム学科（１年課程）・ 情報システム学科(２年課程)・情報システム学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・ 税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	宅地建物取引士II	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	売買契約や賃貸借契約等に関する法律、契約から発生する権利・義務に関する法律（民法、借地借家法等）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。特に不動産取引においては不利益を被る可能性の高い買主や借主の立場となり、その権利を守るための考え方ができるようになること、宅地建物取引士資格試験に出題される権利関係の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	権利関係(制限行為能力者、意思表示)	竹村　幸生
第2回	権利関係(代理、時効)	竹村　幸生
第3回	権利関係(対抗要件、共有)	竹村　幸生
第4回	権利関係(抵当権、債権の発生と消滅)	竹村　幸生
第5回	権利関係(債務不履行、危険負担、連帯債務と保証債務)	竹村　幸生
第6回	権利関係(売買、請負)	竹村　幸生

第7回	権利関係(賃貸借、使用貸借、委任、不法行為)	竹村　幸生
第8回	権利関係(相続)	竹村　幸生
第9回	権利関係(借地借家法)	竹村　幸生
第10回	権利関係(区分所有法、不動産登記法)	竹村　幸生

準備学習等	学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。
教科書 参考書等	基礎講義　権利関係テキスト　(学校法人　大原学園) 権利関係トレーニング問題集　(学校法人　大原学園)
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	行政公務員学科(２年課程)・法律公務員学科(２年課程)・ 総合公務員学科(２年課程)・ＯＡ事務学科(１年課程)・ ＯＡ事務学科(２年課程)・ビジネス学科(２年課程)・ 経理事務学科(２年課程)・情報システム学科（１年課程）・ 情報システム学科(２年課程)・情報システム学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・ 税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	宅地建物取引士III	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	土地の利用方法や土地の区域により建築できる建物の種類に関する法律（都市計画法、建築基準法等）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。実際に不動産取引の買主または借主の立場となった際に不利益を被ることのないよう法律の内容を理解すること、宅地建物取引士資格試験に出題される法令上の制限の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	法令上の制限(都市計画法－1)	竹村　幸生
第2回	法令上の制限(都市計画法－2)	竹村　幸生
第3回	法令上の制限(建築基準法－1)	竹村　幸生
第4回	法令上の制限(建築基準法－2)	竹村　幸生
第5回	法令上の制限(国土利用計画法、宅地造成等規制法)	竹村　幸生
第6回	法令上の制限(農地法、土地区画整理法)	竹村　幸生

第7回	法令上の制限(所得税、登録免許税、印紙税)	竹村　幸生
第8回	法令上の制限(不動産取得税、固定資産税)	竹村　幸生
第9回	法令上の制限(不動産鑑定評価、地価公示法)	竹村　幸生
第10回	法令上の制限(景品表示法、住宅金融支援機構法)	竹村　幸生

準備学習等	学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。
教科書 参考書等	基礎講義　法令上の制限テキスト　(学校法人　大原学園) 法令上の制限トレーニング問題集　(学校法人　大原学園)
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士Ⅲは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	行政公務員学科(２年課程)・法律公務員学科(２年課程)・ 総合公務員学科(２年課程)・ＯＡ事務学科(１年課程)・ ＯＡ事務学科(２年課程)・ビジネス学科(２年課程)・ 経理事務学科(２年課程)・情報システム学科（１年課程）・ 情報システム学科(２年課程)・情報システム学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・ 税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	宅地建物取引士IV	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	5回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	宅地建物取引士Ⅰ～Ⅲのまとめとして宅地建物取引業法、権利関係、法令上の制限の各種法律の相関関係を把握し、体系的な理解と知識の定着を図ることを目的とする。過去に宅地建物取引士資格試験に出題された問題を解答することができ、宅地建物取引士資格試験に合格できる知識を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	総まとめ問題①（宅地建物取引業法）	竹村　幸生
第2回	総まとめ問題②（権利関係）	竹村　幸生
第3回	総まとめ問題③（法令上の制限）	竹村　幸生
第4回	全国統一公開模擬試験（演習と解説）	竹村　幸生
第5回	直前模擬試験（演習と解説）	竹村　幸生

準備学習等	宅建物取引士Ⅰ～Ⅲで履修した内容を網羅的に確認しますので、事前に各種法律の内容をテキストで復習したうえで講義に臨んでください。

教科書 参考書等	基礎講義　宅建業法テキスト　(学校法人　大原学園) 基礎講義　権利関係テキスト　(学校法人　大原学園) 基礎講義　法令上の制限テキスト　(学校法人　大原学園)
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士Ⅳは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

147.ネットマーケティング

学科	ビジネス学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） OA事務学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	2学年

科目名	ネットマーケティング	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	久保田　佳子・鈴木　秀俊 中島　京哉	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：80％ 授業態度：20％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	１．インターネットを用いたマーケティングの必要性および「顧客満足」を前提とした各種戦略を理解している。 ２．企業データに基づいて、簡単なマーケティング分析ができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	インターネットマーケティングの特徴、基礎理論	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第2回	インターネットマーケティングの特徴、基礎理論	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第3回	インターネットマーケティングの特徴、基礎理論	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第4回	インターネット技術概論	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第5回	インターネット技術概論	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉

第6回	インターネット技術概論	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第7回	インターネットマーケティング総論	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第8回	インターネットリサーチ	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第9回	インターネットプロモーション	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第10回	インターネットプロモーション	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第11回	インターネットプロモーション	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第12回	インターネット広告	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第13回	インターネット広告	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第14回	インターネットを利用した販売	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第15回	インターネットマーケティング効果測定	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第16回	インターネットマーケティング外注管理	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第17回	インターネットマーケティング各種ポリシー	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第18回	インターネットマーケティング関連法規	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉

第19回	インターネットマーケティング関連法規	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第20回	インターネットとコンプライアンス、CSR	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉

準備学習等	復習を行い、知識の定着を図る。 学習したことは必ず実践し、繰り返して、学習習慣とする。 理解度や講義内容により内容を変更する場合がある。
教科書 参考書等	ネットマーケティング検定公式テキスト（インプレス）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性がある。 ビジネスの場に対応できる実践力が養われたかを測るため、各項目ごとに効果測定等を実施し、総合的に評価する。 実務を意識した授業であるため、効果を測定できなかった場合は追試等を実施し、実務レベルに対応する力をつけさせる。

学科	ビジネス学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） OA事務学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	SNSマーケティング	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	久保田　佳子・鈴木　秀俊 中島　京哉	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験　：　80　％ 授業態度　：　20　％ ：　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	１．SNSを用いたマーケティングの必要性および「顧客満足」を前提とした各種戦略を理解している。 ２．企業データに基づいて、簡単なマーケティング分析ができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	デジタルマーケティングの基礎知識と基礎教養	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第2回	デジタルマーケティングの基礎知識と基礎教養	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第3回	SNSの媒体特性	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第4回	SNSの媒体特性　メリット	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第5回	SNSの媒体特性　Facebook、Instagramなど	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉

第6回	SNS共通の実務スキル　投稿作成	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第7回	SNS共通の実務スキル　スチール撮影、動画撮影	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第8回	SNS共通の実務スキル　広告・キャンペーン	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第9回	プロジェクトマネジメント　KPI・データ分析	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第10回	プロジェクトマネジメント　戦略策定	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉

準備学習等	復習を行い、知識の定着を図る。 学習したことは必ず実践し、繰り返して、学習習慣とする。 理解度や講義内容により内容を変更する場合がある。
教科書 参考書等	SNSマーケティングテキスト（ウイネット）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性がある。 ビジネスの場に対応できる実践力が養われたかを測るため、各項目ごとに効果測定等を実施し、総合的に評価する。 実務を意識した授業であるため、効果を測定できなかった場合は追試等を実施し、実務レベルに対応する力をつけさせる。

学科	ＯＡ事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	ビジネス会計	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	久保田　佳子、鈴木　秀俊、 中島　京哉	授業回数	20回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	確認テスト　：　80　％ 授業態度　：　20　％ ：　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	会計の用語、財務諸表の構造・読み方・分析等、財務諸表を理解するための基礎的な力を身につける。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	財務諸表とは	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第2回	貸借対照表①　貸借対照表のしくみ	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第3回	貸借対照表②　流動資産	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第4回	貸借対照表③　固定資産　繰延資産	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第5回	貸借対照表④　負債　純資産	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第6回	損益計算書①　損益計算書のしくみ	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉

第7回	損益計算書②　損益計算のルール　売上総利益	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第8回	損益計算書③　営業利益　経常利益　税引前当期純利益　当期純利益	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第9回	キャッシュ・フロー計算書①　キャッシュ・フロー計算書のしくみ	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第10回	キャッシュ・フロー計算書②　キャッシュ・フロー計算書の読み方	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第11回	財務諸表分析①　百分比財務諸表	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第12回	財務諸表分析②　成長性および伸び率の分析	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第13回	財務諸表分析③　安全性の分析	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第14回	財務諸表分析④　キャッシュ・フロー情報の利用　収益性の分析	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第15回	財務諸表分析⑤　１株当たり分析　1人当たり分析	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第16回	過去問題解答・解説①	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第17回	過去問題解答・解説②	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第18回	過去問題解答・解説③	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第19回	過去問題解答・解説④	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第20回	過去問題解答・解説⑤	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉

準備学習等	復習を行い、知識の定着を図ること。 学習したことは必ず実践し、繰り返して、自分の習慣にする。
教科書 参考書等	ビジネス会計検定試験公式テキスト３級　（大阪商工会議所 編　中央経済社） ビジネス会計検定試験公式過去問題集３級　（大阪商工会議所 編　中央経済社）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 ビジネスの場に対応できる実践力が養われたかを測るため、確認テストを実施し、総合的に評価する。

150.賃貸不動産経営管理士

学科	OA事務学科（１年課程）・情報システム学科（１年課程） 経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・情報システム学科（２年課程） 税理士会計士学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）
学年	2学年

科目名	賃貸不動産経営管理士	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	菊地　裕俊	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	賃貸不動産経営管理士とは、主に賃貸アパートやマンションなど賃貸住宅の管理に関する知識・技能・倫理観を持った専門家である。賃貸不動産の管理業務にかかわる幅広い分野を学習するとともに、日常生活に大きく関わる住まいの知識を得ることを目的とし、賃貸不動産経営管理士試験に合格することを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 賃貸管理総論	菊地　裕俊
第2回	賃貸住宅管理業者登録制度	菊地　裕俊
第3回	賃貸不動産経営管理士の役割	菊地　裕俊
第4回	管理業務の受託方式	菊地　裕俊
第5回	借主の募集（管理業者の役割）	菊地　裕俊
第6回	賃貸借契約①	菊地　裕俊

第7回	賃貸借契約②	菊地　裕俊
第8回	建物管理の実務と賃貸借契約の管理	菊地　裕俊
第9回	建物・設備の知識	菊地　裕俊
第10回	賃貸業への支援業務	菊地　裕俊
第11回	過去問題演習および解説①（賃貸管理総論）	菊地　裕俊
第12回	過去問題演習および解説②（賃貸住宅管理業者登録制度）	菊地　裕俊
第13回	過去問題演習および解説③（賃貸不動産経営管理士の役割）	菊地　裕俊
第14回	過去問題演習および解説④（管理業務の受託）	菊地　裕俊
第15回	過去問題演習および解説⑤（賃貸借契約①）	菊地　裕俊
第16回	過去問題演習および解説⑥（賃貸借契約②）	菊地　裕俊
第17回	過去問題演習および解説⑦（建物管理の実務と賃貸借契約の管理）	菊地　裕俊
第18回	過去問題演習および解説⑧（建物・設備の知識）	菊地　裕俊
第19回	過去問題演習および解説⑨（賃貸業への支援業務）	菊地　裕俊
第20回	賃貸不動産経営管理士総論	菊地　裕俊

準備学習等	予習の必要はない。日々の復習をしっかり行うこと。
教科書 参考書等	賃貸不動産管理の知識と実務　賃貸不動産経営管理士公式テキスト（大成出版） みんなが欲しかった！賃貸不動産経営管理士の教科書（TAC出版） みんなが欲しかった！賃貸不動産経営管理士の過去問題集（TAC出版） TAC直前予想賃貸不動産経営管理士（TAC出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。賃貸不動産経営管理士は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	ビジネス学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） OA事務学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	2学年

科目名	ビジネス・アナリティクス	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	久保田　佳子・鈴木　秀俊 中島　京哉	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	Googleが提供しているデータ解析ツール「Googleアナリティクス」の技能や知識の理解している。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	アカウントの作成方法	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第2回	トラッキングコードの実装	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第3回	データフィルタの設定手順	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第4回	プランニングと仕組み	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第5回	導入とデータ収集	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉

第6回	設定と管理	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第7回	コンバージョンとアトリビューション	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第8回	レポート	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第9回	指標	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第10回	ディメンション	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉

準備学習等	復習を行い、知識の定着を図る。 学習したことは必ず実践し、繰り返して、学習習慣とする。 理解度や講義内容により内容を変更する場合がある。
教科書 参考書等	なし
備考	複数学科による合同授業となる。 受講生の習熟の度合い、進捗度や認定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性がある。

学科	税理士会計士学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	販売士1級基礎Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	3単位
		授業回数	20回
科目教員	鈴木　秀俊・中島　京哉 瀬尾　幸江・山下　健二	成績評価方法	筆記試験　：　80　% 授業態度　：　20　%
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二		：　% ：　% ：　%
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売りの現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	経営に関する極めて高度な知識を身につけることを目的とし、商品計画からマーケティング、経営計画の立案や財務予測等の経営管理について適切な判断ができることを目標とする。マーケティングの責任者やコンサルタントとして戦略的に企業経営に関わる人材を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型 流通システムの変革と小売業の新たな役割	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第2回	小売業の類型 流通システムの変革と小売業の新たな役割	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第3回	小売業の類型 フランチャイズシステムの戦略特性	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第4回	小売業の類型 フランチャイズシステムの戦略特性	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二

第5回	小売業の類型 店舗形態別小売業の戦略的特性	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第6回	小売業の類型 店舗形態別小売業の戦略的特性	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第7回	小売業の類型 チェーンストアの戦略概論	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第8回	小売業の類型 チェーンストアの戦略概論	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第9回	小売業の類型 商店街およびショッピングセンターの戦略的特性	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第10回	小売業の類型 商店街およびショッピングセンターの戦略的特性	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第11回	マーチャンダイジング マーチャンダイジング戦略の概論	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第12回	マーチャンダイジング マーチャンダイジング戦略の概論	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第13回	マーチャンダイジング 商品計画の策定と商品予算の実務	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第14回	マーチャンダイジング 商品計画の策定と商品予算の実務	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第15回	マーチャンダイジング 販売計画ならびに販売管理の戦略的策定	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二

第16回	マーチャンダイジング 販売計画ならびに販売管理の戦略的策定	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第17回	マーチャンダイジング 仕入在庫と在庫管理の実務	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第18回	マーチャンダイジング 仕入在庫と在庫管理の実務	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第19回	マーチャンダイジング 戦略的商品管理の実務、物流システムの実際	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第20回	マーチャンダイジング 戦略的商品管理の実務、物流システムの実際	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二

準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施します。必ず復習を行うこと。 学生の理解度により講義内容を変更する場合があります。
教科書 参考書等	販売士ハンドブック（発展編）～リテールマーケティング（販売士）検定試験１級対応～　（カリアック） 販売士(リテールマーケティング）１級問題集part１（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）１級問題集part２（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）１級問題集part３（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）１級問題集part４（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）１級問題集part５（TAC出版）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改定等に伴う授業内容の変更の可能性があります。

学科	税理士会計士学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	販売士1級基礎Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	鈴木　秀俊・中島　京哉 瀬尾　幸江・山下　健二	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二	成績評価方法	筆記試験　：　80　% 授業態度　：　20　% ：　% ：　% ：　%
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売りの現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	経営に関する極めて高度な知識を身につけることを目的とし、商品計画からマーケティング、経営計画の立案や財務予測等の経営管理について適切な判断ができることを目標とする。マーケティングの責任者やコンサルタントとして戦略的に企業経営に関わる人材を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ストアオペレーション 店舗運営サイクルの戦略的展開、スペースマネジメントの戦略的展開	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第2回	ストアオペレーション 店舗運営サイクルの戦略的展開、スペースマネジメントの戦略的展開	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第3回	ストアオペレーション 発注の戦略的展開、LSPの戦略展開	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第4回	ストアオペレーション 発注の戦略的展開、LSPの戦略展開	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二

第5回	ストアオペレーション ローコストオペレーションの戦略展開、人的販売と販売員指導の実際	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第6回	ストアオペレーション ローコストオペレーションの戦略展開、人的販売と販売員指導の実際	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第7回	ストアオペレーション 人的販売の実践と管理	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第8回	ストアオペレーション 人的販売の実践と管理	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第9回	マーケティング 小売業のマイクロマーケティング戦略の実践、小売業のマーケティングの種類と特徴	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第10回	マーケティング 小売業のマイクロマーケティング戦略の実践、小売業のマーケティングの種類と特徴	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第11回	マーケティング リテールマーケティング戦略の考え方	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第12回	マーケティング リテールマーケティング戦略の考え方	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第13回	マーケティング ライフスタイルの変化とマーケティング戦略の展開方法、顧客戦略の実際	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第14回	マーケティング ライフスタイルの変化とマーケティング戦略の展開方法、顧客戦略の実際	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二

第15回	マーケティング マーケティングリサーチの実際、出店戦略と商圏分析の実際、販売促進とプライシングの戦略的展開	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第16回	マーケティング マーケティングリサーチの実際、出店戦略と商圏分析の実際、販売促進とプライシングの戦略的展開	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第17回	販売・経営管理 小売業の管理組織の特徴、小売業の従業員管理と能力開発	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第18回	販売・経営管理 小売業の管理組織の特徴、小売業の従業員管理と能力開発	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第19回	販売・経営管理 小売業の戦略的キャッシュフロー経営、小売業の店舗に関する法律、小売業のリスクマネジメント	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第20回	販売・経営管理 小売業の戦略的キャッシュフロー経営、小売業の店舗に関する法律、小売業のリスクマネジメント	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施します。必ず復習を行うこと。 学生の理解度により講義内容を変更する場合があります。	
教科書 参考書等	販売士ハンドブック（発展編）～リテールマーケティング（販売士）検定試験１級対応～　（カリアック） 販売士(リテールマーケティング）１級問題集part１（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）１級問題集part２（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）１級問題集part３（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）１級問題集part４（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）１級問題集part５（TAC出版）	
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改定等に伴う授業内容の変更の可能性があります。	

学科	税理士会計士学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	販売士1級演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	90時間
		単位数	4単位
科目教員	鈴木　秀俊・中島　京哉 瀬尾　幸江・山下　健二	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二	成績評価方法	筆記試験　：　80　％ 授業態度　：　20　％ ：　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売りの現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の実務経験内容	勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	経営に関する極めて高度な知識を身につけることを目的とし、商品計画からマーケティング、経営計画の立案や財務予測等の経営管理について適切な判断ができることを目標とする。マーケティングの責任者やコンサルタントとして戦略的に企業経営に関わる人材を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	問題演習　小売業の類型①	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第2回	問題演習　小売業の類型②	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第3回	問題演習　小売業の類型③	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第4回	問題演習　小売業の類型④	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二

第5回	問題演習　小売業の類型⑤	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第6回	過去試験問題　小売業の類型　解答解説	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第7回	問題演習　マーチャンダイジング①	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第8回	問題演習　マーチャンダイジング②	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第9回	問題演習　マーチャンダイジング③	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第10回	問題演習　マーチャンダイジング④	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第11回	問題演習　マーチャンダイジング⑤	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第12回	過去試験問題　マーチャンダイジング　解答解説	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第13回	問題演習　ストアオペレーション①	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第14回	問題演習　ストアオペレーション②	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第15回	問題演習　ストアオペレーション③	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二

第16回	問題演習　ストアオペレーション④	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第17回	問題演習　ストアオペレーション⑤	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第18回	過去試験問題　ストアオペレーション　解答解説	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第19回	問題演習　マーケティング①	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第20回	問題演習　マーケティング②	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第21回	問題演習　マーケティング③	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第22回	問題演習　マーケティング④	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第23回	問題演習　マーケティング⑤	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第24回	過去試験問題　マーケティング　解答解説	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第25回	問題演習　販売・経営管理①	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第26回	問題演習　販売・経営管理②	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二

第27回	問題演習　販売・経営管理③	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第28回	問題演習　販売・経営管理④	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第29回	問題演習　販売・経営管理⑤	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第30回	過去試験問題　販売・経営管理　解答解説	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二

準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施します。必ず復習を行うこと。 学生の理解度により講義内容を変更する場合があります。
教科書 参考書等	販売士ハンドブック（発展編）～リテールマーケティング（販売士）検定試験１級対応～　（カリアック） 販売士(リテールマーケティング）１級問題集part１（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）１級問題集part２（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）１級問題集part３（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）１級問題集part４（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）１級問題集part５（TAC出版）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改定等に伴う授業内容の変更の可能性があります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	簿記論Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	4単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	日商簿記検定2級（商業簿記）程度の簿記知識をすでに習得していることを前提に、中小企業にて行われる各種取引の会計処理について細部まで解説することで、理解を深めてもらうことを目的としています。そして、日々の取引から決算整理に至るまで、主要簿及び補助簿等への記入や締め切り、帳簿を基礎として作成される各種試算表や精算表といった、主に企業内部で使用される帳票類を自ら作成できる能力と、税理士試験簿記論に合格できる基礎能力を身につけることを到達目標とします。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、簿記の目的、簿記の仕組み	竹村　幸生
第2回	主要簿及び補助簿、決算振替	竹村　幸生
第3回	精算表、貸借対照表及び損益計算書	竹村　幸生
第4回	現金の範囲、現金過不足、当座預金（小切手）	竹村　幸生
第5回	債権債務、約束手形	竹村　幸生

第6回	三分法、商品有高帳、商品評価損等	竹村　幸生
第7回	固定資産の概要、減価償却、固定資産の売却等	竹村　幸生
第8回	資本的支出と収益的支出、無形固定資産	竹村　幸生
第9回	源泉所得税・社会保険料、賞与引当金	竹村　幸生
第10回	貸倒損失、貸倒引当金(実績率法、財務内容評価法)	竹村　幸生
第11回	損益の見越・繰延、退職給付（簡便法・退職一時金制度）	竹村　幸生
第12回	有価証券の概要、売買目的有価証券、関係会社株式	竹村　幸生
第13回	法人税等、租税公課、消費税等	竹村　幸生
第14回	手形の譲渡、社債の概要、償却原価法（定額法）	竹村　幸生
第15回	純資産の概要、資本金・資本準備金	竹村　幸生
第16回	当座預金の期末修正、当座借越	竹村　幸生
第17回	その他資本剰余金、利益準備金・繰越利益剰余金	竹村　幸生
第18回	自己株式の概要、自社利用目的のソフトウェア	竹村　幸生
第19回	税効果会計の概要、将来減算一時差異	竹村　幸生
第20回	売上原価計上法、分記法、総記法	竹村　幸生
第21回	償却原価法（利息法）、社債の買入償還	竹村　幸生
第22回	原価率・利益率、仕入・売上の計上基準	竹村　幸生
第23回	自己株式の処分・消却、満期保有目的の債券	竹村　幸生
第24回	その他有価証券、有価証券の減損処理	竹村　幸生
第25回	新株予約権、株主資本等変動計算書	竹村　幸生
第26回	固定資産の売却等（手数料、消費税、値引）	竹村　幸生

第27回	割引現在価値の算定	竹村　幸生
第28回	減損会計の概要、減損の兆候・認識の判定及び測定	竹村　幸生
第29回	退職給付（原則法・退職一時金制度と企業年金制度）	竹村　幸生
第30回	転換社債型新株予約権付社債（区分法）	竹村　幸生

準備学習等	会計処理の知識や帳簿記入の技術を身につけるためには、日々の復習を欠かさず地道な努力を継続することが何より求められます。項目によっては大変難易度の高い内容も含まれていますので、講義の中で全てが完結するものと考えず、講義後の復習（問題演習）を実施することでより理解が深まることを認識して下さい。なお、予習は不要です。
教科書 参考書等	簿記論計算テキスト1(大原学園)、計算問題集1-1、1-2(大原学園) 簿記論計算テキスト2(大原学園)、計算問題集2-1、2-2(大原学園) 簿記論個別計算問題集（大原出版）、簿記論総合計算問題集基礎編（大原出版）
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。簿記論Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	簿記論Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	180時間
		単位数	6単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	45回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	簿記論Ⅰで履修した中小企業を中心とした会計処理に加え、上場企業をも前提とした会計処理を詳細に解説し、理解してもらうことを目的としています。帳票類から情報を読み取り、企業を取り巻く利害関係者に報告するために作成される基本的な決算書類（損益計算書、貸借対照表、株主資本等変動計算書、キャッシュ・フロー計算書等）を自らある程度作成・表示できる能力を身につけること、また、税理士試験簿記論に合格できる知識と計算技術を身につけることを到達目標とします。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス リース取引（オペレーティング・リースとファイナンス・リース）	竹村　幸生
第2回	外貨建会計（外貨建項目の基本的な換算）、保険金の取り扱い	竹村　幸生
第3回	退職給付（原則法・各種差異）	竹村　幸生
第4回	転換社債型新株予約権付社債（一括法）	竹村　幸生
第5回	外貨建会計（為替予約・独立処理）	竹村　幸生
第6回	圧縮記帳(直接減額方式、積立金方式)	竹村　幸生
第7回	試用販売(対照勘定法・手許商品区分法)	竹村　幸生

第8回	本支店会計(期中手続、決算手続、合併財務諸表の作成)	竹村　幸生
第9回	製造業会計(製造業会計一巡)	竹村　幸生
第10回	資産除去債務(概要、基本的な会計処理)	竹村　幸生
第11回	キャッシュ・フロー計算書(直接法)	竹村　幸生
第12回	外貨建会計（為替予約・振当処理）、ソフトウェア(市場販売目的)	竹村　幸生
第13回	組織再編会計(企業結合)、貸倒引当金(キャッシュ・フロー見積法)	竹村　幸生
第14回	会計上の変更等(会計上の見積変更、過去の誤謬の訂正)	竹村　幸生
第15回	連結会計(取得日連結、連結第1年度の処理)	竹村　幸生
第16回	本支店会計(支店間取引)、減損会計(共用資産)	竹村　幸生
第17回	委託販売・受託販売	竹村　幸生
第18回	キャッシュ・フロー計算書(間接法)	竹村　幸生
第19回	連結会計(持分法、持分法第1年度の処理)	竹村　幸生
第20回	組織再編会計(事業分離)、ストック・オプション(概要)	竹村　幸生
第21回	会計上の変更等(会計方針の変更)	竹村　幸生
第22回	連結会計(連結第2年度以降の処理)	竹村　幸生
第23回	リース取引(セール・アンド・リースバック)	竹村　幸生
第24回	リース取引(リース料先払い)	竹村　幸生
第25回	ソフトウェア(受注制作のソフトウェア)	竹村　幸生
第26回	有価証券(配当を受けた株主の処理、保有目的区分の変更)	竹村　幸生
第27回	資産除去債務(資産除去債務に係る税効果)	竹村　幸生
第28回	本支店会計(在外支店)	竹村　幸生

第29回	新株予約権付社債(外貨建転換社債型新株予約権付社債)	竹村　幸生
第30回	金利スワップ、会計上の変更(会計方針の変更に係る税効果)	竹村　幸生
第31回	リース取引(貸手側の処理)	竹村　幸生
第32回	伝票会計(三伝票制、五伝票制)、社債(抽選償還)	竹村　幸生
第33回	組織再編会計(株式交換、株式移転)、分配可能額	竹村　幸生
第34回	リース取引(残価保証、中途解約、維持管理費用相当額)	竹村　幸生
第35回	連結会計(段階取得、連結税効果会計)	竹村　幸生
第36回	ストック・オプション(公正な評価単価の変更)	竹村　幸生
第37回	収益認識基準(概要、返金負債、契約資産・契約負債等)	竹村　幸生
第38回	令和4年税理士試験 本試験問題演習及び解説	竹村　幸生
第39回	令和5年税理士試験 本試験問題演習及び解説	竹村　幸生
第40回	令和6年税理士試験 本試験問題演習及び解説	竹村　幸生
第41回	全国統一公開模擬試験 〔内容〕全範囲を対象とした本試験受験対策問題の演習及び解説	竹村　幸生
第42回	第1回直前予想公開模擬試験 〔内容〕全範囲を対象とした本試験受験対策問題の演習及び解説	竹村　幸生
第43回	第2回直前予想公開模擬試験 〔内容〕全範囲を対象とした本試験受験対策問題の演習及び解説	竹村　幸生
第44回	総まとめ確認問題①	竹村　幸生
第45回	総まとめ確認問題②	竹村　幸生

準備学習等	会計処理の知識や帳簿記入の技術を身につけるためには、日々の復習を欠かさず地道な努力を継続することが何より求められます。項目によっては大変難易度の高い内容も含まれていますので、講義の中で全てが完結するものと考えず、講義後の復習（問題演習）を実施することでより理解が深まることを認識して下さい。なお、予習は不要です。

教科書 参考書等	簿記論計算テキスト2(大原学園)、計算問題集2-2(大原学園) 簿記論計算テキスト3(大原学園)、計算問題集3(大原学園) 簿記論直前対策テキスト(大原学園)、直前対策問題集(大原学園) 簿記論個別計算問題集（大原出版）、簿記論総合計算問題集応用編（大原出版）
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 簿記論Ⅱは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	財務諸表論Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	4単位
		授業回数	30回
科目教員	千葉　菜愛	成績評価方法	筆記試験 : 40 %
			ミニテスト : 40 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	企業の経済活動を表す損益計算書や貸借対照表などの財務諸表の作成に関する原理や原則を計算と理論に分けて学習します。計算では日々の取引を集計した残高試算表から、財務諸表を作成する能力を身につけ、理論では企業会計原則を理解し記述することができる力を身につけることを目的とします。また、税理士試験財務諸表論に合格できる能力の基礎を身につけることを到達目標とします。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	計算：ガイダンス 財務諸表論の概要、貸借対照表（株主資本除く）流動固定の分類基準、損益計算書	千葉　菜愛
第2回	計算：現金及び預金、債権及び債務	千葉　菜愛
第3回	計算：個別注記表（重要な会計方針）、B/S注記、損益の見越・繰延 理論：ガイダンス	千葉　菜愛
第4回	計算：銀行勘定調整表 理論：財務諸表論の基礎概念	千葉　菜愛

第5回	計算：棚卸資産（売上原価の算定） 理論：一般原則（真実性の原則）	千葉　菜愛
第6回	計算：有形固定資産、無形固定資産 理論：一般原則（正規の簿記の原則）	千葉　菜愛
第7回	計算：引当金（一般債権）、給料等 理論：一般原則（明瞭性の原則）	千葉　菜愛
第8回	計算：引当金（懸念、破産） 理論：一般原則（継続性の原則）	千葉　菜愛
第9回	計算：退職給付（簡便法） 理論：一般原則（資本利益区別の原則）	千葉　菜愛
第10回	計算：法人税等・追徴還付、株主資本 理論：一般原則（単一性の原則）	千葉　菜愛
第11回	計算：その他の引当金 理論：一般原則（保守主義の原則）	千葉　菜愛
第12回	計算：関係会社（議決権による判定 理論：重要性の原則	千葉　菜愛
第13回	計算：有価証券（基本的評価等） 理論：P/Lの本質と構造、発生主義会計と現金主義会計	千葉　菜愛
第14回	計算：社債 理論：期間損益計算の基本原則及び収支額基準	千葉　菜愛
第15回	計算：外貨建取引（基本的換算） 理論：実現主義の原則、発生主義の原則	千葉　菜愛
第16回	計算：割引現在価値、資産除去債務 理論：費用収益対応の原則、一般販売の収益認識	千葉　菜愛
第17回	計算：当座借越 理論：特殊販売の収益認識	千葉　菜愛

第18回	計算：関係会社に対する債権債務 理論：工事契約（基本）、P/L表示原則、B/S表示原則	千葉　菜愛
第19回	計算：ソフトウェア、税金（外形基準、租税公課） 理論：財務諸表論の基礎概念（資本循環と財務諸表、会計観）	千葉　菜愛
第20回	計算：税効果会計 理論：貸借対照表の本質	千葉　菜愛
第21回	計算：源泉所得税、社会保険料、棚卸資産（返品、値引、割戻） 理論：資産総論（分類、評価）	千葉　菜愛
第22回	計算：株主資本等変動計算書 理論：棚卸資産（数量計算、評価方法）	千葉　菜愛
第23回	計算：減損会計 理論：固定資産の定義と分類、取得原価（自家建設）	千葉　菜愛
第24回	計算：棚卸資産（他勘定振替） 理論：固定資産の取得原価（現物出資、交換）	千葉　菜愛
第25回	計算：償却原価法（利息法） 理論：固定資産（減価償却、評価減）	千葉　菜愛
第26回	計算：為替予約（独立処理） 理論：固定資産（資本的支出、特殊な有形固定資産の費用化）	千葉　菜愛
第27回	計算：有価証券（その他有価証券） 理論：資本総論（実体資本維持）	千葉　菜愛
第28回	計算：圧縮記帳（直接）、消費税 理論：繰延資産（概念）、繰延資産（会計処理）	千葉　菜愛
第29回	計算：外貨建有価証券 理論：負債（引当金）、負債（偶発債務）、財務諸表論の基礎概念（会計観 資産・負債）	千葉　菜愛
第30回	計算：P/L注記（取締役に対する金銭債権債務）、有価証券（配当を受けた株主の処理） 理論：資産の評価（時価）、資産の評価（現価主義）	千葉　菜愛

準備学習等	財務諸表論については、計算と理論をバランスよく学習していきます。そのため、日々の復習と理論暗記を継続することが必要不可欠です。講義内で指示する問題演習を欠かさず実施することで、より理解が深まるものと解してください。なお、予習は不要です。
教科書 参考書等	財務諸表論計算テキスト1（大原学園）、計算問題集1-1、1-2（大原学園） 理論テキスト1（大原学園） 財務諸表論計算テキスト2（大原学園）、計算問題集2-1、2-2（大原学園） 理論テキスト2（大原学園） 財務諸表論個別計算問題集（大原出版） 財務諸表論総合計算問題集基礎編（大原出版）
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 財務諸表論Ⅰは、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	財務諸表論Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	180時間
		単位数	6単位
科目教員	千葉　菜愛	授業回数	45回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	財務諸表論Ⅰと同様に財務諸表の作成に関する原理や原則を計算と理論に分けて学習します。計算では、財務諸表論Ⅰで履修した損益計算書や貸借対照表以外にも、キャッシュ・フロー計算書等の利害関係者への報告資料の作成方法を習得し、理論では、概念フレームワークや金融商品会計基準といった財務諸表論Ⅰで履修した以外の会計基準について理解することを目的とします。また、税理士試験財務諸表論に合格できる計算能力と会計基準を記述する力を身につけることを到達目標とします。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	計算：ガイダンス 理論：ガイダンス	千葉　菜愛
第2回	計算：P/L注記（関係会社との取引高）、後発事象の注記 理論：概念フレームワーク	千葉　菜愛
第3回	計算：リース会計 理論：損益計算論（投資のリスクからの解放）	千葉　菜愛
第4回	計算：退職給付（原則法） 理論：資産の分類（事業投資・金融投資）	千葉　菜愛
第5回	計算：金融商品（証券投資信託、ゴルフ会員権） 理論：工事契約（応用）	千葉　菜愛
第6回	計算：退職給付（原則法）各種差異 理論：金融商品の範囲、発生消滅認識、基本的評価	千葉　菜愛

第7回	計算：製造業会計（基本） 理論：金融商品（金銭債権）	千葉　菜愛
第8回	計算：研究開発費 理論：金融商品（有価証券）	千葉　菜愛
第9回	計算：繰延資産 理論：金融商品（事業用資産・金融資産）	千葉　菜愛
第10回	計算：製造業会計（仕掛品評価） 理論：金融商品会計（金融負債の評価）	千葉　菜愛
第11回	計算：為替予約（振当処理） 理論：金融商品会計（デリバティブ取引）	千葉　菜愛
第12回	計算：売価還元法 理論：金融商品会計（ヘッジ取引）	千葉　菜愛
第13回	計算：組織再編会計（合併、事業譲受） 理論：収益性の低下（固定資産）	千葉　菜愛
第14回	計算：組織再編会計（事業分離） 理論：収益性の低下（棚卸資産）	千葉　菜愛
第15回	計算：為替予約（ヘッジ会計） 理論：収益性の低下（工事損失引当金）	千葉　菜愛
第16回	計算：金利スワップ 理論：リース会計	千葉　菜愛
第17回	計算：引当金（CF見積法） 理論：研究開発費・ソフトウェア	千葉　菜愛
第18回	計算：退職給付（簡便法）企業年金併用 理論：退職給付会計	千葉　菜愛
第19回	計算：圧縮記帳（積立金） 理論：資産除去債務	千葉　菜愛
第20回	計算：分配可能額 理論：分配可能額	千葉　菜愛
第21回	計算：C/F（営業活動） 理論：純資産会計（資本の概念）	千葉　菜愛
第22回	計算：C/F（投資・財務活動） 理論：純資産会計（自己株式）	千葉　菜愛
第23回	計算：会計上の変更等（見積り、減価償却方法の変更） 理論：会計上の変更及び誤謬の訂正	千葉　菜愛
第24回	計算：株主資本（新株式申込証拠金、新株自己株同時交付） 理論：キャッシュ・フロー計算書	千葉　菜愛

第25回	計算：株主資本（一株当たり情報） 理論：株主資本等変動計算書	千葉　菜愛
第26回	計算：分配可能額（のれん等調整額） 理論：企業結合会計	千葉　菜愛
第27回	計算：連結会計（取得日連結） 理論：事業分離会計	千葉　菜愛
第28回	計算：連結会計（連結第1年度） 理論：連結財務諸表（基礎概念）	千葉　菜愛
第29回	計算：会計上の変更等（会計方針） 理論：連結財務諸表（純利益・包括利益）	千葉　菜愛
第30回	計算：新株予約権、新株予約権付社債 理論：四半期財務諸表	千葉　菜愛
第31回	計算：ストック・オプション 理論：税効果会計	千葉　菜愛
第32回	計算：財務諸表等規則 理論：外貨換算会計	千葉　菜愛
第33回	計算：税効果会計（資産除去債務に係る税効果） 理論：ストック・オプション	千葉　菜愛
第34回	計算：組織再編会計（株式交換） 理論：連結財務諸表（退職給付）	千葉　菜愛
第35回	理論：収益認識に関する会計基準	千葉　菜愛
第36回	計算：組織再編会計（共通支配下の取引） 理論：実践問題対策（配分と評価、会計観）	千葉　菜愛
第37回	計算：収益認識（売上割引） 理論：実践問題対策（資産及び負債の貸借対照表能力）	千葉　菜愛
第38回	計算：収益認識（カスタマー・ロイヤルティ・プログラム） 理論：実践問題対策（割引現在価値、純資産と包括利益）	千葉　菜愛
第39回	理論総まとめ① （一般原則、P/L総論、B/S総論）	千葉　菜愛
第40回	理論総まとめ② （棚卸資産、固定資産、繰延資産、負債）	千葉　菜愛
第41回	理論総まとめ③ （概念フレームワーク、金融商品、負債）	千葉　菜愛
第42回	理論総まとめ④ （純資産会計、企業結合会計、事業分離会計）	千葉　菜愛

第43回	令和4年度 本試験問題演習及び解説	千葉　菜愛
第44回	令和5年度 本試験問題演習及び解説	千葉　菜愛
第45回	令和6年度 本試験問題演習及び解説	千葉　菜愛

準備学習等	財務諸表論については、計算と理論をバランスよく学習していきます。そのため、日々の復習と理論暗記を継続することが必要不可欠です。講義内で指示する問題演習を欠かさず実施することで、より理解が深まるものと解してください。なお、予習は不要です。
教科書 参考書等	財務諸表論計算テキスト2（大原学園）、計算問題集2-1、2-2（大原学園） 理論テキスト1（大原学園） 財務諸表論計算テキスト3（大原学園）、計算問題集3（大原学園） 理論テキスト2（大原学園） 直前対策テキスト1（大原出版）、直前対策テキスト2（大原出版） 過去試験問題集（大原出版） 財務諸表論個別計算問題集（大原出版） 財務諸表論総合計算問題集応用編（大原出版）
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 財務諸表論Ⅱは、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（１年課程）・ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	消費税法Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	120時間
		単位数	4単位
科目教員	小関　哲也	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員	小関　哲也	成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	実務において、消費税を計算することができる基礎知識を身につけさせるとともに、その計算方法が消費税法のどの条文に規定しているかを体系的に学習させる。 また、過去の税理士試験の出題内容を実務に照らし解説することにより、税理士試験に対応できる基礎知識を習得する授業を行う。
実務経験教員の実務経験内容	一般事業会社において、財務責任者として会計事務所と共同で、消費税に関する日々の会計処理を行うとともに、消費税を計算し確定申告書の作成及び各届出書の業務を行っていた。
授業目的 到達目標	消費税の仕組みを理解し、消費税の計算及び消費税法の法解釈を基礎から学び、事業者(法人及び個人事業者)の消費税の計算ができることを目的とする。 また、消費税法の計算と理論を体系的に学習することにより、税理士試験消費税法に出題される計算問題を解答できるレベルを目指す。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス消費税法の概要	小関　哲也
第2回	課税の対象	小関　哲也
第3回	非課税項目	小関　哲也
第4回	輸出免税項目	小関　哲也
第5回	課税売上割合の計算及び控除対象仕入税額(個別対応方式・一括比例配分方式)	小関　哲也
第6回	売り上げに係る対価の返還等	小関　哲也

第7回	貸し倒れが生じた場合	小関　哲也
第8回	課税仕入れの範囲	小関　哲也
第9回	仕入に係る対価の返還等	小関　哲也
第10回	国境を越えた役務の提供	小関　哲也
第11回	中間申告に係る納付税額の計算	小関　哲也
第12回	課税仕入れ等の分類等課税仕入れ等の時期	小関　哲也
第13回	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額の特例	小関　哲也
第14回	調整対象固定資産に係る仕入税額控除①	小関　哲也
第15回	調整対象固定資産に係る仕入税額控除②	小関　哲也
第16回	特定期間における課税売上高による納税義務の免除の特例	小関　哲也
第17回	相続があった場合の納税義務の免除の特例	小関　哲也
第18回	合併があった場合の納税義務の免除の特例	小関　哲也
第19回	会社分割があった場合の納税義務の免除の特例	小関　哲也
第20回	新設法人の納税義務の免除の特例	小関　哲也
第21回	特定新規設立法人の納税義務の免除の特例	小関　哲也
第22回	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算の特例	小関　哲也
第23回	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整	小関　哲也
第24回	課税標準	小関　哲也
第25回	簡易課税制度①	小関　哲也
第26回	簡易課税制度②	小関　哲也
第27回	軽減税率旧税率に関する経過措置	小関　哲也

第28回	高額特定資産を取得した場合の納税義務の免除の特例	小関　哲也
第29回	資産の譲渡等の時期 居住用賃貸建物を課税賃貸用に供した場合の仕入れ税額控除の調整	小関　哲也
第30回	国等に対する特例	小関　哲也

準備学習等	消費税法の学習は、積み重ねが重要であることから復習を十分に行い理解しておくとともに、計算問題集を活用して実際に消費税の計算の演習を行うことが重要。各回の内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い次回の授業に臨むこと。 また、税理士試験受験を希望する生徒は、理論テキスト及び理論問題集を使用し法解釈の復習も行うこと。
教科書 参考書等	消費税法計算テキストⅠ・Ⅱ（大原学園）、消費税法計算問題集Ⅰ・Ⅱ（大原学園）、理論テキスト（大原学園）、消費税法規通達集（中央経済社）、総合計算問題集基礎編（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 消費税法Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となる。

学科	ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	消費税法Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	180時間
		単位数	6単位
		授業回数	45回
科目教員	小関　哲也	成績評価方法	筆記試験 : 40 %
			ミニテスト : 40 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち実務経験教員	小関　哲也		: %
			: %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	実務における各事例に対応した消費税を計算することができる実務的な知識を身につけさせるとともに、その計算方法が消費税法のどの条文に規定しているかを体系的に学習させる。
実務経験教員の実務経験内容	一般事業会社において、経理責任者として会計事務所と共同で、消費税に関する日々の会計処理を行うとともに、消費税を計算し確定申告書の作成及び各届出書の業務を行っていた。
授業目的 到達目標	実務における各事例に対応した消費税の計算及び消費税法の法解釈ができ、事業者(法人及び個人事業者)の消費税の計算ができることを目的とする。 また、消費税法Ⅰ・Ⅱの総括として、税理士試験消費税法において過去に出題された問題を解答することができ、税理士試験消費税法の合格レベルを目指す。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス事例アプローチ	小関　哲也
第2回	課税の対象を論点とする取引関係の事例	小関　哲也
第3回	国内取引の判定を論点とする取引関係の事例	小関　哲也
第4回	非課税の判定を論点とする取引関係の事例	小関　哲也
第5回	輸出免税の判定を論点とする取引関係の事例	小関　哲也
第6回	電気通信利用役務提供を論点とする事例	小関　哲也
第7回	税額控除等を論点とする取引関係の事例①	小関　哲也
第8回	税額控除等を論点とする取引関係の事例②	小関　哲也

第9回	税額控除等を論点とする取引関係の事例③	小関　哲也
第10回	税額控除等を論点とする取引関係の事例④	小関　哲也
第11回	納税義務の判定事例（相続）	小関　哲也
第12回	納税義務の判定事例（合併）	小関　哲也
第13回	納税義務の判定事例（分割等）	小関　哲也
第14回	納税義務の判定事例（吸収分割）	小関　哲也
第15回	納税義務の判定事例（新設法人）	小関　哲也
第16回	納税義務の判定事例（特定新規設立法人）	小関　哲也
第17回	納税義務の判定事例（高額特定資産を取得した場合）	小関　哲也
第18回	課税期間の判定事例	小関　哲也
第19回	納税地の判定事例	小関　哲也
第20回	届出関係の事例①	小関　哲也
第21回	届出関係の事例②	小関　哲也
第22回	届出関係の事例③	小関　哲也
第23回	改正税制講義①	小関　哲也
第24回	改正税制講義②	小関　哲也
第25回	改正税制講義③	小関　哲也
第26回	平成２０年税理士試験問題の事例解説	小関　哲也
第27回	平成２３年税理士試験問題の事例解説	小関　哲也
第28回	平成２５年税理士試験問題の事例解説	小関　哲也
第29回	平成２８年税理士試験問題の事例解説	小関　哲也

第30回	令和３年税理士試験問題の事例解説	小関　哲也
第31回	令和４年税理士試験問題の事例解説	小関　哲也
第32回	令和５年税理士試験問題の事例解説	小関　哲也
第33回	令和６年税理士試験問題の事例解説	小関　哲也
第34回	公開模擬試験①	小関　哲也
第35回	公開模擬試験②	小関　哲也
第36回	公開模擬試験③	小関　哲也
第37回	公開模擬試験④	小関　哲也
第38回	公開模擬試験⑤	小関　哲也
第39回	公開模擬試験⑥	小関　哲也
第40回	公開模擬試験⑦	小関　哲也
第41回	公開模擬試験⑧	小関　哲也
第42回	公開模擬試験⑨	小関　哲也
第43回	総まとめテスト①	小関　哲也
第44回	総まとめテスト②	小関　哲也
第45回	総まとめテスト③	小関　哲也

準備学習等	消費税法の学習は、積み重ねが大切であることから復習を十分に行い理解しておくとともに、計算問題集を活用して実際に消費税の計算の演習を行うことが重要。各回の内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い次回の授業に臨むこと。 また、税理士試験受験を希望する生徒は、理論テキスト及び理論問題集を使用し法解釈の復習も行ってください。 なお、各回において復習のための総合問題を解答します。
教科書 参考書等	消費税法計算テキストⅡ（大原学園）、消費税法計算問題集Ⅱ（大原学園）、理論テキスト（大原学園）、消費税法規通達集（中央経済社）、総合計算問題集応用編（大原出版）、税理士試験過去問題集(大原学園)、公開模擬試験(大原学園)

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 消費税法Ⅱは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（１年課程）・ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	法人税法Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	120時間
		単位数	4単位
科目教員	小関　哲也	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員	小関　哲也	成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	実務において、法人税を計算することができる基礎知識を身につけさせるとともに、その計算の根拠となる法人税法のどの条文に規定しているかを体系的に学習させる。 また、過去の税理士試験の出題内容を実務に照らし解説することにより、税理士試験法人税法に対応できる基礎知識を習得する授業を行う。
実務経験教員の実務経験内容	一般事業会社において、経理責任者として日々の会計処理の管理、決算整理から財務諸表の作成に携わり、会計事務所と共同で、法人税を計算し確定申告書の作成及び各届出書の業務を行っていた。
授業目的 到達目標	法人税の仕組みを理解し、法人税の計算及び法人税法の法解釈を基礎から学び、法人税の計算ができることを目的とする。 また、法人税法法の計算と理論を体系的に学習することにより、公益社団法人全国経理教育協会主催文部科学省後援法人税法能力検定試験2級又は1級の合格レベル、及び税理士試験法人税に出題される基礎計算問題を解答できるレベルを目指す。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス法人税法の概要	小関　哲也
第2回	交際費等の損金不算入①・減価償却①	小関　哲也
第3回	減価償却②・受取配当等の益金不算入①	小関　哲也
第4回	寄付金の損金不算入①・有価証券①	小関　哲也
第5回	寄付金の損金不算入①・有価証券①	小関　哲也

第6回	減価償却③・有価証券②	小関　哲也
第7回	別表4の作成	小関　哲也
第8回	使途秘匿金の課税の特例・貸倒損失	小関　哲也
第9回	貸倒引当金①・欠損金①	小関　哲也
第10回	貸倒引当金②・外貨建取引	小関　哲也
第11回	収用等①・受取配当金の益金不算入②	小関　哲也
第12回	交際費等の損金不算入②・寄付金の損金不算入②	小関　哲也
第13回	租税公課等及び納税充当金②・有価証券③	小関　哲也
第14回	所得額控除・国庫補助金等・別表５作成・有価証券④	小関　哲也
第15回	圧縮記帳の概要・収用等②・接待飲食費	小関　哲也
第16回	役員判定・役員給与①	小関　哲也
第17回	役員判定・役員給与②・使用人給与	小関　哲也
第18回	交際費等の損金不算入③・特定資産の買換え	小関　哲也
第19回	租税公課及び納税充当金②	小関　哲也
第20回	地方法人税の計算・みなし配当①	小関　哲也
第21回	資本等取引①・租税公課及び納税充当金③・外国税額控除	小関　哲也
第22回	外国子会社から受ける配当等の益金不算入・寄付金の損金不算入③	小関　哲也
第23回	保険差益・リース取引	小関　哲也
第24回	繰延資産・欠損金②	小関　哲也
第25回	交換差益・受取配当等の益金不算入③	小関　哲也
第26回	租税公課及び納税充当金④・確定決算型	小関　哲也

第27回	グループ法人税制①	小関　哲也
第28回	欠損金額・資産の評価損益	小関　哲也
第29回	グループ法人税制②	小関　哲也
第30回	修正申告・税効果会計・設立事業年度	小関　哲也

準備学習等	法人税法の学習は、積み重ねが大切であることから復習を十分に行い理解しておくとともに、計算問題集を活用して実際に法人税の計算の演習を行うことが重要。各回の内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い次回の授業に臨むこと。 また、税理士試験受験を希望する生徒は、理論テキスト及び理論問題集を使用し法解釈の復習も行うこと。
教科書 参考書等	法人税法計算テキストⅠ・Ⅱ（大原学園）、法人税法計算問題集Ⅰ・Ⅱ（大原学園）、理論テキスト（大原学園）、法人税法規通達集（中央経済社）、総合計算問題集（大原出版）・個別計算問題集（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、税法改正等に伴い一部変更する場合がある。また、受講生の理解度や進捗度等に応じて一部メディアを導入した授業となる場合がある。 法人税法Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、原則、各学科及び各学年合同授業となる。

学科	ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	法人税法Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	180時間
		単位数	6単位
		授業回数	45回
科目教員	小関　哲也	成績評価方法	筆記試験 : 40 %
			ミニテスト : 40 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち実務経験教員	小関　哲也		: %
			: %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	実務における各事例に対応した法人税の計算することができる実務的な知識を身につけさせるとともに、法人税の申告書である各別表の記入方法を学習させる。 また、過去の税理士試験の出題内容を実務に照らし解説することにより、税理士試験法人税法に対応できる知識を習得する授業を行う。
実務経験教員の実務経験内容	一般事業会社において、経理責任者として日々の会計処理の管理、決算整理から財務諸表の作成に携わり、会計事務所と共同で、法人税を計算し確定申告書の作成及び各届出書の業務を行っていた。
授業目的 到達目標	実務における各事例に対応した法人税の計算及び法人税法の法解釈ができ、各法人の法人税の計算ができることを目的とする。 また、法人税法Ⅰ・Ⅱの総括として、税理士試験おいて過去に出題された問題を解答することができ、税理士試験法人税法の合格レベルを目指す。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス・事例アプローチ	小関　哲也
第2回	組織再編税制（概要・合併）	小関　哲也
第3回	組織再編税制（合併）	小関　哲也
第4回	組織再編税制（分割型分割・分社型分割）	小関　哲也
第5回	帰属事業年度の特例・みなし配当金	小関　哲也
第6回	試験研究費の特別控除①	小関　哲也
第7回	借地権等・保険料・資本取引等	小関　哲也

第8回	試験研究費の特別控除②	小関　哲也
第9回	特定の長期所有土地等の所得の特別控除等	小関　哲也
第10回	グループ通算税制①	小関　哲也
第11回	グループ通算税制②	小関　哲也
第12回	グループ通算税制②	小関　哲也
第13回	解散税制①	小関　哲也
第14回	解散税制②	小関　哲也
第15回	解散税制③	小関　哲也
第16回	解散税制④	小関　哲也
第17回	改正税法①	小関　哲也
第18回	改正税法②	小関　哲也
第19回	短期前払費用	小関　哲也
第20回	消耗品の処理	小関　哲也
第21回	前期損益修正	小関　哲也
第22回	当初申告要件の廃止及び適用額の制限の見直し	小関　哲也
第23回	DES（デット・エクイテイ・スワップ）	小関　哲也
第24回	総まとめ①（資産又は費用・欠損金・企業再生税制・組織再編税制）	小関　哲也
第25回	総まとめ②（総則・定義・所得金額の計算・配当金・グループ法人税制）	小関　哲也
第26回	総まとめ③（資産の評価損益・申告納付・組織再編税制）	小関　哲也
第27回	総まとめ④（帰属年度の特例・賃貸借契約に基づく使用料等の帰属の特例）	小関　哲也
第28回	総まとめ得⑤（部分完成基準・値増金の益金不算入）	小関　哲也

第29回	総まとめ⑥（保証金等のうち返還しないものの帰属の特例）	小関　哲也
第30回	総まとめ⑦（圧縮記帳・外国税制）	小関　哲也
第31回	総まとめ⑧（税額計算・解散税制）	小関　哲也
第32回	総まとめ⑨（引当金）	小関　哲也
第33回	総まとめ⑩（試験研究費の特別控除）	小関　哲也
第34回	総まとめ⑪（グループ通算税制）	小関　哲也
第35回	令和6年税理士試験問題の事例解説	小関　哲也
第36回	令和5年税理士試験問題の事例解説	小関　哲也
第37回	令和4年税理士試験問題の事例解説	小関　哲也
第38回	令和3年税理士試験問題の事例解説	小関　哲也
第39回	総まとめテスト	小関　哲也
第40回	平成30年税理士試験問題の事例解説	小関　哲也
第41回	平成29年税理士試験問題の事例解説	小関　哲也
第42回	平成28年税理士試験問題の事例解説	小関　哲也
第43回	平成27年税理士試験問題の事例解説	小関　哲也
第44回	平成26年税理士試験問題の事例解説	小関　哲也
第45回	総まとめ確認テスト	小関　哲也

準備学習等	法人税法の学習は、積み重ねが大切であることから復習を十分に行い理解しておくとともに、計算問題集を活用して実際に法人税の計算の演習を行うことが重要。各回の内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い次回の授業に臨むこと。 また、税理士試験受験を希望する生徒は、理論テキスト及び理論問題集を使用し法解釈の復習も行ってください。 なお、一部の講義回において復習のための総合問題を解答します。

教科書 参考書等	法人税法計算テキストⅢ・Ⅳ（大原学園）、法人税法計算問題集Ⅲ・Ⅳ（大原学園）、理論テキスト（大原学園）、法人税法規通達集（中央経済社）、総合計算問題集（大原出版）、個別計算問題集（大原出版）、応用理論問題集（大原出版）、税理士試験過去問題集(大原学園)、公開模擬試験(大原学園)、直前対策テキスト（大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、税法改正等に伴い一部変更する場合がある。 法人税法Ⅱは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となる。 なお、受講生の理解度や進捗度等に応じて一部メディアを導入したメディア授業となる場合がある。メディア授業は、メディアセンターで受講する。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（１年課程）・ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	相続税法Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	4単位
科目教員	小関　哲也	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	相続税の仕組みを理解し、相続税の計算及び相続税法の法解釈を基礎から学び、相続税の計算ができることを目的とする。 また、相続税法の計算と理論を体系的に学習することにより、税理士試験相続税法に出題される基礎計基問題を解答できるレベルを目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス・相続税法の概要	小関　哲也
第2回	相続税と民法・相続人等の判及び相続分・承認と放棄	小関　哲也
第3回	相続税の納税義務者・生命保険金等・相続税の非課税・相続税の計算方法	小関　哲也
第4回	生命保険等の非課税・退職手当金等の非課税・贈与税の概要・贈与税の計算方法	小関　哲也
第5回	弔慰金等・債務控除・相続時精算課税制度の概要	小関　哲也
第6回	相続税額の加算・相続税の総額・算出相続税額	小関　哲也
第7回	相続税額の計算・贈与税贈与税控除・配偶者の税額軽減	小関　哲也

第8回	未成年者控除・障害者控除	小関　哲也
第9回	特定納税義務者及び特定納税義務者の債務控除・障害者控除	小関　哲也
第10回	評価の原則・自用地①・自用家屋・家屋と構造上一体となっている宅地の評価	小関　哲也
第11回	特別養子制度・生命保険契約に関する権利	小関　哲也
第12回	被保険者でない保険契約者が死亡した場合・法定相続人・本来の財産	小関　哲也
第13回	自用地②・地区区分の異なる宅地・側方路線等に宅地の一部が接している場合	小関　哲也
第14回	普通借地権・貸宅地・貸家建付地・貸家の評価	小関　哲也
第15回	一般動産・たな卸商品等・書画骨董品の評価	小関　哲也
第16回	預貯金・上場株式の評価	小関　哲也
第17回	小規模宅地等の減額①	小関　哲也
第18回	構築物・貸付金債権等・受取手形等の評価	小関　哲也
第19回	角切り宅地の間口距離	小関　哲也
第20回	間口が狭小な宅地等・使用貸借の宅地等の評価	小関　哲也
第21回	利用区分が異なる建物の宅地・借地権等の評価	小関　哲也
第22回	取引相場のない株式の評価①	小関　哲也
第23回	邦貨換算・不整形地の評価・取引相場のない株式の評価②	小関　哲也
第24回	がけ地等の評価	小関　哲也
第25回	評価会社が退職手当金等を支払った場合	小関　哲也
第26回	小規模宅地等の減額②	小関　哲也
第27回	同族会社に対して土地を相当の地代により貸付けている場合	小関　哲也
第28回	旗竿状の宅地等の評価	小関　哲也

第29回	容積率の異なる宅地・都市計画道路予定地区域内の宅地の評価	小関　哲也
第30回	建設中の家屋の評価・小規模宅地等の減額③	小関　哲也

準備学習等	相続税法の学習は、積み重ねが大切であることから復習を十分に行い理解しておくとともに、計算問題集を活用して実際に相続税の計算の演習を行うことが重要。各回の内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い次回の授業に臨むこと。 また、税理士試験受験を希望する生徒は、理論テキスト及び理論問題集を使用し法解釈の復習も行うこと。
教科書 参考書等	相続税法計算テキストⅠ・Ⅱ（大原学園）、相続税計算問題集Ⅰ・Ⅱ（大原学園）、理論テキスト（大原学園）、財産評価テキスト・相続税法規通達集（中央経済社）、総合計算問題集基礎編（大原出版）、個別計算問題集（大原出版）
備考	授業計画の前提となる内容等については、法改正等に応じて一部変更する場合がある。 相続税法Ⅰは、メディア授業であることからメディアセンターで受講する。

学科	ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	相続税法Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	180時間
		単位数	6単位
		授業回数	45回
科目教員	小関　哲也	成績評価方法	筆記試験 : 40 %
			ミニテスト : 40 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	相続税の仕組みを理解し、相続税の計算及び相続税法の法解釈を基礎から学び、相続税の計算ができることを目的とする。 また、相続税法の計算と理論を体系的に学習することにより、税理士試験相続税法及び全国経理教育協会主催相続税法能力検定試験１級に出題される問題を解答できるレベルを目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス・相続税法の概要	小関　哲也
第2回	相続税と民法・相続人等の判及び相続分・承認と放棄	小関　哲也
第3回	相続税の納税義務者・生命保険金等・相続税の非課税・相続税の計算方法	小関　哲也
第4回	生命保険等の非課税・退職手当金等の非課税・贈与税の概要 贈与税の計算方法	小関　哲也
第5回	弔慰金等・債務控除・相続時精算課税制度の概要	小関　哲也
第6回	相続税額の加算・相続税の総額・算出相続税額	小関　哲也
第7回	相続税額の計算・贈与税贈与税控除・配偶者の税額軽減	小関　哲也
第8回	未成年者控除・障害者控除	小関　哲也

第9回	特定納税義務者及び特定納税義務者の債務控除・障害者控除	小関　哲也
第10回	評価の原則・自用地①・自用家屋 家屋と構造上一体となっている宅地の評価	小関　哲也
第11回	特別養子制度・生命保険契約に関する権利	小関　哲也
第12回	被保険者でない保険契約者が死亡した場合・法定相続人・本来の財産	小関　哲也
第13回	自用地②・地区区分の異なる宅地 側方路線等に宅地の一部が接している場合	小関　哲也
第14回	普通借地権・貸宅地・貸家建付地・貸家の評価	小関　哲也
第15回	一般動産・たな卸商品等・書画骨董品の評価	小関　哲也
第16回	預貯金・上場株式の評価	小関　哲也
第17回	小規模宅地等の減額①	小関　哲也
第18回	構築物・貸付金債権等・受取手形等の評価	小関　哲也
第19回	角切り宅地の間口距離	小関　哲也
第20回	間口が狭小な宅地等・使用貸借の宅地等の評価	小関　哲也
第21回	利用区分が異なる建物の宅地・借地権等の評価	小関　哲也
第22回	取引相場のない株式の評価①	小関　哲也
第23回	邦貨換算・不整形地の評価・取引相場のない株式の評価②	小関　哲也
第24回	がけ地等の評価	小関　哲也
第25回	評価会社が退職手当金等を支払った場合	小関　哲也
第26回	小規模宅地等の減額②	小関　哲也
第27回	同族会社に対して土地を相当の地代により貸付けている場合	小関　哲也
第28回	旗竿状の宅地等の評価	小関　哲也

第29回	容積率の異なる宅地・都市計画道路予定地区域内の宅地の評価	小関　哲也
第30回	建設中の家屋の評価・小規模宅地等の減額③	小関　哲也
第31回	総まとめ①（相続税の納税義務者・生命保険金等・相続税の非課税・ 相続税の計算方法）	小関　哲也
第32回	総まとめ②（生命保険等の非課税・退職手当金等の非課税・贈与税の概要・贈与税の計算方法）	小関　哲也
第33回	総まとめ③（弔慰金等・債務控除・相続時精算課税制度の概要）	小関　哲也
第34回	総まとめ④（相続税額の加算・相続税の総額・算出相続税額）	小関　哲也
第35回	総まとめ⑤（相続税額の計算・贈与税贈与税控除・配偶者の税額軽減）	小関　哲也
第36回	総まとめ⑥（未成年者控除・障害者控除）	小関　哲也
第37回	総まとめ⑦（特定納税義務者及び特定納税義務者の債務控除・障害者控除）	小関　哲也
第38回	総まとめテスト	小関　哲也
第39回	第1回確認テスト	小関　哲也
第40回	第2回確認テスト	小関　哲也
第41回	第3回確認テスト	小関　哲也
第42回	第4回確認テスト	小関　哲也
第43回	第5回確認テスト	小関　哲也
第44回	第6回確認テスト	小関　哲也
第45回	第7回確認テスト	小関　哲也

準備学習等	相続税法の学習は、積み重ねが大切であることから復習を十分に行い理解しておくとともに、計算問題集を活用して実際に相続税の計算の演習を行うことが重要。各回の内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い次回の授業に臨むこと。 また、税理士試験受験を希望する生徒は、理論テキスト及び理論問題集を使用し法解釈の復習も行うこと。

教科書 参考書等	相続税法計算テキストⅠ・Ⅱ（大原学園）、相続税計算問題集Ⅰ・Ⅱ（大原学園）、理論テキスト（大原学園）、財産評価テキスト、相続税法規通達集（中央経済社）、総合計算問題集基礎編（大原出版）、個別計算問題集（大原出版）
備考	授業計画の前提となる内容等については、法改正等に応じて一部変更する場合がある。 相続税法Ⅱは、メディア授業であることからメディアセンターで受講する。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	簿記論演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	12回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：30％ 演習問題：50％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	簿記論Ⅰで履修した簿記知識及び計算・記帳技術について、問題演習を通して反復練習・解説することで理解を深めてもらうことを目的としています。税理士試験簿記論受験のための基礎的な個別問題・総合問題を、設定された制限時間内に解答するための解法手順、図式化などができるようになることを到達目標とします。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス・第1回演習問題(現金預金、債権債務)	竹村　幸生
第2回	第2回演習問題(商品売買、固定資産)	竹村　幸生
第3回	第3回演習問題(貸倒引当金、退職給付会計※簡便法)	竹村　幸生
第4回	第4回演習問題(有価証券、税金)	竹村　幸生
第5回	第5回演習問題(社債、純資産)	竹村　幸生
第6回	第6回演習問題(ソフトウェア、税効果会計)	竹村　幸生
第7回	第7回演習問題(割引現在価値、減損会計)	竹村　幸生

第8回	第8回演習問題(転換社債型新株予約権付社債)	竹村　幸生
第9回	第9回演習問題(勘定復元①)	竹村　幸生
第10回	第10回演習問題(勘定復元②)	竹村　幸生
第11回	第11回演習問題(推定簿記①)	竹村　幸生
第12回	第12回演習問題(推定簿記②)	竹村　幸生

準備学習等	簿記論Ⅰで履修した内容の問題演習となりますので、事前に各項目の内容を復習したうえで講義に臨んでください。また、個別形式の問題と総合問題は異なる問題です。いずれかの形式に偏った復習にならないよう、バランスよく学習することを心がけてください。
教科書 参考書等	各回とも演習問題を配付します。 復習用教材として、簿記論Ⅰで使用している計算テキストを持参してください。
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 簿記論演習Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	簿記論演習Ⅱ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
		授業回数	18回
科目教員	竹村　幸生	成績評価方法	筆記試験 : 30 %
			演習問題 : 50 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	簿記論Ⅰに加えて、簿記論Ⅱで履修した簿記知識及び計算・記帳技術について、問題演習を通して反復練習・解説することで理解を深めてもらうことを目的としています。税理士試験簿記論受験のための応用的な個別問題・総合問題を、設定された制限時間内に解答するための解法手順、図式化などができるようになることを到達目標とします。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 項目別まとめ問題①	竹村　幸生
第2回	項目別まとめ問題② 〔内容〕キャッシュ・フロー計算書	竹村　幸生
第3回	項目別まとめ問題③ 〔内容〕本支店会計	竹村　幸生
第4回	項目別まとめ問題④ 〔内容〕特殊商品売買	竹村　幸生
第5回	項目別まとめ問題⑤ 〔内容〕連結会計	竹村　幸生
第6回	項目別まとめ問題⑥ 〔内容〕帳簿組織	竹村　幸生
第7回	実力判定公開模擬試験① 〔内容〕簿記論Ⅰの範囲を主とする個別・総合問題	竹村　幸生
第8回	実力判定公開模擬試験② 〔内容〕簿記論Ⅰの範囲を主とする個別・総合問題	竹村　幸生

第9回	実力判定公開模擬試験③ 〔内容〕簿記論Ⅰの範囲を主とする個別・総合問題	竹村　幸生
第10回	実力判定公開模擬試験④ 〔内容〕簿記論Ⅱ(Ⅰを含む)の範囲を主とする個別・総合問題	竹村　幸生
第11回	実力判定公開模擬試験⑤ 〔内容〕簿記論Ⅱ(Ⅰを含む)の範囲を主とする個別・総合問題	竹村　幸生
第12回	実力判定公開模擬試験⑥ 〔内容〕簿記論Ⅱ(Ⅰを含む)の範囲を主とする個別・総合問題	竹村　幸生
第13回	第1回プレ模擬試験 〔内容〕簿記論試験未出題項目を含む個別・総合問題	竹村　幸生
第14回	第2回プレ模擬試験 〔内容〕簿記論試験未出題項目を含む個別・総合問題	竹村　幸生
第15回	第3回プレ模擬試験 〔内容〕簿記論試験未出題項目を含む個別・総合問題	竹村　幸生
第16回	第1回直前対策模擬試験 〔内容〕簿記論応用論点を主とする個別・総合問題	竹村　幸生
第17回	第2回直前対策模擬試験 〔内容〕簿記論応用論点を主とする個別・総合問題	竹村　幸生
第18回	第3回直前対策模擬試験 〔内容〕簿記論応用論点を主とする個別・総合問題	竹村　幸生

準備学習等	簿記論Ⅰ・Ⅱで履修した内容の問題演習となりますので、事前に苦手とする分野の各項目の内容を復習したうえで講義に臨んでください。また、個別形式の問題と総合問題は異なる問題です。いずれかの形式に偏った復習にならないよう、バランスよく学習することを心がけてください。
教科書 参考書等	各回とも項目別まとめ問題及び、実力判定公開模擬試験(学校法人大原学園作成)を配付します。 復習用教材として、簿記論Ⅰ・Ⅱで使用している計算テキストを持参してください。
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 簿記論演習Ⅱは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	財務諸表論演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
		授業回数	12回
科目教員	千葉　菜愛	成績評価方法	筆記試験 : 30 %
			演習問題 : 50 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	財務諸表論Ⅰで履修した計算及び理論の知識について、問題演習を通して反復練習・解説することで理解を深めてもらうことを目的としています。税理士試験財務諸表論受験のための基礎的な総合計算問題・理論の記述問題を、設定された制限時間内に解答するための解法手順、会計基準の適正な記述などができるようになることを到達目標とします。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 第1回演習問題（理論：一般原則）	千葉　菜愛
第2回	第2回演習問題（理論：会計観　貸借対照表の役割・損益計算書原則、一）	千葉　菜愛
第3回	第3回演習問題（理論：損益計算書原則、一A）	千葉　菜愛
第4回	第4回演習問題（理論：企業会計原則注解、注18引当金について）	千葉　菜愛
第5回	第5回演習問題（理論：資産の評価について）	千葉　菜愛
第6回	第6回演習問題（理論：貸借対照表原則、五）	千葉　菜愛

第7回	第7回演習問題（理論：企業会計原則注解、注15繰延資産）	千葉　菜愛
第8回	第8回演習問題（理論：会計観・概念フレームワークについて）	千葉　菜愛
第9回	第9回演習問題（理論：資産評価、減損会計）	千葉　菜愛
第10回	第10回演習問題 （理論：リース取引に関する会計基準・資産除去債務に関する会計基準）	千葉　菜愛
第11回	第11回演習問題（理論：リース債務、資産除去債務の共通点、相違点）	千葉　菜愛
第12回	第12回演習問題（理論：退職給付に係る会計基準・純資産会計）	千葉　菜愛

準備学習等	財務諸表論Ⅰで履修した内容の問題演習となりますので、事前に各項目の内容を復習したうえで講義に臨んでください。特に、理論については事前暗記が必須です。計算、理論のいずれかに偏った復習にならないよう、バランスよく学習することを心がけてください。
教科書 参考書等	各回とも演習問題を配付します。 復習用教材として、財務諸表論Ⅰで使用している計算テキスト及び理論テキストを持参してください。
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 財務諸表論演習Ⅰは、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年(税理士会計士専攻学科１年課程)・２学年・３学年・４学年

科目名	財務諸表論演習Ⅱ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	千葉　菜愛	授業回数	18回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：30％ 演習問題：50％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	財務諸表論Ⅰ・Ⅱで履修した計算及び理論の知識について、問題演習を通して反復練習・解説することで理解を深めてもらうことを目的としています。税理士試験財務諸表論受験のための応用的な総合計算問題・理論の記述問題を、設定された制限時間内に解答するための解法手順、会計基準の適正な記述などができるようになることを到達目標とします。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス	千葉　菜愛
第2回	項目別問題①（理論：一般原則、貸借対照表の役割・損益計算書原則）	千葉　菜愛
第3回	項目別問題②（理論：企業会計原則注解）	千葉　菜愛
第4回	項目別問題③（理論：会計観、概念フレームワーク）	千葉　菜愛
第5回	項目別問題④（理論：リース取引に関する会計基準、資産除去債務に関する会計基準）	千葉　菜愛
第6回	項目別問題⑤（理論：退職給付に係る会計基準）	千葉　菜愛
第7回	項目別問題⑥（理論：純資産会計）	千葉　菜愛
第8回	実力判定公開模擬試験① 〔内容〕財務諸表論Ⅰ・Ⅱの範囲　理論及び計算問題	千葉　菜愛

第9回	実力判定公開模擬試験② 〔内容〕財務諸表論Ⅰ・Ⅱの範囲　理論及び計算問題	千葉　菜愛
第10回	実力判定公開模擬試験③ 〔内容〕財務諸表論Ⅰ・Ⅱの範囲　理論及び計算問題	千葉　菜愛
第11回	実力判定公開模擬試験④ 〔内容〕財務諸表論Ⅰ・Ⅱの範囲　理論及び計算問題	千葉　菜愛
第12回	実力判定公開模擬試験⑤ 〔内容〕財務諸表論Ⅰ・Ⅱの範囲　理論及び計算問題	千葉　菜愛
第13回	第1回プレ模擬試験 〔内容〕財務諸表論Ⅰ・Ⅱの範囲　理論及び計算問題	千葉　菜愛
第14回	第2回プレ模擬試験 〔内容〕財務諸表論Ⅰ・Ⅱの範囲　理論及び計算問題	千葉　菜愛
第15回	第3回プレ模擬試験 〔内容〕財務諸表論Ⅰ・Ⅱの範囲　理論及び計算問題	千葉　菜愛
第16回	第1回直前対策模擬試験 〔内容〕財務諸表論Ⅰ・Ⅱの範囲　理論及び計算問題	千葉　菜愛
第17回	第2回直前対策模擬試験 〔内容〕財務諸表論Ⅰ・Ⅱの範囲　理論及び計算問題	千葉　菜愛
第18回	第3回直前対策模擬試験 〔内容〕財務諸表論Ⅰ・Ⅱの範囲　理論及び計算問題	千葉　菜愛

準備学習等	財務諸表論Ⅰ・Ⅱで履修した内容の問題演習となりますので、事前に各項目の内容を復習したうえで講義に臨んでください。特に、理論については事前暗記が必須です。計算、理論のいずれかに偏った復習にならないよう、バランスよく学習することを心がけてください。
教科書 参考書等	各回とも項目別まとめ問題及び、実力判定公開模擬試験(学校法人大原学園作成)、プレ模擬試験（学校法人大原学園作成）、直前対策模擬試験（学校法人大原学園作成）を配付します。 復習用教材として、財務諸表論Ⅰ・Ⅱで使用している計算テキスト及び理論テキストを持参してください。
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 財務諸表論演習Ⅱは、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（１年課程）・ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	消費税法演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	小関　哲也	授業回数	12回
科目教員のうち実務経験教員	小関　哲也	成績評価方法	筆記試験 : 30 % 演習問題 : 50 % 授業態度 : 20 % : % : %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	問題演習の解説を中心とし、実務的で特に注意をしなければならない項目を学習する。また、計算の基となる消費税法の本法を中心に、各条文を理解させる授業を行う。
実務経験教員の実務経験内容	一般事業会社において、経理責任者として会計事務所と共同で、消費税に関する日々の会計処理を行うとともに、消費税を計算し確定申告書の作成及び各届出書の業務を行っていた。
授業目的 到達目標	各企業の取引事例を基にした演習問題を通して、消費税を計算し確定申告書及び各付表を作成できる計算理論の基礎知識並びに基本的な技術を身に付けることを目的とする。また、各業種等の消費税の計算ができ、税理士試験消費税法に対応する基礎計算問題を解答できるレベルを目指す。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 各業種業態における消費税額計算の注意点	小関　哲也
第2回	不動産業等を営む法人を前提とした消費税額の計算①	小関　哲也
第3回	商品販売業等を営む法人を前提とした消費税額の計算	小関　哲也
第4回	製造業等を営む法人を前提とした消費税額の計算①	小関　哲也
第5回	建築業等を営む法人を前提とした消費税額の計算	小関　哲也
第6回	不動産業等を営む個人事業者を前提とした消費税額の計算①	小関　哲也

第7回	商品販売業等を営む個人事業者を前提とした消費税額の計算	小関　哲也
第8回	製造業等を営む個人事業者を前提とした消費税額の計算	小関　哲也
第9回	建築業等を営む個人事業者を前提とした消費税額の計算	小関　哲也
第10回	不動産業等を営む法人を前提とした消費税額の計算②	小関　哲也
第11回	製造業等を営む法人を前提とした消費税額の計算②	小関　哲也
第12回	不動産業等を営む個人事業者を前提とした消費税額の計算②	小関　哲也

準備学習等	消費税法Ⅰで学習した内容の問題演習となるため、消費税法Ⅰの内容を復習し理解しておくことが重要。学習内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い問題演習ができるレベルの知識を身につけ授業に臨むこと。
教科書 参考書等	各回に演習問題を配付する。 復習用教材として、消費税法Ⅰで使用している計算テキスト及び理論テキストを持参すること。
備考	授業計画の各回の前提となる業種及び法人等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 消費税法演習Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となる。

学科	ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	消費税法演習Ⅱ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	小関　哲也	授業回数	18回
科目教員のうち実務経験教員	小関　哲也	成績評価方法	筆記試験 : 30 % ミニテスト : 50 % 授業態度 : 20 % : % : %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	問題演習の解説を中心とし、実務における消費税の確定申告書等を記載するための消費税の計算ができるように指導する。また、消費税の計算の基となる消費税法の本法に加え施行令、基本通達等、更に租税特別措置法の各条文理解をさせる授業を行う。
実務経験教員の実務経験内容	一般事業会社において、経理責任者として会計事務所と共同で、消費税に関する日々の会計処理を行うとともに、消費税を計算し確定申告書の作成及び各届出書の業務を行っていた。
授業目的 到達目標	各企業の取引事例を基にした実力判定公開模擬試験を通して、消費税を計算し確定申告書及び各付表を作成できる計算理論の応用の知識並びに技術を身に付けることを目的とする。 また、各業種等の消費税の計算ができ、税理士試験消費税法に対応する問題を解答できるレベルを目指す。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 各業種業態の注意点及び納税義務のまとめ	小関　哲也
第2回	実力判定公開模擬試験① 〔内容〕商品の販売業を営む法人を前提とし、合併があった場合の特例及び調整対象固定資産を含む原則計算	小関　哲也
第3回	実力判定公開模擬試験② 〔内容〕不動産業を営む個人事業者を前提とし、相続があった場合の特例及び調整対象固定資産を含む原則計算	小関　哲也
第4回	実力判定公開模擬試験③ 〔内容〕製造業を営む法人を前提とし、事業年度の変更があった場合及び調整対象固定資産を含む原則計算	小関　哲也

第5回	実力判定公開模擬試験④ 〔内容〕製造業を営む法人を前提とし、特定新規設立法人の特例及び簡易課税制度	小関　哲也
第6回	実力判定公開模擬試験⑤ 〔内容〕製造業を営む法人を前提とし、調整対象固定資産の調整を含む原則計算	小関　哲也
第7回	実力判定公開模擬試験⑥ 〔内容〕不動産業を営む個人事業者を前提とし、相続があった場合の特例及び調整対象固定資産を含む原則計算	小関　哲也
第8回	実力判定公開模擬試験⑦ 〔内容〕商品の販売業を営む法人を前提とし、合併があった場合の特例及び調整対象固定資産を含む原則計算	小関　哲也
第9回	実力判定公開模擬試験⑧ 〔内容〕不動産業等を営む法人を前提とし、合併があった場合の特例を含む簡易課税制度	小関　哲也
第10回	実力判定公開模擬試験⑨ 〔内容〕製造業を営む法人を前提とし、合併があった場合の特例及び調整対象固定資産を含む原則計算	小関　哲也
第11回	実力判定公開模擬試験⑩ 〔内容〕製造業を営む法人を前提とし、合併があった場合の中間申告を含む原則計算	小関　哲也
第12回	実力判定公開模擬試験⑪ 〔内容〕不動産業を営む法人を前提とし、合併があった場合の特例及び調整対象固定資産を含む原則計算	小関　哲也
第13回	応用模擬試験① 〔内容〕商品の販売業を営む法人を前提とし、合併があった場合の特例及び調整対象固定資産を含む原則計算	小関　哲也
第14回	応用模擬試験② 〔内容〕不動産業を営む個人事業者を前提とし、相続があった場合の特例及び調整対象固定資産を含む原則計算	小関　哲也
第15回	応用模擬試験③ 〔内容〕製造業を営む法人を前提とし、事業年度の変更があった場合及び調整対象固定資産を含む原則計算	小関　哲也
第16回	応用模擬試験④ 〔内容〕製造業を営む法人を前提とし、特定新規設立法人の特例及び簡易課税制度	小関　哲也

第17回	応用模擬試験⑤ 〔内容〕製造業を営む法人を前提とし、調整対象固定資産の調整を含む原則計算	小関　哲也
第18回	応用模擬試験⑥ 〔内容〕不動産業を営む個人事業者を前提とし、相続があった場合の特例及び調整対象固定資産を含む原則計算	小関　哲也

準備学習等	消費税法Ⅰ・Ⅱで学習した内容の問題演習となるため、消費税法Ⅰ・Ⅱの内容を復習し理解しておくことが重要。学習内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い問題演習ができるレベルの知識を身に付け授業に臨むこと。
教科書 参考書等	各回に実力判定公開模擬試験(学校法人大原学園作成)を配付します。 復習用教材として、消費税法Ⅰ・Ⅱで使用している計算テキスト及び理論テキストを持参すること。
備考	授業計画の前提となる内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 消費税法演習Ⅱは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（１年課程）・ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	法人税法演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	小関　哲也	授業回数	12回
科目教員のうち実務経験教員	小関　哲也	成績評価方法	筆記試験 : 30 % 演習問題 : 50 % 授業態度 : 20 % : % : %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	問題演習の解説を中心とし、実務的で特に注意をしなければならない項目を学習する。また、計算の基となる法人税法の本法を中心に、各条文を理解させる授業を行う。
実務経験教員の実務経験内容	一般事業会社において、経理責任者として日々の会計処理の管理、決算整理から財務諸表の作成に携わり、会計事務所と共同で、法人税を計算し確定申告書の作成及び各届出書の業務を行っていた。
授業目的 到達目標	各企業の取引事例を基にした演習問題を通して、法人税を計算し確定申告書、特に別表１及び別表４・別表５を作成できる計算理論の基礎知識並びに基本的な技術を身につけることを目的とする。 また、各法人の法人税の計算ができ、税理士試験法人税法及び全国経理教育協会法人税法能力検定試験１級に対応する基礎計算問題を解答できるレベルを目指す。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 基本項目のまとめ	小関　哲也
第2回	交際費等の取引事例を基にした問題演習及び第96回法人税法能力検定試験問題の事例解説	小関　哲也
第3回	減価償却のの事例を基にした問題演習及び第97回法人税法能力検定試験問題の事例解説	小関　哲也
第4回	寄付金の取引事例を基にした問題演習及び第98回法人税法能力検定試験問題の事例解説	小関　哲也
第5回	貸倒損失の取引事例を基にした問題演習及び第99回法人税法能力検定試験問題の事例解説	小関　哲也
第6回	欠損金の事例を基にした問題演習及び第100回法人税法能力検定試験問題の事例解説	小関　哲也

第7回	貸倒引当金の設定事例を基にした問題演習及び第104回法人税法能力検定試験問題の事例解説	小関　哲也
第8回	租税公課の事例を基にした問題演習及び第105回法人税法能力検定試験問題の事例解説	小関　哲也
第9回	受取配当金等の取引事例を基にした問題演習及び第107回法人税法能力検定試験問題の事例解説	小関　哲也
第10回	有価証券の取引事例を基にした問題演習及び第108回法人税法能力検定試験問題の事例解説	小関　哲也
第11回	国庫補助金等の圧縮記帳を基にした問題演習及び土地収用法の圧縮記帳を基にした問題演習	小関　哲也
第12回	役員判定の事例を基にした問題演習及びリース取引等の取引事例を基にした問題演習	小関　哲也

準備学習等	法人税法Ⅰで学習した内容の問題演習となるため、法人税法Ⅰの内容を復習し理解しておくことが重要。学習内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い問題演習ができるレベルの知識を身につけ授業に臨むこと。
教科書 参考書等	各回に演習問題を配付し、また、法人税法能力検定試験過去問題集（全国経理教育協会出版）を使用する。 復習用教材として、法人税法Ⅰで使用している計算テキスト及び理論テキストを持参すること。
備考	授業計画の各回の前提となる業種及び法人等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 法人税法演習Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となる。

学科	ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	法人税法演習 II	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	小関　哲也	授業回数	18回
科目教員のうち実務経験教員	小関　哲也	成績評価方法	筆記試験 : 30 % 演習問題 : 50 % 授業態度 : 20 % : % : %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	問題演習の解説を中心とし、実務における法人税の確定申告書（別表１及び別表４・別表５等）を記載するための法人税の計算ができるように指導する。また、法人税の計算の基となる法人税法の主たる条文理解をさせる授業を行う。
実務経験教員の実務経験内容	一般事業会社において、経理責任者として日々の会計処理の管理、決算整理から財務諸表の作成に携わり、会計事務所と共同で、法人税を計算し確定申告書の作成及び各届出書の業務を行っていた。
授業目的 到達目標	各企業の取引事例を基にした実力判定公開模擬試験を通して、法人税を計算し確定申告書、特に別表１及び別表４・別表５を作成できる計算理論の応用の知識並びに技術を身につけることを目的とする。 また、各業種等を前提とした法人税の計算ができ、税理士試験に対応する計算問題を解答できるレベルを目指す。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 各項目の注意点及び別表記入の注意点	小関　哲也
第2回	実力判定公開模擬試験① 〔内容〕確定決算型、寄付金、資産の評価損益、同族会社の判定、保険差益、減価償却、貸倒引当金等を含む総合問題	小関　哲也
第3回	実力判定公開模擬試験② 〔内容〕特別償却、リース取引、外国税額控除、資本等取引、自己株式、受取配当等、所得税額控除、役員給与等を含む総合問題	小関　哲也
第4回	実力判定公開模擬試験③ 〔内容〕租税公課、留保金課税、同族会社の判定、役員判定、繰延資産、外国子会社配当、役員給与等を含む総合問題	小関　哲也

第5回	実力判定公開模擬試験④ 〔内容〕外貨建取引、みなし配当、特別償却準備金、交際費等、適格合併、寄付金、別表五（一）等を含む総合問題	小関　哲也
第6回	実力判定公開模擬試験⑤ 〔内容〕保険料、特定資産の買換、交際費等、貸倒損失、使用人給与、資本等取引等を含む総合問題	小関　哲也
第7回	実力判定公開模擬試験⑥ 〔内容〕還付税金、試験研究費、グループ法人税制、国庫補助金等、貸倒引当金等を含む総合問題	小関　哲也
第8回	実力判定公開模擬試験⑦ 〔内容〕減価償却費、貸倒引当金、貸倒損失、繰延資産、所得税額控除、受取配当等、みなし配当等を含む総合問題	小関　哲也
第9回	実力判定公開模擬試験⑧ 〔内容〕確定決算型、寄付金、交際費等、同族会社の判定、保険差益、減価償却、貸倒引当金等を含む総合問題	小関　哲也
第10回	実力判定公開模擬試験⑨ 〔内容〕特別償却、リース取引、外国税額控除、資本等取引、同族会社の判定、受取配当等、役員給与等を含む総合問題	小関　哲也
第11回	実力判定公開模擬試験⑩ 〔内容〕租税公課、留保金課税、同族会社の判定、役員判定、繰延資産、減価償却、役員給与等を含む総合問題	小関　哲也
第12回	実力判定公開模擬試験⑪ 〔内容〕受取配当等、外貨建取引、みなし配当、特別償却準備金、交際費等、寄付金、別表五（一）等を含む総合問題	小関　哲也
第13回	応用模擬試験① 〔内容〕確定決算型、寄付金、資産の評価損益、同族会社の判定、保険差益、減価償却、貸倒引当金等を含む総合問題	小関　哲也
第14回	応用模擬試験② 〔内容〕特別償却、リース取引、外国税額控除、資本等取引、自己株式、受取配当等、所得税額控除、役員給与等を含む総合問題	小関　哲也
第15回	応用模擬試験③ 〔内容〕租税公課、留保金課税、同族会社の判定、役員判定、繰延資産、外国子会社配当、役員給与等を含む総合問題	小関　哲也
第16回	応用模擬試験④ 〔内容〕外貨建取引、みなし配当、特別償却準備金、交際費等、適格合併、寄付金、別表五（一）等を含む総合問題	小関　哲也

第17回	応用模擬試験⑤ 〔内容〕保険料、特定資産の買換、交際費等、貸倒損失、使用人給与、資本等取引等を含む総合問題	小関　哲也
第18回	応用模擬試験⑥ 〔内容〕還付税金、試験研究費、グループ法人税制、国庫補助金等、貸倒引当金等を含む総合問題	小関　哲也

準備学習等	法人税法Ⅰ・Ⅱで学習した内容の問題演習となるため、法人税法Ⅰ・Ⅱの内容を復習し理解しておくことが重要。学習内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い問題演習ができるレベルの知識を身に付け授業に臨むこと。
教科書 参考書等	各回に実力判定公開模擬試験(学校法人大原学園作成)を配付する。 復習用教材として、法人税法Ⅰ・Ⅱで使用している計算テキスト及び理論テキストを持参すること。
備考	授業計画の前提となる内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 法人税法演習Ⅱは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（１年課程）・ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	相続税法演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	小関　哲也	授業回数	12回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 30 % 演習問題 : 50 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	各相続事例を基にした演習問題を通して財産評価を行い、相続税を計算し申告書を作成できる計算理論の基礎知識並びに基本的な技術を身につけることを目的とする。 また、税理士試験相続税法に対応する基礎計算問題を解答できるレベルを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 基本項目のまとめ	小関　哲也
第2回	問題演習① 〔内容〕相続人の判定及び相続分・生命保険等・退職手当金等・未成年者控除・障害者控除を含む総合問題	小関　哲也
第3回	問題演習② 〔内容〕相続人の判定及び相続分・生命保険等・債務控除・相続税額加算を含む総合問題	小関　哲也
第4回	問題演習③ 〔内容〕生命保険等・債務控除・相続税額の加算・配偶者に対する相続税額の軽減を含む総合問題	小関　哲也
第5回	問題演習④ 〔内容〕生命保険等・退職手当金等（弔慰金を含む）・債務控除（保証債務）を含む総合問題	小関　哲也

第6回	問題演習⑤ 〔内容〕生命保険等・退職手当金等・債務控除・障害者控除を含む総合問題	小関　哲也
第7回	問題演習⑥ 〔内容〕相続人の判定及び相続分・生命保険等・生前贈与加算・相続税額の加算・障害者控除を含む総合問題	小関　哲也
第8回	問題演習⑦ 〔内容〕相続人の判定及び相続分・生命保険等・債務控除・相続税額加算を含む総合問題	小関　哲也
第9回	問題演習⑧ 〔内容〕生命保険等・債務控除・相続税額の加算・配偶者に対する相続税額の軽減を含む総合問題	小関　哲也
第10回	問題演習⑨ 〔内容〕生命保険等・退職手当金等（弔慰金を含む）・債務控除（保証債務）を含む総合問題	小関　哲也
第11回	問題演習⑩ 〔内容〕相続人の判定及び相続分・生命保険等・債務控除・相続税額加算を含む総合問題	小関　哲也
第12回	事業承継の対策及び節税対策	小関　哲也

準備学習等	相続税法Ⅰで学習した内容の問題演習となるため、相続税法Ⅰの内容を復習し理解しておくことが重要。学習内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い問題演習ができるレベルの知識を身につけ授業に臨むこと。
教科書 参考書等	各回に演習問題を配付し、また、相続税法総合計算問題集基礎編（大原出版）を使用する。 復習用教材として、法人税法Ⅰで使用している計算テキスト、財産評価テキスト及び理論テキストを持参すること。
備考	授業計画の各回の内容の主要項目については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 相続税法演習Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となる。

学科	ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	相続税法演習Ⅱ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	小関　哲也	授業回数	18回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 30 % 演習問題 : 50 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	相続事例を基にした実力判定公開模擬試験を通して、財産評価及び相続税を計算し申告書を作成できる計算理論の応用の知識並びに技術を身につけることを目的とする。 また、税理士試験相続税法に対応する計算問題を解答できるレベルを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 財産評価の注意点	小関　哲也
第2回	実力判定公開模擬試験① 〔内容〕邦貨換算、共有持分、不整形地、受益証券等、農地、容積率の異なる宅地、取引相場のない株式評価を含む総合問題	小関　哲也
第3回	実力判定公開模擬試験② 〔内容〕がけ地、公社債、上場株式、ゴルフ会員権、貸付金債権等、取引相場のない株式を含む総合問題	小関　哲也
第4回	実力判定公開模擬試験③ 〔内容〕上場株式、取引相場のない株式、宅地の評価単位、不整形地、私道、山林、立木、預貯金等を含む総合問題	小関　哲也

第5回	実力判定公開模擬試験④ 〔内容〕不整形地、家屋、土地の無償返還に関する届出書、定期借地権等、取引相場ない株式等を含む総合問題	小関　哲也
第6回	実力判定公開模擬試験⑤ 〔内容〕邦貨換算、共有持分、不整形地、受益証券等、農地、容積率の異なる宅地、取引相場のない株式評価を含む総合問題	小関　哲也
第7回	実力判定公開模擬試験⑥ 〔内容〕がけ地、公社債、上場株式、ゴルフ会員権、貸付金債権等、取引相場のない株式を含む総合問題	小関　哲也
第8回	実力判定公開模擬試験⑦ 〔内容〕上場株式、取引相場のない株式、宅地の評価単位、不整形地、私道、山林、立木、預貯金等を含む総合問題	小関　哲也
第9回	実力判定公開模擬試験⑧ 〔内容〕不整形地、家屋、土地の無償返還に関する届出書、定期借地権等、取引相場ない株式等を含む総合問題	小関　哲也
第10回	実力判定公開模擬試験⑨ 〔内容〕がけ地、公社債、上場株式、ゴルフ会員権、貸付金債権等、取引相場のない株式を含む総合問題	小関　哲也
第11回	実力判定公開模擬試験⑩ 〔内容〕上場株式、取引相場のない株式、宅地の評価単位、不整形地、私道、山林、立木、預貯金等を含む総合問題	小関　哲也
第12回	実力判定公開模擬試験⑪ 〔内容〕不整形地、家屋、土地の無償返還に関する届出書、定期借地権等、取引相場ない株式等を含む総合問題	小関　哲也
第13回	応用模擬試験①〔内容〕邦貨換算、共有持分、不整形地、受益証券等、農地、容積率の異なる宅地、取引相場のない株式評価を含む総合問題	小関　哲也
第14回	応用模擬試験② 〔内容〕がけ地、公社債、上場株式、ゴルフ会員権、貸付金債権等、取引相場のない株式を含む総合問題	小関　哲也
第15回	応用模擬試験③ 〔内容〕上場株式、取引相場のない株式、宅地の評価単位、不整形地、私道、山林、立木、預貯金等を含む総合問題	小関　哲也
第16回	応用模擬試験④ 〔内容〕不整形地、家屋、土地の無償返還に関する届出書、定期借地権等、取引相場ない株式等を含む総合問題	小関　哲也

第17回	応用模擬試験⑤ 〔内容〕邦貨換算、共有持分、不整形地、受益証券等、農地、容積率の異なる宅地、取引相場のない株式評価を含む総合問題	小関　哲也
第18回	応用模擬試験⑥ 〔内容〕がけ地、公社債、上場株式、ゴルフ会員権、貸付金債権等、取引相場のない株式を含む総合問題	小関　哲也

準備学習等	相続税法Ⅰ・Ⅱで学習した内容の問題演習となるため、相続税法Ⅰ・Ⅱの内容を復習し理解しておくことが重要。学習内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い問題演習ができるレベルの知識を身につけ授業に臨むこと。
教科書 参考書等	各回に実力判定公開模擬試験(学校法人大原学園作成)を配付する。 復習用教材として、相続税法Ⅰ・Ⅱで使用している計算テキスト、財産評価テキスト及び理論テキストを持参すること。
備考	授業計画の各回の内容の主要項目については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 相続税法演習Ⅱは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となる。

学科	ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年

科目名	社会保険労務士Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	小関　哲也	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	労働者の労働条件に関する最低基準を定めた法律（労働基準法）及び労働者の安全と健康を確保するために制定された法律（労働安全衛生法）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。社会保険労務士資格試験に出題される労働基準法及び労働安全衛生法の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、労働基準法(総則・労働契約締結時の規制・労使協定)	小関　哲也
第2回	労働基準法(賃金・労働時間、休憩及び休日・年次有給休暇)	小関　哲也
第3回	労働基準法(年少者・妊産婦等・災害補償)	小関　哲也
第4回	労働基準法(就業規則・労働契約終了時の規制)	小関　哲也
第5回	労働基準法(適用の特例・寄宿舎その他)	小関　哲也
第6回	労働安全衛生法(総論・労働者の危険、健康障害防止措置)	小関　哲也
第7回	労働安全衛生法(安全衛生管理体制)	小関　哲也
第8回	労働安全衛生法(機械等と危険物・有害物に関する規制)	小関　哲也

第9回	労働安全衛生法(労働者の就業に当たっての措置等・健康の保持増進のための措置・その他)	小関　哲也
第10回	確認テスト(労働基準法・労働安全衛生法)	小関　哲也

準備学習等	学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。
教科書 参考書等	労働基準法テキスト　(学校法人　大原学園) 労働基準法 択一式トレーニング問題集　(学校法人　大原学園) 労働基準法 選択式トレーニング問題集　(学校法人　大原学園) 労働安全衛生法テキスト　(学校法人　大原学園) 労働安全衛生法 択一式トレーニング問題集　(学校法人　大原学園) 労働安全衛生法 選択式トレーニング問題集　(学校法人　大原学園)
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。社会保険労務士Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年

科目名	社会保険労務士II	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
		授業回数	10回
科目教員	小関　哲也	成績評価方法	筆記試験 : 40 %
			ミニテスト : 40 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	労働者が業務中や通勤中に負った負傷、疾病、障害、死亡などに対して迅速かつ公正な保護を提供するために制定された法律（労働者災害補償保険法）及び労働者が失業した場合や雇用の継続が困難になった場合に、生活や雇用の安定を図るための給付を行うことを目的とする法律（雇用保険法）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。 社会保険労務士資格試験に出題される労働者災害補償保険法及び雇用保険法の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	労働者災害補償保険法(総則・保険関係)	小関　哲也
第2回	労働者災害補償保険法(療養補償給付・休業補償給付・障害補償給付)	小関　哲也
第3回	労働者災害補償保険法(遺族補償給付・葬祭料・二次健康診断等給付)	小関　哲也
第4回	労働者災害補償保険法(社会復帰促進等事業)	小関　哲也
第5回	労働者災害補償保険法(費用の負担・不服申立て・その他)	小関　哲也
第6回	雇用保険法(総則・適用事業等・一般被保険者の求職者給付)	小関　哲也
第7回	雇用保険法(高年齢被保険者の求職者給付・短期雇用特例被保険者の求職者給付)	小関　哲也

第8回	雇用保険法(日雇労働被保険者の給食給付・就職促進給付・教育訓練給付)	小関　哲也
第9回	雇用保険法(雇用継続給付・育児休業給付・雇用安定事業等)	小関　哲也
第10回	雇用保険法(費用の負担・不服申立て・その他) 確認テスト(労働者災害補償保険法・雇用保険法)	小関　哲也

準備学習等	学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。
教科書 参考書等	労働者災害補償保険法テキスト　(学校法人　大原学園) 労働者災害補償保険法 択一式トレーニング問題集　(学校法人　大原学園) 労働者災害補償保険法 選択式トレーニング問題集　(学校法人　大原学園) 雇用保険法テキスト　(学校法人　大原学園) 雇用保険法 択一式トレーニング問題集　(学校法人　大原学園) 雇用保険法 選択式トレーニング問題集　(学校法人　大原学園)
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。社会保険労務士 II は、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年

科目名	社会保険労務士III	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	小関　哲也	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	労働者災害補償保険（労災保険）と雇用保険の保険料を徴収し、これらの保険制度を円滑に運営するために制定された法律（労働保険徴収法）及び労働者や雇用者が労働環境や労働条件に関する基本的な知識（労働に関する一般常識）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。社会保険労務士資格試験に出題される労働保険徴収法及び労働に関する一般常識の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	労働保険徴収法(総則・保険関係)	小関　哲也
第2回	労働保険徴収法(労働保険料)	小関　哲也
第3回	労働保険徴収法(労働保険料の申告・納付)	小関　哲也
第4回	労働保険徴収法(労働保険事業組合・不服申立て・時効その他)	小関　哲也
第5回	労働に関する一般常識(労働契約法・労働時間等設定改善法・個別労働関係紛争解決促進法)	小関　哲也
第6回	労働に関する一般常識(最低賃金法・労働組合法・労働関係調整法)	小関　哲也
第7回	労働に関する一般常識(職業安定関係)	小関　哲也

第8回	労働に関する一般常識(雇用均等関係)	小関　哲也
第9回	確認テスト(労働保険徴収法・労働に関する一般常識)	小関　哲也
第10回	中間テスト	小関　哲也

準備学習等	学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。
教科書 参考書等	労働保険徴収法テキスト　(学校法人　大原学園) 労働保険徴収法 択一式トレーニング問題集　(学校法人　大原学園) 労働に関する一般常識テキスト　(学校法人　大原学園) 労働に関する一般常識 択一式トレーニング問題集　(学校法人　大原学園) 労働に関する一般常識 選択式トレーニング問題集　(学校法人　大原学園)
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。社会保険労務士IIIは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年

科目名	社会保険労務士IV	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	小関　哲也	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	労働者やその家族が病気やケガをした際に、医療費の一部を補償するための制度を定めた法律（健康保険法）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。社会保険労務士資格試験に出題される健康保険法の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	健康保険法(総則・被保険者及び被扶養者)	小関　哲也
第2回	健康保険法(標準報酬月額及び標準賞与額)	小関　哲也
第3回	健康保険法(費用の負担)	小関　哲也
第4回	健康保険法(保険給付の種類・療養の給付・入院時食事療養費・入院時生活療養費・保険外併用療養費・療養費・訪問看護療養費・移送費)	小関　哲也
第5回	健康保険法(傷病手当金・出産、死亡に関する給付・家族給付・高額療養費・高額介護合算療養費・資格喪失後の給付・保険給付の制限、通則・保険事業及び福祉事業)	小関　哲也
第6回	健康保険法(任意継続被保険者)	小関　哲也
第7回	健康保険法(日雇特例被保険者)	小関　哲也

第8回	健康保険法(全国健康保険協会・健康保険組合)	小関　哲也
第9回	健康保険法(届出・不服申立て・時効その他)	小関　哲也
第10回	確認テスト（健康保険法）	小関　哲也

準備学習等	学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。
教科書 参考書等	健康保険法テキスト　(学校法人　大原学園) 健康保険法 択一式トレーニング問題集　(学校法人　大原学園) 健康保険法 選択式トレーニング問題集　(学校法人　大原学園)
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。社会保険労務士Ⅳは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年

科目名	社会保険労務士Ⅴ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	小関　哲也	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	日本の公的年金制度の一部であり、すべての国民に対して老後の生活を支えるための基礎年金を提供することを目的とする法律（国民年金法）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。社会保険労務士資格試験に出題される国民年金法の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	国民年金法(総則・保険者)	小関　哲也
第2回	国民年金法(強制被保険者・任意加入被保険者・被保険者資格の取得及び喪失・被保険者期間の計算)	小関　哲也
第3回	国民年金法(国民年金事業の財政・費用の負担の概要・国庫負担・基礎年金拠出)	小関　哲也
第4回	国民年金法(保険料・積立金)	小関　哲也
第5回	国民年金法(給付の通則【１】・老齢基礎年金・障害基礎年金)	小関　哲也
第6回	国民年金法(遺族基礎年金・第１号被保険者に独自の給付・給付の制限)	小関　哲也
第7回	国民年金法(給付の通則【２】・国民年金事業の円滑な実施を図るための措置)	小関　哲也
第8回	国民年金法(国民年金基金・国民年金基金連合会)	小関　哲也

第9回	国民年金法(届出・不服申立て・時効その他)	小関　哲也
第10回	確認テスト(国民年金法)	小関　哲也

準備学習等	学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。
教科書 参考書等	国民年金法テキスト　(学校法人　大原学園) 国民年金法 択一式トレーニング問題集　(学校法人　大原学園) 国民年金法 選択式トレーニング問題集　(学校法人　大原学園)
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。社会保険労務士Ⅴは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年

科目名	社会保険労務士VI	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	小関　哲也	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	日本の公的年金制度の一部であり、主に会社員や公務員などの被用者を対象とした制度を定めた法律（厚生年金保険法）及び労働者や雇用者が社会保険制度について基本的な知識を持つための知識（社会保険に関する一般常識）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。社会保険労務士資格試験に出題される厚生年金保険法及び社会保険に関する一般常識の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	厚生年金保険法(総則・被保険者)	小関　哲也
第2回	厚生年金保険法(保険給付・離婚等をした場合における特例)	小関　哲也
第3回	厚生年金保険法(被扶養配偶者である期間についての特例)	小関　哲也
第4回	厚生年金保険法(二以上の種別の被保険者であった期間を有する者の特例)	小関　哲也
第5回	厚生年金保険法(厚生年金保険事業の円滑な実施を図るための措置)	小関　哲也
第6回	厚生年金保険法(積立金の運用・費用の負担・不服申立て・雑則) 確認テスト(厚生年金保険法)	小関　哲也
第7回	社会保険に関する一般常識(国民健康保険法・高齢者の医療の確保に関する法律・介護保険法)	小関　哲也

第8回	社会保険に関する一般常識(船員保険法・児童手当法・社会保険労務士法)	小関　哲也
第9回	社会保険に関する一般常識(確定給付企業年金法・確定拠出年金法)	小関　哲也
第10回	社会保険に関する一般常識(社会保険審査官及び社会保険審査会法その他) 確認テスト(社会保険に関する一般常識)	小関　哲也

準備学習等	学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。
教科書 参考書等	厚生年金保険法テキスト　(学校法人　大原学園) 厚生年金保険法 択一式トレーニング問題集　(学校法人　大原学園) 厚生年金保険法 選択式トレーニング問題集　(学校法人　大原学園) 社会保険に関する一般常識テキスト　(学校法人　大原学園) 社会保険に関する一般常識 択一式トレーニング問題集　(学校法人　大原学園) 社会保険に関する一般常識 選択式トレーニング問題集　(学校法人　大原学園)
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。社会保険労務士VIは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

181.ＦＰ技能士３級

学科	OA事務学科（１年課程）・情報システム学科（１年課程） 経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・情報システム学科（２年課程） 税理士会計士学科（２年課程） 税理士会計士学科（２年４ヶ月課程） 税理士会計士学科（３年課程）・情報システム学科（３年課程） 税理士会計士学科（４年課程）
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	ＦＰ技能士３級	授業形態	講義
		選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	千葉　菜愛	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：80％ 授業態度：20％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	ファイナンシャルプランナー（FP）はお金の専門家です。これからの時代、社会人となって必要不可欠となるのが今後の「人生設計」とそれに伴う「お金」の知識です。FP資格は年金・保険・税金といった生活を豊かにする知識の他、株式や預貯金などの金融資産、不動産、相続といったお金に関する幅広い分野を学習することができます。学習を通して基本的なライフプランニングができる知識の習得を目的とし、国家試験であるFP技能士3級検定試験の学科試験と実技試験の両方に合格することのできる能力を身につけることを到達目標とします。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ライフプランニングと資金計画 （FPとライフプランニング、教育・住宅主翼資金計画、社会保険）	千葉　菜愛
第2回	ライフプランニングと資金計画 （公的年金制度の概要、老後の生活資金設計と公的年金、公的年金における障害給付・遺族給付）	千葉　菜愛

第3回	ライフプランニングと資金計画 （企業年金・自営業者のための年金、ライフプランニングの考え方）	千葉　菜愛
第4回	リスク管理 （リスクマネジメント、保険制度全般、生命保険の概略、生命保険商品の種類と内容）	千葉　菜愛
第5回	リスク管理 （損害保険の概要、損害保険商品の種類と内容、個人・法人の契約に関する税金、第三分野の保険・共済）	千葉　菜愛
第6回	金融資産運用 （マーケット環境の理解、預貯金、債券、株式）	千葉　菜愛
第7回	金融資産運用 （投資信託、外貨建て商品、金融派生商品）	千葉　菜愛
第8回	金融資産運用 （ポートフォリオ理論、金融商品と税金、セーフティネット、関連法規）	千葉　菜愛
第9回	タックスプランニング （税金の分類と計算体系、所得税の仕組み、各種所得の内容）	千葉　菜愛
第10回	タックスプランニング （課税標準に計算、所得控除、税額控除）	千葉　菜愛
第11回	タックスプランニング （確定申告、個人住民税と個人事業税）	千葉　菜愛
第12回	タックスプランニング （確定申告、個人住民税と個人事業税）	千葉　菜愛

第13回	不動産 （不動産の見方、取引、法令上の制限）	千葉　菜愛
第14回	不動産 （不動産の見方、取引、法令上の制限）	千葉　菜愛
第15回	不動産 （不動産に係る税金、不動産の有効活用）	千葉　菜愛
第16回	不動産 （不動産に係る税金、不動産の有効活用）	千葉　菜愛
第17回	相続・事業継承 （相続と法律、贈与と法律、贈与と税金、相続と税金）	千葉　菜愛
第18回	相続・事業継承 （相続と法律、贈与と法律、贈与と税金、相続と税金）	千葉　菜愛
第19回	相続・事業継承 （財産の評価、不動産・金融資産、相続対策）	千葉　菜愛
第20回	相続・事業継承 （財産の評価、不動産・金融資産、相続対策）	千葉　菜愛

準備学習等	予習の必要はありません。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は教員に質問をして、次回の講義に備えてください。
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3級 テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級　問題集（大原出版）

備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 ＦＰ技能士３級は、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

182.ＦＰ技能士３級演習

学科	OA事務学科（１年課程）・情報システム学科（１年課程） 経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・情報システム学科（２年課程） 税理士会計士学科（２年課程） 税理士会計士学科（２年４ヶ月課程） 税理士会計士学科（３年課程）・情報システム学科（３年課程） 税理士会計士学科（４年課程）
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	ＦＰ技能士３級演習	授業形態	演習
		選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	15時間
		単位数	1単位
科目教員	千葉　菜愛	授業回数	5回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	
実務経験教員の実務経験内容	
授業目的 到達目標	ファイナンシャルプランナーとして必要な年金、保険、金融資産、税金、不動産、相続などの知識を、過去試験問題や模擬問題を通して答案練習・解説することで、理解を深めてもらうことを目的としています。FP技能士3級受験のため学科及び実技問題を、本試験通りの時間設定の中で解答し、常に合格点数以上を取ることを達成目標とします。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 過去試験対策①　問題演習	千葉　菜愛
第2回	過去試験対策②　問題演習	千葉　菜愛
第3回	過去試験対策③　問題演習	千葉　菜愛
第4回	模擬試験①　問題演習	千葉　菜愛
第5回	模擬試験②　問題演習	千葉　菜愛

準備学習等	反復の答案練習が必要となります。間違った問題の解き直しに全力を注いでください。 また、学科試験、実技試験をバランスよく学習することを心がけてください。
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3級　学科・実技過去試験問題集　問題編（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランナー3級　学科・実技過去試験問題集　解答編（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定3級　学科模擬試験（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定3級　実技模擬試験（学校法人　大原学園） 復習用教材として、FP技能士3級で使用しているテキストを持参してください。
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 ＦＰ技能士３級演習は、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

183.コンピュータ会計

学科	OA事務学科（１年課程）・情報システム学科（１年課程） 経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・情報システム学科（２年課程） 税理士会計士学科（２年課程） 税理士会計士学科（２年４ヶ月課程） 税理士会計士学科（３年課程）・情報システム学科（３年課程） 税理士会計士学科（４年課程）
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	コンピュータ会計	授業形態	演習
		選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	2単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：50％ 授業態度：50％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	簿記に関連した科目を履修したものが、その知識を実務でも活用できるよう会計ソフト(弥生会計)を使用し実習することで、簿記の知識(いわゆる受験簿記の知識)と会計ソフトを利用した場合の簿記とのつながり、相違点を理解してもらうことを目的としています。自ら会計ソフトを利用して基礎的な会計処理(入力・集計等)ができるようになること、コンピュータ会計能力検定2級を取得するための知識と技能を身につけることを到達目標とします。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス及び会計ソフトの操作	竹村　幸生
第2回	企業の基幹業務と会計処理	竹村　幸生
第3回	税金に関連する業務と会計処理	竹村　幸生
第4回	会計データ（証ひょうによる）の入力処理と集計	竹村　幸生
第5回	決算に関連する業務と会計処理	竹村　幸生
第6回	予算管理と経営分析指標	竹村　幸生

第7回	収益構造分析と短期利益計画	竹村　幸生
第8回	キャッシュ・フロー分析	竹村　幸生
第9回	コンピュータ会計検定　問題演習	竹村　幸生
第10回	コンピュータ会計検定　問題演習	竹村　幸生

準備学習等	パソコンを利用した会計処理の実習が中心となります。序盤は慣れない作業に苦労することになりますが、繰り返し実習を積むことでその技術(入力の速度・精度)は上達します。空き時間等を利用し、積極的にパソコン教室での練習を心がけてください。なお、予習は不要です。
教科書 参考書等	コンピュータ会計応用テキスト（実教出版） コンピュータ会計応用問題集（実教出版） コンピュータ会計能力検定試験　過去問題集（公益社団法人　全国経理教育協会）
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 コンピュータ会計は、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	ファイナンシャル・プランニング演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	中島　京哉 久保田　佳子	成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
科目教員のうち実務経験教員			
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニング」を前提とし、日本FP協会主催ファイナンシャル・プランニング技能検定3級（以下、「FP3級」という。）の問題演習を行う。数多くの問題を解くことで、知識の定着を図ることを目的とする。また、FP3級に合格することを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	問題演習　学科編① （ライフプランニングと資金計画）	中島　京哉 久保田　佳子
第2回	問題演習　学科編② （リスク管理）	中島　京哉 久保田　佳子
第3回	問題演習　学科編③ （金融資産運用）	中島　京哉 久保田　佳子
第4回	問題演習　学科編④ （タックスプランニング）	中島　京哉 久保田　佳子
第5回	問題演習　学科編⑤ （不動産）	中島　京哉 久保田　佳子
第6回	問題演習　学科編⑥ （相続・事業承継）	中島　京哉 久保田　佳子
第7回	問題演習　実技編①	中島　京哉 久保田　佳子

第8回	問題演習　実技編②	中島　京哉 久保田　佳子
第9回	問題演習　実技編③	中島　京哉 久保田　佳子
第10回	問題演習　実技編④	中島　京哉 久保田　佳子

準備学習等	予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3.2級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3.2級　練習問題（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3.2級　学科・実技過去試験問題集問題編 （学校法人大原学園） ファイナンシャル・プランナー3.2級　学科・実技過去試験問題集解答編 （学校法人大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定3.2級学科模擬試験（学校法人大原学園） 3級FP技能検定　学科模擬試験　解答・解説（学校法人大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定3.2級実技模擬試験（学校法人大原学園） 3級FP技能検定　実技模擬試験　解答・解説（学校法人大原学園） あてる直前予想模試ＦＰ3.2級（ＴＡＣ出版）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	中島　京哉 久保田　佳子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニング」を前提とし、日本FP協会主催ファイナンシャル・プランニング技能検定2級（以下、「FP2級」という。）の問題演習を行う。数多くの問題を解くことで、知識の定着を図ることを目的とする。また、FP2級に合格することを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	問題演習　学科編① （ライフプランニングと資金計画）	中島　京哉 久保田　佳子
第2回	問題演習　学科編② （リスク管理）	中島　京哉 久保田　佳子
第3回	問題演習　学科編③ （金融資産運用）	中島　京哉 久保田　佳子
第4回	問題演習　学科編④ （タックスプランニング）	中島　京哉 久保田　佳子
第5回	問題演習　学科編⑤ （不動産）	中島　京哉 久保田　佳子
第6回	問題演習　学科編⑥ （相続・事業承継）	中島　京哉 久保田　佳子
第7回	問題演習　実技編①	中島　京哉 久保田　佳子

第8回	問題演習　実技編②	中島　京哉 久保田　佳子
第9回	問題演習　実技編③	中島　京哉 久保田　佳子
第10回	問題演習　実技編④	中島　京哉 久保田　佳子

準備学習等	予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3.2級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3.2級　練習問題（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3.2級　学科・実技過去試験問題集問題編 （学校法人大原学園） ファイナンシャル・プランナー3.2級　学科・実技過去試験問題集解答編 （学校法人大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定3.2級学科模擬試験（学校法人大原学園） 3級FP技能検定　学科模擬試験　解答・解説（学校法人大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定3.2級実技模擬試験（学校法人大原学園） 3級FP技能検定　実技模擬試験　解答・解説（学校法人大原学園） あてる直前予想模試ＦＰ3.2級（ＴＡＣ出版）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

学科	ビジネス学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） OA事務学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	2学年

科目名	マネジメント	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	久保田　佳子・鈴木　秀俊 中島　京哉	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：80％ 授業態度：20％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	経営学の基本的な論点と専門用語を習得し、現実の経営現象を考察する能力を身に付けることを目的とし、一般社団法人日本経営協会主催経マネジメント検定III級取得を到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	企業と経営 企業・会社の概念と諸形態	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第2回	所有・経営・支配と経営目的 会社期間とコーポレートガバナンス	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第3回	日本型企業システム	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第4回	経営戦略の体系と理論	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第5回	全社戦略	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉

第6回	事業戦略	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第7回	機能別戦略	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第8回	組織に関する基礎理論	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第9回	経営組織の基本形態	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第10回	企業組織の諸形態	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第11回	組織の制度・管理・文化	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第12回	経営管理の基礎理論	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第13回	マネジメントの階層とプロセス	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第14回	経営計画	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第15回	コントロール	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第16回	Ｍ＆Ａと買収防衛策	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第17回	経営のグローバリゼーション	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第18回	企業経営と情報化	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉

第19回	企業の社会的責任（CSR）と企業倫理	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第20回	環境経営	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
準備学習等	学習した論理と具体的事例とを自らの頭の中で結び付けて考えることで、学習効果は増大すると考えられる。問題意識を持ち、具体的経営事象を用いて考えること。 予習は必要としないが、広く経営事象に興味を持つことが求められる。	
教科書 参考書等	・経営学検定試験公式テキスト①経営学の基本（中央経済社） ・経営学検定試験初級　2023年度版練習問題＆解答・解説 （一般社団法人　日本経営協会）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。経営学は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。	

187.マネジメント演習

学科	ビジネス学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） OA事務学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	2学年

科目名	マネジメント演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
		授業回数	30回
科目教員	久保田　佳子・鈴木　秀俊 中島　京哉	成績評価方法	筆記試験　：　40　% ミニテスト　：　40　% 授業態度　：　20　% ：　% ：　%
科目教員のうち実務経験教員			
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	経営学の基本的な論点と専門用語を習得し、現実の経営現象を考察する能力を身に付けることを目的とし、一般社団法人日本経営協会主催マネジメント検定Ⅲ級取得を到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	企業と経営　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第2回	企業・会社の概念と諸形態　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第3回	所有・経営・支配と経営目的　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第4回	会社期間とコーポレートガバナンス　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第5回	日本型企業システム　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉

第6回	経営戦略の体系と理論　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第7回	全社戦略　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第8回	事業戦略　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第9回	機能別戦略　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第10回	組織に関する基礎理論　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第11回	経営組織の基本形態　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第12回	企業組織の諸形態　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第13回	組織の制度・管理・文化　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第14回	経営管理の基礎理論　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第15回	マネジメントの階層とプロセス　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第16回	経営計画　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第17回	コントロール　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第18回	M＆Aと買収防衛策　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉

第19回	経営のグローバリゼーション　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第20回	企業経営と情報化　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第21回	企業の社会的責任（CSR）と企業倫理　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第22回	環境経営　演習問題	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第23回	企業システム　問題演習、解説	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第24回	経営戦略　問題演習、解説	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第25回	経営組織　問題演習、解説	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第26回	経営管理　問題演習、解説	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第27回	経営課題　問題演習、解説	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第28回	経営学検定過去問題　問題演習、解説	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第29回	経営学検定過去問題　問題演習、解説	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第30回	経営学検定過去問題　問題演習、解説	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
準備学習等	学習した論理と具体的事例とを自らの頭の中で結び付けて考えることで、学習効果は増大すると考えられる。問題意識を持ち、具体的経営事象を用いて考えること。 予習は必要としないが、広く経営事象に興味を持つことが求められる。	

教科書 参考書等	・経営学検定試験公式テキスト①経営学の基本（中央経済社） ・経営学検定試験初級　2023年度版練習問題＆解答・解説 （一般社団法人　日本経営協会）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。経営学は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

188.計算実務演習

学科	ＯＡ事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	計算実務演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	久保田　佳子、鈴木　秀俊 中島　京哉	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	確認テスト：80％ 授業態度：20％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	経理担当者に欠かせない知識である帳票計算と商業計算について学習する。 全国経理教育協会主催計算実務能力検定試験の合格を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	＜帳票計算＞ 試算表、商品有高帳	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第2回	＜商業計算＞ 貨幣計算、手形割引計算	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第3回	＜帳票計算・商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説①	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第4回	＜商業計算＞ 度量衡の換算、通法の計算	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第5回	＜商業計算＞ 仲立人の手数料計算	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第6回	＜商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説②	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉

第7回	＜商業計算＞ 貨幣計算、手形割引計算	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第8回	＜商業計算＞ 商品売買の計算	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第9回	＜商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説③	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第10回	＜商業計算＞ 委託販売・委託買付の手数料計算	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第11回	＜商業計算＞ 金銭の貸し付け	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第12回	＜商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説④	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第13回	＜商業計算＞ 純量代価	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第14回	＜商業計算＞ 有利・不利の判定、通法の計算（文章問題）	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第15回	＜帳票計算・商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説⑤	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第16回	過去問題演習、解答と解説①	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第17回	過去問題演習、解答と解説②	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第18回	過去問題演習、解答と解説③	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第19回	過去問題演習、解答と解説④	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉
第20回	過去問題演習、解答と解説⑤	久保田　佳子 鈴木　秀俊 中島　京哉

準備学習等	復習を行い、知識の定着を図ること。 学習したことは必ず実践し、繰り返して、自分の習慣にする。
教科書 参考書等	計算実務１・２級　公式テキスト　(共栄出版株式会社) 計算実務能力検定試験　過去問題集１級　(公益社団法人　全国経理教育協会) 計算実務能力検定試験　過去問題集２級　(公益社団法人　全国経理教育協会)
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 ビジネスの場に対応できる実践力が養われたかを測るため、確認テストを実施し、総合的に評価する。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程）・ 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	建設業経理士	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	鈴木　秀俊	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：50％ ミニテスト：30％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	建設業に適用される簿記について学習する。建設業簿記、建設業原価計算及び会計学を修得し、会社法その他会計に関する法規を理解しており、決算に関する実務を行えること及び建設業の財務諸表の作成及びそれに基づく経営分析が行えることを目的とする。最終的には、建設業経理士試験１級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	財務諸表総論、損益会計論、資産会計論①	鈴木　秀俊
第2回	資産会計論②	鈴木　秀俊
第3回	負債会計論	鈴木　秀俊
第4回	純資産、一般原則、デリバティブ取引、ヘッジ会計	鈴木　秀俊
第5回	税効果会計、外貨換算会計、企業結合等	鈴木　秀俊
第6回	連結会計①	鈴木　秀俊
第7回	連結会計②、キャッシュ・フロー会計、共同企業体会計、 会計上の変更及び誤謬の訂正	鈴木　秀俊
第8回	財務分析の基礎	鈴木　秀俊
第9回	収益性の分析①	鈴木　秀俊

第10回	収益性の分析②	鈴木　秀俊
第11回	活動性の分析	鈴木　秀俊
第12回	流動性の分析と健全性の分析	鈴木　秀俊
第13回	生産性の分析、成長性の分析	鈴木　秀俊
第14回	資金変動性の分析、企業経営の総合評価	鈴木　秀俊
第15回	原価計算総論、工事原価の費目別計算	鈴木　秀俊
第16回	工事間接費（現場共通費）の配賦計算、部門別工事原価計算	鈴木　秀俊
第17回	機械等使用率の特殊な決定方式、完成工事別原価計算	鈴木　秀俊
第18回	営業費および金利と原価計算、 建設資材等の製造原価計算（総合原価計算）①	鈴木　秀俊
第19回	建設資材等の製造原価計算（総合原価計算）②、 コスト・コントロールとコスト・マネジメント	鈴木　秀俊
第20回	意思決定会計等	鈴木　秀俊

準備学習等	難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。
教科書 参考書等	建設業経理士　１級　財務諸表　テキスト（学校法人　大原学園） 建設業経理士　１級　財務諸表　問題集（学校法人　大原学園） 建設業経理士　１級　財務諸表　解答集（学校法人　大原学園） 建設業経理士　１級　財務分析　テキスト（学校法人　大原学園） 建設業経理士　１級　財務分析　問題集（学校法人　大原学園） 建設業経理士　１級　財務分析　解答集（学校法人　大原学園） 建設業経理士　１級　原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） 建設業経理士　１級　原価計算　問題集（学校法人　大原学園） 建設業経理士　１級　原価計算　解答集（学校法人　大原学園） 建設業経理士　２級　テキスト（学校法人　大原学園） 建設業経理士　２級　問題集（学校法人　大原学園） 建設業経理士　２級　解答集（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

190.建設業経理士演習

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程）・ 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	建設業経理士演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	鈴木　秀俊	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	科目「建設業経理士」を前提とし、ここまでに習得した知識を活用し、「財務諸表」「財務分析」「原価計算」の問題演習を行う。計算だけではなく、理論的に学習することで知識の定着を図る。最終的には、建設業経理士試験１級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	過去問題集　財務諸表①	鈴木　秀俊
第2回	過去問題集　財務諸表②	鈴木　秀俊
第3回	過去問題集　財務諸表③	鈴木　秀俊
第4回	過去問題集　財務諸表④	鈴木　秀俊
第5回	過去問題集　財務諸表⑤	鈴木　秀俊
第6回	過去問題集　財務諸表⑥	鈴木　秀俊
第7回	過去問題集　財務諸表⑦	鈴木　秀俊
第8回	過去問題集　財務諸表⑧	鈴木　秀俊
第9回	過去問題集　財務諸表⑨	鈴木　秀俊
第10回	過去問題集　財務諸表⑩	鈴木　秀俊

第11回	過去問題集　財務分析①	鈴木　秀俊
第12回	過去問題集　財務分析②	鈴木　秀俊
第13回	過去問題集　財務分析③	鈴木　秀俊
第14回	過去問題集　財務分析④	鈴木　秀俊
第15回	過去問題集　財務分析⑤	鈴木　秀俊
第16回	過去問題集　財務分析⑥	鈴木　秀俊
第17回	過去問題集　財務分析⑦	鈴木　秀俊
第18回	過去問題集　財務分析⑧	鈴木　秀俊
第19回	過去問題集　財務分析⑨	鈴木　秀俊
第20回	過去問題集　財務分析⑩	鈴木　秀俊
第21回	過去問題集　原価計算①	鈴木　秀俊
第22回	過去問題集　原価計算②	鈴木　秀俊
第23回	過去問題集　原価計算③	鈴木　秀俊
第24回	過去問題集　原価計算④	鈴木　秀俊
第25回	過去問題集　原価計算⑤	鈴木　秀俊
第26回	過去問題集　原価計算⑥	鈴木　秀俊
第27回	過去問題集　原価計算⑦	鈴木　秀俊
第28回	過去問題集　原価計算⑧	鈴木　秀俊
第29回	過去問題集　原価計算⑨	鈴木　秀俊
第30回	過去問題集　原価計算⑩	鈴木　秀俊
準備学習等	難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。	

教科書 参考書等	建設業経理士　１級　財務諸表　テキスト（学校法人　大原学園） 建設業経理士　１級　財務諸表　問題集（学校法人　大原学園） 建設業経理士　１級　財務諸表　解答集（学校法人　大原学園） 建設業経理士　１級　財務分析　テキスト（学校法人　大原学園） 建設業経理士　１級　財務分析　問題集（学校法人　大原学園） 建設業経理士　１級　財務分析　解答集（学校法人　大原学園） 建設業経理士　１級　原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） 建設業経理士　１級　原価計算　問題集（学校法人　大原学園） 建設業経理士　１級　原価計算　解答集（学校法人　大原学園） 建設業経理士　２級　テキスト（学校法人　大原学園） 建設業経理士　２級　問題集（学校法人　大原学園） 建設業経理士　２級　解答集（学校法人　大原学園） 合格するための過去問題集　建設業経理士１級　財務諸表 合格するための過去問題集　建設業経理士１級　財務分析 合格するための過去問題集　建設業経理士１級　原価計算 合格するための過去問題集　建設業経理士２級
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

191.商業簿記演習

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程）・ 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	商業簿記演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	工藤　英一、中島　京哉	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	日本商工会議所主催簿記検定試験2級および1級（以下、「日商簿記2級および1級」という。）の商業簿記・会計学の問題演習を行う。問題文が複雑であることから、問題の内容をしっかりと把握する読解力を養う。また、1つの問に対し、解法がいくつかあるため、自ら考え判断し、正答を導き出す力を養成する。最終的には、日商簿記2級および1級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	第1回　日ビ簿記　過去試験対策　（一部抜粋）	工藤　英一 中島　京哉
第2回	第2回　日ビ簿記　過去試験対策　（一部抜粋）	工藤　英一 中島　京哉
第3回	第3回　日ビ簿記　過去試験対策　（一部抜粋）	工藤　英一 中島　京哉
第4回	第4回　日ビ簿記　過去試験対策　（一部抜粋）	工藤　英一 中島　京哉
第5回	第5回　日ビ簿記　過去試験対策　（一部抜粋）	工藤　英一 中島　京哉
第6回	第6回　日ビ簿記　過去試験対策　（一部抜粋）	工藤　英一 中島　京哉
第7回	第7回　日ビ簿記　過去試験対策　（一部抜粋）	工藤　英一 中島　京哉
第8回	第8回　日ビ簿記　過去試験対策　（一部抜粋）	工藤　英一 中島　京哉

第9回	第9回　日ビ簿記　過去試験対策　（一部抜粋）	工藤　英一 中島　京哉
第10回	第10回　日ビ簿記　過去試験対策　（一部抜粋）	工藤　英一 中島　京哉
第11回	第1回　日商簿記　過去試験問題　演習・解説	工藤　英一 中島　京哉
第12回	第2回　日商簿記　過去試験問題　演習・解説	工藤　英一 中島　京哉
第13回	第3回　日商簿記　過去試験問題　演習・解説	工藤　英一 中島　京哉
第14回	第4回　日商簿記　過去試験問題　演習・解説	工藤　英一 中島　京哉
第15回	第5回　日商簿記　過去試験問題　演習・解説	工藤　英一 中島　京哉
第16回	第6回　日商簿記　過去試験問題　演習・解説	工藤　英一 中島　京哉
第17回	第7回　日商簿記　過去試験問題　演習・解説	工藤　英一 中島　京哉
第18回	第8回　日商簿記　過去試験問題　演習・解説	工藤　英一 中島　京哉
第19回	第9回　日商簿記　過去試験問題　演習・解説	工藤　英一 中島　京哉
第20回	第10回　日商簿記　過去試験問題　演習・解説	工藤　英一 中島　京哉

準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。また、基礎論点の復習を中心的に行うことによって応用力が身につくものと認識すること。予習は不要。
教科書 参考書等	ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験過去問題集1級　商業簿記・会計学 （一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 簿記能力検定試験過去問題集2級　商業簿記 （一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 過去問題集　日商簿記1級（大原出版）

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

192.工業簿記演習

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程）・ 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	工業簿記演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	鈴木　秀俊	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	日本商工会議所主催簿記検定試験2級および1級（以下、「日商簿記2級および1級」という。）の工業簿記・原価計算の問題演習を行う。問題文が複雑であることから、問題の内容をしっかりと把握する読解力を養う。また、1つの問に対し、解法がいくつかあるため、自ら考え判断し、正答を導き出す力を養成する。最終的には、日商簿記2級および1級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	第1回　日ビ簿記　過去試験対策　（一部抜粋）	鈴木　秀俊
第2回	第2回　日ビ簿記　過去試験対策　（一部抜粋）	鈴木　秀俊
第3回	第3回　日ビ簿記　過去試験対策　（一部抜粋）	鈴木　秀俊
第4回	第4回　日ビ簿記　過去試験対策　（一部抜粋）	鈴木　秀俊
第5回	第5回　日ビ簿記　過去試験対策　（一部抜粋）	鈴木　秀俊
第6回	第6回　日ビ簿記　過去試験対策　（一部抜粋）	鈴木　秀俊
第7回	第7回　日ビ簿記　過去試験対策　（一部抜粋）	鈴木　秀俊
第8回	第8回　日ビ簿記　過去試験対策　（一部抜粋）	鈴木　秀俊
第9回	第9回　日ビ簿記　過去試験対策　（一部抜粋）	鈴木　秀俊
第10回	第10回　日ビ簿記　過去試験対策　（一部抜粋）	鈴木　秀俊

第11回	第1回　日商簿記　過去試験問題　演習・解説	鈴木　秀俊
第12回	第2回　日商簿記　過去試験問題　演習・解説	鈴木　秀俊
第13回	第3回　日商簿記　過去試験問題　演習・解説	鈴木　秀俊
第14回	第4回　日商簿記　過去試験問題　演習・解説	鈴木　秀俊
第15回	第5回　日商簿記　過去試験問題　演習・解説	鈴木　秀俊
第16回	第6回　日商簿記　過去試験問題　演習・解説	鈴木　秀俊
第17回	第7回　日商簿記　過去試験問題　演習・解説	鈴木　秀俊
第18回	第8回　日商簿記　過去試験問題　演習・解説	鈴木　秀俊
第19回	第9回　日商簿記　過去試験問題　演習・解説	鈴木　秀俊
第20回	第10回　日商簿記　過去試験問題　演習・解説	鈴木　秀俊

準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。また、基礎論点の復習を中心的に行うことによって応用力が身につくものと認識すること。予習は不要。
教科書 参考書等	ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験過去問題集1級　工業簿記・原価計算 （一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 簿記能力検定試験過去問題集2級　工業簿記 （一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 過去問題集　日商簿記1級（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

193.簿記演習

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程）・ 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	簿記演習	授業形態	演習
		選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木　秀俊、工藤　英一、中島　京哉	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「商業簿記演習」および「工業簿記演習」を前提とし、更なる知識の定着を図るため、難易度の高い商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算の問題演習を行う。会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験2級および1級（以下、「日商簿記2級および1級」という。）に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	日商簿記検定第171回対策　直前模擬試験　第1回　演習・解説	鈴木　秀俊 工藤　英一 中島　京哉
第2回	日商簿記検定第171回対策　直前模擬試験　第2回　演習・解説	鈴木　秀俊 工藤　英一 中島　京哉
第3回	日商簿記検定第171回対策　直前模擬試験　第3回　演習・解説	鈴木　秀俊 工藤　英一 中島　京哉
第4回	弱点克服問題演習①	鈴木　秀俊 工藤　英一 中島　京哉

第5回	日商簿記検定第171回対策　直前模擬試験　第4回　演習・解説	鈴木　秀俊 工藤　英一 中島　京哉
第6回	日商簿記検定第171回対策　直前模擬試験　第5回　演習・解説	鈴木　秀俊 工藤　英一 中島　京哉
第7回	日商簿記検定第171回対策　直前模擬試験　第6回　演習・解説	鈴木　秀俊 工藤　英一 中島　京哉
第8回	弱点克服問題演習②	鈴木　秀俊 工藤　英一 中島　京哉
第9回	日商簿記検定第171回対策　全国統一公開模擬試験　演習・解説	鈴木　秀俊 工藤　英一 中島　京哉
第10回	最終確認問題演習・解説	鈴木　秀俊 工藤　英一 中島　京哉

準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。 また、各回の復習を必ず行うこと。予習は不要。
教科書 参考書等	日商簿記検定第172回対策　直前模擬試験　第1回～第6回（学校法人　大原学園） 日商簿記検定第172回対策　全国統一公開模擬試験（学校法人　大原学園） 第171回をあてるTAC直前予想模擬　日商簿記１級（TAC出版） 2025年度　日商簿記１級　網羅型完全予想問題集（TAC出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	ファイナンシャル・プランニング演習Ⅱ	授業形態	演習
		選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	中島　京哉 久保田　佳子	成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
科目教員のうち実務経験教員			
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニング」を前提とし、日本FP協会主催ファイナンシャル・プランニング技能検定2級（以下、「FP2級」という。）の問題演習を行う。数多くの問題を解くことで、知識の定着を図ることを目的とする。また、FP2級に合格することを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	過去試験問題　解答解説①	中島　京哉 久保田　佳子
第2回	過去試験問題　解答解説②	中島　京哉 久保田　佳子
第3回	過去試験問題　解答解説③	中島　京哉 久保田　佳子
第4回	過去試験問題　解答解説④	中島　京哉 久保田　佳子
第5回	過去試験問題　解答解説⑤	中島　京哉 久保田　佳子
第6回	過去試験問題　解答解説⑥	中島　京哉 久保田　佳子
第7回	過去試験問題　解答解説⑦	中島　京哉 久保田　佳子
第8回	模擬試験問題　解答解説①	中島　京哉 久保田　佳子

第9回	模擬試験問題　解答解説②	中島　京哉 久保田　佳子
第10回	模擬試験問題　解答解説③	中島　京哉 久保田　佳子

準備学習等	予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3.2級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3.2級　練習問題（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3.2級　学科・実技過去試験問題集問題編 （学校法人大原学園） ファイナンシャル・プランナー3.2級　学科・実技過去試験問題集解答編 （学校法人大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定3.2級学科模擬試験（学校法人大原学園） 3級FP技能検定　学科模擬試験　解答・解説（学校法人大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定3.2級実技模擬試験（学校法人大原学園） 3級FP技能検定　実技模擬試験　解答・解説（学校法人大原学園） あてる直前予想模試ＦＰ3.2級（ＴＡＣ出版）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	販売士1級応用	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木　秀俊・中島　京哉 瀬尾　幸江・山下　健二	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二	成績評価方法	筆記試験　：　80　％ 授業態度　：　20　％ ：　％ ：　％ ：　％

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売りの現場および経営者の立場から学習する。
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。
授業目的 到達目標	経営に関する極めて高度な知識を身につけることを目的とし、商品計画からマーケティング、経営計画の立案や財務予測等の経営管理について適切な判断ができることを目標とする。マーケティングの責任者やコンサルタントとして戦略的に企業経営に関わる人材を目指す。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型 流通システムの変革と小売業の新たな役割、フランチャイズシステムの戦略特性、店舗形態別小売業の戦略的特性	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第2回	小売業の類型 チェーンストアの戦略概論、商店街およびショッピングセンターの戦略的特性	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第3回	マーチャンダイジング マーチャンダイジング戦略の概論、商品計画の策定と商品予算の実務、販売計画ならびに販売管理の戦略的策定	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第4回	マーチャンダイジング 仕入在庫と在庫管理の実務、戦略的商品管理の実務、物流システムの実際	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二

第5回	ストアオペレーション 店舗運営サイクルの戦略的展開、スペースマネジメントの戦略的展開、発注の戦略的展開、LSPの戦略展開	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第6回	ストアオペレーション ローコストオペレーションの戦略展開、人的販売と販売員指導の実際、人的販売の実践と管理	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第7回	マーケティング 小売業のマイクロマーケティング戦略の実践、小売業のマーケティングの種類と特徴、リテールマーケティング戦略の考え方	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第8回	マーケティング ライフスタイルの変化とマーケティング戦略の展開方法、顧客戦略の実際、マーケティングリサーチの実際、出店戦略と商圏分析の実際、販売促進とプライシングの戦略的展開	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第9回	販売・経営管理 小売業の管理組織の特徴、小売業の従業員管理と能力開発	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二
第10回	販売・経営管理 小売業の戦略的キャッシュフロー経営、小売業の店舗に関する法律、小売業のリスクマネジメント	鈴木　秀俊 中島　京哉 瀬尾　幸江 山下　健二

準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施します。必ず復習を行うこと。 学生の理解度により講義内容を変更する場合があります。
教科書 参考書等	販売士ハンドブック（発展編）～リテールマーケティング（販売士）検定試験１級対応～　（カリアック） 販売士(リテールマーケティング）１級問題集part１（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）１級問題集part２（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）１級問題集part３（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）１級問題集part４（TAC出版） 販売士(リテールマーケティング）１級問題集part５（TAC出版）
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改定等に伴う授業内容の変更の可能性があります。

196.社会保険労務士演習Ⅰ

学科	ビジネス学科（２年課程）税理士会計士学科（２年課程）・税理士会計士学科（３年課程）・税理士会計士学科（４年課程）
学年	２学年

科目名	社会保険労務士演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	小関　哲也	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：40％ ミニテスト：40％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	各分野のまとめを確認し、社会保険労務士資格試験の過去問を中心に択一式及び選択式の問題を解答していきます。併せて白書対策及び最高裁判例対策も実施し事例対策も行います。 社会保険労務士資格試験に対応する問題を解答できるレベルを目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	労働経済・社会保障統計（労働力調査その他・職業安定関係）	小関　哲也
第2回	労働経済・社会保障統計（賃金関係・雇用関係）	小関　哲也
第3回	労働経済・社会保障統計（就労条件総合調査・雇用均等関係その他）	小関　哲也
第4回	労働経済・社会保障統計（労使関係）	小関　哲也
第5回	労働経済・社会保障統計（厚生統計）	小関　哲也
第6回	労働経済・社会保障統計（白書）	小関　哲也
第7回	労務管理（人事・労務管理情報）	小関　哲也
第8回	労務管理（労働力管理）	小関　哲也

第9回	労務管理（教育訓練・能力開発管理）	小関　哲也
第10回	労務管理（賃金管理）	小関　哲也
第11回	労務管理（人間関係管理）	小関　哲也
第12回	労務管理（過去本試験問題　選択式）	小関　哲也
第13回	厚生労働白書過去問対策１	小関　哲也
第14回	厚生労働白書過去問対策２	小関　哲也
第15回	最高裁判例対策	小関　哲也

準備学習等	社会保険労務士Ⅰ～Ⅵで学習した内容の問題演習となるため、社会保険労務士Ⅰ～Ⅵの内容を復習し理解しておくことが重要。学習内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い問題演習ができるレベルの知識を身に付け授業に臨むこと。
教科書 参考書等	労働経済・厚生労働白書まとめテキスト　(学校法人　大原学園) 復習用教材として、社会保険労務士Ⅰ～Ⅵで使用しているテキストを持参すること。
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。社会保険労務士演習Ⅰは、上記学科選択必修科目であるため、各学科合同授業となります。